

昭 島 市

障害福祉計画策定のための

基 础 調 査 報 告 書

平成 26 年 3 月

昭 島 市

目 次

第1章 調査概要	1
1 調査の目的と方法	1
2 調査結果の分析	2
第2章 18歳以上の方の調査結果	9
1 調査票の回答者	9
2 ご本人について	10
3 障害の状況について	16
4 医療や介助の状況について	23
5 相談や福祉情報について	35
6 日中活動や仕事について	52
7 住まいについて	78
8 外出について	82
9 福祉サービスの利用について	87
10 権利擁護・社会参加・障害理解について	98
11 災害対策について	109
12 将来について	116
13 自由意見	121
第3章 18歳未満の方の調査結果	127
1 調査票の回答者	127
2 ご本人について	128
3 障害の状況について	132
4 医療や介助の状況について	138
5 相談や福祉情報について	147
6 日中活動や仕事について	155
7 保育・教育・療育について	162
8 住まいについて	172
9 外出について	175
10 福祉サービスの利用について	178
11 権利擁護・社会参加・障害理解について	189
12 災害対策について	197
13 将来について	202

14 自由意見	205
資料（調査票）	209

第 1 章

調 査 概 要

1 調査の目的と方法

(1) 調査目的

本調査は、平成 26 年度に予定されている「第 4 期昭島市障害福祉計画」の策定にあたって、障害のある方の生活状況やニーズ等を把握し、今後の障害者施策の推進に役立てるために実施しました。

(2) 調査方法

- ・調査対象者：身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳を所持しており、市内で在宅生活を送っている方 2,000 人（18 歳以上の方については無作為抽出、18 歳未満の方については全数）
- ・調査方法：郵送配布、郵送回収
- ・調査期間：平成 25 年 11 月 13 日～11 月 27 日

(3) 回収結果

配布数 (A)	有効回収数 (B)	白票・無効票 (C)	有効回収率 (B/A)
2,000	1,136	1	56.8%

(4) 集計値や図表の表記について

- ・集計した数値（%）は、小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位まで表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が一つだけの場合、選択肢の数値（%）をすべて合計しても、四捨五入の関係で 100% にならないことがあります。
- ・回答者数を分母として割合（%）を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると 100% を超えます。
- ・表では、上段が実数、下段が%（小数第 1 位まで）を表示しています。
- ・表中、図中に「-」と表示してあるのは、回答者がいなかった場合です。
- ・表中で網掛けになっている部分は、クロス集計表の結果の中で特徴のあった部分として説明文で取り上げている数値を示しています。
- ・回答者数が極端に少ないものについては、分析対象から外している場合があります。ただし、調査結果には参考値として記載しています。
- ・調査票の選択肢の文章が長い場合、要約して短く表現している場合があります。

2 調査結果の分析

(1) 回答者について

～ 身体障害のある方の高齢化 ～

年齢（問3）をみると、身体障害のある方のうち、65歳以上が73.1%、75歳以上が43.5%となっており、身体障害のある方の高齢化が進んでいることがわかります。障害の発症に気づいた時期（問9）をみると、18歳以上では40～64歳が多くなっている一方で、0～5歳も多くなっており、身体障害のある方は、幼少期から障害のある方と中高年になって疾病等により障害が発症した方に二極化しており、それぞれの生活状況やニーズに配慮する必要があると考えられます。

●障害の発症に気づいた時期（問9）

(2) 医療について

～ 身近な地域における医療機関の充実 ～

医療に関して困っていること（問12）をみると、「治療により症状が改善されない」と「医療機関が家の近くにない」が多い傾向にあり、特に「医療機関が家の近くにない」は18歳未満の回答割合が18歳以上に比べて多くなっています。また、地域で安心して暮らすために必要な支援（問51）に関しても、身体障害のある方では「医療機関の充実」が最も多く、誰もが身近な地域で症状に応じた適切な医療を受けられるように、保健、医療、関係機関との連携強化が求められています。

●医療に関して困っていること（問12）

(3) 日常生活について ～ 将来への不安 ～

日常生活で困っていること（問 17）をみると、「将来に不安を感じている」が多い傾向にあり、自由意見（問 52）からは、介助者が高齢になり支援できなくなった場合や親亡き後の生活を案じる声が多く寄せられています。障害のある方が地域で自立して生活できるよう、居宅支援サービスや地域生活支援事業の充実を図るとともに、地域の福祉施設との連携と協力により、障害のある方の生活の場の確保と自立に向けた支援が求められています。あわせて、不安の解消に向け、相談支援体制や福祉に関する情報提供体制の充実が必要と考えられます。

●日常生活で困っていること（問 17）

		全 体	健 康 状 態 に 不 安 が あ る	着 替え や 食 事 な ど が	家 事 な ど が な い 分 に	介 助 者 の 负 担 が 大 き い	外 出 に 支 障 が あ る	住 ま い に 支 障 が あ る	就 労 に つ い て 困 つ て い る	紧 急 時 の 对 応 に 不 安 が あ る	灾 害 時 の 避 難 に 不 安 が あ る	人 間 関 係 に 支 障 が あ る	障 害 や 病 气 に 对 す る 周 围 の 理 解 が な い	困 つ た と き 相 手 が い な い
18歳以上	身体障害	689 100.0	286 41.5	83 12.0	161 23.4	91 13.2	198 28.7	52 7.5	31 4.5	197 28.6	246 35.7	35 5.1	66 9.6	41 6.0
	知的障害	161 100.0	42 26.1	19 11.8	46 28.6	26 16.1	33 20.5	8 5.0	16 9.9	61 37.9	65 40.4	41 25.5	32 19.9	28 17.4
	精神障害	196 100.0	100 51.0	14 7.1	74 37.8	19 9.7	55 28.1	13 6.6	50 25.5	51 26.0	58 29.6	74 37.8	49 25.0	41 20.9
18歳未満	身体障害	39 100.0	17 43.6	14 35.9	9 23.1	15 38.5	9 23.1	9 23.1	7 17.9	24 61.5	27 69.2	9 23.1	12 30.8	9 23.1
	知的障害	72 100.0	15 20.8	17 23.6	22 30.6	17 23.6	20 27.8	8 11.1	15 20.8	38 52.8	40 55.6	20 27.8	23 31.9	16 22.2

		市役所などの手続きが難しい	解 近 く 医 た に 、 上 病 気 が て や な も 痕 害 い ら え る 理	經 濟 的 に 不 安 が あ る	将 来 に 不 安 を 感 濾 し て い る	日 中 す る こ と が な い	そ の 他	特 に な い	無 回 答
18歳以上	身体障害	80 11.6	50 7.3	177 25.7	255 37.0	29 4.2	17 2.5	131 19.0	36 5.2
	知的障害	57 35.4	25 15.5	45 28.0	90 55.9	16 9.9	7 4.3	18 11.2	4 2.5
	精神障害	47 24.0	20 10.2	102 52.0	133 67.9	25 12.8	1 0.5	17 8.7	7 3.6
18歳未満	身体障害	10 25.6	9 23.1	17 43.6	25 64.1	2 5.1	3 7.7	2 5.1	1 2.6
	知的障害	19 26.4	17 23.6	24 33.3	47 65.3	4 5.6	3 4.2	6 8.3	3 4.2

(4) 就労について ～ 収入面の改善と個々の能力や適性にあった支援 ～

65 歳未満の方について、日中の過ごし方（問 21）をみると、身体障害のある方では「一般就労」が多く、知的障害のある方と精神障害のある方では「福祉的就労」が多くなっています。仕事をする上で困っていること（問 22）としては、「収入が少ない」が多く、収入面の改善が課題と考えられます。65 歳未満の方について、働いていない理由（問 24）をみると、「障害の程度や症状のため」が多くなっているほか、精神障害のある方では「働く自信がないため」が多くなっています。働くために必要な支援（問 25）としては、「自分にあった仕事を見つける支援」が多く、就労に関する相談や情報提供、個々の能力や適正に応じた技能習得機会が提供される環境を整備する必要があります。

●日中の過ごし方（問21）

		全体	正規の職員・従業員と して働いている	パート・アルバイトなどで働いている	自宅で働いている	福祉的就労をしている	現在は働いていたが、い	働いたことはない	無回答
身体障害	40歳未満	31 100.0	7 22.6	2 6.5	2 6.5	4 12.9	3 9.7	11 35.5	2 6.5
	40～64歳	154 100.0	33 21.4	17 11.0	10 6.5	7 4.5	67 43.5	14 9.1	6 3.9
	65歳以上	504 100.0	8 1.6	12 2.4	26 5.2	8 1.6	280 55.6	63 12.5	107 21.2
知的障害	40歳未満	96 100.0	10 10.4	22 22.9	2 2.1	29 30.2	8 8.3	18 18.8	7 7.3
	40～64歳	55 100.0	9 16.4	5 9.1	- -	13 23.6	9 16.4	12 21.8	7 12.7
	65歳以上	10 100.0	- -	1 10.0	- -	1 10.0	3 30.0	3 30.0	2 20.0
精神障害	40歳未満	54 100.0	- -	11 20.4	2 3.7	17 31.5	13 24.1	10 18.5	1 1.9
	40～64歳	118 100.0	5 4.2	8 6.8	2 1.7	25 21.2	63 53.4	9 7.6	6 5.1
	65歳以上	24 100.0	- -	- -	- -	1 4.2	20 83.3	- -	3 12.5

（5）保育・教育・療育について

～今後の進路や将来への不安が大きい～

通園・通学生活等で困っていること（問34）をみると、「今後の進路について」と「子どもの将来について」が多くなっています。小学校・中学校に在籍する児童が希望する進路（問32）としては「特別支援学校の高等部」が多く、高校に在籍する児童が希望する進路（問33）としては「企業への就職」が多くなっている一方で、「わからない」も多くなっています。それぞれの障害や希望に合った進路に進めるよう、一般就労に向けた支援や相談支援の充実に努める必要があります。

●通園・通学生活等で困っていること（問34）

		全体	通園・通学の送迎	周囲の子どもとの関係	教職員の指導の仕方	通園本人の通学成長生活での	今後の進路について	子どもの将来について	保育や教育が少ないと聞いています	療育・リハビリテーションの機会が少ないと聞いています	費用などの経済的な負担	その他	特に心配はないことや	無回答
18歳未満	身体障害	39 100.0	13 33.3	11 28.2	10 25.6	12 30.8	25 64.1	23 59.0	9 23.1	9 23.1	12 30.8	2 5.1	2 5.1	2 5.1
	知的障害	72 100.0	18 25.0	24 33.3	15 20.8	23 31.9	50 69.4	47 65.3	21 29.2	13 18.1	15 20.8	2 2.8	6 8.3	1 1.4

(6) 住まいについて

～ 住宅改造費助成、グループホームの整備、公営住宅への優先入居 ～

住まいに関して困っていること（問36）をみると、身体障害のある方では「階段の昇り降り」「玄関などの段差」「風呂が使いにくい」が多く、住まいに関する必要な支援（問37）として、「家具転倒防止や耐震化など災害対策」が多くなっています。知的障害のある方では「グループホームなどの整備」が最も多く、将来の生活の場の確保に対する要望が高まっていると考えられます。また、精神障害のある方では「公営住宅への優先入居の拡大」が最も多くなっており、住まいに関する要望は障害ごとに違いがあることがわかります。

●住まいに関する必要な支援（問37）

		全 体	住 宅 貸 付 改 造 助 成 費 用 の	震 家 具 転 倒 防 止 対 策 耐	公 営 住 宅 入 居 の 拡 充 へ の 優 先	民 間 賃 貸 入 居 支 援 住 宅 の	グ ル ー プ 整 ホ ム	そ の 他	特 に な い	無 回 答
1 8 歳 以 上	身体障害	689 100.0	131 19.0	152 22.1	70 10.2	21 3.0	31 4.5	16 2.3	262 38.0	128 18.6
	知的障害	161 100.0	16 9.9	20 12.4	17 10.6	13 8.1	30 18.6	2 1.2	67 41.6	24 14.9
	精神障害	196 100.0	15 7.7	27 13.8	50 25.5	25 12.8	12 6.1	6 3.1	88 44.9	20 10.2
1 8 歳 未 満	身体障害	39 100.0	10 25.6	6 15.4	6 15.4	4 10.3	5 12.8	5 12.8	14 35.9	5 12.8
	知的障害	72 100.0	14 19.4	12 16.7	10 13.9	6 8.3	19 26.4	3 4.2	29 40.3	3 4.2

(7) 外出について

～ バリアフリー化の推進と金銭的な負担の軽減 ～

外出に関して困っていること（問39）をみると、身体障害のある方では「歩道の段差や傾斜」「建物の段差や階段」が多く、道路や施設などのバリアフリー化を引き続き推進することが求められています。知的障害のある方では「外出するのに支援が必要である」が多く、個々のニーズに応じた移動支援事業の充実が必要です。精神障害のある方では「お金がかかる」が多く、通院等で必要となる交通費が負担となっていることが考えられます。また、18歳未満では「周囲の人の障害に対する理解不足」が困り事としてあげられており、障害のある方やそのご家族が社会で能力を十分に發揮できるよう、啓発活動を行う必要があります。

●外出に関して困っていること（問39）

		全 体	歩 道 の 段 差 や 傾 斜	建 物 の 段 差 や 階 段	バ ス や 利 用 タ ク シ ー の	駅 構 内 の 移 動 え り 乗 乗	切 符 や 機 の 利 用 料 等 の 販	ト イ レ の 利 用	標 識 り に 表 く い が わ か	疲 れ た と き の 休 憩	自 動 車 を 感 じ る 車 に	周 囲 の 人 の 理 解 不 足 に	外 出 が 必 要 す る の に あ る 支 援	そ の 他	特 に な い	無 回 答	
1 8 歳 以 上	身体障害	689 100.0	209 30.3	185 26.9	98 14.2	112 16.3	48 7.0	130 18.9	49 7.1	182 26.4	174 13.8	95 12.8	88 19.4	30 4.4	156 22.6	54 7.8	
	知的障害	161 100.0	12 7.5	12 7.5	17 10.6	20 12.4	9 5.6	16 9.9	15 9.3	19 11.8	29 18.0	33 20.5	29 18.0	45 28.0	5 3.1	41 25.5	21 13.0
	精神障害	196 100.0	11 5.6	15 7.7	20 10.2	17 8.7	2 1.0	14 7.1	7 3.6	48 24.5	45 23.0	32 16.3	65 33.2	19 9.7	12 6.1	49 25.0	13 6.6
1 8 歳 未 満	身体障害	39 100.0	11 28.2	10 25.6	8 20.5	12 30.8	4 10.3	11 28.2	5 12.8	8 20.5	11 28.2	11 41.0	6 15.4	6 30.8	3 7.7	4 10.3	3 7.7
	知的障害	72 100.0	8 11.1	9 12.5	15 20.8	21 29.2	11 15.3	15 20.8	11 15.3	11 34.7	25 45.8	33 9.7	7 45.8	3 2.8	11 15.3	1 1.4	

(8) 権利擁護・社会参加・障害理解について

～ 成年後見制度の周知、障害によって不利益を被ることのないように～

成年後見制度の認知状況（問42）をみると、「名前も内容も知っている」は身体障害のある方と知的障害のある方では30%を超えていましたが、精神障害のある方では20%台と若干低くなっています。利用意向（問43）をみると、身体障害のある方と精神障害のある方では30～40%が利用したいと回答しており、知的障害のある方では50%を超えていました。その一方で、「名前も内容も知らない」という回答も多く、引き続き制度の周知を図るとともに、利用希望者が円滑に利用できる体制の整備が必要であると考えられます。

障害があるためにあきらめたこと（問44）としては、「スポーツ・運動・レクリエーション」「旅行や外出」「人づきあい」が多い傾向にあり、知的障害のある方では「結婚」、精神障害のある方では「就職」が最も多くなっています。障害がある方が偏見や差別等による不利益を被ることがないよう、様々な機会を通じて啓発活動を行う必要があります。

●障害があるためにあきらめたこと（問44）

		全 体	進 学	就 職	恋 愛	結 婚	出 産 ・ 育 児	人 づ き あ い	旅 行 や 外 出	お し や れ	趣 味 活 動 ・ 遊 び	レ ス ポ リ エ ツ ・ シ 連 シ ヨ 動 ン ・	そ の 他	特 に な い	無 回 答
1 8 歳 以 上	身体障害	689 100.0	22 3.2	65 9.4	30 4.4	43 6.2	17 2.5	86 12.5	195 28.3	45 6.5	111 16.1	206 29.9	16 2.3	211 30.6	131 19.0
	知的障害	161 100.0	30 18.6	43 26.7	45 28.0	60 37.3	26 16.1	47 29.2	29 18.0	19 11.8	25 15.5	31 19.3	6 3.7	42 26.1	23 14.3
	精神障害	196 100.0	32 16.3	88 44.9	48 24.5	52 26.5	27 13.8	75 38.3	59 30.1	26 13.3	36 18.4	42 21.4	4 2.0	39 19.9	17 8.7
1 8 歳 未 満	身体障害	39 100.0	7 17.9	6 15.4	6 15.4	6 15.4	5 12.8	13 33.3	12 30.8	6 15.4	12 30.8	20 51.3	4 10.3	8 20.5	3 7.7
	知的障害	72 100.0	15 20.8	7 9.7	7 9.7	6 8.3	6 8.3	21 29.2	18 25.0	8 11.1	17 23.6	23 31.9	5 6.9	21 29.2	8 11.1

(9) 災害対策について

～ 薬や医療的ケアの確保、福祉避難所の確保、自助意識の高揚～

災害時に不安なこと（問47）をみると、身体障害のある方と精神障害のある方では「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」が最も多く、知的障害のある方では「避難所で他の人と一緒に過ごすことが難しい」と「一人では避難できない」が多くなっています。災害時に必要な支援（問49）としても「薬や日常生活用具などの備蓄」「障害に対応した避難場所」が多くなっており、福祉避難所の周知と活用について検討することが必要です。また、災害に対して備えていること（問48）をみると、「特にない」が多く、精神障害のある方では40%台に達している現状を踏まえ、市として障害のある方の避難や救護等の支援体制を整えるだけでなく、障害のある方が自ら災害に対して備えられるよう意識を高めていく必要があると考えます。

●災害時に不安なこと（問47）

		全体	を災害 する発 生法等 がの な情 い報	助け を求 め る方 法	近 く 人 に が助 け て い ぐ れ	一 人 で な は い 避 難 で き	害 に 対 の 不 安	利 避 用 難 で 所 き の 不 し 設 備 が い が る 障 安 を	援 避 が 難 受 所 不 け で 安 ら 必 要 な か 支 え	一 避 難 に 過 で 他 し い す の 人 が と	確 保 や 医 療 的 な 安 全 か ア ド ウ を	そ の 他	特 に な い	無 回 答
1 8 歳 以 上	身体障害	689 100.0	90 13.1	91 13.2	92 13.4	214 31.1	233 33.8	247 35.8	243 35.3	144 20.9	327 47.5	28 4.1	81 11.8	81 11.8
	知的障害	161 100.0	39 24.2	42 26.1	27 16.8	69 42.9	42 26.1	34 21.1	61 37.9	75 46.6	57 35.4	4 2.5	18 11.2	14 8.7
	精神障害	196 100.0	21 10.7	33 16.8	42 21.4	38 19.4	43 21.9	45 23.0	78 39.8	72 36.7	126 64.3	11 5.6	29 14.8	16 8.2
1 8 歳 未 満	身体障害	39 100.0	10 25.6	11 28.2	4 10.3	21 53.8	20 51.3	17 43.6	23 59.0	23 59.0	25 64.1	1 2.6	1 2.6	- -
	知的障害	72 100.0	19 26.4	25 34.7	10 13.9	46 63.9	37 51.4	24 33.3	43 59.7	44 61.1	29 40.3	4 5.6	3 4.2	- -

第2章

18歳以上の方の調査結果

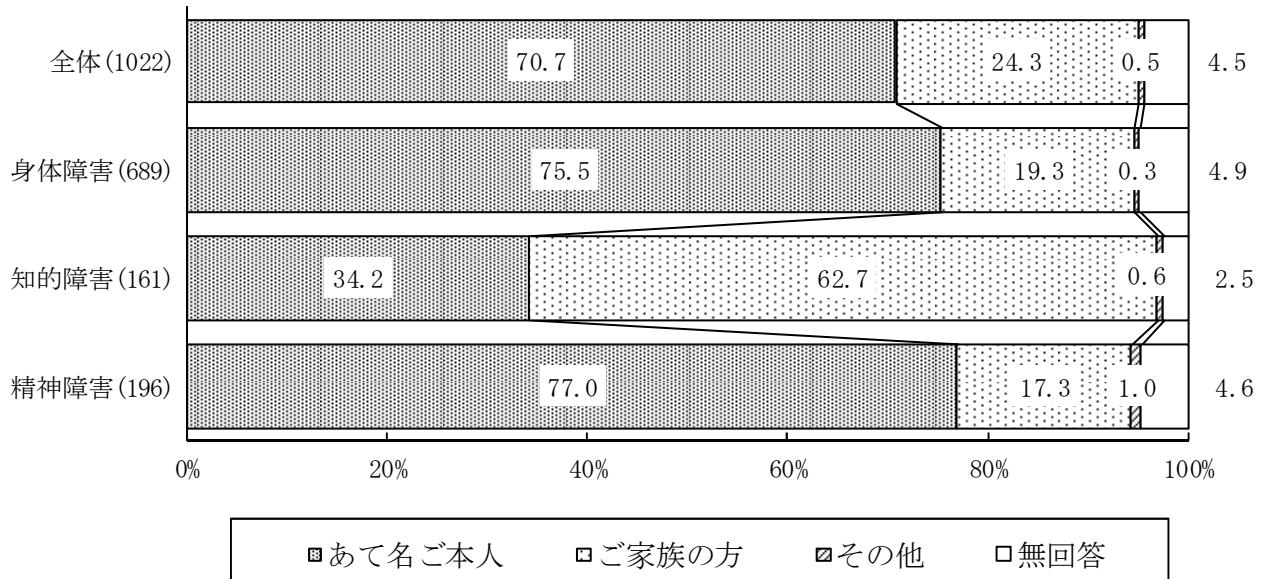
1 調査票の回答者

問1 調査票の回答者

この調査票に回答していただく方はどなたですか。(○はひとつ)

全体では、「あて名ご本人」が 70.7%、「ご家族の方」が 24.3% となっています。

障害別にみると、身体障害と精神障害では「あて名ご本人」(身体障害 75.5%、精神障害 77.0%) が多く、知的障害では「ご家族の方」(62.7%) が多くなっています。



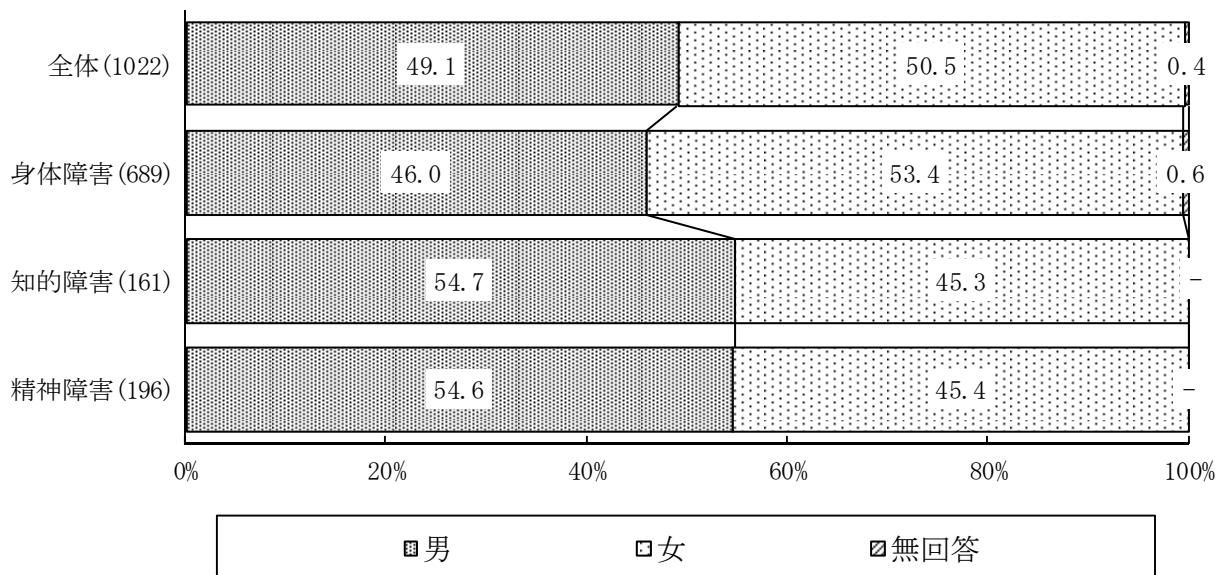
2 ご本人について

問2 性別

あなたの性別をお聞きします。(○はひとつ)

全体では、「男」が49.1%、「女」が50.5%となっています。

障害別の結果に大きな変化はありませんでした。



問3 年齢

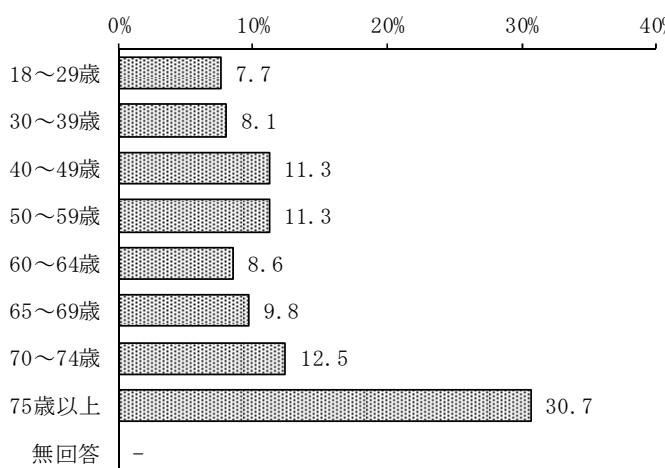
あなたの年齢をお聞きします。平成25年11月1日現在の年齢をお書きください。

全体では、「75歳以上」が最も多く、30.7%となっています。次いで、「70~74歳」が12.5%、「40~49歳」と「50~59歳」が11.3%と続いています。

障害別にみると、身体障害では『65歳以上』（「65~69歳」「70~74歳」「75歳以上」を合わせた割合）が70%に達しており、特に「75歳以上」（43.5%）が多くなっています。知的障害では『18~39歳』（「18~29歳」「30~39歳」を合わせた割合）がほぼ60%と多くなっています。精神障害では『40~59歳』（「40~49歳」「50~59歳」を合わせた割合）が50%に達しています。

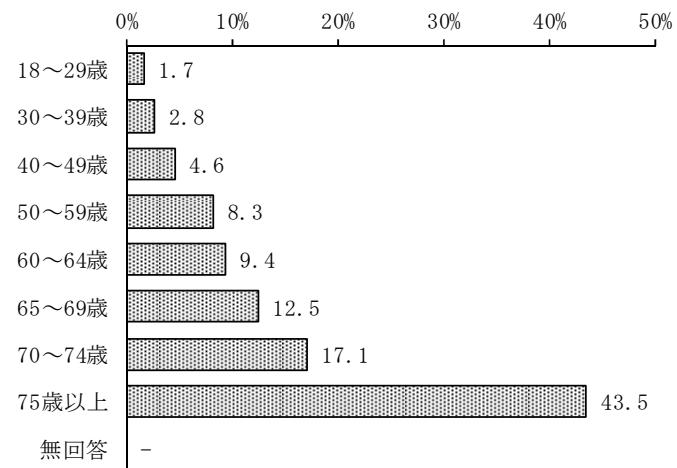
【全体】

総数=1,022



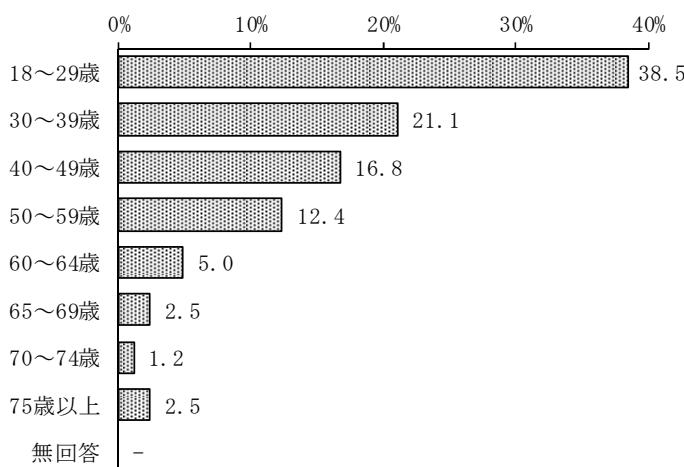
【身体障害】

総数=689



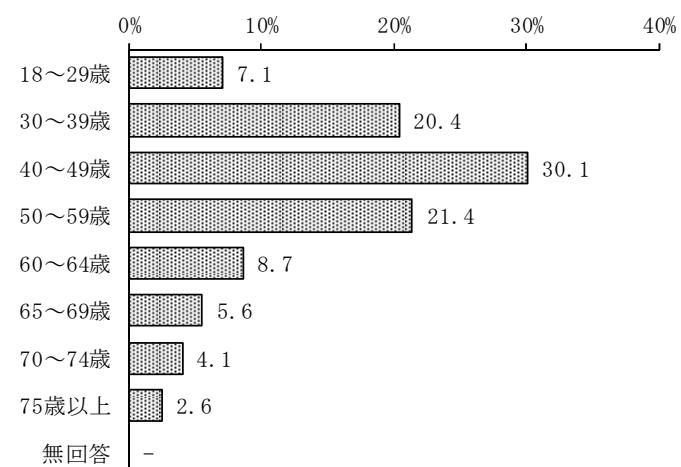
【知的障害】

総数=161



【精神障害】

総数=196



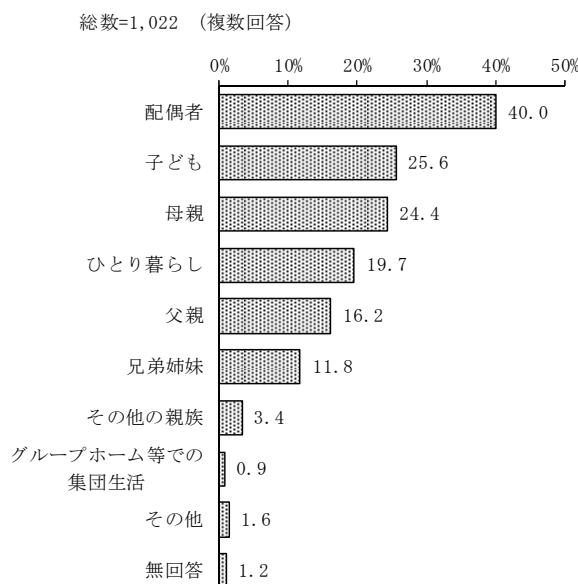
問4 世帯構成

あなたの世帯構成（誰と一緒に暮らしているか）をお聞きします。（○はいくつでも）

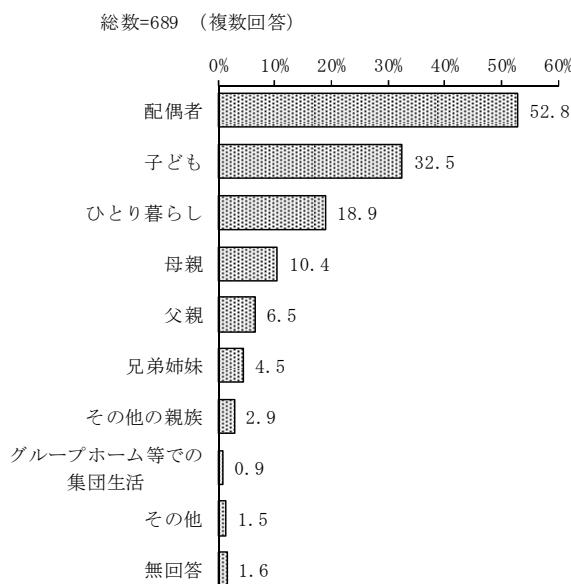
全体では、「配偶者」が最も多く、40.0%となっています。次いで、「子ども」が25.6%、「母親」が24.4%、「ひとり暮らし」が19.7%、「父親」が16.2%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「配偶者」(52.8%)が最も多く、知的障害と精神障害では「母親」(知的障害 76.4%、精神障害 39.3%)が最も多くなっています。また、身体障害では「子ども」(32.5%)が、知的障害では「父親」(54.0%)、「兄弟姉妹」(42.9%)が、精神障害では「ひとり暮らし」(33.2%)が他の障害に比べて多くなっています。

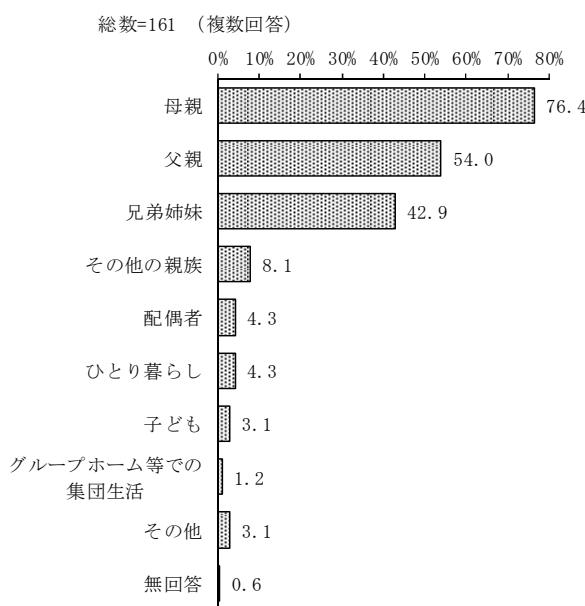
【全体】



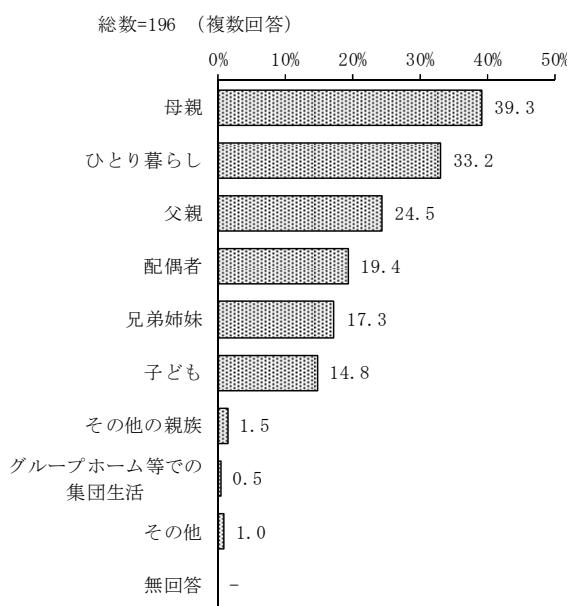
【身体障害】



【知的障害】



【精神障害】



障害ごとに年齢による違いをみると、いずれの障害も 40 歳未満で「母親」（身体障害 87.1%、知的障害 92.7%、精神障害 68.5%）が最も多くなっているほか、「父親」（身体障害 67.7%、知的障害 71.9%、精神障害 53.7%）、「兄弟姉妹」（身体障害 32.3%、知的障害 54.2%、精神障害 35.2%）が 40 歳以上に比べて多くなっています。身体障害では 40 歳以上で「配偶者」（40～64 歳 48.1%、65 歳以上 56.9%）と「子ども」（40～64 歳 37.7%、65 歳以上 32.5%）が 40 歳未満に比べて多くなっています。精神障害では 40～64 歳で「ひとり暮らし」（38.1%）が 40 歳未満に比べて多くなっています。

●世帯構成（年齢別）

		全 体	父 親	母 親	配 偶 者	子 ど も	兄 弟 姉 妹	そ の 他 の 親 族	ひ と り 暮 ら し	グ ル ー の 集 団 ホ ー 活 ム 等	そ の 他	無 回 答
全体		1,022 100.0	166 16.2	249 24.4	409 40.0	262 25.6	121 11.8	35 3.4	201 19.7	9 0.9	16 1.6	12 1.2
身体 障 害	40歳未満	31 100.0	21 67.7	27 87.1	3 9.7	2 6.5	10 32.3	- -	2 6.5	- -	1 3.2	- -
	40～64歳	154 100.0	17 11.0	31 20.1	74 48.1	58 37.7	11 7.1	4 2.6	25 16.2	- -	3 1.9	- -
	65歳以上	504 100.0	7 1.4	14 2.8	287 56.9	164 32.5	10 2.0	16 3.2	103 20.4	6 1.2	6 1.2	11 2.2
知 的 障 害	40歳未満	96 100.0	69 71.9	89 92.7	1 1.0	3 3.1	52 54.2	8 8.3	1 1.0	- -	1 1.0	- -
	40～64歳	55 100.0	17 30.9	32 58.2	3 5.5	1 1.8	15 27.3	4 7.3	5 9.1	2 3.6	4 7.3	- -
	65歳以上	10 100.0	1 10.0	2 20.0	3 30.0	1 10.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0	- -	- -	1 10.0
精 神 障 害	40歳未満	54 100.0	29 53.7	37 68.5	7 13.0	4 7.4	19 35.2	2 3.7	8 14.8	- -	- -	- -
	40～64歳	118 100.0	19 16.1	40 33.9	23 19.5	21 17.8	11 9.3	- -	45 38.1	1 0.8	2 1.7	- -
	65歳以上	24 100.0	- -	- -	8 33.3	4 16.7	4 16.7	1 4.2	12 50.0	- -	- -	- -

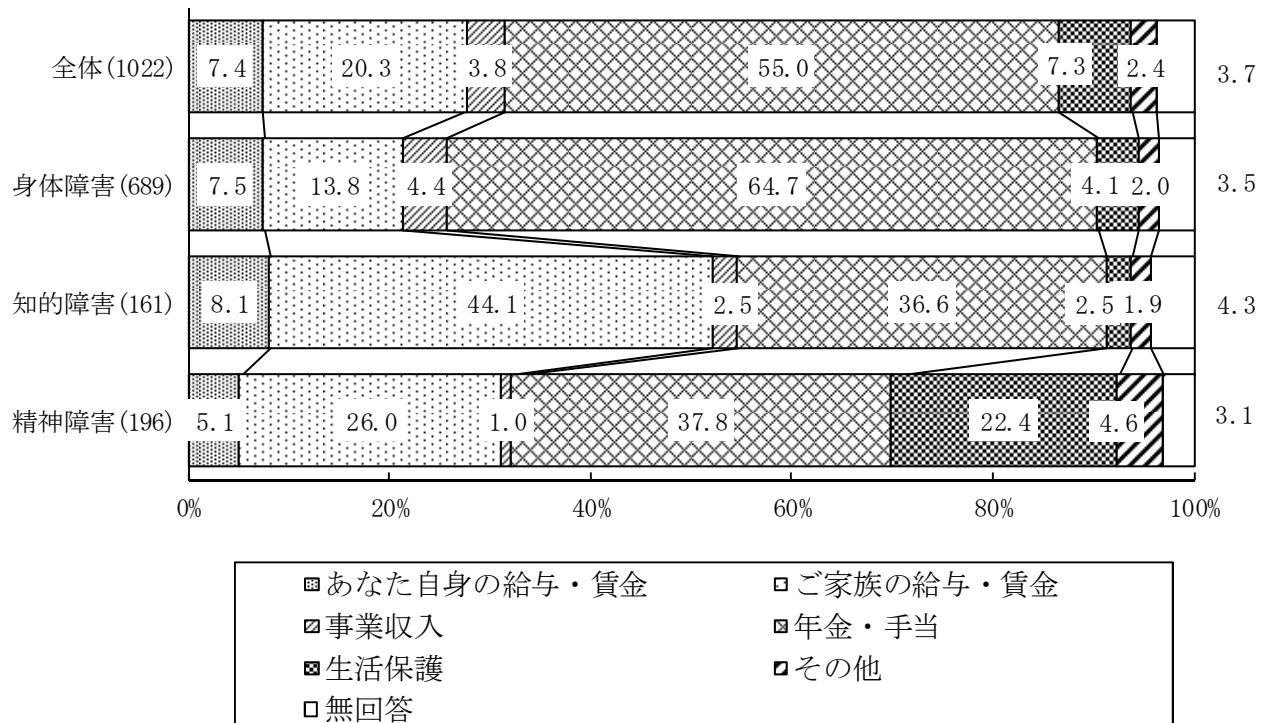
※知的障害の 65 歳以上、精神障害の 65 歳以上は回答者数が少ないため、参考値となります。

問5 世帯収入

あなたの世帯の主な収入（一番多い収入）をお聞きします。（○はひとつ）

全体では、「年金・手当」が最も多く、55.0%となっています。次いで、「ご家族の給与・賃金」が20.3%、「あなた自身の給与・賃金」が7.4%、「生活保護」が7.3%と続いています。

障害別にみると、身体障害と精神障害では「年金・手当」（身体障害 64.7%、精神障害 37.8%）が最も多く、知的障害では「ご家族の給与・賃金」（44.1%）が最も多くなっています。また、精神障害では「生活保護」（22.4%）が他の障害に比べて多くなっています。



障害ごとに年齢による違いをみると、いずれの障害も40歳未満では「ご家族の給与・賃金」（身体障害48.4%、知的障害60.4%、精神障害50.0%）が最も多く、40～64歳では「年金・手当」（身体障害30.5%、知的障害56.4%、精神障害39.0%）が最も多くなっています。

●世帯収入（年齢別）

		全 体	給 与 な た ・ 賃 金 自 身 の	ご 家 族 の 賃 金 給 与 ・	事 業 收 入	年 金 ・ 手 当	生 活 保 護	そ の 他	無 回 答
全体		1,022 100.0	76 7.4	207 20.3	39 3.8	562 55.0	75 7.3	25 2.4	38 3.7
身体 障 害	40歳未満	31 100.0	3 9.7	15 48.4	1 3.2	12 38.7	- -	- -	- -
	40～64歳	154 100.0	35 22.7	36 23.4	6 3.9	47 30.5	13 8.4	7 4.5	10 6.5
	65歳以上	504 100.0	14 2.8	44 8.7	23 4.6	387 76.8	15 3.0	7 1.4	14 2.8
知的 障害	40歳未満	96 100.0	6 6.3	58 60.4	3 3.1	21 21.9	2 2.1	3 3.1	3 3.1
	40～64歳	55 100.0	7 12.7	12 21.8	- -	31 56.4	2 3.6	- -	3 5.5
	65歳以上	10 100.0	- -	1 10.0	1 10.0	7 70.0	- -	- -	1 10.0
精神 障害	40歳未満	54 100.0	2 3.7	27 50.0	1 1.9	13 24.1	8 14.8	3 5.6	- -
	40～64歳	118 100.0	8 6.8	23 19.5	1 0.8	46 39.0	32 27.1	4 3.4	4 3.4
	65歳以上	24 100.0	- -	1 4.2	- -	15 62.5	4 16.7	2 8.3	2 8.3

※知的障害の65歳以上、精神障害の65歳以上は回答者数が少ないため、参考値となります。

3 障害の状況について

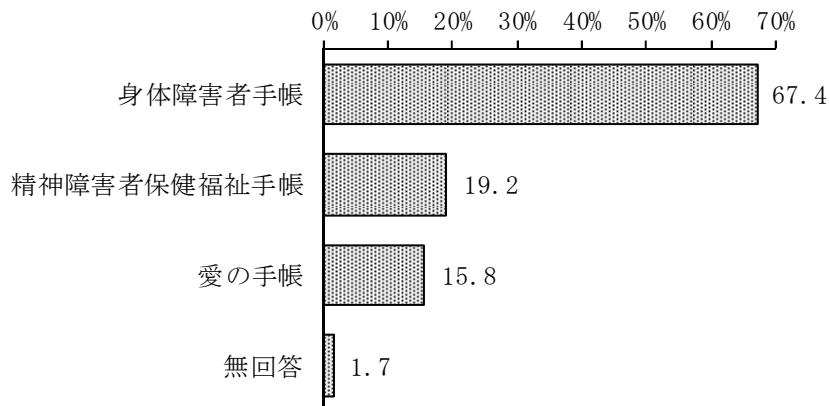
問6 所持している手帳の種類

あなたが持っている障害者手帳の種類をお聞きします。等級・程度にも○をつけてください。
(○はいくつでも)

①手帳の種類

「身体障害者手帳」が最も多く、67.4%となっています。次いで、「精神障害者保健福祉手帳」が19.2%、「愛の手帳」が15.8%と続いています。

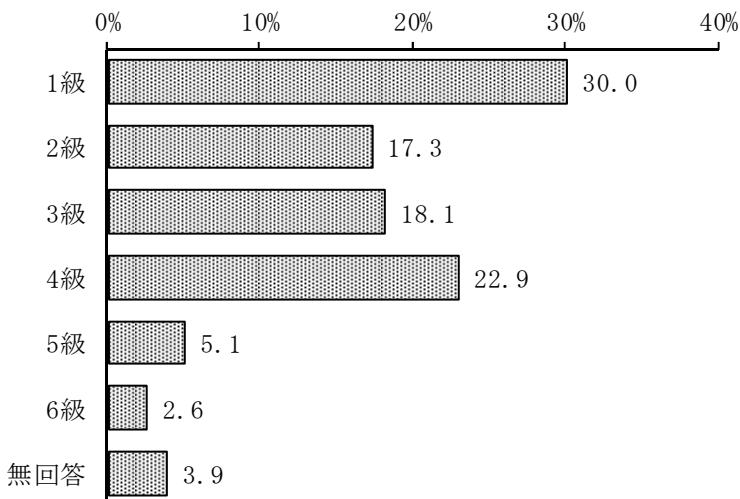
総数=1,022 (複数回答)



②身体障害者手帳の等級

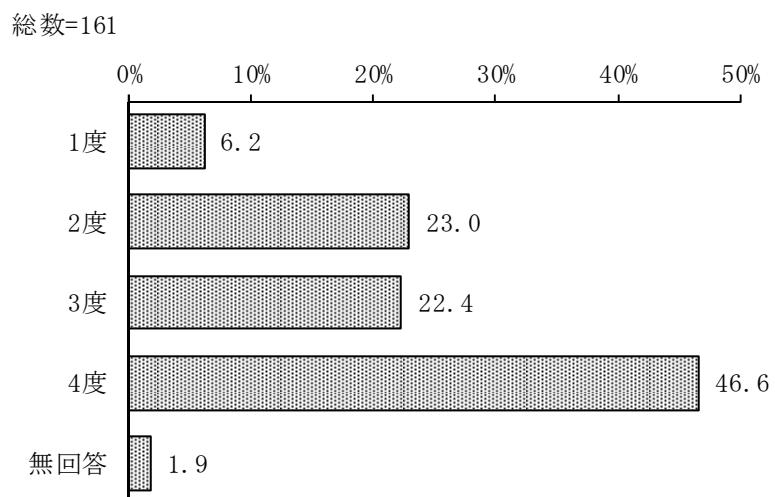
「1級」が最も多く、30.0%となっています。次いで、「4級」が22.9%、「3級」が18.1%、「2級」が17.3%と続いています。

総数=689



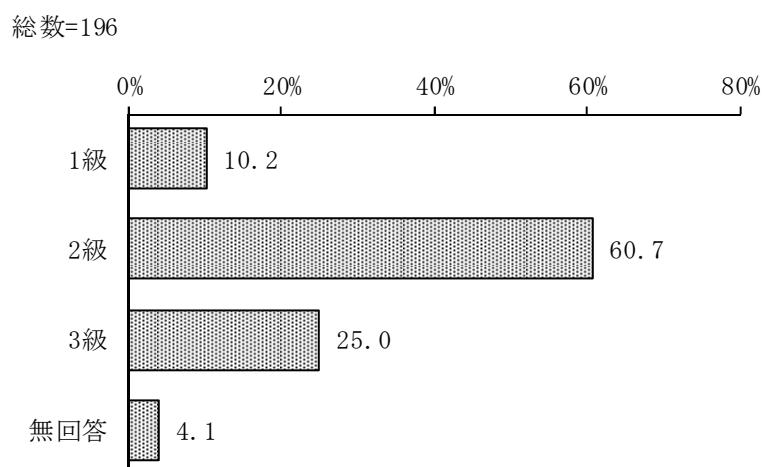
③愛の手帳の程度

「4度」が最も多く、46.6%となっています。次いで、「2度」が23.0%、「3度」が22.4%と続いています。



④精神障害者保健福祉手帳の等級

「2級」が最も多く、60.7%となっています。次いで、「3級」が25.0%、「1級」が10.2%と続いています。

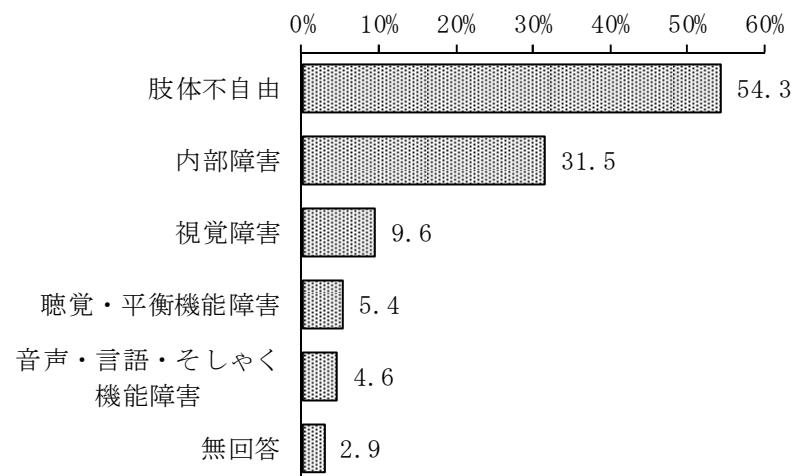


問7 身体障害の部位

問6で「身体障害者手帳」を所持していると回答された方にお聞きします。障害の種類は何ですか。(○はいくつでも)

「肢体不自由（上肢・下肢・体幹等）」が最も多く、54.3%となっています。次いで、「内部障害（心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう、直腸、小腸、免疫機能、肝臓）」が31.5%、「視覚障害」が9.6%と続いています。

総数=689 (複数回答)



問8 障害に最初に気付いた人

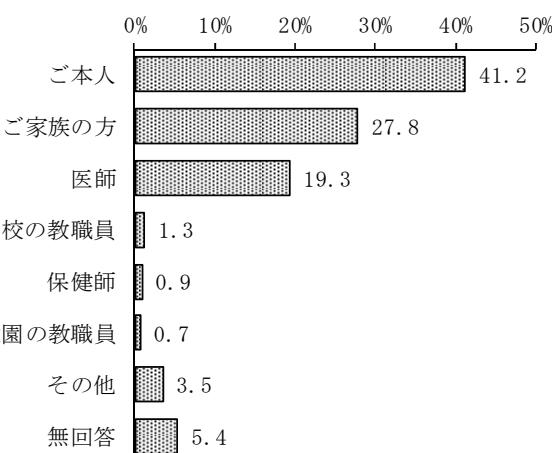
あなたの障害を知るきっかけとして、心身の不調やそれに伴う問題について、最初に気づいた方はどなたですか。(○はひとつ)

全体では、「ご本人」が最も多く、41.2%となっています。次いで、「ご家族の方」が27.8%、「医師」が19.3%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「ご本人」(48.9%)が最も多く、知的障害と精神障害では「ご家族の方」(知的障害 65.2%、精神障害 40.8%)が最も多くなっています。また、身体障害では「医師」(23.5%)が他の障害に比べて多くなっています。

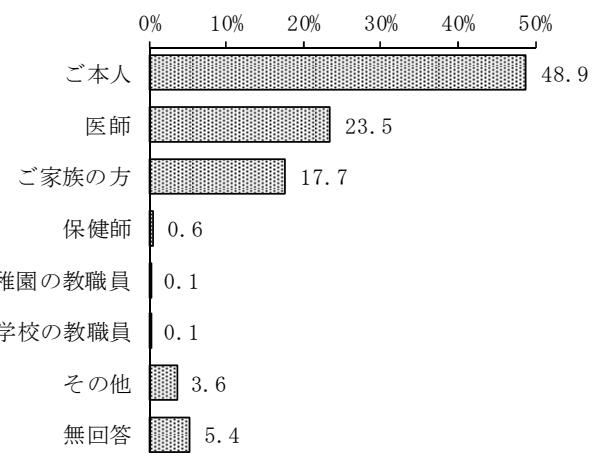
【全体】

総数=1,022



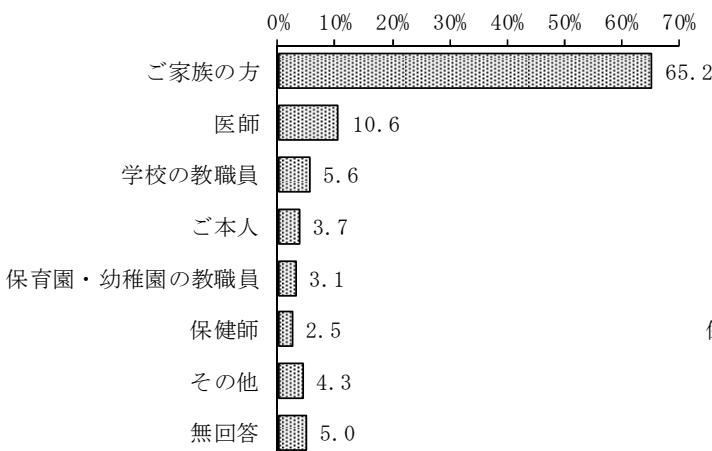
【身体障害】

総数=689



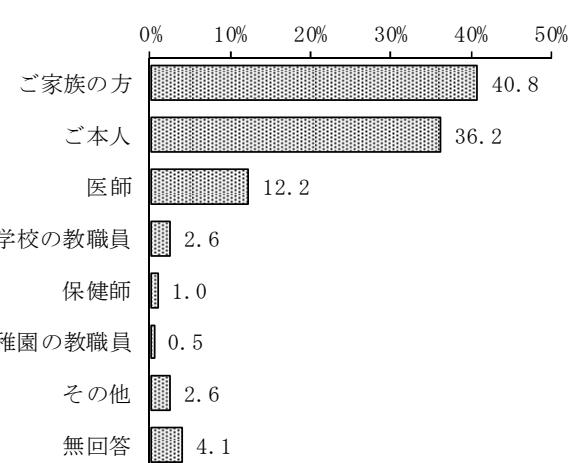
【知的障害】

総数=161



【精神障害】

総数=196



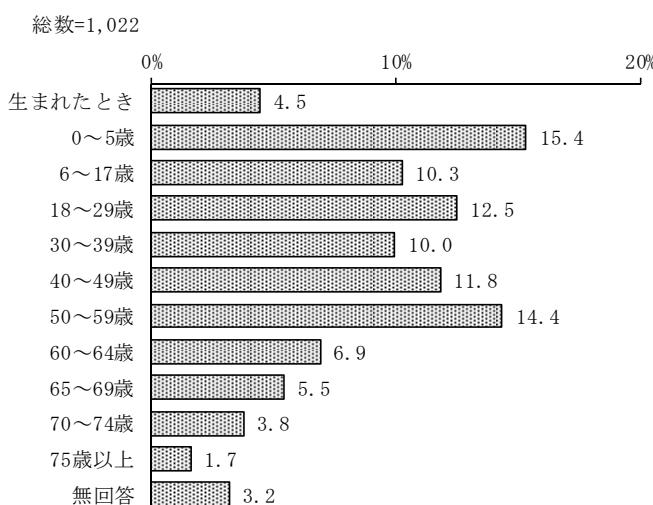
問9 障害の発症に気づいた時期

問8で回答した方が、あなたの障害を知るきっかけとして、心身の不調やそれに伴う問題について、最初に気づいた時期をお聞きします。(○はひとつ)

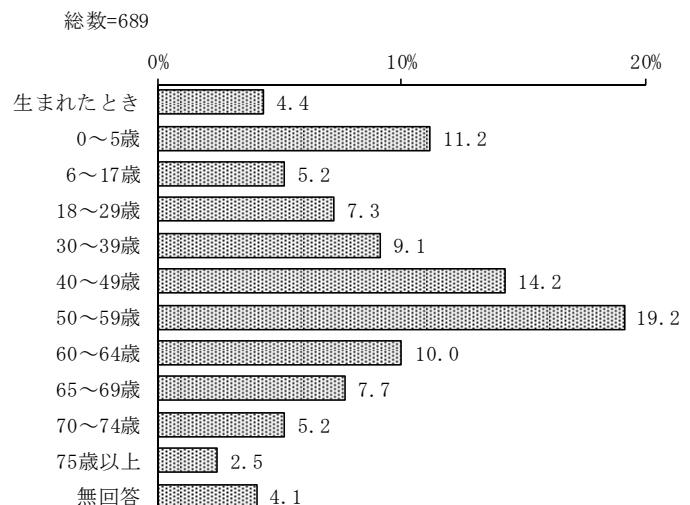
全体では、「0～5歳」が最も多く、15.4%となっています。次いで、「50～59歳」が14.4%、「18～29歳」が12.5%、「40～49歳」が11.8%、「6～17歳」が10.3%、「30～39歳」が10.0%と続いているです。

障害別にみると、身体障害では『40～64歳』（「40～49歳」「50～59歳」「60～64歳」）でそれぞれ10%を超えて多くなっている一方で、「0～5歳」でも11.2%と多くなっています。知的障害では『18歳未満』（「生まれたとき」「0～5歳」「6～17歳」を合わせた割合）が90%に達しています。精神障害では『6～39歳』（「6～17歳」「18～29歳」「30～39歳」を合わせた割合）がほぼ80%となっています。

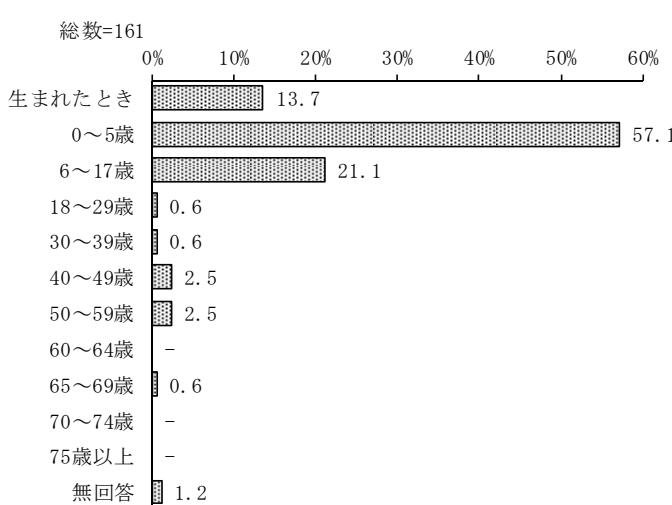
【全体】



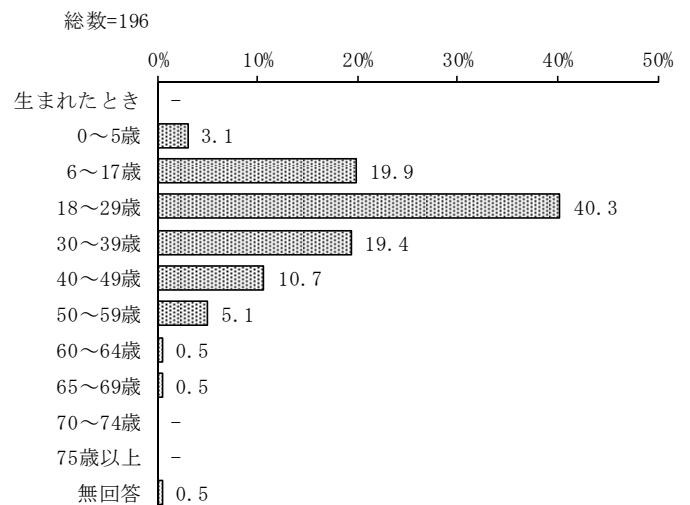
【身体障害】



【知的障害】



【精神障害】



問10 疾患や障害の有無

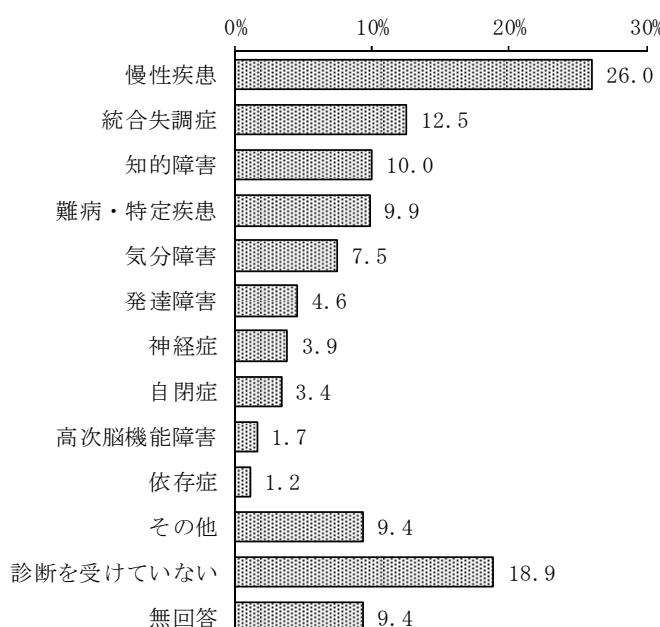
あなたは、次の診断を受けていますか。(○はいくつでも)

全体では、「慢性疾患（糖尿病・心臓疾患・脳血管疾患等）」が最も多く、26.0%となっています。次いで、「統合失調症」が12.5%、「知的障害（自閉症を除く）」が10.0%と続いています。なお、「診断を受けていない」が18.9%と多くなっています。

障害別にみると、身体障害では「慢性疾患（糖尿病・心臓疾患・脳血管疾患等）」(35.1%)が最も多く、知的障害では「知的障害（自閉症を除く）」(59.0%)が最も多く、精神障害では「統合失調症」(63.3%)が最も多くなっています。また、知的障害では「自閉症」(19.9%)、「発達障害」(16.8%)が、精神障害では「気分障害（うつ病・躁うつ病）」(27.0%)が他の障害に比べて多くなっています。

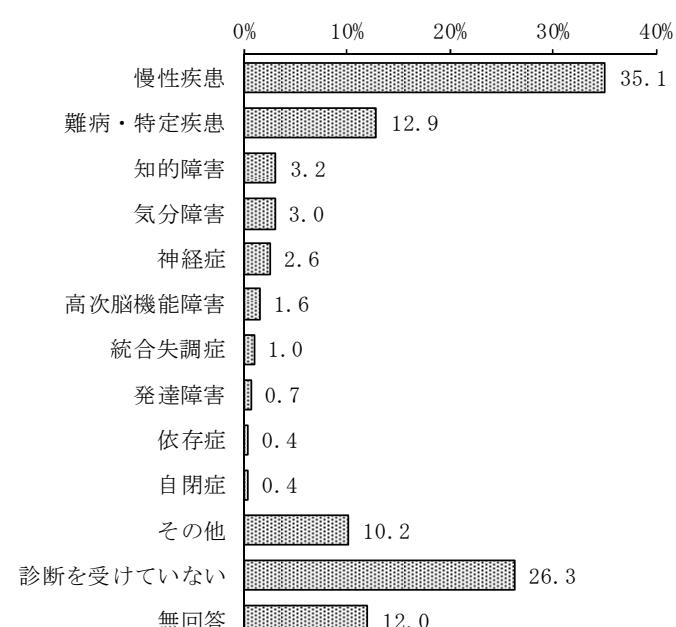
【全体】

総数=1,022 (複数回答)



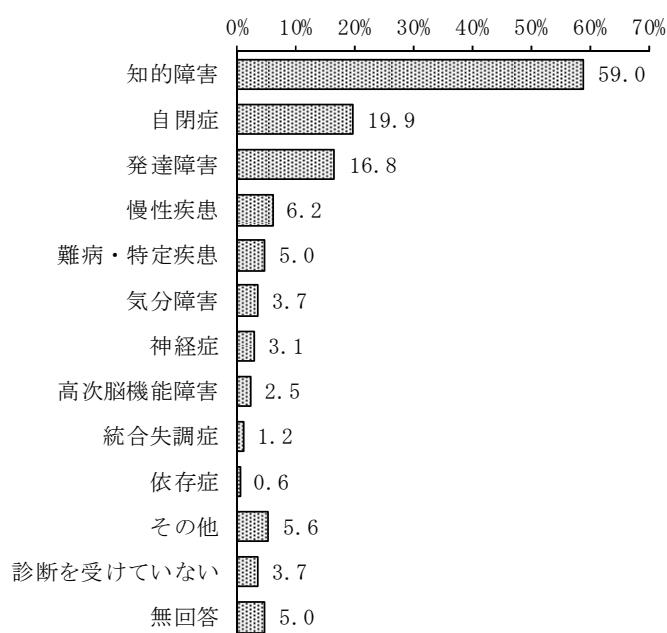
【身体障害】

総数=689 (複数回答)



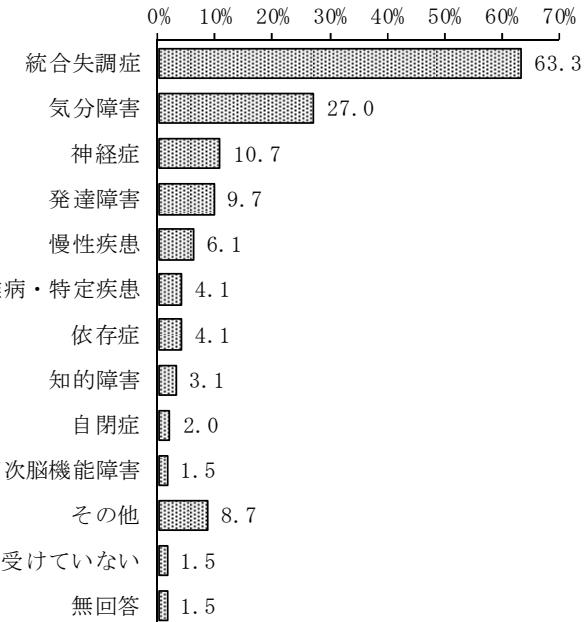
【知的障害】

総数=161 (複数回答)



【精神障害】

総数=196 (複数回答)



障害ごとに年齢による違いをみると、身体障害では 40 歳未満で「知的障害（自閉症を除く）」(35.5%) が最も多くなっています。

●疾患や障害の有無（年齢別）

		全 体	難 病 ・ 特 定 疾 患	慢 性 疾 患	統 合 失 調 症	気 分 障 害	神 經 症	依 存 症	知 的 障 害	自 閉 症	発 達 障 害	高 次 脳 機能 障 害	そ の 他	診 断 を 受 け て い な い	無 回 答
全体		1,022 100.0	101 9.9	266 26.0	128 12.5	77 7.5	40 3.9	12 1.2	102 10.0	35 3.4	47 4.6	17 1.7	96 9.4	193 18.9	96 9.4
身体 障 害	40歳未満	31 100.0	4 12.9	— —	2 6.5	5 16.1	2 6.5	— —	11 35.5	2 6.5	4 12.9	1 3.2	1 3.2	7 22.6	3 9.7
	40~64歳	154 100.0	26 16.9	45 29.2	4 2.6	11 7.1	3 1.9	2 1.3	8 5.2	1 0.6	— —	4 2.6	6 3.9	53 34.4	10 6.5
	65歳以上	504 100.0	59 11.7	197 39.1	1 0.2	5 1.0	13 2.6	1 0.2	3 0.6	— —	1 0.2	6 1.2	63 12.5	121 24.0	70 13.9
知的 障害	40歳未満	96 100.0	5 5.2	2 2.1	1 1.0	4 4.2	1 1.0	— —	59 61.5	24 25.0	20 20.8	2 2.1	6 6.3	4 4.2	1 1.0
	40~64歳	55 100.0	3 5.5	5 9.1	1 1.8	2 3.6	4 7.3	1 1.8	31 56.4	7 12.7	6 10.9	2 3.6	3 5.5	1 1.8	1 10.9
	65歳以上	10 100.0	— —	3 30.0	— —	— —	— —	— —	5 50.0	1 10.0	1 10.0	— —	— —	1 10.0	1 10.0
精神 障害	40歳未満	54 100.0	— —	— 64.8	35 20.4	11 7.4	4 —	— 7.4	4 3.7	2 22.2	12 1.9	1 9.3	5 —	— —	1 1.9
	40~64歳	118 100.0	7 5.9	9 7.6	77 65.3	37 31.4	16 13.6	7 5.9	1 0.8	2 1.7	7 5.9	2 1.7	7 5.9	2 1.7	2 0.8
	65歳以上	24 100.0	1 4.2	3 12.5	12 50.0	5 20.8	1 4.2	1 4.2	1 —	— —	— —	— —	5 20.8	1 4.2	1 4.2

※知的障害の 65 歳以上、精神障害の 65 歳以上は回答者数が少ないと想定されます。

4 医療や介助の状況について

問11 医療機関の受診状況

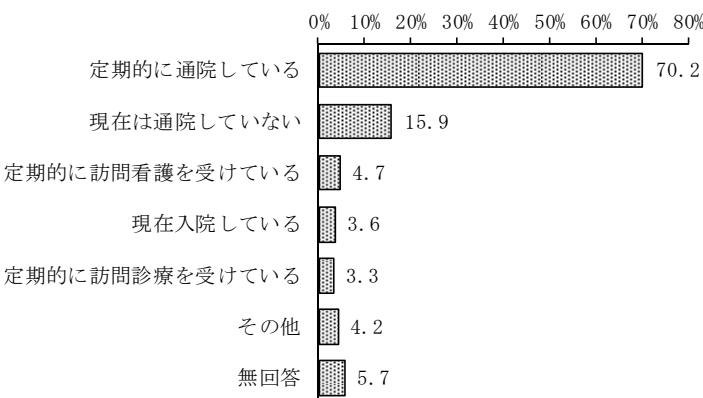
障害等について、受診状況等をお聞きします。(○はいくつでも)

全体では、「定期的に通院している」が最も多く、70.2%となっています。次いで、「現在は通院していない」が15.9%と続いています。

障害別にみると、知的障害では「現在は通院していない」(33.5%)が他の障害に比べて多くなっています。

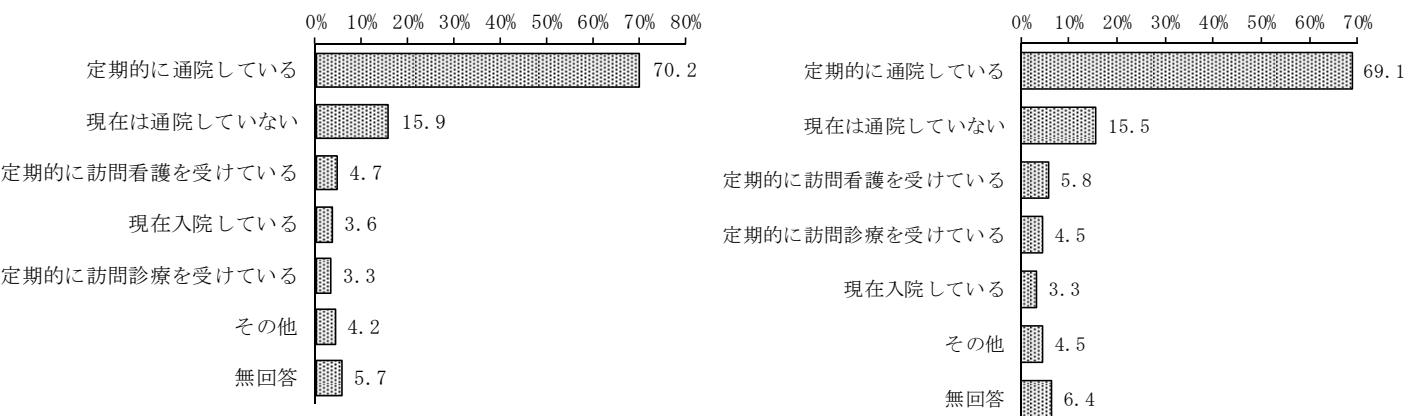
【全体】

総数=1,022 (複数回答)



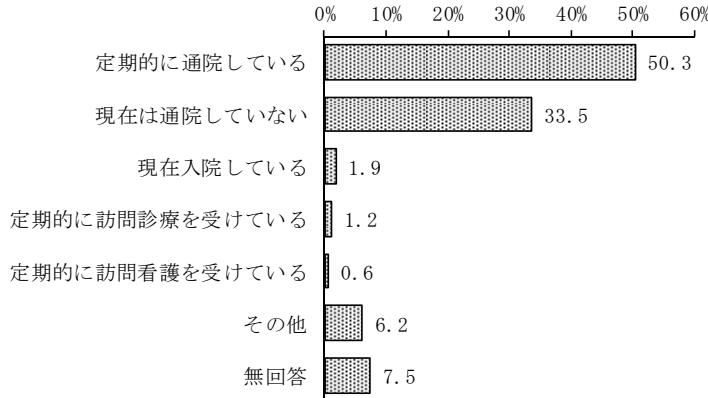
【身体障害】

総数=689 (複数回答)



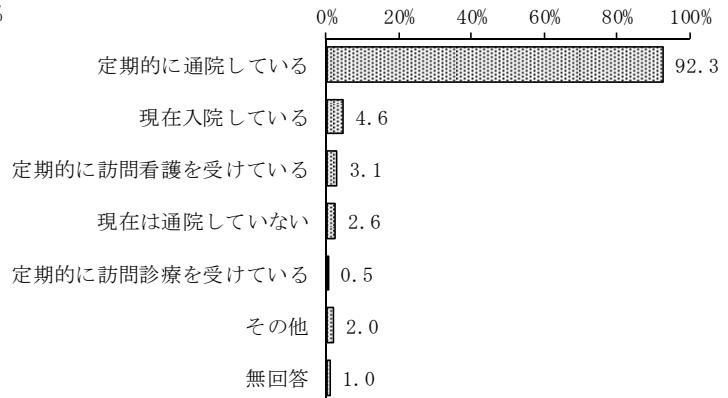
【知的障害】

総数=161 (複数回答)



【精神障害】

総数=196 (複数回答)



身体障害の部位による違いをみると、内部障害では「定期的に通院している」(84.2%) が他の身体障害の部位に比べて多くなっています。

●医療機関の受診状況（身体障害の部位別）

		全 体	定 期 的 いに る通 院 し て	定 期 を 受 け に て 訪 問 い る 診 療	定 期 を 受 け に て 訪 問 い る 看 護	定 期 を 受 け に て 訪 問 い る 看 護	現 在 入 院 し て い る	現 在 は な い 通 院 し て い る	そ の 他	無 回 答
全体		1,022 100.0	717 70.2	34 3.3	48 4.7	37 3.6	162 15.9	43 4.2	58 5.7	
身体 障 害 の 部 位	視覚障害	66 100.0	41 62.1	2 3.0	5 7.6	3 4.5	8 12.1	6 9.1	7 10.6	
	聴覚・平衡機能障害	37 100.0	17 45.9	2 5.4	3 8.1	- -	12 32.4	3 8.1	5 13.5	
	音声・言語・そしゃく機能障害	35 100.0	26 74.3	3 8.6	5 14.3	2 5.7	4 11.4	2 5.7	- -	
	肢体不自由	380 100.0	247 65.0	22 5.8	30 7.9	16 4.2	70 18.4	21 5.5	19 5.0	
	内部障害	221 100.0	186 84.2	13 5.9	8 3.6	7 3.2	13 5.9	2 0.9	10 4.5	

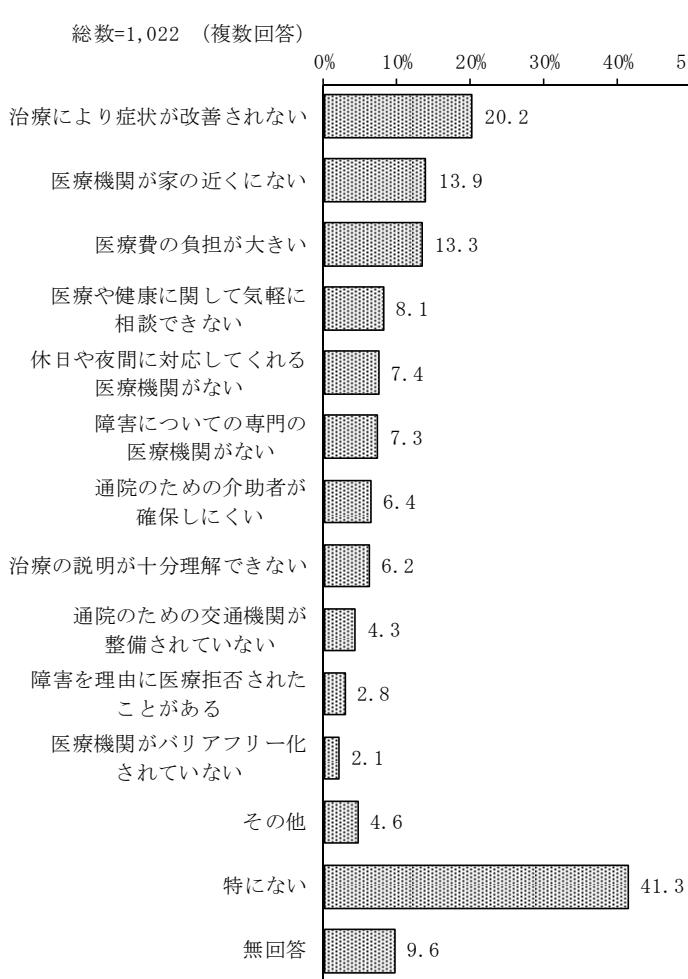
問12 医療に関して困っていること

あなたには、医療に関して困っていることがありますか。(○はいくつでも)

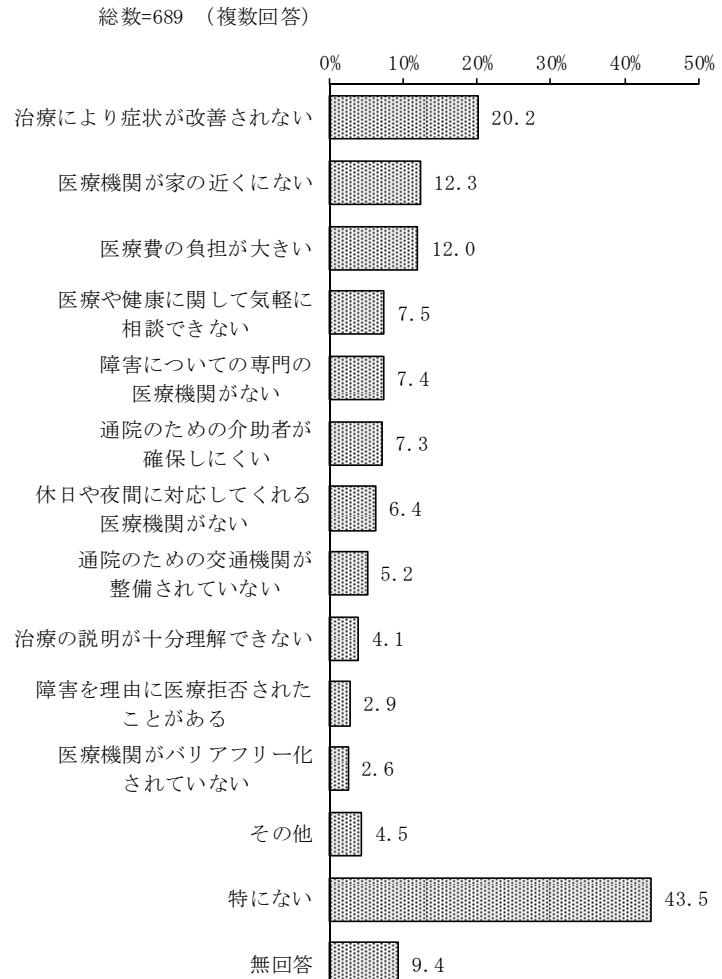
全体では、「治療により症状が改善されない」が多く、20.2%となっています。次いで、「医療機関が家の近くにない」が13.9%、「医療費の負担が大きい」が13.3%と続いています。なお、「特にならない」が41.3%と最も多くなっています。

障害別の結果に大きな変化はありませんでした。

【全体】



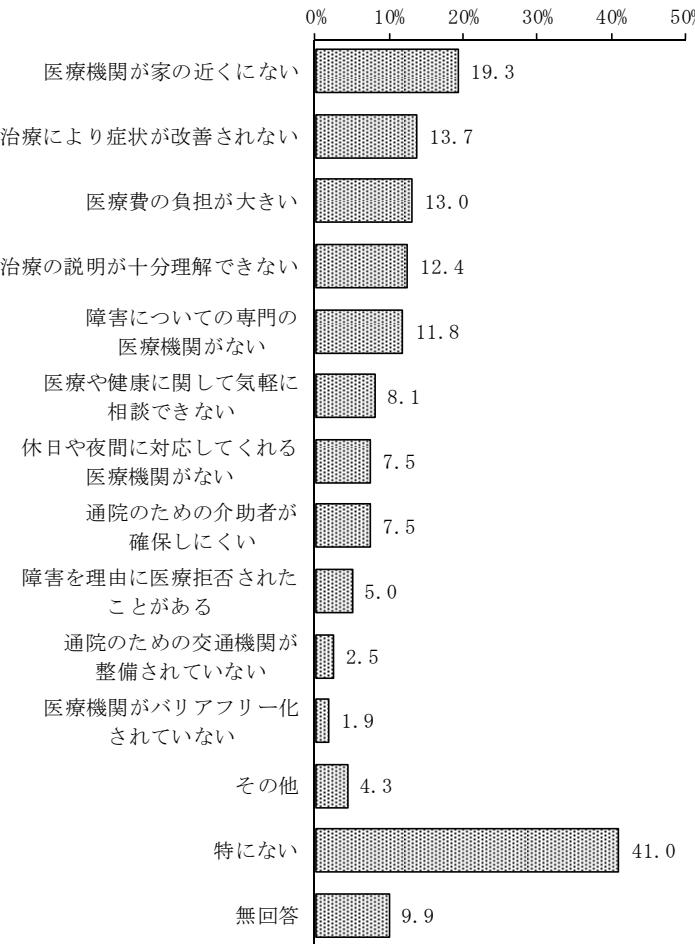
【身体障害】



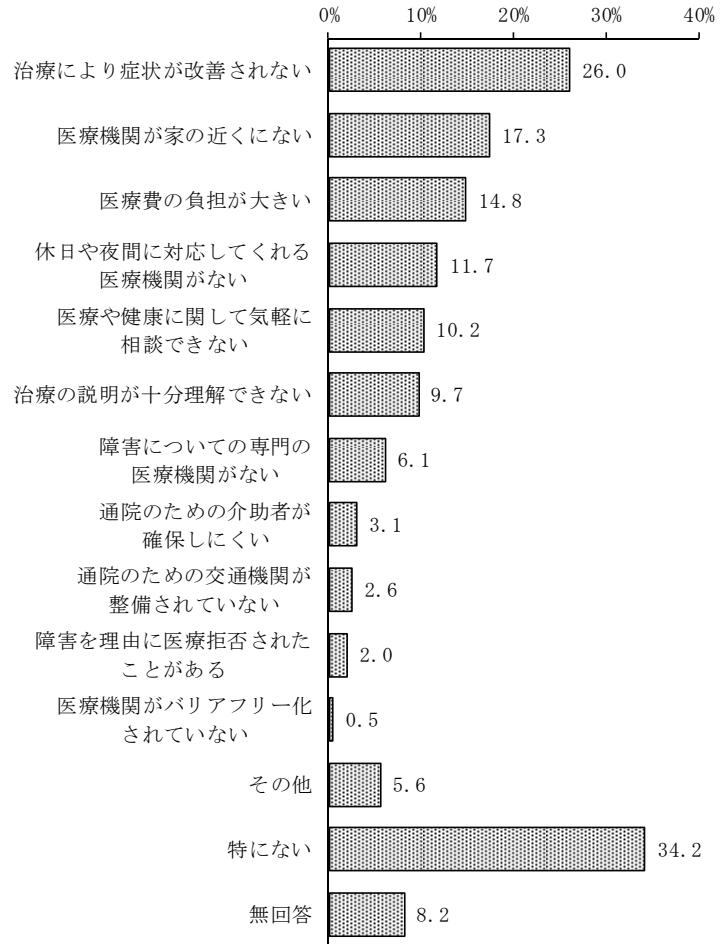
【知的障害】

【精神障害】

総数=161 (複数回答)



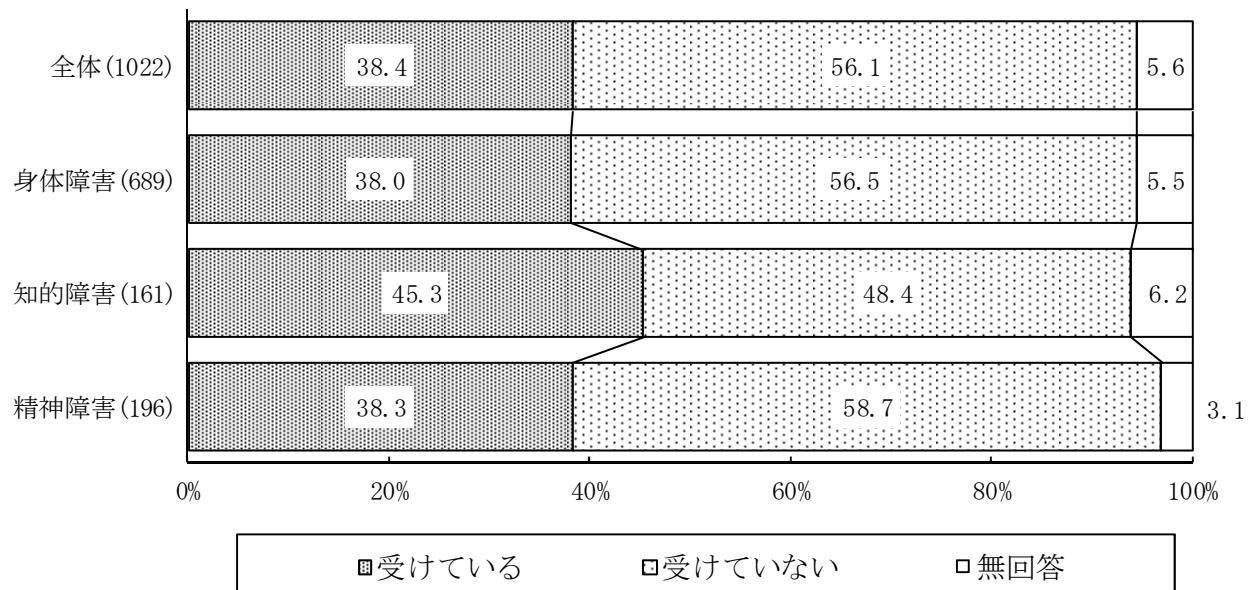
総数=196 (複数回答)



問13 介助や支援が必要かどうか

あなたは現在、毎日の生活の中で、介助や支援を受けていますか。(○はひとつ)

全体では、「受けている」が38.4%、「受けていない」が56.1%となっています。
障害別の結果に大きな変化はありませんでした。



問14 介助や支援が必要なこと

問13で「1 受けている」と回答した方にお聞きします。どのようなことで、介助や支援を受けていますか。(○はいくつでも)

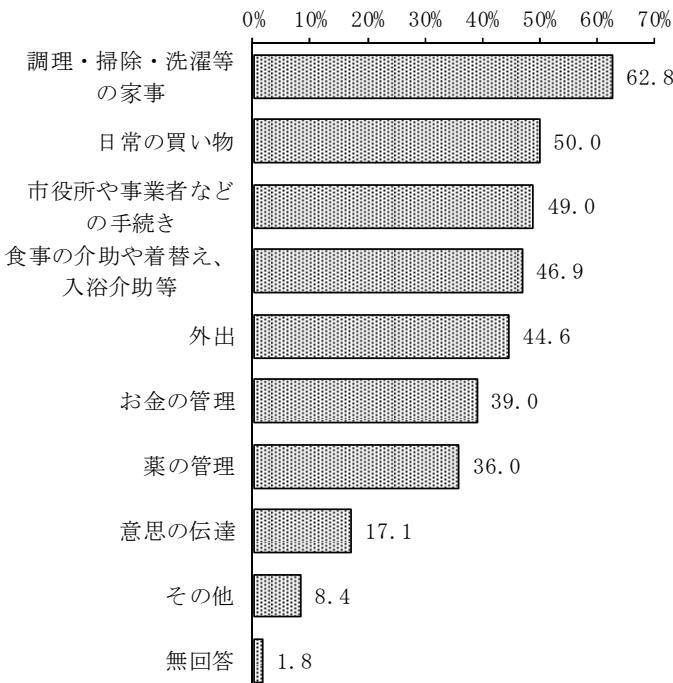
全体では、「調理・掃除・洗濯等の家事」が最も多く、62.8%となっています。次いで、「日常の買い物」が50.0%、「市役所や事業者などの手続き」が49.0%、「食事の介助や着替え、入浴介助等の身の回りのこと」が46.9%、「外出」が44.6%と続いています。

障害別にみると、身体障害と精神障害では「調理・掃除・洗濯等の家事」(身体障害 59.5%、精神障害 73.3%)が最も多く、知的障害では「お金の管理」(71.2%)が最も多くなっています。また、知的障害では「市役所や事業者などの手続き」(68.5%)、「薬の管理」(56.2%)、「意思の伝達」(45.2%)が他の障害に比べて多くなっています。

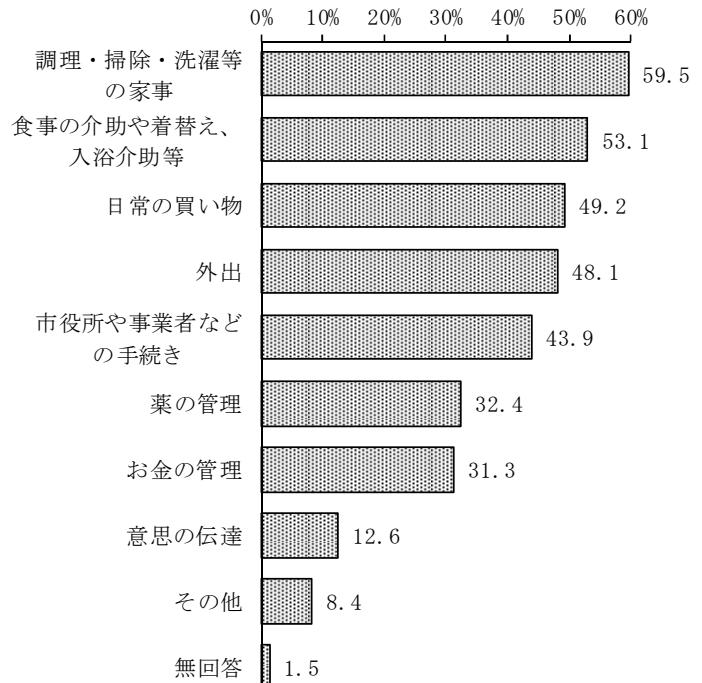
【全体】

【身体障害】

総数=392 (複数回答)

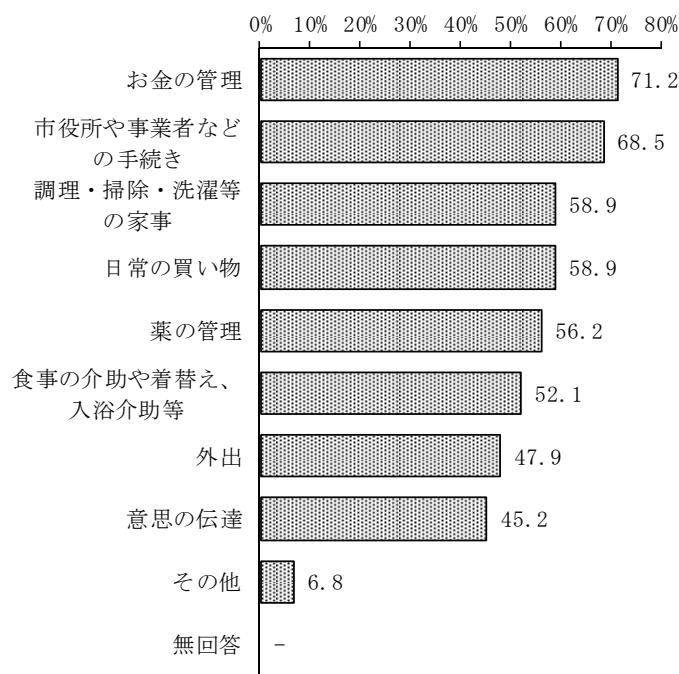


総数=262 (複数回答)



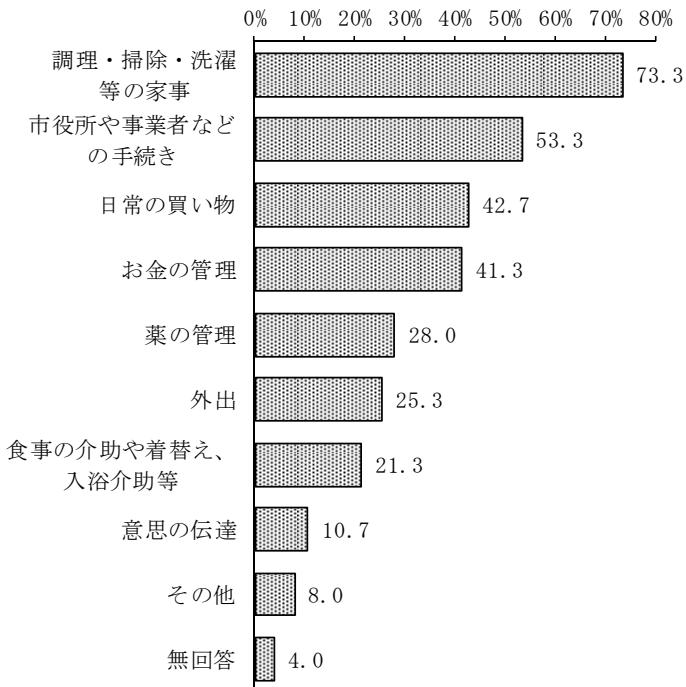
【知的障害】

総数=73 (複数回答)



【精神障害】

総数=75 (複数回答)



身体障害の部位による違いをみると、視覚障害では「外出」(65.9%) が最も多くなっています。また、肢体不自由（上肢・下肢・体幹等）では「食事の介助や着替え、入浴介助等の身の回りのこと」(61.4%) が他の身体障害の部位に比べて多くなっています。

●介助や支援が必要なこと（身体障害の部位別）

		全 体	食 え、 事 の 介 助 や 着 替 等	調 理 等・ の掃 除 事・ 洗 濯	意 思 の 伝 達	日 常 の 買 い 物	外 出	薬 の 管 理	お 金 の 管 理	市 役 所 や 事 業 者 な ど の 手 続 き	そ の 他	無 回 答
全体		392 100.0	184 46.9	246 62.8	67 17.1	196 50.0	175 44.6	141 36.0	153 39.0	192 49.0	33 8.4	7 1.8
身体 障 害 の 部 位	視覚障害	44 100.0	18 40.9	22 50.0	7 15.9	23 52.3	29 65.9	15 34.1	14 31.8	22 50.0	5 11.4	2 4.5
	聴覚・平衡機能障害	14 100.0	3 21.4	8 57.1	7 50.0	7 50.0	6 42.9	4 28.6	2 14.3	7 50.0	1 7.1	- -
	音声・言語・そしゃく機能障害	23 100.0	13 56.5	15 65.2	7 30.4	11 47.8	10 43.5	9 39.1	9 39.1	13 56.5	4 17.4	1 4.3
	肢体不自由	171 100.0	105 61.4	110 64.3	23 13.5	88 51.5	79 46.2	54 31.6	53 31.0	78 45.6	14 8.2	1 0.6
	内部障害	62 100.0	29 46.8	41 66.1	4 6.5	35 56.5	30 48.4	21 33.9	21 33.9	29 46.8	3 4.8	1 1.6
	無回答	126 100.0	45 35.7	86 68.3	35 27.8	64 50.8	46 36.5	54 42.9	70 55.6	75 59.5	11 8.7	3 2.4

※聴覚・平衡機能障害、音声・言語・そしゃく機能障害は回答者数が少ないため、参考値となります。

問15 介助者

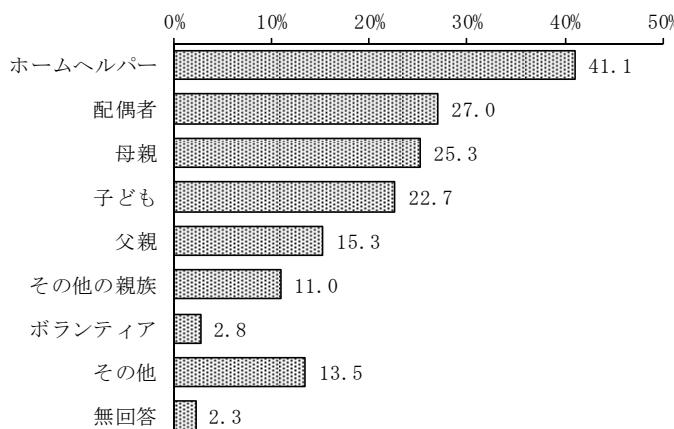
問13で「1 受けている」と回答した方にお聞きします。あなたを介助・支援している人はどなたですか。(○はいくつでも)

全体では、「ホームヘルパー」が最も多く、41.1%となっています。次いで、「配偶者」が27.0%、「母親」が25.3%、「子ども」が22.7%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「ホームヘルパー」(44.3%)が最も多く、知的障害と精神障害では「母親」(知的障害 72.6%、精神障害 44.0%)が最も多くなっています。また、身体障害では「配偶者」(37.0%)、「子ども」(31.7%)が、知的障害では「父親」(46.6%)が他の障害に比べて多くなっています。

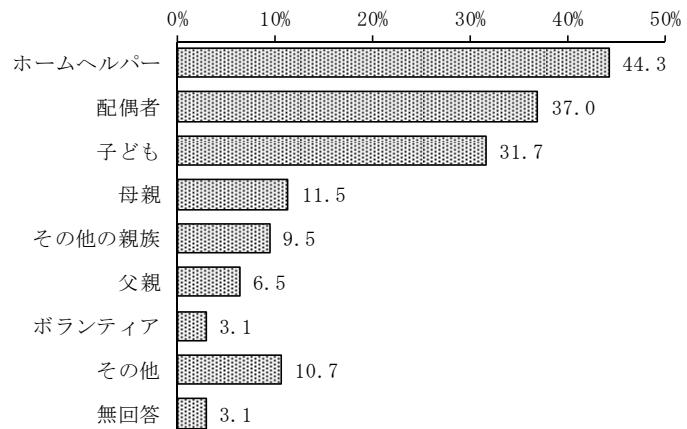
【全体】

総数=392 (複数回答)



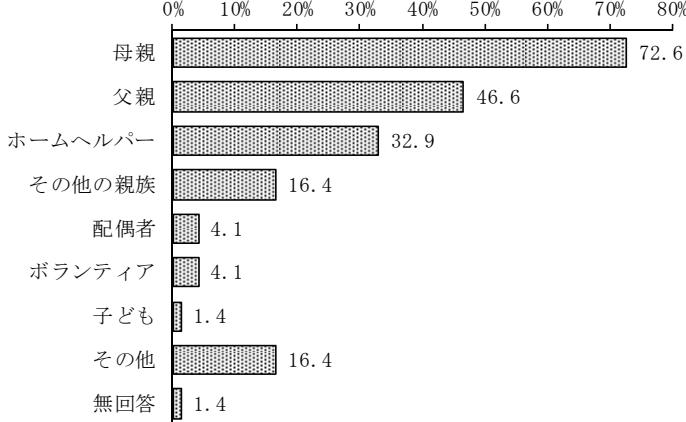
【身体障害】

総数=262 (複数回答)



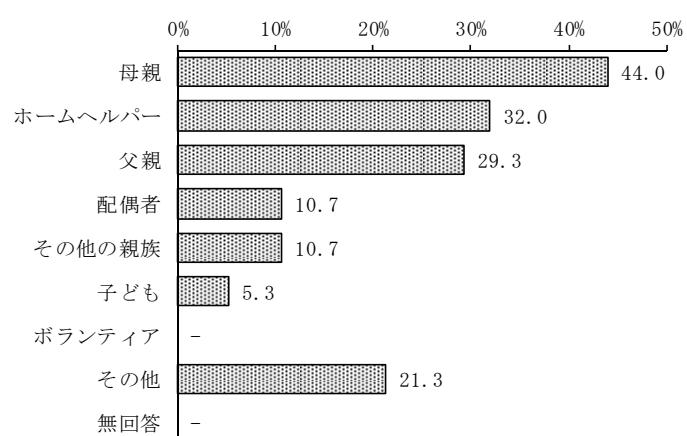
【知的障害】

総数=73 (複数回答)



【精神障害】

総数=75 (複数回答)



障害ごとに性別による違いをみると、身体障害では男で「配偶者」(41.7%)が最も多く、女で「ホームヘルパー」(48.2%)が最も多くなっています。

●介助者（性別）

	全 体	父 親	母 親	配偶 者	子 ど も	そ の 他 の 親 族	ホ ー ム ヘル パ ー	ボ ラン ティ ア	そ の 他	無 回 答
全体	392 100.0	60 15.3	99 25.3	106 27.0	89 22.7	43 11.0	161 41.1	11 2.8	53 13.5	9 2.3
身体 障 害	男	96 100.0	8 8.3	14 14.6	40 41.7	26 27.1	9 9.4	37 38.5	5 5.2	9 9.4
	女	164 100.0	9 5.5	16 9.8	55 33.5	56 34.1	16 9.8	79 48.2	3 1.8	19 11.6
知 的 障 害	男	39 100.0	21 53.8	30 76.9	- -	- -	6 15.4	13 33.3	2 5.1	6 15.4
	女	34 100.0	13 38.2	23 67.6	3 8.8	1 2.9	6 17.6	11 32.4	1 2.9	6 17.6
精 神 障 害	男	44 100.0	11 25.0	18 40.9	4 9.1	2 4.5	4 9.1	15 34.1	- -	11 25.0
	女	31 100.0	11 35.5	15 48.4	4 12.9	2 6.5	4 12.9	9 29.0	- -	5 16.1

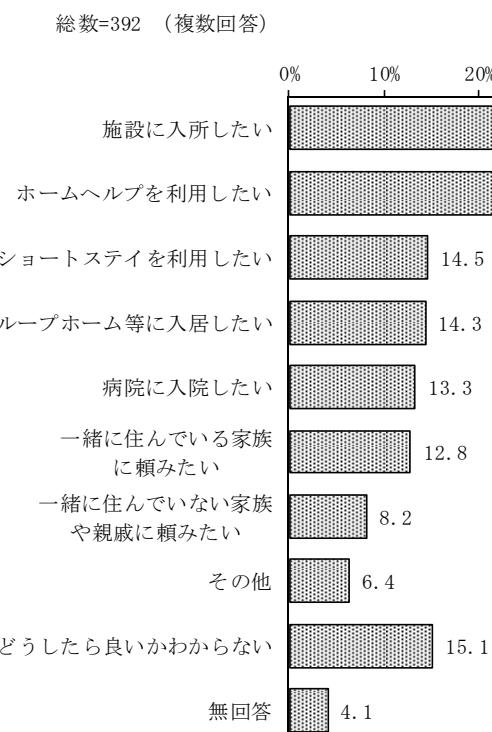
問16 介助者が介助できなくなった場合の対応

問13で「1 受けている」と回答した方にお聞きします。介助者があなたを介助・支援できなくなった場合はどうしたいですか。(○はいくつでも)

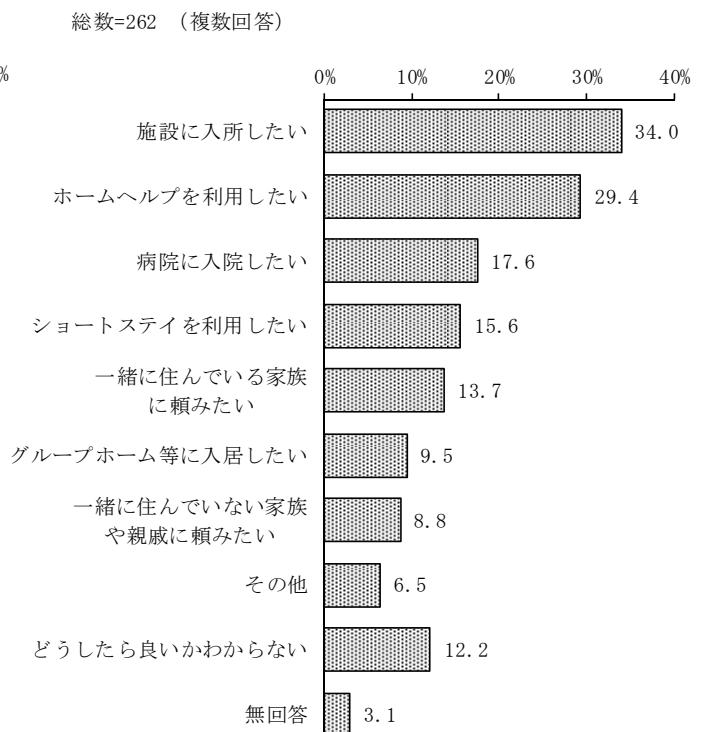
全体では、「施設に入所したい」が最も多く、32.7%となっています。次いで、「ホームヘルプを利用したい」が26.0%、「ショートステイを利用したい」が14.5%、「グループホーム等に入居したい」が14.3%と続いています。なお、「どうしたら良いかわからない」が15.1%と多くなっています。

障害別にみると、身体障害と知的障害では「施設に入所したい」(身体障害 34.0%、知的障害 56.2%) が最も多く、精神障害では「どうしたら良いかわからない」(26.7%) が最も多くなっています。また、知的障害では「グループホーム等に入居したい」(32.9%) が他の障害に比べて多くなっています。

【全体】

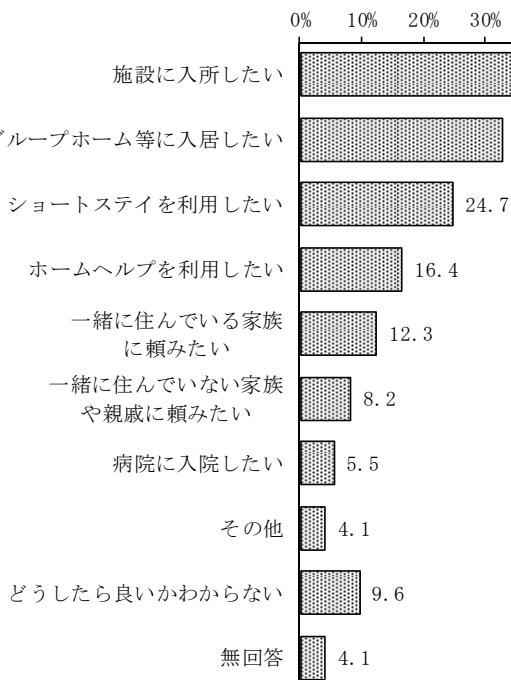


【身体障害】



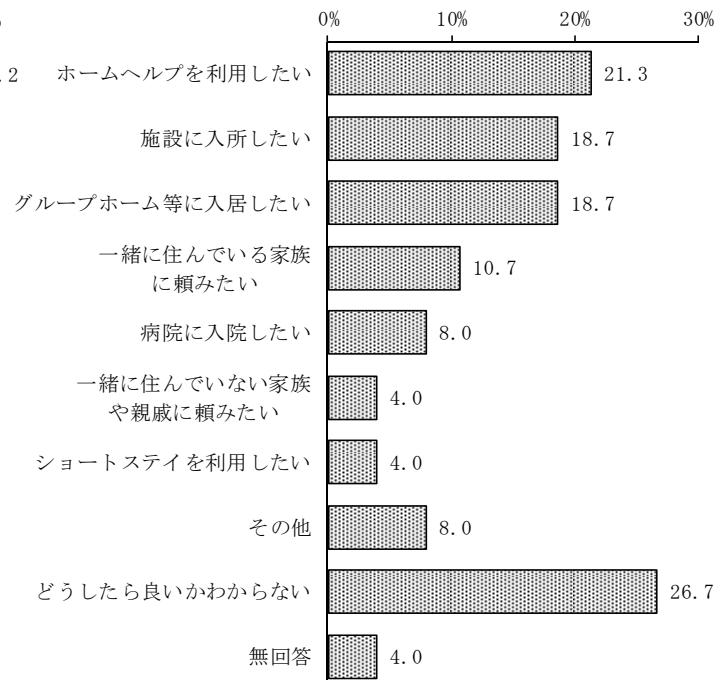
【知的障害】

総数=73 (複数回答)



【精神障害】

総数=75 (複数回答)



5 相談や福祉情報について

問17 日常生活で困っていること

あなたには、日常生活で困っていることや不安に思うことがありますか。（○はいくつでも）

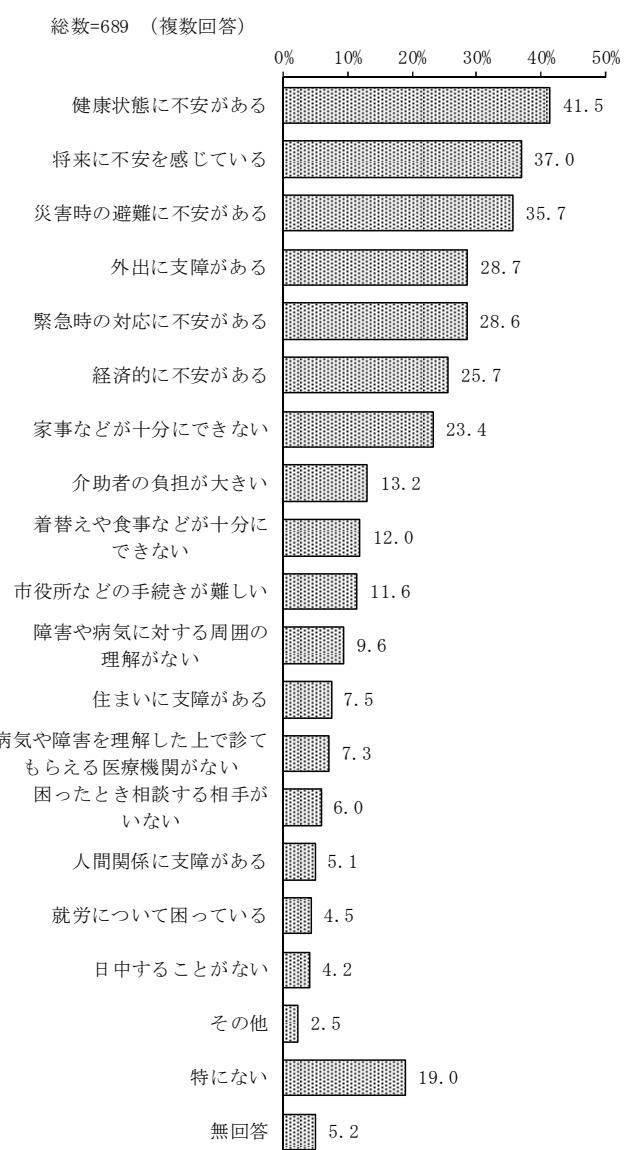
全体では、「将来に不安を感じている」が最も多く、45.2%となっています。次いで、「健康状態に不安がある」が41.2%、「災害時の避難に不安がある」が34.6%、「経済的に不安がある」が30.8%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「健康状態に不安がある」(41.5%)が最も多く、知的障害と精神障害では「将来に不安を感じている」(知的障害 55.9%、精神障害 67.9%)が最も多くなっています。また、知的障害では「市役所などの手続きが難しい」(35.4%)が、精神障害では「経済的に不安がある」(52.0%)、「人間関係に支障がある」(37.8%)、「就労について困っている」(25.5%)が他の障害に比べて多くなっています。

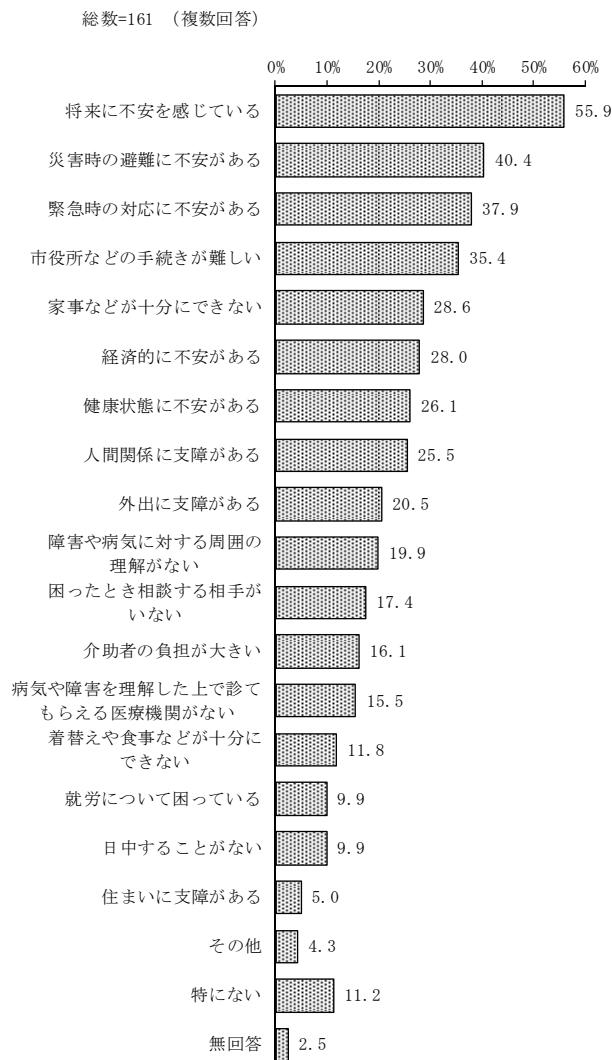
【全体】



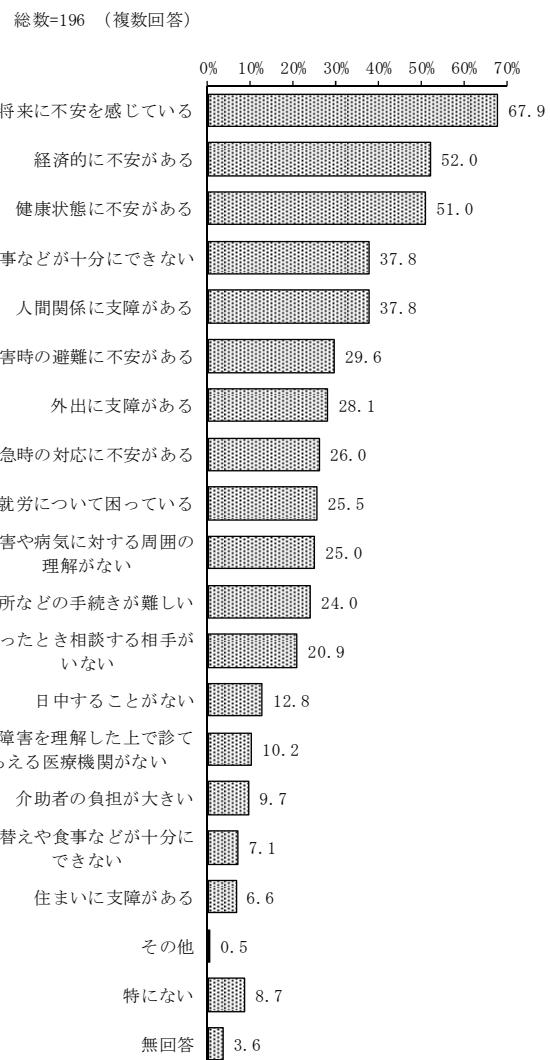
【身体障害】



【知的障害】



【精神障害】



障害別に年齢による違いをみると、身体障害では 65 歳未満で「将来に不安を感じている」(40 歳未満 54.8%、40~64 歳 50.0%) が最も多くなっています。また、40 歳未満では「市役所などの手続きが難しい」(35.5%)、「介助者の負担が大きい」(25.8%)、「人間関係に支障がある」(22.6%) が他の年齢に比べて多くなっています。知的障害では 40 歳未満で「災害時の避難に不安がある」(52.1%)、「緊急時の対応に不安がある」(45.8%)、「障害や病気に対する周囲の理解がない」(25.0%) が 40~64 歳に比べて多くなっています。

●日常生活で困っていること（年齢別）

		全 体	健 康 状 態 に 不 安 が あ る	着 替 え や 食 事 な ど が 十 分 に で き な い	家 事 な ど が 十 分 に で き な い	介 助 者 の 負 担 が 大 き い	外 出 に 支 障 が あ る	住 ま い に 支 障 が あ る	就 労 に つ い て 困 つ て い る	緊 急 時 の 対 応 に 不 安 が あ る	災 害 時 の 避 難 に 不 安 が あ る	人 間 関 係 に 支 障 が あ る
全体		1,022 100.0	421 41.2	109 10.7	269 26.3	125 12.2	283 27.7	68 6.7	93 9.1	295 28.9	354 34.6	143 14.0
身体 障 害	40歳未満	31 100.0	9 29.0	5 16.1	10 32.3	8 25.8	8 25.8	5 16.1	5 16.1	10 32.3	12 38.7	7 22.6
	40~64歳	154 100.0	59 38.3	16 10.4	34 22.1	15 9.7	29 18.8	19 12.3	20 13.0	48 31.2	60 39.0	10 6.5
	65歳以上	504 100.0	218 43.3	62 12.3	117 23.2	68 13.5	161 31.9	28 5.6	6 1.2	139 27.6	174 34.5	18 3.6
知 的 障 害	40歳未満	96 100.0	19 19.8	9 9.4	26 27.1	15 15.6	20 20.8	5 5.2	13 13.5	44 45.8	50 52.1	28 29.2
	40~64歳	55 100.0	19 34.5	9 16.4	19 34.5	8 14.5	12 21.8	3 5.5	3 5.5	14 25.5	12 21.8	13 23.6
	65歳以上	10 100.0	4 40.0	1 10.0	1 10.0	3 30.0	1 10.0	1 -	1 -	3 30.0	3 30.0	- -
精神 障 害	40歳未満	54 100.0	23 42.6	5 9.3	21 38.9	6 11.1	14 25.9	3 5.6	17 31.5	17 31.5	16 31.5	24 44.4
	40~64歳	118 100.0	68 57.6	7 5.9	46 39.0	11 9.3	34 28.8	9 7.6	33 28.0	29 24.6	35 29.7	45 38.1
	65歳以上	24 100.0	9 37.5	2 8.3	7 29.2	2 8.3	7 29.2	1 4.2	1 -	5 20.8	7 29.2	5 20.8

		障 害 や 病 気 解 が 不 可 能 な い 周 囲 の 理	困 つ た 相 手 と き が い な い 相 談 す る	市 役 所 な ど の 手 続 き が	た 近 上 く で 診 て 病 気 な ら い え 障 害 を 理 解 し	經 済 的 に 不 安 が あ る	將 來 に 不 安 を 感 じ て い る	日 中 す る こ と が な い	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体		140 13.7	104 10.2	170 16.6	88 8.6	315 30.8	462 45.2	69 6.8	23 2.3	165 16.1	49 4.8
身体 障 害	40歳未満	8 25.8	3 9.7	11 35.5	6 19.4	10 32.3	17 54.8	1 3.2	4 12.9	4 12.9	- -
	40~64歳	26 16.9	18 11.7	18 11.7	15 9.7	51 33.1	77 50.0	3 1.9	6 3.9	27 17.5	3 1.9
	65歳以上	32 6.3	20 4.0	51 10.1	29 5.8	116 23.0	161 31.9	25 5.0	7 1.4	100 19.8	33 6.5
知 的 障 害	40歳未満	24 25.0	19 19.8	38 39.6	20 20.8	30 31.3	63 65.6	9 9.4	4 4.2	9 9.4	- -
	40~64歳	7 12.7	7 12.7	17 30.9	4 7.3	13 23.6	25 45.5	5 9.1	3 5.5	6 10.9	3 5.5
	65歳以上	1 10.0	2 20.0	2 20.0	1 10.0	2 20.0	2 20.0	2 20.0	2 30.0	3 10.0	1 10.0
精神 障 害	40歳未満	13 24.1	14 25.9	15 27.8	5 9.3	29 53.7	40 74.1	10 18.5	- -	3 5.6	1 1.9
	40~64歳	33 28.0	24 20.3	27 22.9	13 11.0	68 57.6	83 70.3	13 11.0	0.8 0.8	11 9.3	2 1.7
	65歳以上	3 12.5	3 12.5	5 20.8	2 8.3	5 20.8	10 41.7	2 8.3	- -	3 12.5	4 16.7

※知的障害の 65 歳以上、精神障害の 65 歳以上は回答者数が少ないので、参考値となります。

身体障害の部位による違いをみると、視覚障害では「外出に支障がある」(51.5%)が最も多く、聴覚・平衡機能障害では「緊急時の対応に不安がある」(35.1%)、「災害時の避難に不安がある」(35.1%)が最も多くなっています。音声・言語・そしゃく機能障害では「健康状態に不安がある」(42.9%)のほか、「家事や食事などが十分にできない」(42.9%)、「外出に支障がある」(42.9%)、「緊急時の対応に不安がある」(42.9%)、「災害時の避難に不安がある」(42.9%)も最も多くなっています。

●日常生活で困っていること（身体障害の部位別）

		全体	健康状態に不安がある	着替えや食事などが十分にできない	家事などが十分にできない	介助者の負担が大きい	外出に支障がある	住まいに支障がある	就労について困っている	緊急時の対応に不安がある	災害時の避難に不安がある	人間関係に支障がある
全体		1,022 100.0	421 41.2	109 10.7	269 26.3	125 12.2	283 27.7	68 6.7	93 9.1	295 28.9	354 34.6	143 14.0
身体障害の部位	視覚障害	66 100.0	27 40.9	12 18.2	23 34.8	17 25.8	34 51.5	11 16.7	7 10.6	25 37.9	28 42.4	8 12.1
	聴覚・平衡機能障害	37 100.0	13 35.1	1 2.7	4 10.8	4 10.8	6 16.2	3 8.1	1 2.7	13 35.1	13 35.1	5 13.5
	音声・言語・そしゃく機能障害	35 100.0	15 42.9	7 20.0	15 42.9	13 37.1	15 42.9	3 8.6	2 5.7	15 42.9	15 42.9	5 14.3
	肢体不自由	380 100.0	164 43.2	67 17.6	112 29.5	62 16.3	131 34.5	33 8.7	13 3.4	117 30.8	153 40.3	14 3.7
	内部障害	221 100.0	102 46.2	14 6.3	35 15.8	16 7.2	47 21.3	10 4.5	7 3.2	57 25.8	67 30.3	9 4.1

		障害や病気に対する周囲の理解がない	困ったとき相手がいらない	市役所などの手続きが難しい	た近くで診てもらえない医療機関	経済的に不安がある	将来に不安を感じている	日中することがない	その他	特にない	無回答
全体		140 13.7	104 10.2	170 16.6	88 8.6	315 30.8	462 45.2	69 6.8	23 2.3	165 16.1	49 4.8
身体障害の部位	視覚障害	10 15.2	5 7.6	12 18.2	6 9.1	17 25.8	27 40.9	8 12.1	4 6.1	5 7.6	7 10.6
	聴覚・平衡機能障害	5 13.5	4 10.8	5 13.5	3 8.1	8 21.6	11 29.7	1 2.7	2 5.4	7 18.9	2 5.4
	音声・言語・そしゃく機能障害	7 20.0	8 22.9	9 25.7	6 17.1	10 28.6	13 37.1	3 8.6	1 2.9	7 20.0	-
	肢体不自由	37 9.7	27 7.1	45 11.8	30 7.9	104 27.4	152 40.0	15 3.9	9 2.4	68 17.9	11 2.9
	内部障害	19 8.6	11 5.0	18 8.1	15 6.8	51 23.1	75 33.9	9 4.1	1 0.5	45 20.4	16 7.2

問18 困ったときの相談者・相談できる機関

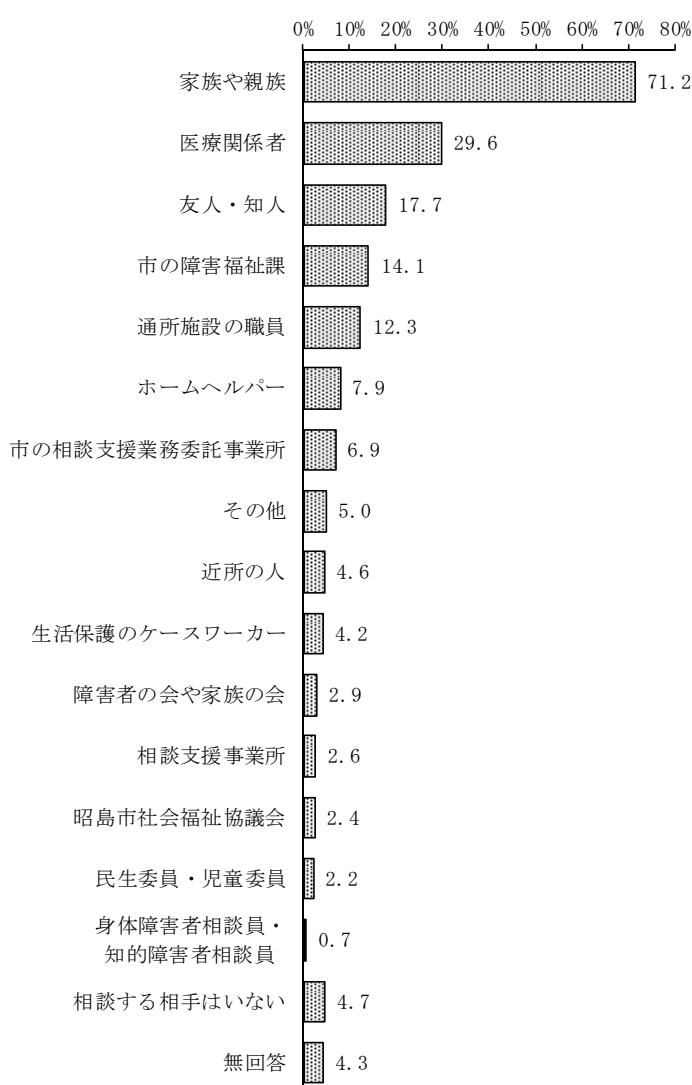
あなたが困ったときに相談している人や機関はどこですか。(○はいくつでも)

全体では、「家族や親族」が最も多く、71.2%となっています。次いで、「医療関係者（医師・看護師・ソーシャルワーカー）」が29.6%、「友人・知人」が17.7%、「市の障害福祉課」が14.1%、「通所施設の職員」が12.3%と続いています。

障害別にみると、精神障害では「医療関係者（医師・看護師・ソーシャルワーカー）」(48.0%)、「市の相談支援業務委託事業所（障害者相談支援センター（あいぽっく内）、虹のセンター25、自立生活センター・昭島）」(17.9%)、「生活保護のケースワーカー」(13.3%)が他の障害に比べて多くなっています。

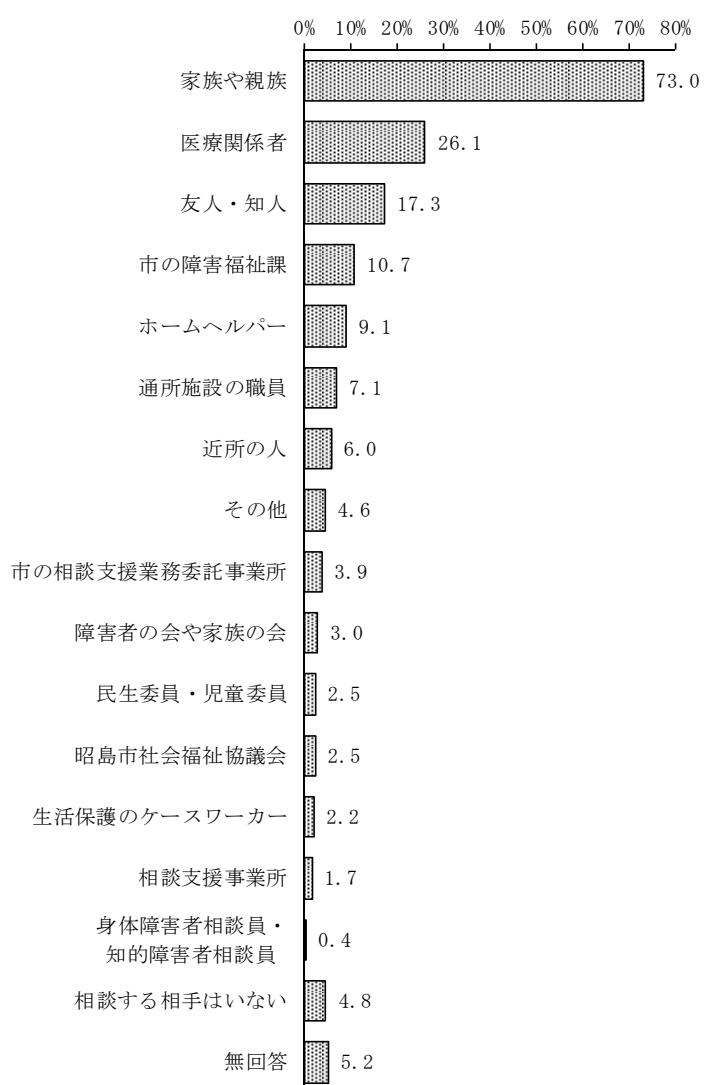
【全体】

総数=1,022 (複数回答)



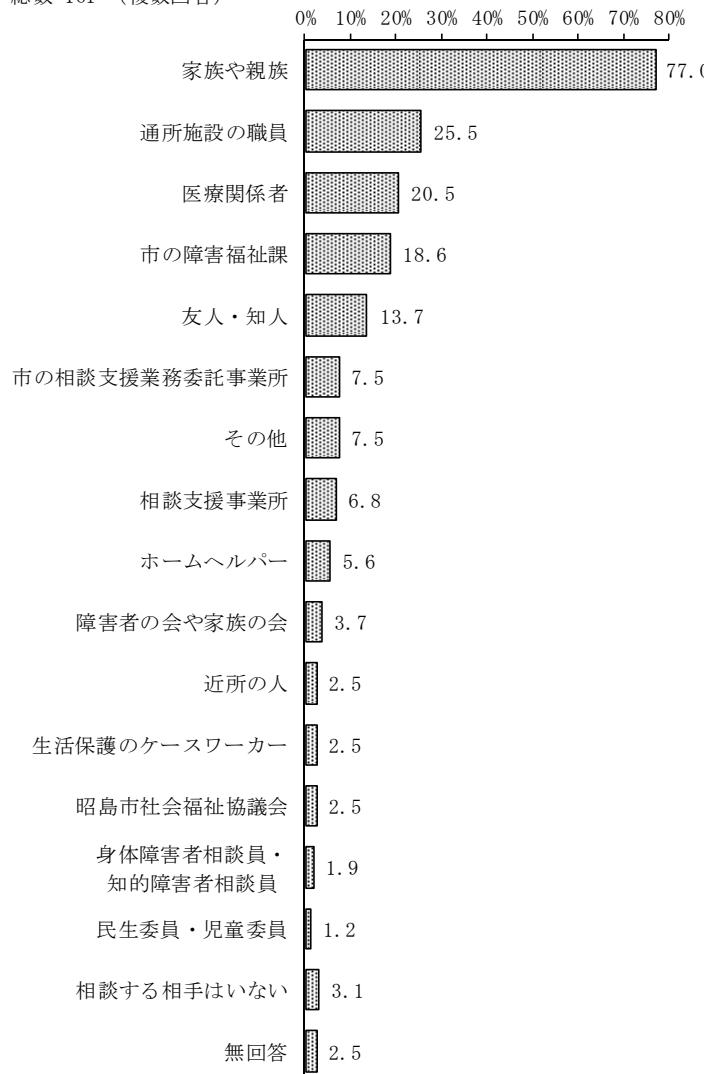
【身体障害】

総数=689 (複数回答)



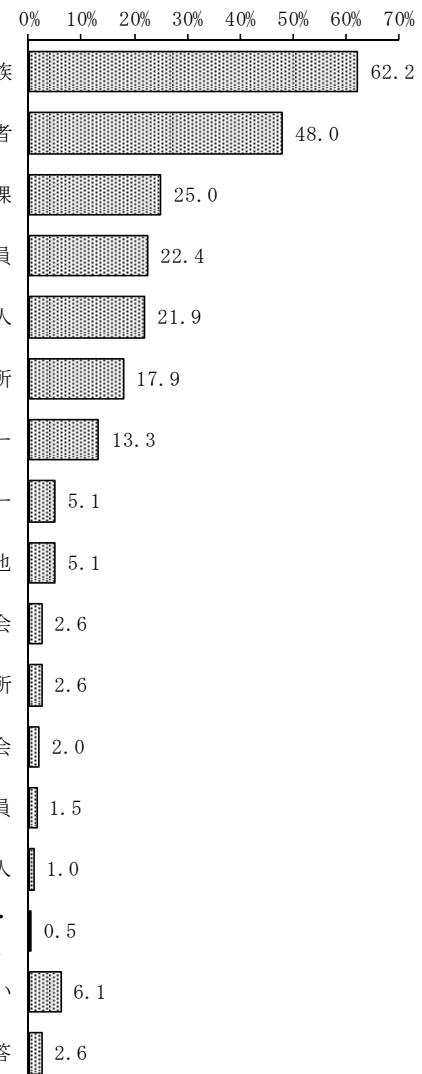
【知的障害】

総数=161 (複数回答)



【精神障害】

総数=196 (複数回答)



障害ごとに性別による違いをみると、精神障害では女で「友人・知人」(28.1%)が男に比べて多くなっています。

●困ったときの相談者・相談できる機関（性別）

		全 体	家 族 や 親 族	近 所 の 人	友 人 ・ 知 人	民 生 委 員 ・ 兒 童 委 員	障 害 家 族 者 の 会 会 や	員 ・ 身 体 障 害 者 相 談 員	ホ ー ム ヘル パ ー	通 所 施 設 の 職 員
全体		1,022 100.0	728 71.2	47 4.6	181 17.7	22 2.2	30 2.9	7 0.7	81 7.9	126 12.3
身体 障 害	男	317 100.0	228 71.9	13 4.1	39 12.3	5 1.6	8 2.5	2 0.6	21 6.6	20 6.3
	女	368 100.0	271 73.6	28 7.6	80 21.7	12 3.3	13 3.5	1 0.3	42 11.4	29 7.9
知 的 障 害	男	88 100.0	73 83.0	1 1.1	12 13.6	1 1.1	3 3.4	3 3.4	4 4.5	26 29.5
	女	73 100.0	51 69.9	3 4.1	10 13.7	1 1.4	3 4.1	- -	5 6.8	15 20.5
精神 障 害	男	107 100.0	62 57.9	- -	18 16.8	3 2.8	2 1.9	1 0.9	9 8.4	28 26.2
	女	89 100.0	60 67.4	2 2.2	25 28.1	- -	3 3.4	- -	1 1.1	16 18.0

		医 療 関 係 者	市 の 障 害 福 祉 課	市 の 相 談 支 援 事 業 所	相 談 支 援 事 業 所	生 活 保 護 ワ ー カ ー カ ー ス	昭 島 市 社 会 福 祉 協	其 他	相 談 す る 相 手 は い	無 回 答
全体		303 29.6	144 14.1	71 6.9	27 2.6	43 4.2	25 2.4	51 5.0	48 4.7	44 4.3
身体 障 害	男	87 27.4	36 11.4	15 4.7	6 1.9	8 2.5	6 1.9	16 5.0	18 5.7	17 5.4
	女	93 25.3	38 10.3	12 3.3	6 1.6	7 1.9	11 3.0	16 4.3	15 4.1	19 5.2
知 的 障 害	男	19 21.6	17 19.3	7 8.0	3 3.4	- -	3 3.4	10 11.4	2 11.4	3 3.4
	女	14 19.2	13 17.8	5 6.8	8 11.0	4 5.5	1 1.4	2 2.7	3 4.1	1 1.4
精神 障 害	男	52 48.6	27 25.2	18 16.8	4 3.7	18 16.8	2 1.9	5 4.7	7 6.5	4 3.7
	女	42 47.2	22 24.7	17 19.1	1 1.1	8 9.0	2 2.2	5 5.6	5 5.6	1 1.1

障害ごとに年齢による違いをみると、身体障害では40歳未満で「市の障害福祉課」(35.5%)、「通所施設の職員」(29.0%)、「市の相談支援業務委託事業所(障害者相談支援センター(あいぽっく内)、虹のセンター25、自立生活センター・昭島)」(16.1%)が他の年齢に比べて多く、40~64歳では「友人・知人」(27.3%)が他の年齢に比べて多くなっています。知的障害では40歳未満で「通所施設の職員」(31.3%)が40~64歳に比べて多くなっています。

●困ったときの相談者・相談できる機関(年齢別)

		全 体	家 族 や 親 族	近 所 の 人	友 人 ・ 知 人	民 生 委 員 ・ 兒 童 委 員	障 害 家 族 者 の 会 や 会 や	員 ・ 身 体 知 的 障 害 者 相 談 員 ・ 障 害 者 相 談 者 相 談	ホ ー ム ヘル パ ー	通 所 施 設 の 職 員
	全体	1,022 100.0	728 71.2	47 4.6	181 17.7	22 2.2	30 2.9	7 0.7	81 7.9	126 12.3
身体 障 害	40歳未満	31 100.0	25 80.6	1 3.2	4 12.9	— —	3 9.7	— —	3 9.7	9 29.0
	40~64歳	154 100.0	103 66.9	5 3.2	42 27.3	1 0.6	4 2.6	1 0.6	13 8.4	6 3.9
	65歳以上	504 100.0	375 74.4	35 6.9	73 14.5	16 3.2	14 2.8	2 0.4	47 9.3	34 6.7
知 的 障 害	40歳未満	96 100.0	82 85.4	2 2.1	18 18.8	— —	6 6.3	3 3.1	5 5.2	30 31.3
	40~64歳	55 100.0	35 63.6	2 3.6	4 7.3	2 3.6	— —	— —	2 3.6	10 18.2
	65歳以上	10 100.0	7 70.0	— —	— —	— —	— —	— —	20.0	1 10.0
精神 障 害	40歳未満	54 100.0	46 85.2	— —	9 16.7	1 1.9	3 5.6	— —	2 3.7	15 27.8
	40~64歳	118 100.0	67 56.8	2 1.7	31 26.3	2 1.7	2 1.7	— —	6 5.1	25 21.2
	65歳以上	24 100.0	9 37.5	— —	3 12.5	— —	— —	1 4.2	2 8.3	4 16.7

		医 療 関 係 者	市 の 障 害 福 祉 課	市 の 相 談 支 援 事 業 所	相 談 支 援 事 業 所	生 活 保 護 カ ー ケ ー ス	昭 島 市 議 会 社 会 福 祉 協	そ の 他	相 談 す る な い 相 手 は い	無 回 答
	全体	303 29.6	144 14.1	71 6.9	27 2.6	43 4.2	25 2.4	51 5.0	48 4.7	44 4.3
身体 障 害	40歳未満	11 35.5	11 35.5	5 16.1	2 6.5	1 3.2	1 3.2	3 9.7	1 3.2	2 6.5
	40~64歳	43 27.9	16 10.4	7 4.5	— —	6 3.9	1 0.6	9 5.8	9 5.8	9 3.9
	65歳以上	126 25.0	47 9.3	15 3.0	10 2.0	8 1.6	15 3.0	20 4.0	23 4.6	28 5.6
知 的 障 害	40歳未満	22 22.9	22 22.9	9 9.4	6 6.3	1 1.0	3 3.1	9 9.4	3 3.1	1 1.0
	40~64歳	9 16.4	7 12.7	3 5.5	5 9.1	3 5.5	1 1.8	3 5.5	1 1.8	1 2.6
	65歳以上	2 20.0	1 10.0	— —	— —	— —	— —	— —	10.0	1 10.0
精神 障 害	40歳未満	27 50.0	12 22.2	9 16.7	3 5.6	4 7.4	— —	4 7.4	1 1.9	— —
	40~64歳	58 49.2	31 26.3	25 21.2	2 1.7	17 14.4	3 2.5	3 2.5	7 5.9	1 0.8
	65歳以上	9 37.5	6 25.0	1 4.2	— —	5 20.8	1 4.2	3 12.5	4 16.7	4 16.7

※知的障害の65歳以上、精神障害の65歳以上は回答者数が少ないと想定され、参考値となります。

障害ごとに世帯構成による違いをみると、精神障害ではひとり暮らしで「医療関係者（医師・看護師・ソーシャルワーカー）」(50.8%)が最も多くなっているほか、「市の障害福祉課」(38.5%)、「通所施設の職員」(32.3%)、「生活保護のケースワーカー」(30.8%)、「市の相談支援業務委託事業所（障害者相談支援センター（あいぽっく内）、虹のセンター25、自立生活センター・昭島）」(26.2%)が家族と同居に比べて多くなっています。

●困ったときの相談者・相談できる機関（世帯構成別）

		全 体	家 族 や 親 族	近 所 の 人	友 人 ・ 知 人	民 生 委 員 ・ 児 童 委 員 ・	障 害 家 族 者 の 会 や	員 ・ 身 体 知 的 障 害 者 相 談 員 ・ 障 害 者 相 談 員	ホ ー ム ヘル パ ー	通 所 施 設 の 職 員
全体		1,022 100.0	728 71.2	47 4.6	181 17.7	22 2.2	30 2.9	7 0.7	81 7.9	126 12.3
身体 障 害	家族と同居	538 100.0	427 79.4	26 4.8	86 16.0	11 2.0	16 3.0	2 0.4	43 8.0	41 7.6
	ひとり暮らし	130 100.0	64 49.2	14 10.8	30 23.1	5 3.8	5 3.8	1 0.8	18 13.8	6 4.6
	グループホーム等での集団生活	6 100.0	4 66.7	1 16.7	1 16.7	1 16.7	— —	— —	1 16.7	2 33.3
知的 障 害	家族と同居	148 100.0	119 80.4	4 2.7	20 13.5	2 1.4	6 4.1	3 2.0	8 5.4	39 26.4
	ひとり暮らし	7 100.0	4 57.1	— —	1 14.3	— —	— —	— —	— 14.3	— —
	グループホーム等での集団生活	2 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 50.0
精神 障 害	家族と同居	128 100.0	96 75.0	1 0.8	24 18.8	2 1.6	5 3.9	1 0.8	2 1.6	23 18.0
	ひとり暮らし	65 100.0	25 38.5	1 1.5	18 27.7	1 1.5	— —	— —	8 12.3	21 32.3
	グループホーム等での集団生活	1 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —

		医 療 関 係 者	市 の 障 害 福 祉 課	市 の 委 託 事 業 所	相 談 支 援 事 業 所	生 活 保 護 カ ー ー ス	昭 島 市 社 会 福 祉 協	そ の 他	相 談 す る な い 相 手 は い	無 回 答
全体		303 29.6	144 14.1	71 6.9	27 2.6	43 4.2	25 2.4	51 5.0	48 4.7	44 4.3
身体 障 害	家族と同居	147 27.3	55 10.2	20 3.7	9 1.7	4 0.7	9 1.7	24 4.5	18 3.3	20 3.7
	ひとり暮らし	27 20.8	16 12.3	7 5.4	3 2.3	10 7.7	8 6.2	7 5.4	14 10.8	13 10.0
	グループホーム等での集団生活	2 33.3	2 33.3	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
知的 障 害	家族と同居	32 21.6	30 20.3	11 7.4	10 6.8	4 2.7	4 2.7	9 6.1	4 2.7	3 2.0
	ひとり暮らし	1 14.3	— —	1 14.3	1 14.3	— —	— —	— —	1 14.3	— —
	グループホーム等での集団生活	— —	— —	— —	— —	— —	— —	2 100.0	— —	— —
精神 障 害	家族と同居	60 46.9	24 18.8	18 14.1	4 3.1	6 4.7	1 0.8	7 5.5	7 5.5	3 2.3
	ひとり暮らし	33 50.8	25 38.5	17 26.2	1 1.5	20 30.8	3 4.6	2 3.1	5 7.7	2 3.1
	グループホーム等での集団生活	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 100.0	— —	— —

※身体障害のグループホーム等での集団生活、知的障害のひとり暮らし、グループホーム等での集団生活、精神障害のグループホーム等での集団生活は回答者数が少ないため、参考値となります。

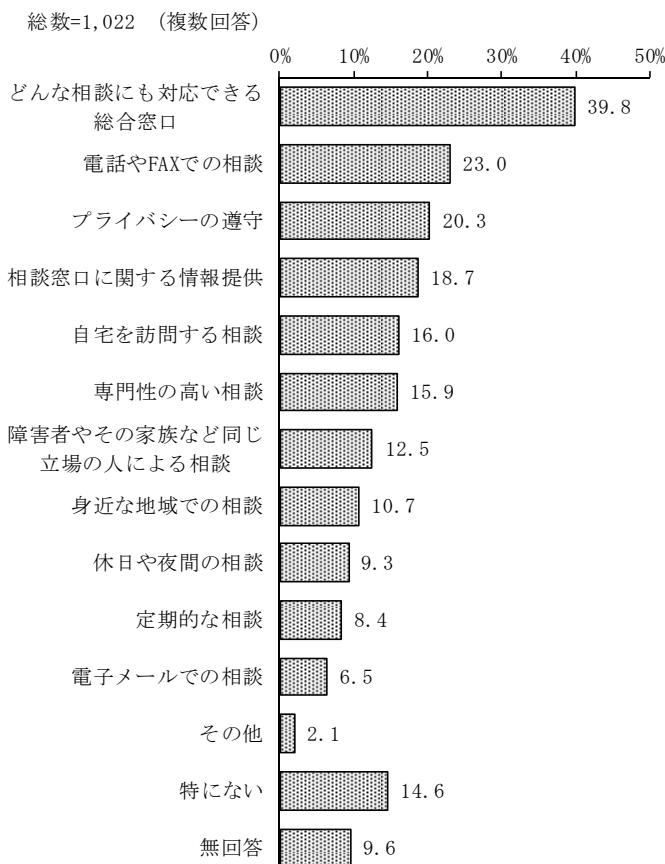
問19 相談支援に対する要望

あなたは、市役所などに気軽に相談するためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(○はいくつでも)

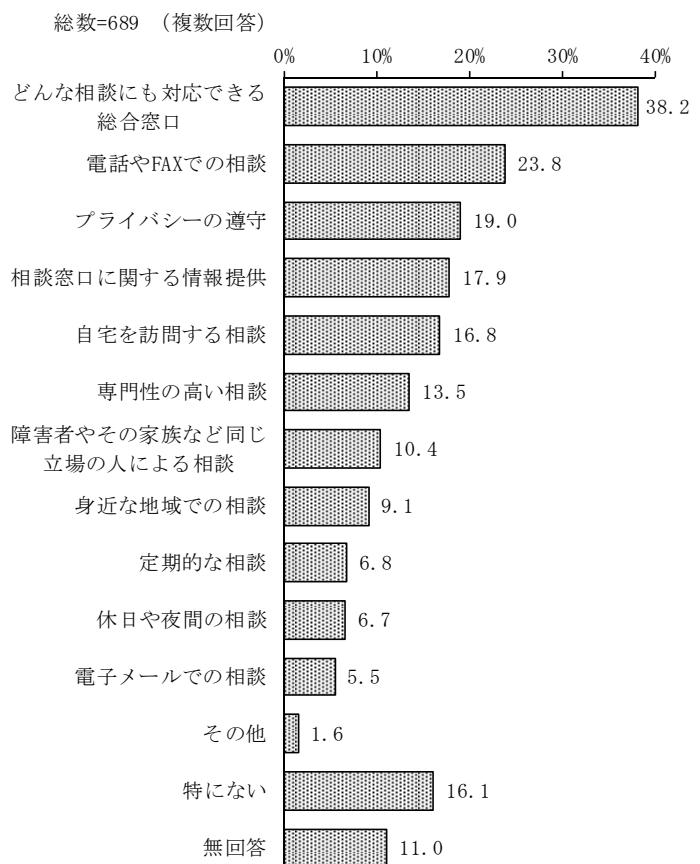
全体では、「どんな相談にも対応できる総合窓口」が最も多く、39.8%となっています。次いで、「電話やFAXでの相談」が23.0%、「プライバシーの遵守」が20.3%、「相談窓口に関する情報提供」が18.7%、「自宅を訪問する相談」が16.0%、「専門性の高い相談」が15.9%と続いています。

障害別にみると、知的障害では「どんな相談にも対応できる総合窓口」(54.7%)、「相談窓口に関する情報提供」(29.2%)が、精神障害では「休日や夜間の相談」(20.4%)が他の障害に比べて多くなっています。

【全体】

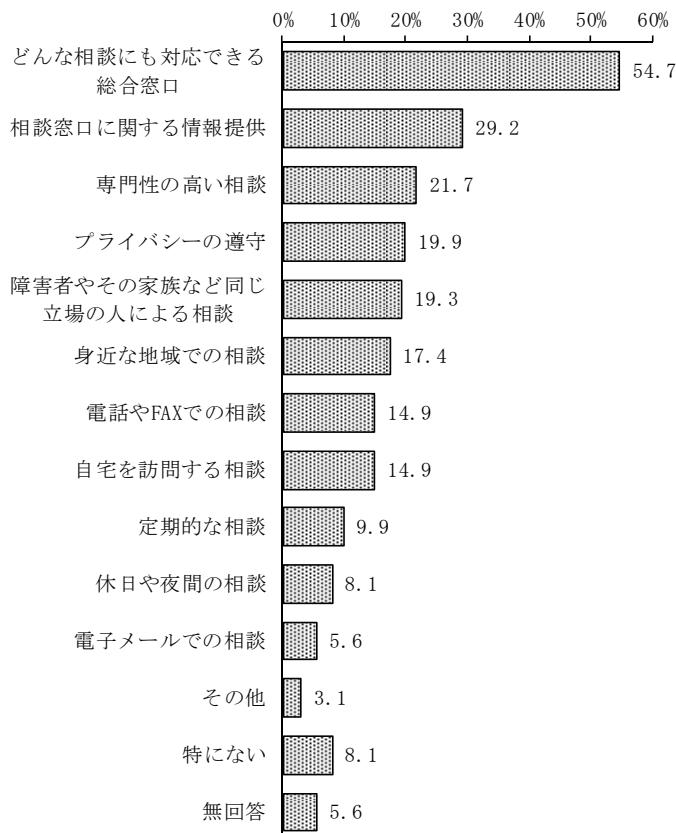


【身体障害】



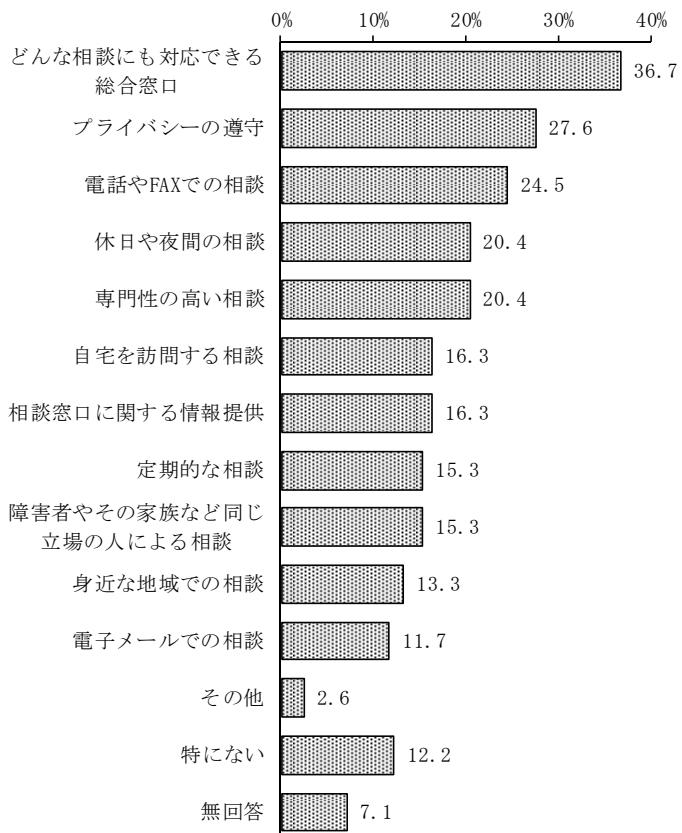
【知的障害】

総数=161 (複数回答)



【精神障害】

総数=196 (複数回答)



障害ごとに年齢による違いをみると、身体障害では 40 歳未満で「相談窓口に関する情報提供」(38.7%)、「自宅を訪問する相談」(29.0%)、「休日や夜間の相談」(25.8%) が他の年齢に比べて多くなっています。知的障害では 40 歳未満で「相談窓口に関する情報提供」(39.6%)、「専門性の高い相談」(28.1%) が 40~64 歳に比べて多くなっています。精神障害では 40 歳未満で「休日や夜間の相談」(29.6%)、「自宅を訪問する相談」(24.1%)、「定期的な相談」(24.1%)、「電子メールでの相談」(20.4%) が 40~64 歳に比べて多くなっています。

●相談支援に対する要望（年齢別）

		全 体	電 話 や 相 談 A X で の	電 子 メ ー ル 相 談 で の	自 宅 を 訪 問 す る	休 日 や 相 談 夜 間 の	専 門 相 談 の 高 い	身 近 な 地 域 で の 相 談	定 期 的 な 相 談
	全体	1,022 100.0	235 23.0	66 6.5	164 16.0	95 9.3	162 15.9	109 10.7	86 8.4
身体 障 害	40歳未満	31 100.0	8 25.8	4 12.9	9 29.0	8 25.8	7 22.6	5 16.1	5 16.1
	40~64歳	154 100.0	39 25.3	18 11.7	19 12.3	16 10.4	30 19.5	10 6.5	9 5.8
	65歳以上	504 100.0	117 23.2	16 3.2	88 17.5	22 4.4	56 11.1	48 9.5	33 6.5
知的 障 害	40歳未満	96 100.0	11 11.5	9 9.4	13 13.5	9 9.4	27 28.1	18 18.8	12 12.5
	40~64歳	55 100.0	10 18.2	- -	10 18.2	3 5.5	6 10.9	9 16.4	4 7.3
	65歳以上	10 100.0	3 30.0	- -	1 10.0	1 10.0	2 20.0	1 10.0	- -
精神 障 害	40歳未満	54 100.0	13 24.1	11 20.4	13 24.1	16 29.6	13 24.1	8 14.8	13 24.1
	40~64歳	118 100.0	31 26.3	12 10.2	15 12.7	21 17.8	25 21.2	15 12.7	15 12.7
	65歳以上	24 100.0	4 16.7	- -	4 16.7	3 12.5	2 8.3	3 12.5	2 8.3

		な 障 に よ り 同 者 に よ り 相 談 立 そ の 家 人 族	応 ど ん な き や る 相 談 の 場 合 に 窓 も 口 対	相 談 窓 口 情 報 提 供 関 す る	ブ ラ イ バ シ ー 守 の 遵	そ の 他	特 に な い	無 回 答
	全体	128 12.5	407 39.8	191 18.7	207 20.3	21 2.1	149 14.6	98 9.6
身体 障 害	40歳未満	5 16.1	13 41.9	12 38.7	7 22.6	3 9.7	1 3.2	3 9.7
	40~64歳	21 13.6	63 40.9	38 24.7	36 23.4	3 1.9	19 12.3	12 7.8
	65歳以上	46 9.1	187 37.1	73 14.5	88 17.5	5 1.0	91 18.1	61 12.1
知的 障 害	40歳未満	25 26.0	57 59.4	38 39.6	24 25.0	3 3.1	7 7.3	2 2.1
	40~64歳	6 10.9	26 47.3	7 12.7	5 9.1	2 3.6	5 9.1	5 9.1
	65歳以上	- -	5 50.0	2 20.0	3 30.0	- -	1 10.0	2 20.0
精神 障 害	40歳未満	13 24.1	19 35.2	7 13.0	16 29.6	1 1.9	5 9.3	3 5.6
	40~64歳	17 14.4	45 38.1	23 19.5	32 27.1	4 3.4	14 11.9	7 5.9
	65歳以上	- -	8 33.3	2 8.3	6 25.0	- -	5 20.8	4 16.7

※知的障害の 65 歳以上、精神障害の 65 歳以上は回答者数が少ないとみます。

身体障害の部位による違いをみると、視覚障害では「電話やFAXでの相談」(33.3%)が最も多くなっています。

●相談支援に対する要望（身体障害の部位別）

		全 体	電 話 や 相 談 A X で の	電 子 メ ー ル で の 相 談	自 宅 を 訪 問 す る 相 談	休 日 相 談 や 夜 間 の 相 談	専 門 相 談 の 高 い	身 近 な 地 域 で の 相 談	定 期 的 な 相 談
全体		1,022 100.0	235 23.0	66 6.5	164 16.0	95 9.3	162 15.9	109 10.7	86 8.4
身体 障 害 の 部 位	視覚障害	66 100.0	22 33.3	3 4.5	16 24.2	4 6.1	13 19.7	10 15.2	5 7.6
	聴覚・平衡機能障害	37 100.0	8 21.6	6 16.2	5 13.5	3 8.1	3 8.1	6 16.2	2 5.4
	音声・言語・そしゃく機能障害	35 100.0	4 11.4	3 8.6	8 22.9	3 8.6	7 20.0	3 8.6	4 11.4
	肢体不自由	380 100.0	103 27.1	18 4.7	72 18.9	27 7.1	53 13.9	35 9.2	34 8.9
	内部障害	221 100.0	41 18.6	11 5.0	22 10.0	14 6.3	29 13.1	17 7.7	8 3.6
	無回答	340 100.0	70 20.6	28 8.2	52 15.3	51 15.0	70 20.6	48 14.1	41 12.1

		な ど に よ る 相 談 の 家 族	応 ど で ん き な る 相 談 の 場 合 に 窓 も 口 対	相 談 情 報 提 供 す る	ブ ラ イ バ シ ー の 遵 守	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体		128 12.5	407 39.8	191 18.7	207 20.3	21 2.1	149 14.6	98 9.6
身体 障 害 の 部 位	視覚障害	11 16.7	21 31.8	11 16.7	14 21.2	1 1.5	7 10.6	9 13.6
	聴覚・平衡機能障害	7 18.9	17 45.9	7 18.9	9 24.3	2 5.4	5 13.5	2 5.4
	音声・言語・そしゃく機能障害	6 17.1	12 34.3	8 22.9	8 22.9	- -	5 14.3	3 8.6
	肢体不自由	46 12.1	153 40.3	78 20.5	76 20.0	5 1.3	49 12.9	39 10.3
	内部障害	14 6.3	87 39.4	35 15.8	41 18.6	1 0.5	46 20.8	25 11.3
	無回答	53 15.6	143 42.1	68 20.0	76 22.4	12 3.5	41 12.1	27 7.9

問20 福祉情報の入手方法

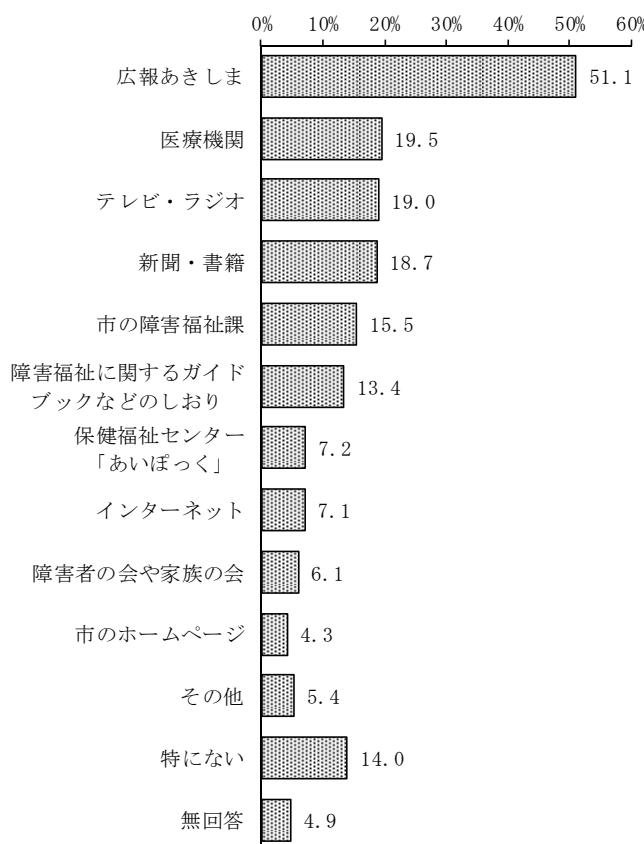
あなたは、福祉に関する情報を、どこから得ていますか。(○はいくつでも)

全体では、「広報あきしま」が最も多く、51.1%となっています。次いで、「医療機関」が19.5%、「テレビ・ラジオ」が19.0%、「新聞・書籍」が18.7%、「市の障害福祉課」が15.5%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「広報あきしま」(57.9%)が、精神障害では「医療機関」(31.6%)が他の障害に比べて多くなっています。

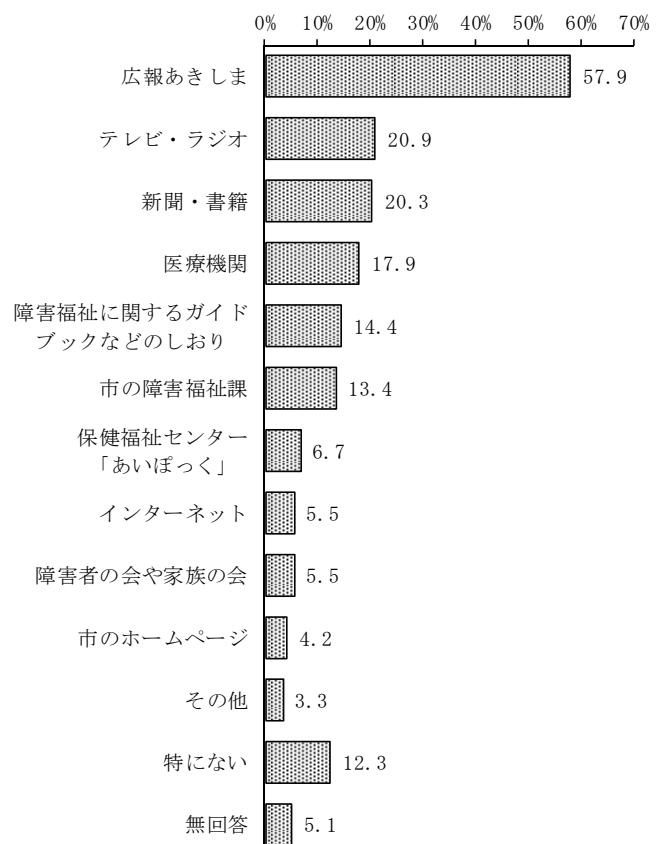
【全体】

総数=1,022 (複数回答)



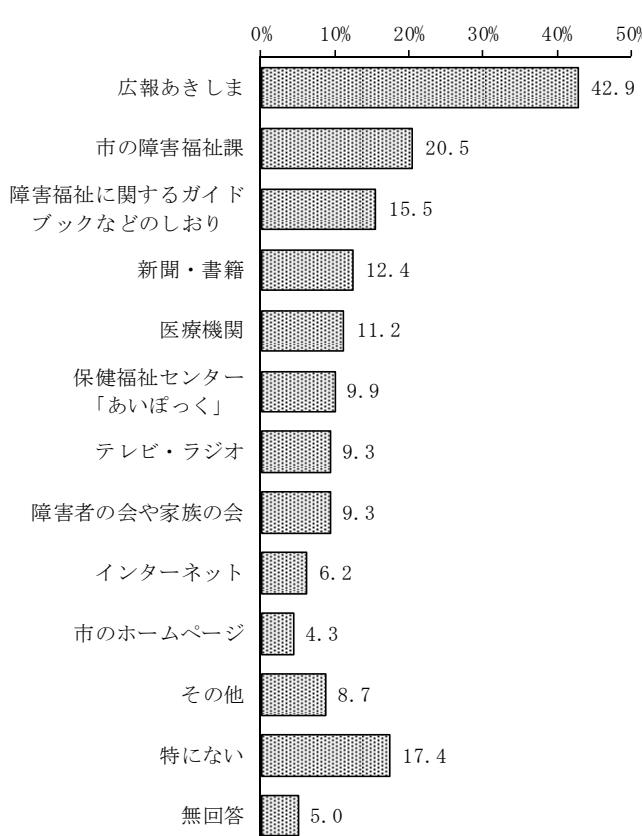
【身体障害】

総数=689 (複数回答)



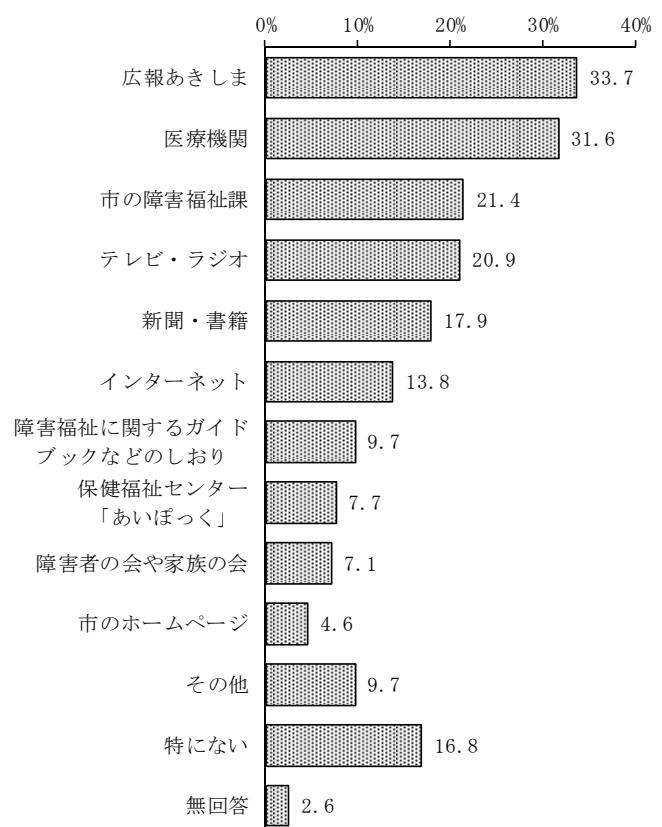
【知的障害】

総数=161 (複数回答)



【精神障害】

総数=196 (複数回答)



障害ごとに年齢による違いをみると、精神障害では40歳未満で「医療機関」(37.0%)が最も多くなっているほか、「インターネット」(25.9%)が40~64歳に比べて多くなっています。

●福祉情報の入手方法（年齢別）

		全 体	広 報 あ き し ま	ガ 障 イ 害 の ド 福 し ブ 社 お ツ に り ク 開 な す ど る	市 の ホ ー ム ペ ー ジ	市 の 障 害 福 祉 課	保 健 福 祉 「 あ い ほ つ く 」 セ ン タ ー	テ レ ビ ・ ラ ジ オ
全体		1,022 100.0	522 51.1	137 13.4	44 4.3	158 15.5	74 7.2	194 19.0
身体 障 害	40歳未満	31 100.0	10 32.3	3 9.7	2 6.5	7 22.6	2 6.5	6 19.4
	40~64歳	154 100.0	78 50.6	28 18.2	3 1.9	17 11.0	5 3.2	23 14.9
	65歳以上	504 100.0	311 61.7	68 13.5	24 4.8	68 13.5	39 7.7	115 22.8
知 的 障 害	40歳未満	96 100.0	42 43.8	13 13.5	5 5.2	19 19.8	10 10.4	11 11.5
	40~64歳	55 100.0	25 45.5	9 16.4	1 1.8	12 21.8	3 5.5	4 7.3
	65歳以上	10 100.0	2 20.0	3 30.0	1 10.0	2 20.0	3 30.0	- -
精神 障 害	40歳未満	54 100.0	18 33.3	3 5.6	5 9.3	10 18.5	2 3.7	14 25.9
	40~64歳	118 100.0	40 33.9	14 11.9	3 2.5	30 25.4	11 9.3	21 17.8
	65歳以上	24 100.0	8 33.3	2 8.3	1 4.2	2 8.3	2 8.3	6 25.0

		イ ン タ ー ネ ッ ト	新 聞 ・ 書 籍	障 害 者 の 会 や 家 族	医 療 機 関	其 他	特 に な い	無 回 答
全体		73 7.1	191 18.7	62 6.1	199 19.5	55 5.4	143 14.0	50 4.9
身体 障 害	40歳未満	3 9.7	2 6.5	5 16.1	8 25.8	3 9.7	4 12.9	1 3.2
	40~64歳	20 13.0	28 18.2	11 7.1	25 16.2	6 3.9	21 13.6	4 2.6
	65歳以上	15 3.0	110 21.8	22 4.4	90 17.9	14 2.8	60 11.9	30 6.0
知 的 障 害	40歳未満	10 10.4	12 12.5	12 12.5	12 12.5	9 9.4	19 19.8	3 3.1
	40~64歳	- -	8 14.5	3 5.5	6 10.9	4 7.3	7 12.7	4 7.3
	65歳以上	- -	- -	- -	- -	1 10.0	2 20.0	1 10.0
精神 障 害	40歳未満	14 25.9	13 24.1	7 13.0	20 37.0	3 5.6	10 18.5	1 1.9
	40~64歳	13 11.0	18 15.3	7 5.9	35 29.7	13 11.0	21 17.8	2 1.7
	65歳以上	- -	4 16.7	- -	7 29.2	3 12.5	2 8.3	2 8.3

※知的障害の65歳以上、精神障害の65歳以上は回答者数が少ないと参考値となります。

身体障害の部位による違いをみると、視覚障害では「テレビ・ラジオ」(37.9%) が他の身体障害の部位に比べて多くなっています。

●福祉情報の入手方法（身体障害の部位別）

		全体	広報あきしま	ガ障イ害のド福しづ祉おツにクりクなするどる	市のホームページ	市の障害福祉課	保健福祉セ「あいほつく」ンター	テレビ・ラジオ
全体		1,022 100.0	522 51.1	137 13.4	44 4.3	158 15.5	74 7.2	194 19.0
身体障害の部位	視覚障害	66 100.0	39 59.1	11 16.7	3 4.5	15 22.7	8 12.1	25 37.9
	聴覚・平衡機能障害	37 100.0	25 67.6	2 5.4	1 2.7	3 8.1	4 10.8	4 10.8
	音声・言語・そしゃく機能障害	35 100.0	16 45.7	6 17.1	1 2.9	10 28.6	3 8.6	7 20.0
	肢体不自由	380 100.0	229 60.3	57 15.0	16 4.2	54 14.2	30 7.9	78 20.5
	内部障害	221 100.0	122 55.2	34 15.4	11 5.0	24 10.9	8 3.6	44 19.9
	無回答	340 100.0	121 35.6	36 10.6	15 4.4	68 20.0	28 8.2	52 15.3

		インターネット	新聞・書籍	障害者の会や家族の会	医療機関	その他	特になし	無回答
全体		73 7.1	191 18.7	62 6.1	199 19.5	55 5.4	143 14.0	50 4.9
身体障害の部位	視覚障害	3 4.5	5 7.6	4 6.1	8 12.1	3 4.5	6 9.1	4 6.1
	聴覚・平衡機能障害	2 5.4	10 27.0	3 8.1	4 10.8	1 2.7	4 10.8	3 8.1
	音声・言語・そしゃく機能障害	2 5.7	4 11.4	3 8.6	7 20.0	1 2.9	5 14.3	3 8.6
	肢体不自由	25 6.6	82 21.6	20 5.3	68 17.9	13 3.4	44 11.6	18 4.7
	内部障害	10 4.5	52 23.5	10 4.5	56 25.3	3 1.4	29 13.1	13 5.9
	無回答	35 10.3	51 15.0	25 7.4	73 21.5	34 10.0	59 17.4	18 5.3

6 日中活動や仕事について

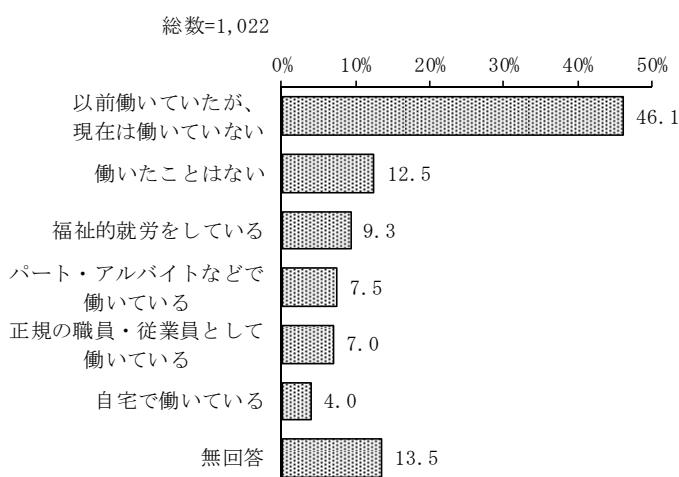
問21 日中の過ごし方

あなたは現在、仕事をしていますか。仕事をしている方は働き方についてもお答えください。
(○はひとつ)

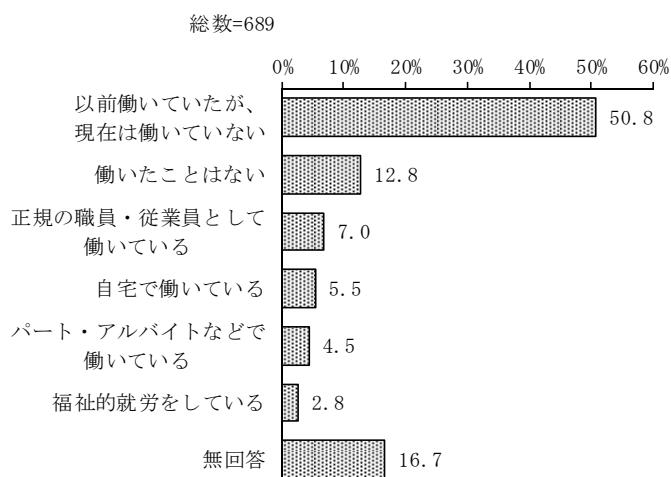
全体では、「以前働いていたが、現在は働いていない」が最も多く、46.1%となっています。次いで、「働いたことはない」が12.5%、「福祉的就労をしている（就労移行・就労継続支援事業所など）」が9.3%と続いています。

障害別にみると、身体障害と精神障害では「以前働いていたが、現在は働いていない」（身体障害 50.8%、精神障害 49.0%）が最も多く、知的障害では「福祉的就労をしている（就労移行・就労継続支援事業所など）」（26.7%）が最も多くなっています。

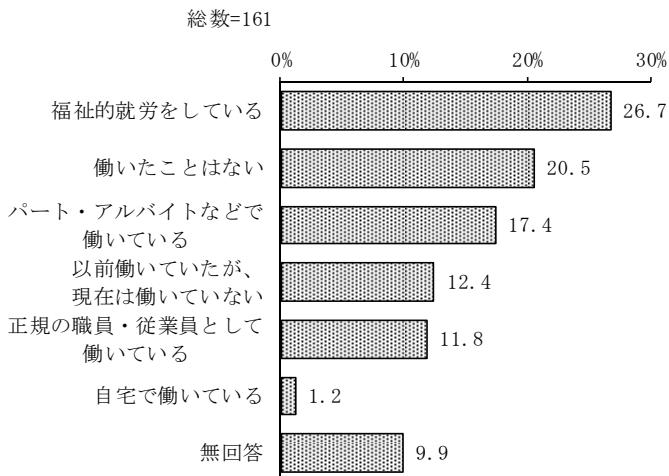
【全体】



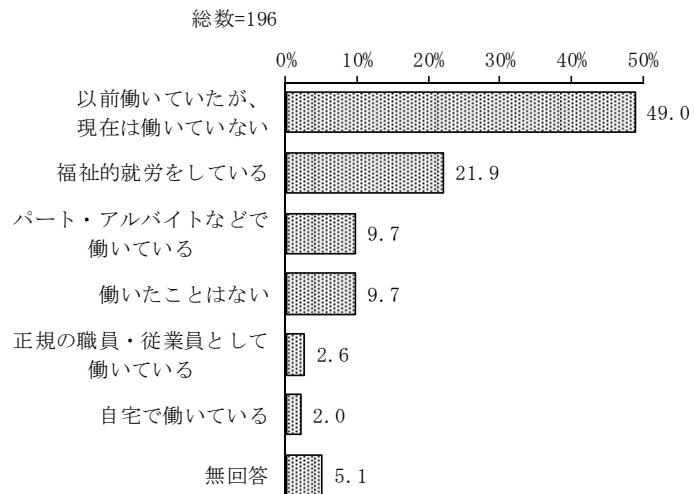
【身体障害】



【知的障害】



【精神障害】



障害ごとに性別による違いをみると、知的障害では男で「福祉的就労をしている（就労移行・就労継続支援事業所など）」（31.8%）が最も多く、女で「働いたことはない」（24.7%）が最も多くなっています。

●日中の過ごし方（性別）

		全 体	員正 と規 しの て職 務員 い・ て従 い業 る	トバ な一 どト で・ 働ア イル てバ いイ る	自 宅 い で る 働 い て	福 祉 て い る 就 労 を	が、 以 前 現 在 い な い は 働 い て て	働 い た こ と は な い	無 回 答
全体		1,022 100.0	72 7.0	77 7.5	41 4.0	95 9.3	471 46.1	128 12.5	138 13.5
身体 障 害	男	317 100.0	37 11.7	14 4.4	20 6.3	13 4.1	157 49.5	34 10.7	42 13.2
	女	368 100.0	11 3.0	17 4.6	17 4.6	6 1.6	191 51.9	53 14.4	73 19.8
知 的 障 害	男	88 100.0	14 15.9	15 17.0	2 2.3	28 31.8	11 12.5	15 17.0	3 3.4
	女	73 100.0	5 6.8	13 17.8	- -	15 20.5	9 12.3	18 24.7	13 17.8
精神 障 害	男	107 100.0	4 3.7	13 12.1	3 2.8	27 25.2	44 41.1	11 10.3	5 4.7
	女	89 100.0	1 1.1	6 6.7	1 1.1	16 18.0	52 58.4	8 9.0	5 5.6

障害ごとに年齢による違いをみると、身体障害では40歳未満で「働いたことはない」(35.5%)が最も多くなっています。知的障害では40歳未満で「パート・アルバイトなどで働いている」(22.9%)が40~64歳に比べて多くなっています。精神障害では40歳未満で「福祉的就労をしている（就労移行・就労継続支援事業所など）」(31.5%)が最も多くなっているほか、「パート・アルバイトなどで働いている」(20.4%)が40~64歳に比べて多くなっています。

●日中の過ごし方（年齢別）

		全体	員正と規しのて職務する従業員い・て従い業	トバなし・どトで・る勤ア・イルてバ・イイ	自宅いで・る勤ア・イルてバ・イイ	福・祉的・い・就労を	が、以・前・現・在・は・い・な・い	働・い・た・こ・と・は・な・い	無回答
全体		1,022 100.0	72 7.0	77 7.5	41 4.0	95 9.3	471 46.1	128 12.5	138 13.5
身体障害	40歳未満	31 100.0	7 22.6	2 6.5	2 6.5	4 12.9	3 9.7	11 35.5	2 6.5
	40~64歳	154 100.0	33 21.4	17 11.0	10 6.5	7 4.5	67 43.5	14 9.1	6 3.9
	65歳以上	504 100.0	8 1.6	12 2.4	26 5.2	8 1.6	280 55.6	63 12.5	107 21.2
知的障害	40歳未満	96 100.0	10 10.4	22 22.9	2 2.1	29 30.2	8 8.3	18 18.8	7 7.3
	40~64歳	55 100.0	9 16.4	5 9.1	- -	13 23.6	9 16.4	12 21.8	7 12.7
	65歳以上	10 100.0	- -	1 10.0	- -	1 10.0	3 30.0	3 30.0	2 20.0
精神障害	40歳未満	54 100.0	- -	11 20.4	2 3.7	17 31.5	13 24.1	10 18.5	1 1.9
	40~64歳	118 100.0	5 4.2	8 6.8	2 1.7	25 21.2	63 53.4	9 7.6	6 5.1
	65歳以上	24 100.0	- -	- -	- -	1 4.2	20 83.3	- -	3 12.5

※知的障害の65歳以上、精神障害の65歳以上は回答者数が少ないため、参考値となります。

問22 仕事をする上で困っていること

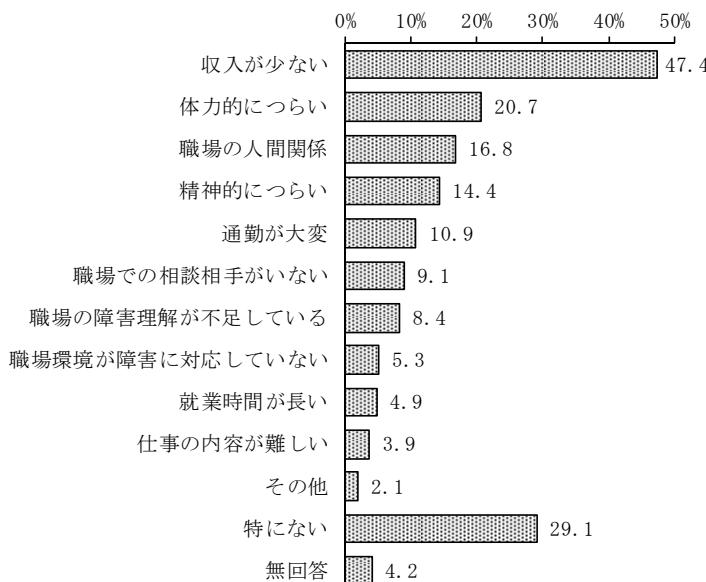
問21で「働いている（1～4）」と回答した方にお聞きします。仕事をする上で困っていることはありますか。（○はいくつでも）

全体では、「収入が少ない」が最も多く、47.4%となっています。次いで、「体力的につらい」が20.7%、「職場の人間関係」が16.8%、「精神的につらい」が14.4%、「通勤が大変」が10.9%と続いている。なお、「特にない」が29.1%と多くなっています。

障害別にみると、精神障害では「収入が少ない」(70.4%)、「精神的につらい」(29.6%)が他の障害に比べて多くなっています。

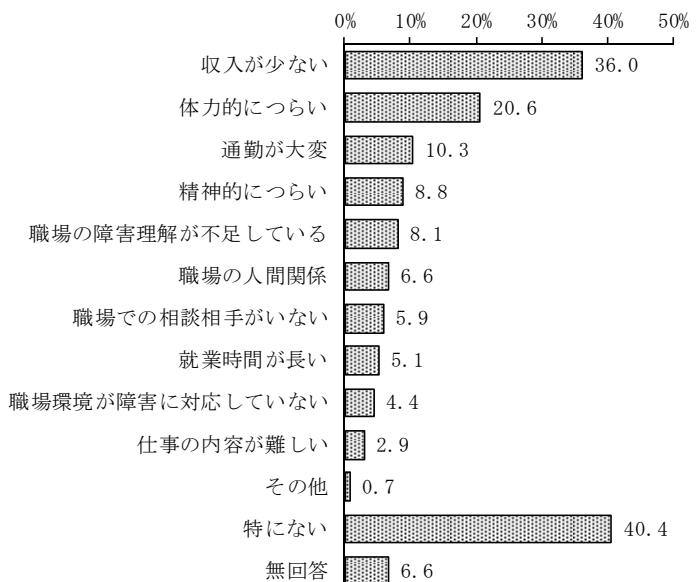
【全体】

総数=285 (複数回答)

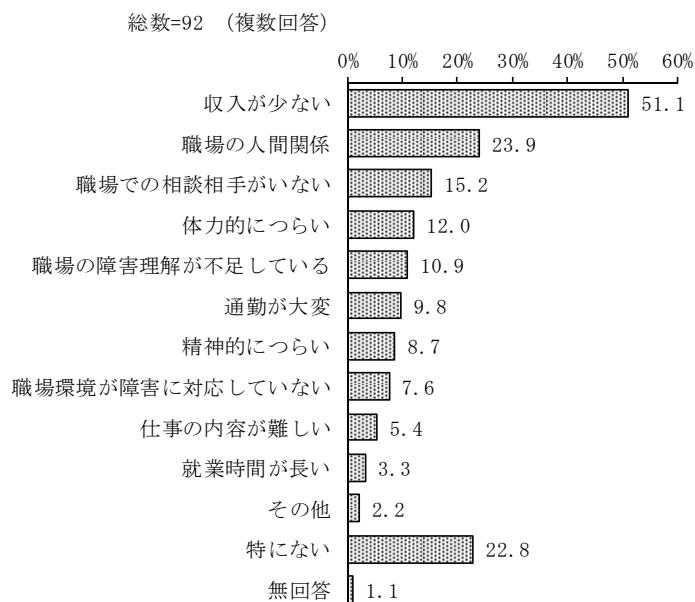


【身体障害】

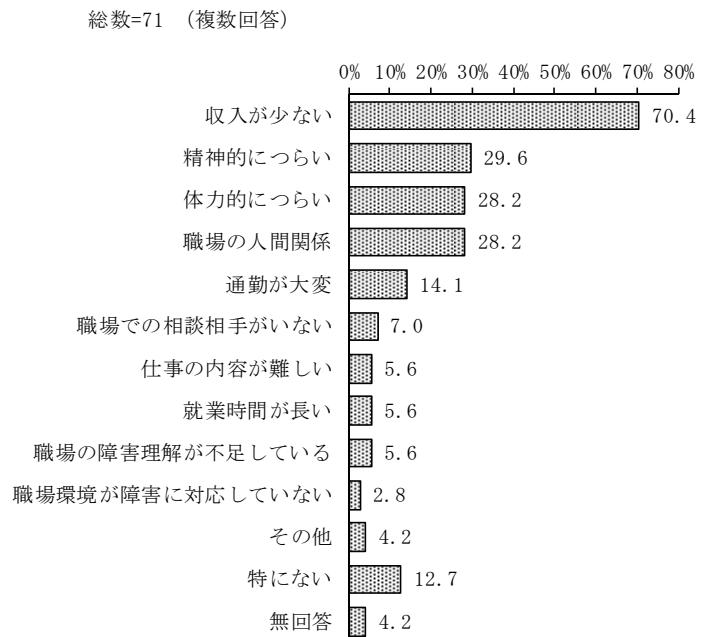
総数=136 (複数回答)



【知的障害】



【精神障害】



障害ごとに性別による違いをみると、身体障害では男で「収入が少ない」(41.7%)が女に比べて多くなっています。知的障害では男で「職場での相談相手がない」(20.3%)が女に比べて多くなっています。

●仕事をする上で困っていること（性別）

		全 体	収 入 が 少 ない	体 力 的 に つ らい	精 神 的 に つ らい	仕 事 の 内 容 が 難 し	就 業 時 間 が 長 い	通 勤 が 大 変
全体		285 100.0	135 47.4	59 20.7	41 14.4	11 3.9	14 4.9	31 10.9
身体 障 害	男	84 100.0	35 41.7	17 20.2	6 7.1	3 3.6	5 6.0	9 10.7
	女	51 100.0	14 27.5	11 21.6	6 11.8	1 2.0	2 3.9	5 9.8
知 的 障 害	男	59 100.0	33 55.9	7 11.9	5 8.5	3 5.1	2 3.4	5 8.5
	女	33 100.0	14 42.4	4 12.1	3 9.1	2 6.1	1 3.0	4 12.1
精神 障 害	男	47 100.0	33 70.2	12 25.5	12 25.5	3 6.4	2 4.3	5 10.6
	女	24 100.0	17 70.8	8 33.3	9 37.5	1 4.2	2 8.3	5 20.8

		職 場 の 人 間 関 係	職 場 が で い の な 相 い 談 相 手	職 場 不 足 の し 障 害 理 解 が	職 場 環 境 対 応 し て が い な い 障 害 に	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体		48 16.8	26 9.1	24 8.4	15 5.3	6 2.1	83 29.1	12 4.2
身体 障 害	男	7 8.3	6 7.1	7 8.3	4 4.8	- -	30 35.7	5 6.0
	女	2 3.9	2 3.9	4 7.8	2 3.9	1 2.0	24 47.1	4 7.8
知 的 障 害	男	16 27.1	12 20.3	7 11.9	5 8.5	2 3.4	13 22.0	1 1.7
	女	6 18.2	2 6.1	3 9.1	2 6.1	- -	8 24.2	- -
精神 障 害	男	13 27.7	4 8.5	3 6.4	1 2.1	3 6.4	6 12.8	3 6.4
	女	7 29.2	1 4.2	1 4.2	1 4.2	- -	3 12.5	- -

※精神障害の女は回答者数が少ないため、参考値となります。

障害ごとに年齢による違いをみると、身体障害では40～64歳で「体力的につらい」(26.9%)が65歳以上に比べて多くなっています。精神障害では40歳未満で「職場での相談相手がない」(13.3%)が40～64歳に比べて多く、40～64歳で「精神的につらい」(35.0%)が40歳未満に比べて多くなっています。

●仕事をする上で困っていること（年齢別）

		全 体	収 入 が 少 な い	体 力 的 に つ ら い	精 神 的 に つ ら い	仕 事 の 内 容 が 難 し	就 業 時 間 が 長 い	通 勤 が 大 変
	全体	285 100.0	135 47.4	59 20.7	41 14.4	11 3.9	14 4.9	31 10.9
身体 障 害	40歳未満	15 100.0	7 46.7	2 13.3	2 13.3	1 6.7	1 6.7	- -
	40～64歳	67 100.0	27 40.3	18 26.9	10 14.9	3 4.5	5 7.5	10 14.9
	65歳以上	54 100.0	15 27.8	8 14.8	- -	- -	1 1.9	4 7.4
知 的 障 害	40歳未満	63 100.0	35 55.6	9 14.3	6 9.5	3 4.8	2 3.2	6 9.5
	40～64歳	27 100.0	11 40.7	2 7.4	2 7.4	2 7.4	1 3.7	3 11.1
	65歳以上	2 100.0	1 50.0	- -	- -	- -	- -	- -
精神 障 害	40歳未満	30 100.0	21 70.0	8 26.7	7 23.3	2 6.7	1 3.3	5 16.7
	40～64歳	40 100.0	28 70.0	12 30.0	14 35.0	2 5.0	3 7.5	5 12.5
	65歳以上	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -

		職 場 の 人 間 関 係	職 場 が で い の な 相 い 談 相 手	職 場 不 足 の し 障 害 理 解 が	対 職 場 環 境 が い な い 害 に	そ の 他	特 に な い	無 回 答
	全体	48 16.8	26 9.1	24 8.4	15 5.3	6 2.1	83 29.1	12 4.2
身体 障 害	40歳未満	2 13.3	2 13.3	2 13.3	1 6.7	- -	4 26.7	- -
	40～64歳	5 7.5	6 9.0	8 11.9	5 7.5	- -	27 40.3	3 4.5
	65歳以上	2 3.7	- -	1 1.9	- -	1 1.9	24 44.4	6 11.1
知 的 障 害	40歳未満	15 23.8	10 15.9	7 11.1	5 7.9	1 1.6	12 19.0	1 1.6
	40～64歳	7 25.9	4 14.8	3 11.1	2 7.4	- -	8 29.6	- -
	65歳以上	- -	- -	- -	- -	1 50.0	1 50.0	- -
精神 障 害	40歳未満	8 26.7	4 13.3	2 6.7	1 3.3	3 10.0	5 16.7	- -
	40～64歳	11 27.5	1 2.5	2 5.0	1 2.5	- -	4 10.0	3 7.5
	65歳以上	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -

※身体障害の40歳未満、知的障害の40～64歳、65歳以上、精神障害の65歳以上は回答者数が少ないため、参考値となります。

問23 仕事を見つけるうえで支援を受けた人や機関

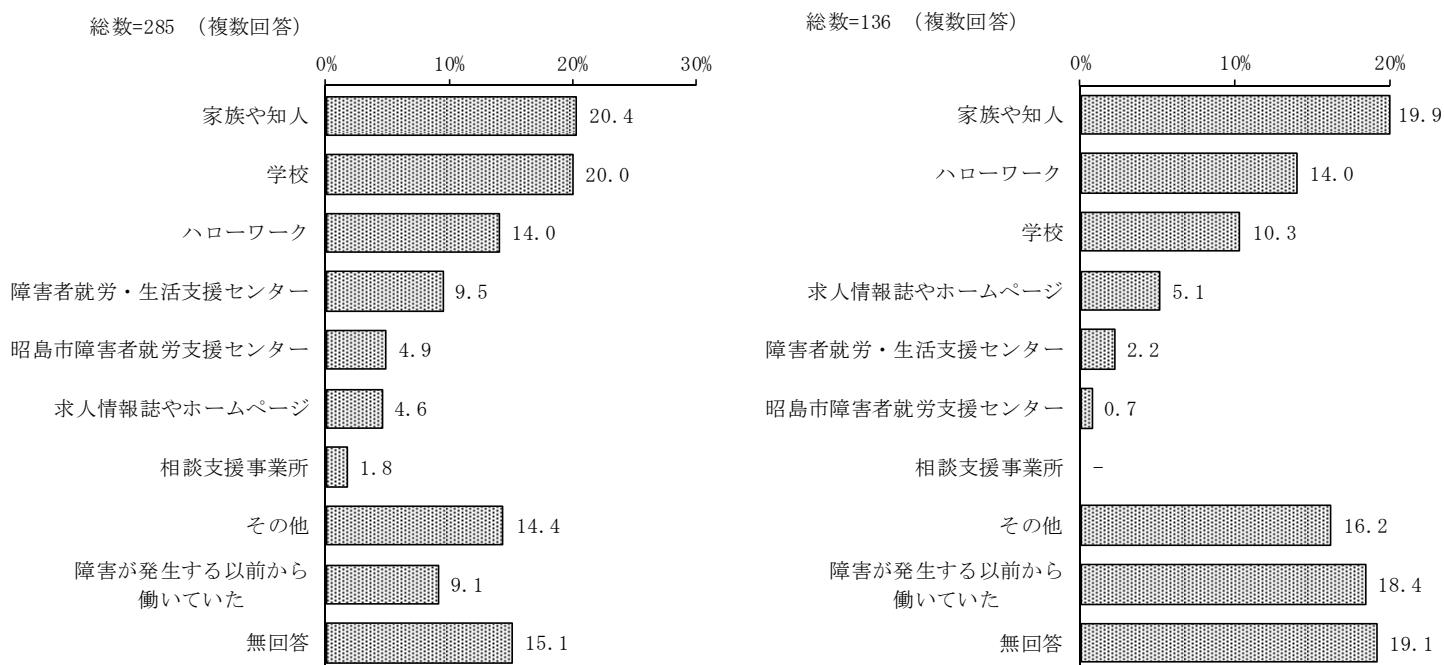
問21で「働いている（1～4）」と回答した方にお聞きします。どのような人や機関の支援を受けて仕事を見つけましたか。（○はいくつでも）

全体では、「家族や知人」が最も多く、20.4%となっています。次いで、「学校」が20.0%、「ハローワーク」が14.0%と続いています。

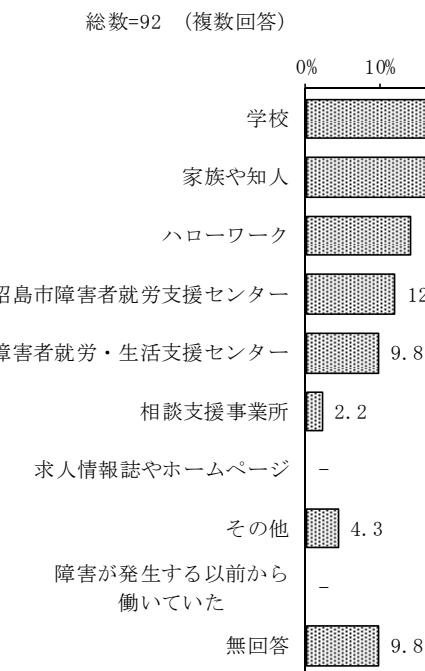
障害別にみると、身体障害では「家族や知人」(19.9%)が最も多く、知的障害では「学校」(46.7%)が最も多く、精神障害では「障害者就労・生活支援センター」(23.9%)が最も多くなっています。

【全体】

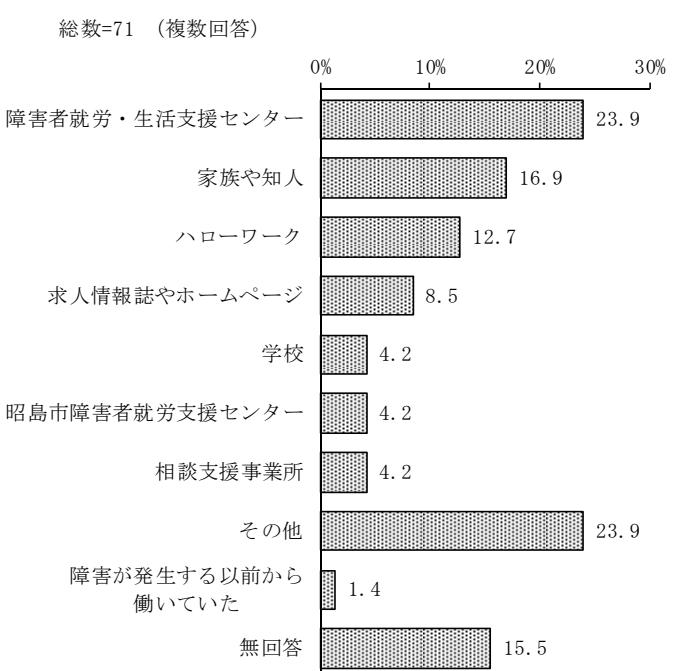
【身体障害】



【知的障害】



【精神障害】



障害ごとに年齢による違いをみると、身体障害では 40～64 歳で「障害が発生する以前から働いていた」(22.4%) が最も多くなっています。精神障害では 40 歳未満で「家族や知人」(23.3%) が最も多くなっています。

●仕事を見つけるうえで支援を受けた人や機関（年齢別）

		全 体	家 族 や 知 人	学 校	ハ ロ ー ワ ー ク	求 人 ム レ ー ジ や ホ ー	障 害 支 援 者 セ 就 ン 労 タ ー ・ ・ 生 活	昭 島 市 支 援 セ 障 害 ン 労 タ ー ・ ・ 就 労	相 談 支 援 事 業 所	そ の 他	前 障 か ら が 働 い 発 生 す て す い る た 以	無 回 答
全体		285	58	57	40	13	27	14	5	41	26	43
身体 障 害	40歳未満	15	2	6	2	1	2	1	—	2	—	2
	40～64歳	67	13	7	14	4	1	—	—	9	15	7
	65歳以上	54	12	1	3	2	—	—	—	13.4	22.4	10.4
知 的 障 害	40歳未満	63	17	39	8	—	4	5	—	2	—	5
	40～64歳	27	5	4	5	—	6.3	7.9	—	3.2	—	7.9
	65歳以上	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
精神 障 害	40歳未満	30	7	3	6	4	5	1	1	6	—	3
	40～64歳	40	5	—	3	2	11	2	2	11	1	8
	65歳以上	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—

*身体障害の 40 歳未満、知的障害の 40～64 歳、65 歳以上、精神障害の 65 歳以上は回答者数が少ないとみます。

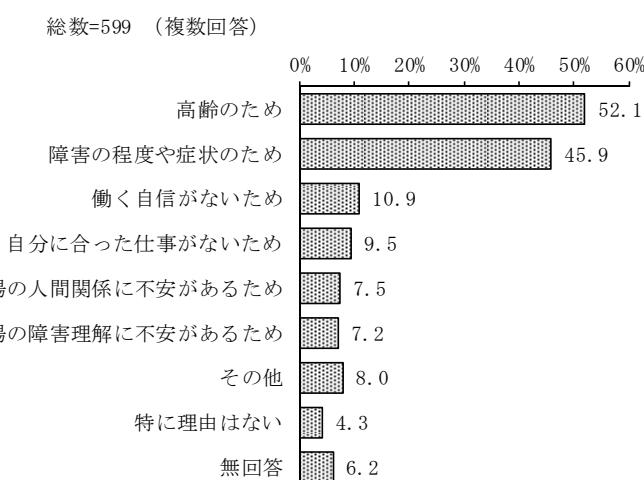
問24 働いていない理由

問21で「働いていない（5・6）」と回答した方にお聞きします。あなたが働いていない理由は何ですか。（○はいくつでも）

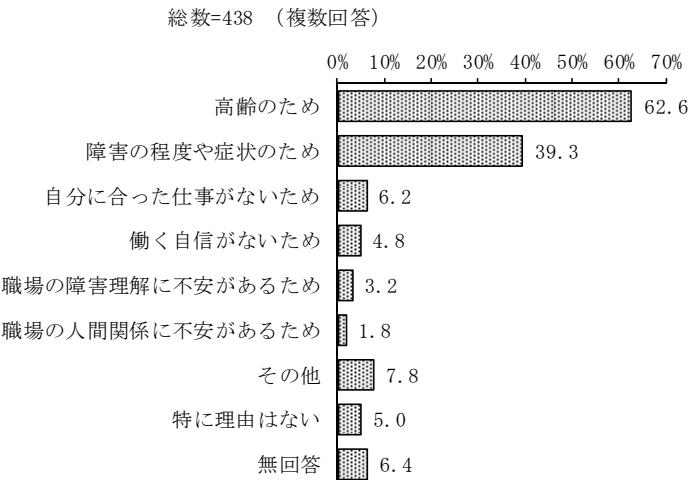
全体では、「高齢のため」が最も多く、52.1%となっています。次いで、「障害の程度や症状のため」が45.9%、「働く自信がないため」が10.9%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「高齢のため」(62.6%)が最も多く、知的障害と精神障害では「障害の程度や症状のため」(知的障害 56.6%、精神障害 71.3%)が最も多くいます。また、精神障害では「働く自信がないため」(34.8%)、「職場の人間関係に不安があるため」(26.1%)が他の障害に比べて多くなっています。

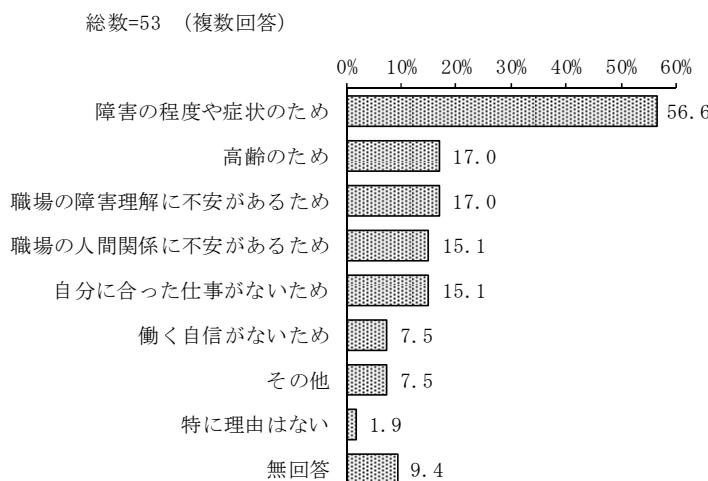
【全体】



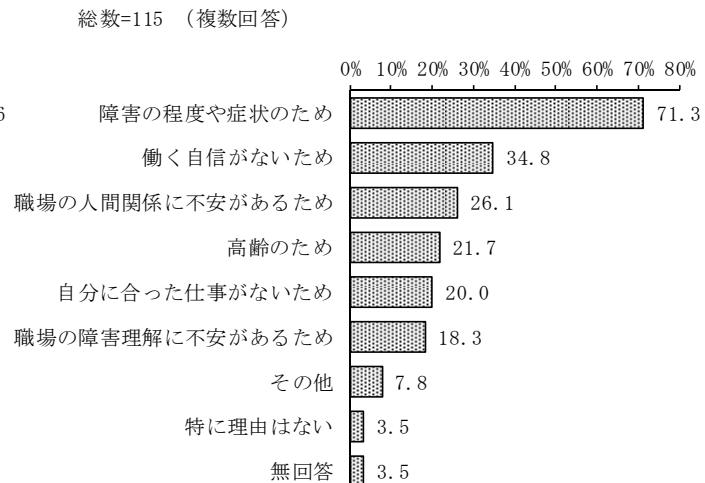
【身体障害】



【知的障害】



【精神障害】



障害ごとに年齢による違いをみると、身体障害では 40～64 歳で「障害の程度や症状のため」(50.6%) が最も多く、65 歳以上では「高齢のため」(76.4%) が最も多くなっています。また、40～64 歳で「自分に合った仕事がないため」(18.5%) が 65 歳以上に比べて多くなっています。

●働いていない理由（年齢別）

		全 体	障 害 の 程 度 や 症 状	高 齢 の た め	不 安 が あ る た め	職 場 の 人 間 関 係 に	不 職 場 の が あ る た め	職 場 の が 障 害 理 解 に	自 分 が な い た め	自 分 が な い た め	働 く 自 身 が な い た	そ の 他	特 に 理 由 は な い	無 回 答
全体		599 100.0	275 45.9	312 52.1	45 7.5	43 7.2	57 9.5	65 10.9	48 8.0	26 4.3	37 6.2			
身体 障 害	40歳未満	14 100.0	11 78.6	—	1 7.1	1 7.1	— —	— 7.1	1 21.4	3 —	2 —			14.3
	40～64歳	81 100.0	41 50.6	12 14.8	4 4.9	9 11.1	15 18.5	11 13.6	11 17.3	14 8.6	7 4.9			
	65歳以上	343 100.0	120 35.0	262 76.4	3 0.9	4 1.2	12 3.5	9 2.6	17 5.0	15 4.4	22 6.4			
知 的 障 害	40歳未満	26 100.0	17 65.4	— —	4 15.4	5 19.2	4 15.4	4 7.7	2 7.7	1 3.8	2 7.7			7.7
	40～64歳	21 100.0	10 47.6	5 23.8	4 19.0	4 19.0	4 19.0	2 9.5	2 9.5	— —	— —			9.5
	65歳以上	6 100.0	3 50.0	4 66.7	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —		16.7
精神 障 害	40歳未満	23 100.0	18 78.3	— —	7 30.4	6 26.1	1 4.3	9 39.1	2 8.7	1 4.3	— —			
	40～64歳	72 100.0	55 76.4	12 16.7	21 29.2	15 20.8	20 27.8	26 36.1	7 9.7	2 2.8	2 2.8			
	65歳以上	20 100.0	9 45.0	13 65.0	2 10.0	— —	2 10.0	5 25.0	— —	1 5.0	1 5.0			10.0

※身体障害の 40 歳未満、知的障害の 40 歳未満、40～64 歳、65 歳以上、精神障害の 40 歳未満、65 歳以上は回答者数が少ないため、参考値となります。

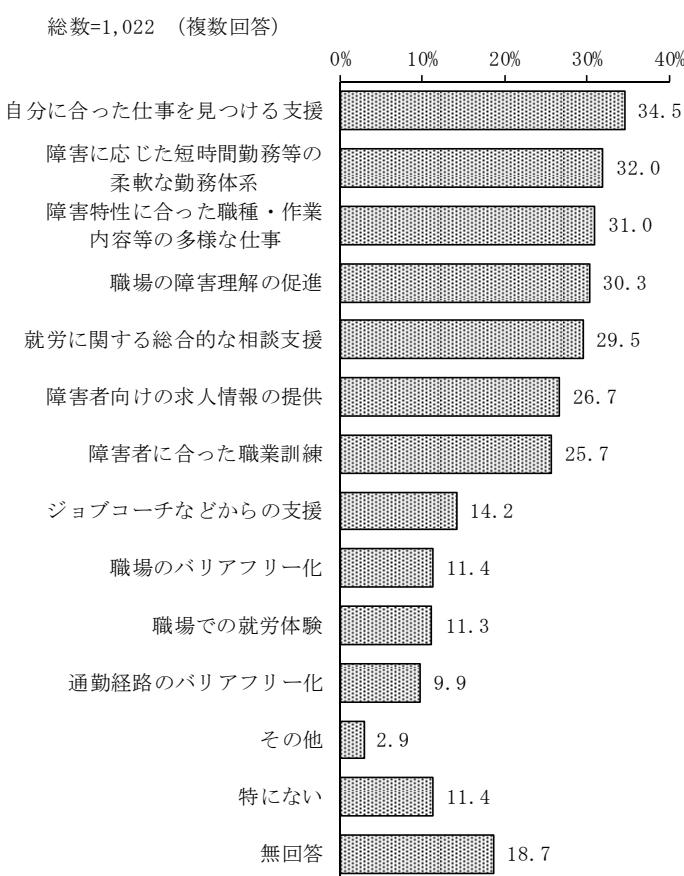
問25 働くために必要な支援

障害者が働くためにはどのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

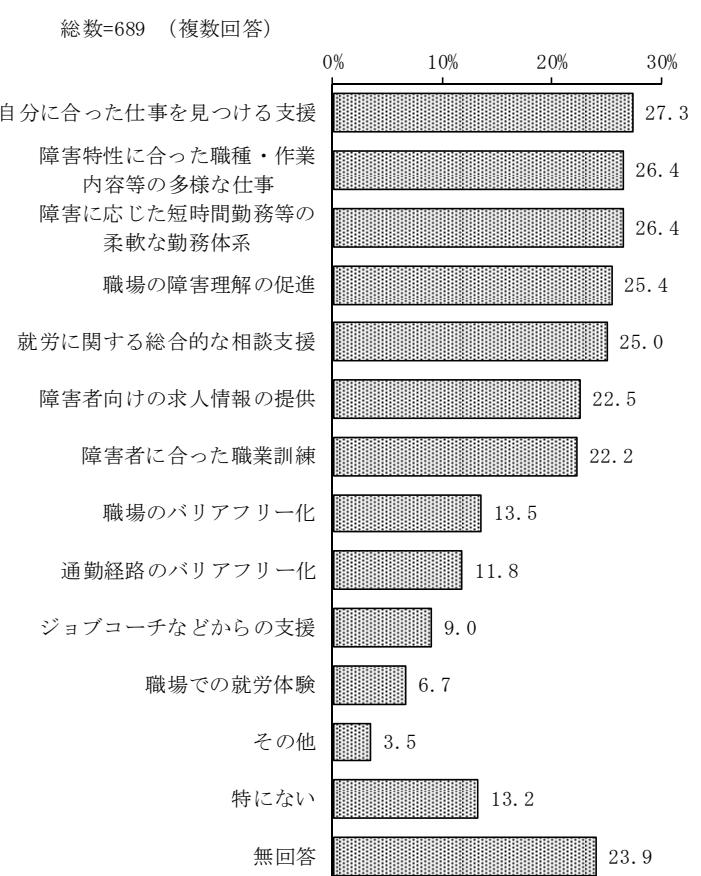
全体では、「自分に合った仕事を見つける支援」が最も多く、34.5%となっています。次いで、「障害に応じた短時間勤務等の柔軟な勤務体系」が32.0%、「障害特性に合った職種・作業内容等の多様な仕事」が31.0%、「職場の障害理解の促進」が30.3%と続いています。

障害別にみると、身体障害と知的障害では「自分に合った仕事を見つける支援」(身体障害 27.3%、知的障害 49.1%) が最も多く、精神障害では「障害に応じた短時間勤務等の柔軟な勤務体系」(52.6%) が最も多くなっています。また、精神障害では「障害者向けの求人情報の提供」(39.8%) が他の障害に比べて多くなっています。

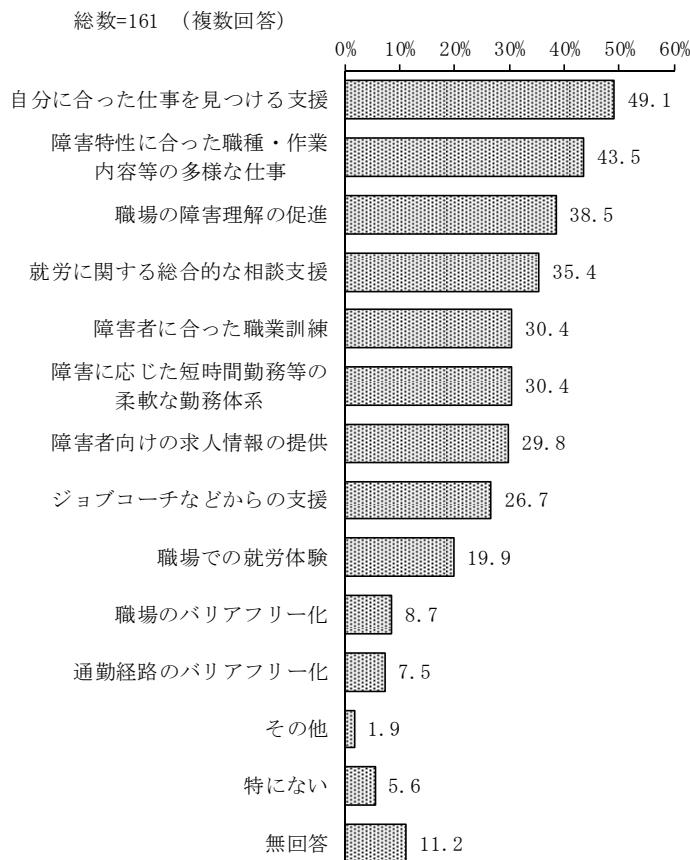
【全体】



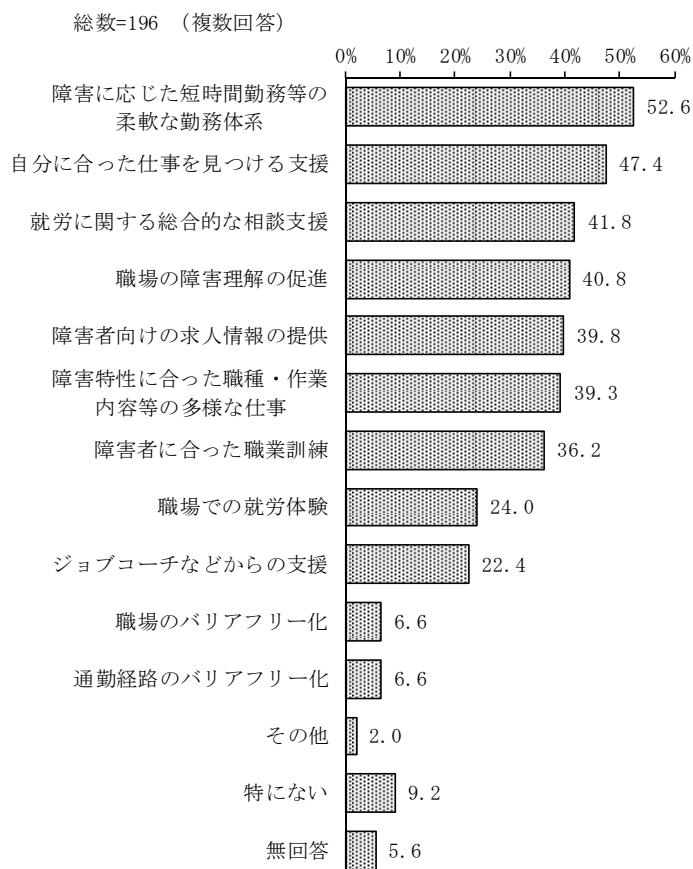
【身体障害】



【知的障害】



【精神障害】



障害ごとに性別による違いをみると、身体障害では男で「就労に関する総合的な相談支援」(29.7%)が最も多く、女で「障害特性に合った職種・作業内容等の多様な仕事」(28.0%)と「障害に応じた短時間勤務等の柔軟な勤務体系」(28.0%)が最も多くなっています。知的障害では男で「障害特性に合った職種・作業内容等の多様な仕事」(51.1%)、「職場の障害理解の促進」(44.3%)が女に比べて多くなっています。精神障害では男で「自分に合った仕事を見つける支援」(49.5%)が最も多く、女で「障害に応じた短時間勤務等の柔軟な勤務体系」(57.3%)が最も多くなっています。

●働くために必要な支援（性別）

		全 体	就 労 な い 相 談 す る 援 合	障 害 者 に 合 つ た 職	職 場 で の 就 労 体 驗	自 分 を 見 つ け る 支 援	障 害 者 向 け の 提 供	職 障 の 種 多 ・ 特 殊 な 業 に 仕 内 合 事 容 つ 等 た	間 障 勤 害 勤 務 に 務 等 応 体 の じ 系 柔 た 軟 短 な 時
全体		1,022 100.0	302 29.5	263 25.7	115 11.3	353 34.5	273 26.7	317 31.0	327 32.0
身体 障 害	男	317 100.0	94 29.7	71 22.4	21 6.6	90 28.4	83 26.2	79 24.9	78 24.6
	女	368 100.0	77 20.9	81 22.0	25 6.8	97 26.4	72 19.6	103 28.0	103 28.0
知 的 障 害	男	88 100.0	33 37.5	27 30.7	16 18.2	46 52.3	28 31.8	45 51.1	29 33.0
	女	73 100.0	24 32.9	22 30.1	16 21.9	33 45.2	20 27.4	25 34.2	20 27.4
精神 障 害	男	107 100.0	43 40.2	36 33.6	26 24.3	53 49.5	40 37.4	38 35.5	52 48.6
	女	89 100.0	39 43.8	35 39.3	21 23.6	40 44.9	38 42.7	39 43.8	51 57.3

		職 場 の 促 進 障 害 理 解 の	ジ ヨ か ブ ら コ ー チ の 支 援 な ど	職 場 の リ バ リ ア フ	通 勤 フ リ ル の 化 バ リ ア	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体		310 30.3	145 14.2	116 11.4	101 9.9	30 2.9	116 11.4	191 18.7
身体 障 害	男	77 24.3	25 7.9	36 11.4	35 11.0	11 3.5	41 12.9	60 18.9
	女	98 26.6	37 10.1	56 15.2	45 12.2	12 3.3	49 13.3	105 28.5
知 的 障 害	男	39 44.3	23 26.1	4 4.5	3 3.4	2 2.3	2 2.3	7 8.0
	女	23 31.5	20 27.4	10 13.7	9 12.3	1 1.4	7 9.6	11 15.1
精神 障 害	男	43 40.2	24 22.4	6 5.6	5 4.7	3 2.8	14 13.1	3 2.8
	女	37 41.6	20 22.5	7 7.9	8 9.0	1 1.1	4 4.5	8 9.0

障害ごとに年齢による違いをみると、身体障害では40歳未満で「障害特性に合った職種・作業内容等の多様な仕事」(51.6%)が最も多く、40~64歳で「障害に応じた短時間勤務等の柔軟な勤務体系」(37.7%)、「職場の障害理解の促進」(37.7%)が最も多くなっています。知的障害では40歳未満で「自分に合った仕事を見つける支援」(56.3%)、「障害特性に合った職種・作業内容等の多様な仕事」(51.0%)、「職場の障害理解の促進」(50.0%)、「就労に関する総合的な相談支援」(41.7%)、「ジョブコーチなどからの支援」(36.5%)、「障害に応じた短時間勤務等の柔軟な勤務体系」(35.4%)、「職場での就労体験」(25.0%)が40~64歳に比べて多くなっています。精神障害では40歳未満で「職場での就労体験」(35.2%)が40~64歳に比べて多くなっています。

●働くために必要な支援（年齢別）

		全 体	就 労 的 な に 相 談 す る 援 合 組	障 害 者 に 合 っ た 職 業 訓 練	職 場 で の 就 労 体 驗	自 分 に 見 つ け た 仕 事	障 害 情 報 の 提 供	職 障 の 種 多 様 な 業 に 仕 内 合 事 容 つ 等 た	間 勤 害 勤 務 に 応 体 柔 短 な 時
	全体	1,022 100.0	302 29.5	263 25.7	115 11.3	353 34.5	273 26.7	317 31.0	327 32.0
身体 障 害	40歳未満	31 100.0	11 35.5	9 29.0	6 19.4	12 38.7	13 41.9	16 51.6	14 45.2
	40~64歳	154 100.0	46 29.9	41 26.6	18 11.7	57 37.0	52 33.8	55 35.7	58 37.7
	65歳以上	504 100.0	115 22.8	103 20.4	22 4.4	119 23.6	90 17.9	111 22.0	110 21.8
知 的 障 害	40歳未満	96 100.0	40 41.7	33 34.4	24 25.0	54 56.3	38 39.6	49 51.0	34 35.4
	40~64歳	55 100.0	16 29.1	15 27.3	8 14.5	22 40.0	8 14.5	19 34.5	14 25.5
	65歳以上	10 100.0	1 10.0	1 10.0	- -	3 30.0	2 20.0	2 20.0	1 10.0
精神 障 害	40歳未満	54 100.0	24 44.4	19 35.2	19 35.2	29 53.7	22 40.7	25 46.3	33 61.1
	40~64歳	118 100.0	52 44.1	47 39.8	26 22.0	59 50.0	52 44.1	47 39.8	64 54.2
	65歳以上	24 100.0	6 25.0	5 20.8	2 8.3	5 20.8	4 16.7	5 20.8	6 25.0

		職 場 の 促 進 障 害 理 解 の	ジ ョ ブ か ら の 一 チ 援 だ ど	職 場 の リ バ リ ア フ	通 勤 フ リ ー 化 バ リ ア	そ の 他	特 に な い	無 回 答
	全体	310 30.3	145 14.2	116 11.4	101 9.9	30 2.9	116 11.4	191 18.7
身体 障 害	40歳未満	13 41.9	4 12.9	6 19.4	8 25.8	2 6.5	1 3.2	4 12.9
	40~64歳	58 37.7	23 14.9	34 22.1	29 18.8	9 5.8	9 5.8	15 9.7
	65歳以上	104 20.6	35 6.9	53 10.5	44 8.7	13 2.6	81 16.1	146 29.0
知 的 障 害	40歳未満	48 50.0	35 36.5	9 9.4	7 7.3	1 1.0	5 5.2	5 5.2
	40~64歳	11 20.0	7 12.7	5 9.1	5 9.1	1 1.8	2 3.6	10 18.2
	65歳以上	3 30.0	1 10.0	- -	- -	1 10.0	2 20.0	3 30.0
精神 障 害	40歳未満	25 46.3	12 22.2	4 7.4	4 7.4	2 3.7	3 5.6	- -
	40~64歳	50 42.4	29 24.6	8 6.8	7 5.9	1 0.8	10 8.5	4 3.4
	65歳以上	5 20.8	3 12.5	1 4.2	2 8.3	1 4.2	5 20.8	7 29.2

※知的障害の65歳以上、精神障害の65歳以上は回答者数が少ないと参考値となります。

問26 日常生活の楽しみ方

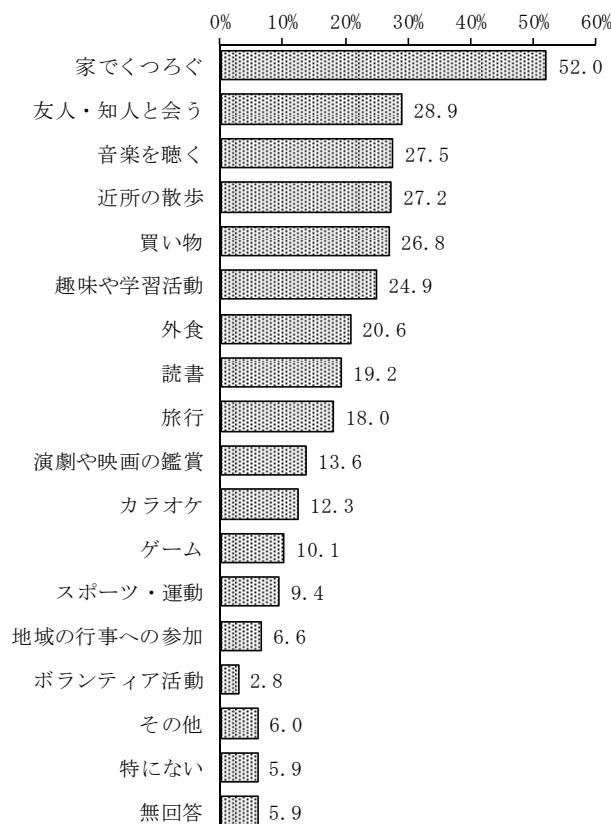
あなたの日常生活の楽しみ方についてお聞きします。(○はいくつでも)

全体では、「家でくつろぐ」が最も多く、52.0%となっています。次いで、「友人・知人と会う」が28.9%、「音楽を聴く」が27.5%、「近所の散歩」が27.2%、「買い物」が26.8%と続いています。

障害別にみると、知的障害では「ゲーム」(29.2%)が、精神障害では「音楽を聴く」(49.5%)が他の障害に比べて多くなっています。

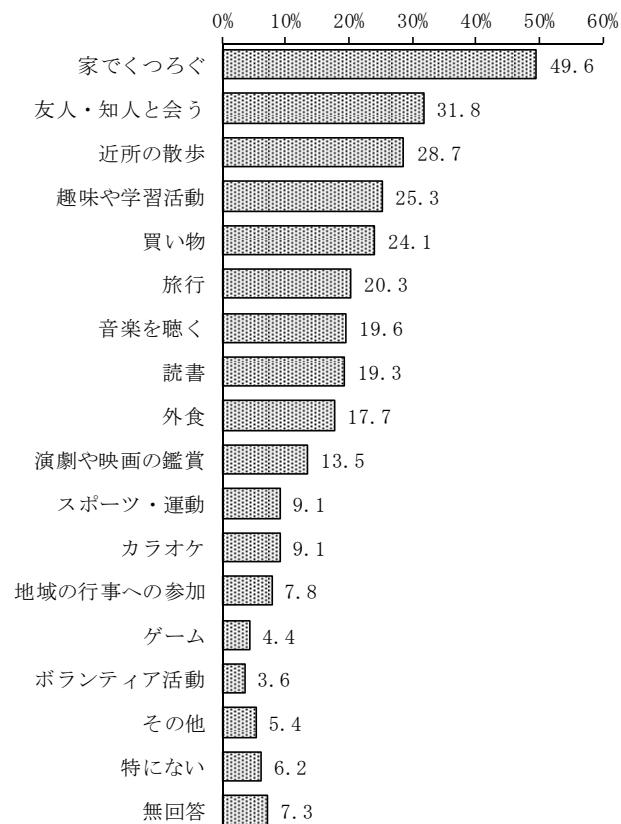
【全体】

総数=1,022 (複数回答)



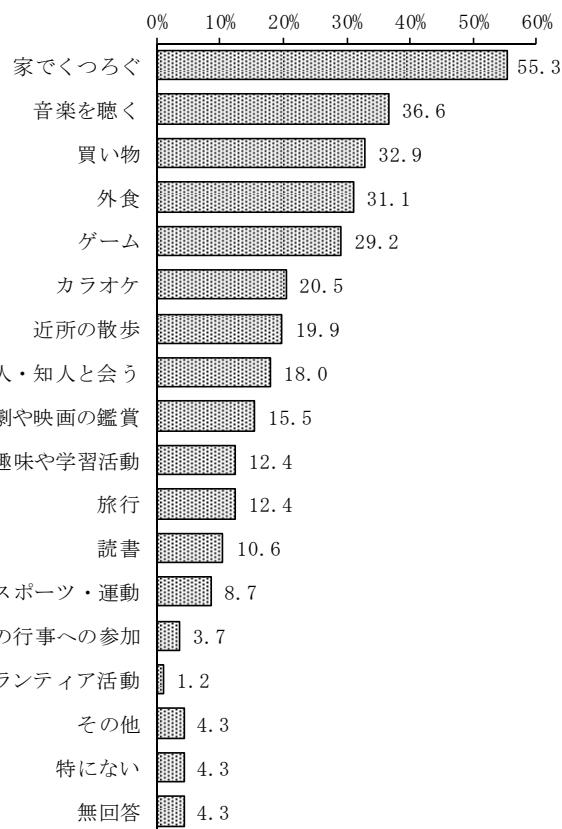
【身体障害】

総数=689 (複数回答)



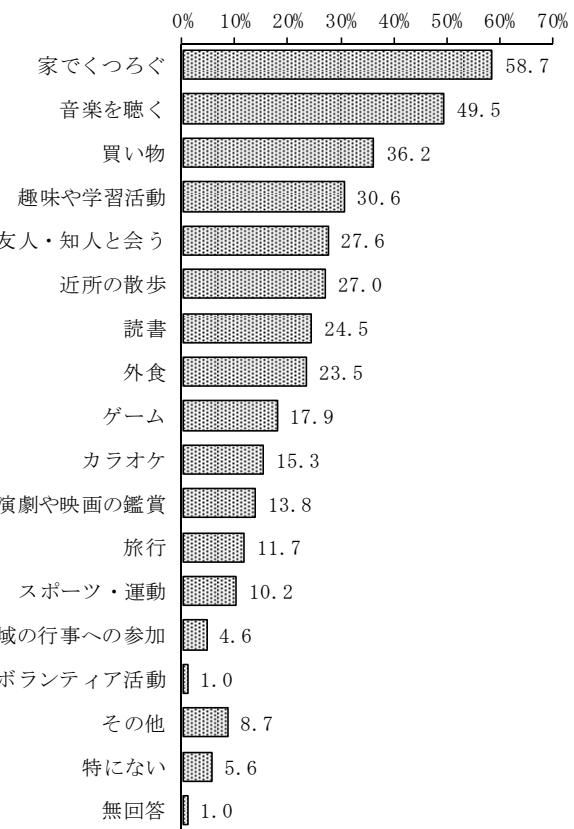
【知的障害】

総数=161 (複数回答)



【精神障害】

総数=196 (複数回答)



障害ごとに性別による違いをみると、身体障害では女で「友人・知人と会う」(38.0%)が男に比べて多くなっています。精神障害では男で「趣味や学習活動」(35.5%)、「ゲーム」(24.3%)が女に比べて多く、女で「買い物」(46.1%)が男に比べて多くなっています。

●日常生活の楽しみ方（性別）

		全体	趣味や学習活動	スポーツ・運動	ボランティア活動	友人・知人と会う	演劇や映画の鑑賞	買い物	外食	読書	音楽を聴く
全体		1,022 100.0	254 24.9	96 9.4	29 2.8	295 28.9	139 13.6	274 26.8	211 20.6	196 19.2	281 27.5
身体障害	男	317 100.0	86 27.1	35 11.0	10 3.2	78 24.6	39 12.3	62 19.6	44 13.9	63 19.9	56 17.7
	女	368 100.0	85 23.1	27 7.3	13 3.5	140 38.0	54 14.7	104 28.3	78 21.2	70 19.0	78 21.2
知的障害	男	88 100.0	10 11.4	10 11.4	1 1.1	17 19.3	13 14.8	30 34.1	29 33.0	8 9.1	32 36.4
	女	73 100.0	10 13.7	4 5.5	1 1.4	12 16.4	12 16.4	23 31.5	21 28.8	9 12.3	27 37.0
精神障害	男	107 100.0	38 35.5	10 9.3	- -	26 24.3	14 13.1	30 28.0	20 18.7	28 26.2	52 48.6
	女	89 100.0	22 24.7	10 11.2	2 2.2	28 31.5	13 14.6	41 46.1	26 29.2	20 22.5	45 50.6

		カラオケ	ゲーム	旅行	家でくつろぐ	地域の行事への参加	近所の散歩	その他	特にない	無回答
全体		126 12.3	103 10.1	184 18.0	531 52.0	67 6.6	278 27.2	61 6.0	60 5.9	60 5.9
身体障害	男	29 9.1	18 5.7	61 19.2	160 50.5	28 8.8	105 33.1	15 4.7	24 7.6	20 6.3
	女	34 9.2	12 3.3	76 20.7	182 49.5	26 7.1	93 25.3	22 6.0	19 5.2	30 8.2
知的障害	男	19 21.6	28 31.8	12 13.6	50 56.8	4 4.5	17 19.3	3 3.4	2 2.3	5 5.7
	女	14 19.2	19 26.0	8 11.0	39 53.4	2 2.7	15 20.5	4 5.5	5 6.8	2 2.7
精神障害	男	14 13.1	26 24.3	9 8.4	58 54.2	5 4.7	31 29.0	9 8.4	5 4.7	1 0.9
	女	16 18.0	9 10.1	14 15.7	57 64.0	4 4.5	22 24.7	8 9.0	6 6.7	1 1.1

障害ごとに年齢による違いをみると、身体障害では40歳未満で「家でくつろぐ」(45.2%)のほか、「音楽を聴く」(45.2%)も最も多くなっているほか、「スポーツ・運動」(22.6%)、「演劇や映画の鑑賞」(32.3%)、「ゲーム」(29.0%)が他の年齢に比べて多くなっています。また、40~64歳では「友人・知人と会う」(40.3%)が、65歳以上では「近所の散歩」(31.9%)が他の年齢に比べて多くなっています。知的障害では40歳未満で「音楽を聴く」(46.9%)、「ゲーム」(45.8%)、「外食」(36.5%)、「カラオケ」(29.2%)、「友人・知人と会う」(25.0%)、「演劇や映画の鑑賞」(20.8%)、「趣味や学習活動」(15.6%)、「旅行」(15.6%)が40~64歳に比べて多くなっています。精神障害では「音楽を聴く」(63.0%)、「ゲーム」(46.3%)、「趣味や学習活動」(42.6%)、「カラオケ」(27.8%)が40~64歳に比べて多くなっています。

●日常生活の楽しみ方（年齢別）

		全 体	趣 味 や 学 習 活 動	ス ポ ト ・ 運 動	ボ ラン ティ ア 活 動	友 人 ・ 知 人 と 会 う	演 劇 や 映 画 の 鑑 賞	買 い 物	外 食	読 書	音 楽 を 聴 く
全体		1,022 100.0	254 24.9	96 9.4	29 2.8	295 28.9	139 13.6	274 26.8	211 20.6	196 19.2	281 27.5
身体 障 害	40歳未満	31 100.0	9 29.0	7 22.6	-	9 29.0	10 32.3	11 35.5	8 25.8	5 16.1	14 45.2
	40~64歳	154 100.0	45 29.2	16 10.4	5 3.2	62 40.3	32 20.8	51 33.1	37 24.0	28 18.2	39 25.3
	65歳以上	504 100.0	120 23.8	40 7.9	20 4.0	148 29.4	51 10.1	104 20.6	77 15.3	100 19.8	82 16.3
知 的 障 害	40歳未満	96 100.0	15 15.6	9 9.4	-	24 25.0	20 20.8	36 37.5	35 36.5	9 9.4	45 46.9
	40~64歳	55 100.0	2 3.6	3 5.5	1 1.8	3 5.5	5 9.1	16 29.1	14 25.5	7 12.7	14 25.5
	65歳以上	10 100.0	3 30.0	2 20.0	1 10.0	2 20.0	- -	1 10.0	1 10.0	1 10.0	- -
精神 障 害	40歳未満	54 100.0	23 42.6	7 13.0	1 1.9	18 33.3	6 11.1	23 42.6	15 27.8	17 31.5	34 63.0
	40~64歳	118 100.0	36 30.5	12 10.2	1 0.8	31 26.3	19 16.1	39 33.1	27 22.9	30 25.4	58 49.2
	65歳以上	24 100.0	1 4.2	1 4.2	-	5 20.8	2 8.3	9 37.5	4 16.7	1 4.2	5 20.8

		カラ オ ケ	ゲ ー ム	旅 行	家 で く つ ろ ぐ	地 域 の 行 事 へ の 参 加	近 所 の 散 歩	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体		126 12.3	103 10.1	184 18.0	531 52.0	67 6.6	278 27.2	61 6.0	60 5.9	60 5.9
身体 障 害	40歳未満	5 16.1	9 29.0	5 16.1	14 45.2	-	5 16.1	2 6.5	- -	1 3.2
	40~64歳	14 9.1	11 7.1	35 22.7	84 54.5	8 5.2	32 20.8	9 5.8	10 6.5	3 1.9
	65歳以上	44 8.7	10 2.0	100 19.8	244 48.4	46 9.1	161 31.9	26 5.2	33 6.5	46 9.1
知 的 障 害	40歳未満	28 29.2	44 45.8	15 15.6	57 59.4	3 3.1	15 15.6	5 5.2	1 1.0	4 4.2
	40~64歳	4 7.3	3 5.5	3 5.5	26 47.3	2 3.6	13 23.6	1 1.8	6 10.9	2 3.6
	65歳以上	1 10.0	- -	2 20.0	6 60.0	1 10.0	4 40.0	1 10.0	- -	1 10.0
精神 障 害	40歳未満	15 27.8	25 46.3	7 13.0	35 64.8	- -	14 25.9	4 7.4	1 1.9	- -
	40~64歳	13 11.0	10 8.5	14 11.9	70 59.3	9 7.6	32 27.1	11 9.3	7 5.9	1 0.8
	65歳以上	2 8.3	- -	2 8.3	10 41.7	- -	7 29.2	2 8.3	3 12.5	1 4.2

※知的障害の65歳以上、精神障害の65歳以上は回答者数が少ないため、参考値となります。

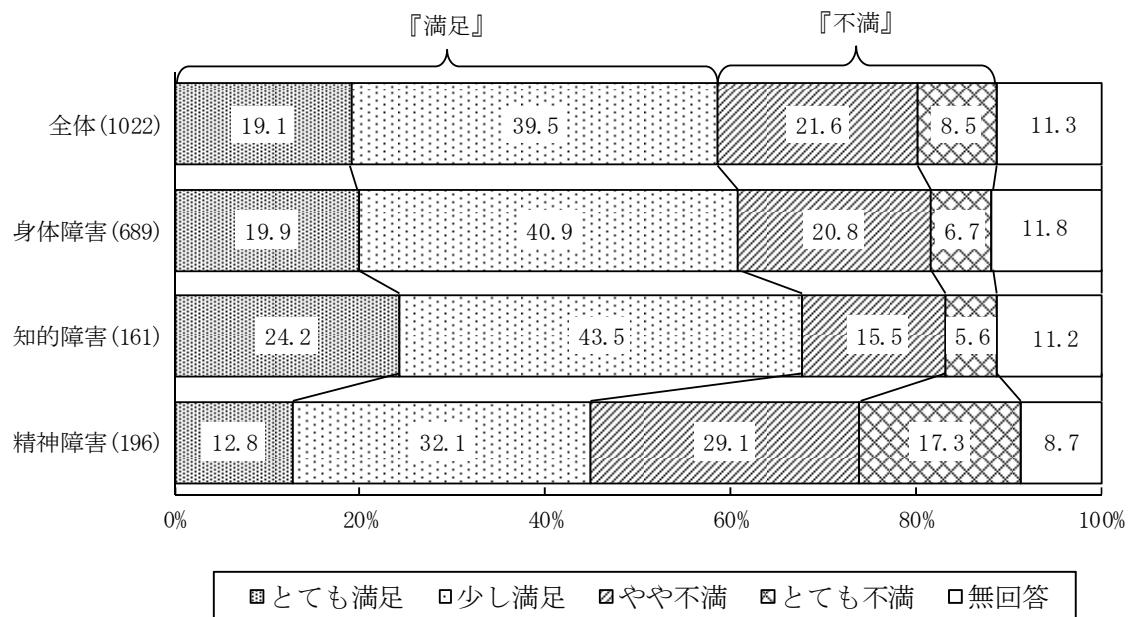
問27 今の生活の満足度

あなたは、今の生活に満足していますか。(○はひとつ)

ここでは「とても満足」と「少し満足」を合わせた割合を『満足』、「とても不満」と「やや不満」を合わせた割合を『不満』として計上しています。

全体では、『満足』が58.6%、『不満』が30.1%となっています。

障害別にみると、精神障害では『満足』が44.9%と他の障害に比べて少なくなっています。



障害ごとに性別による違いをみると、精神障害では男で『満足』(40.2%) が女に比べて少なくなっています。

●今の生活の満足度（性別）

		全 体	『満足』		『不満』		無 回 答
			と て も 満 足	少 し 満 足	や や 不 満	と て も 不 満	
	全体	1,022 100.0	195 19.1	404 39.5	221 21.6	87 8.5	115 11.3
身体 障 害	男	317 100.0	62 19.6	126 39.7	76 24.0	23 7.3	30 9.5
	女	368 100.0	75 20.4	154 41.8	65 17.7	23 6.3	51 13.9
知 的 障 害	男	88 100.0	20 22.7	38 43.2	15 17.0	6 6.8	9 10.2
	女	73 100.0	19 26.0	32 43.8	10 13.7	3 4.1	9 12.3
精 神 障 害	男	107 100.0	11 10.3	32 29.9	34 31.8	20 18.7	10 9.3
	女	89 100.0	14 15.7	31 34.8	23 25.8	14 15.7	7 7.9

障害ごとに年齢による違いをみると、精神障害では 40～64 歳で『満足』(41.5%) が 40 歳未満に比べて少なくなっています。

●今の生活の満足度（年齢別）

		全 体	『満足』		『不満』		無 回 答
			と て も 満 足	少 し 満 足	や や 不 満	と て も 不 満	
	全体	1,022 100.0	195 19.1	404 39.5	221 21.6	87 8.5	115 11.3
身体 障 害	40歳未満	31 100.0	5 16.1	17 54.8	5 16.1	3 9.7	1 3.2
	40～64歳	154 100.0	26 16.9	58 37.7	46 29.9	11 7.1	13 8.4
	65歳以上	504 100.0	106 21.0	207 41.1	92 18.3	32 6.3	67 13.3
知 的 障 害	40歳未満	96 100.0	21 21.9	44 45.8	18 18.8	5 5.2	8 8.3
	40～64歳	55 100.0	16 29.1	22 40.0	4 7.3	4 7.3	9 16.4
	65歳以上	10 100.0	2 20.0	4 40.0	3 30.0	- -	1 10.0
精 神 障 害	40歳未満	54 100.0	7 13.0	22 40.7	16 29.6	6 11.1	3 5.6
	40～64歳	118 100.0	13 11.0	36 30.5	34 28.8	23 19.5	12 10.2
	65歳以上	24 100.0	5 20.8	5 20.8	7 29.2	5 20.8	2 8.3

※知的障害の 65 歳以上、精神障害の 65 歳以上は回答者数が少ないため、参考値となります。

問28 満足の理由

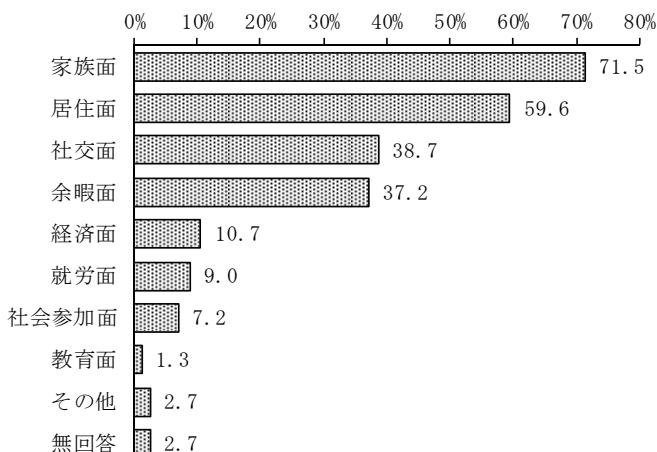
問27で「1 とても満足」、「2 少し満足」と回答した方にお聞きします。どのようなところに満足していますか。(○はいくつでも)

全体では、「家族面（家族との関係が良好である）」が最も多く、71.5%となっています。次いで、「居住面（住んでいる家や部屋が気に入っている）」が59.6%、「社交面（友人と楽しくつきあえている）」が38.7%、「余暇面（余暇や趣味を楽しんでいる）」が37.2%と続いています。

障害別にみると、身体障害と知的障害では「家族面（家族との関係が良好である）」（身体障害74.0%、知的障害76.1%）が最も多く、精神障害では「居住面（住んでいる家や部屋が気に入っている）」（62.5%）が最も多くなっています。また、身体障害では「社交面（友人と楽しくつきあえている）」（44.2%）が他の障害に比べて多くなっています。

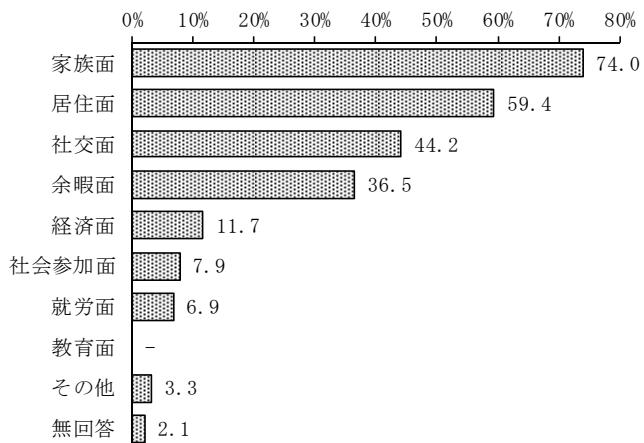
【全体】

総数=599 (複数回答)



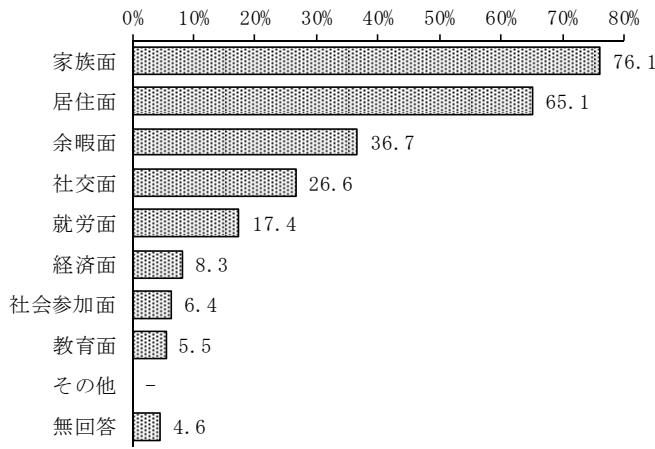
【身体障害】

総数=419 (複数回答)



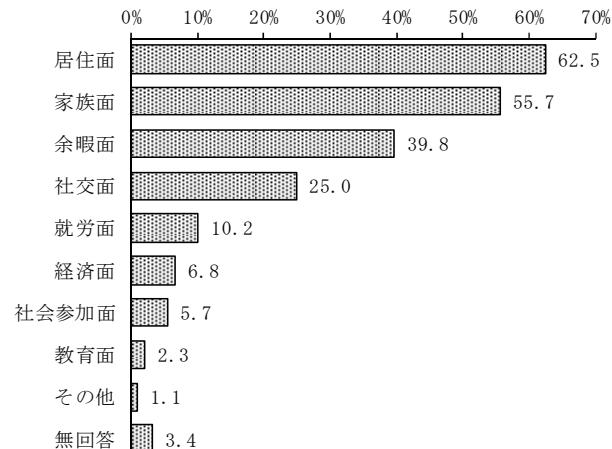
【知的障害】

総数=109 (複数回答)



【精神障害】

総数=88 (複数回答)



障害ごとに性別による違いをみると、知的障害では男で「就労面（仕事が充実している）」(22.4%)が女に比べて多くなっています。精神障害では男で「居住面（住んでいる家や部屋が気に入っている）」(69.8%)が女に比べて多く、女で「家族面（家族との関係に問題がある）」(64.4%)が最も多くなっています。

●満足の理由（性別）

		全体	居住面	家族面	社交面	余暇面	社会参加面	経済面	就労面	教育面	その他	無回答
身体障害	全体	599 100.0	357 59.6	428 71.5	232 38.7	223 37.2	43 7.2	64 10.7	54 9.0	8 1.3	16 2.7	16 2.7
	男	188 100.0	116 61.7	148 78.7	74 39.4	75 39.9	18 9.6	18 9.6	15 8.0	- -	6 3.2	3 1.6
知的障害	女	229 100.0	131 57.2	161 70.3	110 48.0	78 34.1	14 6.1	31 13.5	14 6.1	- -	8 3.5	6 2.6
	男	58 100.0	38 65.5	45 77.6	16 27.6	23 39.7	4 6.9	7 12.1	13 22.4	3 5.2	- -	4 6.9
精神障害	女	51 100.0	33 64.7	38 74.5	13 25.5	17 33.3	3 5.9	2 3.9	6 11.8	3 5.9	- -	1 2.0
	男	43 100.0	30 69.8	20 46.5	9 20.9	17 39.5	2 4.7	4 9.3	5 11.6	2 4.7	1 2.3	- -
	女	45 100.0	25 55.6	29 64.4	13 28.9	18 40.0	3 6.7	2 4.4	4 8.9	- -	- -	3 6.7

障害ごとに年齢による違いをみると、知的障害では40歳未満で「余暇面（余暇や趣味を楽しんでいる）」(46.2%)が40~64歳に比べて多くなっています。

●満足の理由（年齢別）

		全体	居住面	家族面	社交面	余暇面	社会参加面	経済面	就労面	教育面	その他	無回答
身体障害	全体	599 100.0	357 59.6	428 71.5	232 38.7	223 37.2	43 7.2	64 10.7	54 9.0	8 1.3	16 2.7	16 2.7
	40歳未満	22 100.0	16 72.7	20 90.9	6 27.3	5 22.7	1 4.5	1 4.5	3 13.6	- -	- -	- -
知的障害	40~64歳	84 100.0	47 56.0	58 69.0	38 45.2	36 42.9	7 8.3	7 8.3	13 15.5	- -	5 6.0	1 1.2
	65歳以上	313 100.0	186 59.4	232 74.1	141 45.0	112 35.8	25 8.0	41 13.1	13 4.2	- -	9 2.9	8 2.6
精神障害	40歳未満	65 100.0	40 61.5	52 80.0	17 26.2	30 46.2	2 3.1	3 4.6	11 16.9	3 4.6	- -	3 4.6
	40~64歳	38 100.0	26 68.4	26 68.4	10 26.3	8 21.1	4 10.5	6 15.8	8 21.1	3 7.9	- -	2 5.3
精神障害	65歳以上	6 100.0	5 83.3	5 83.3	2 33.3	2 33.3	1 16.7	- -	- -	- -	- -	- -
	40歳未満	29 100.0	19 65.5	21 72.4	8 27.6	14 48.3	- -	2 6.9	4 13.8	1 3.4	- -	- -
精神障害	40~64歳	49 100.0	30 61.2	24 49.0	13 26.5	18 36.7	5 10.2	4 8.2	4 8.2	1 2.0	1 2.0	2 4.1
	65歳以上	10 100.0	6 60.0	4 40.0	1 10.0	3 30.0	- -	- -	1 10.0	- -	- -	1 10.0

※身体障害の40歳未満、知的障害の65歳以上、精神障害の40歳未満、65歳以上は回答者数が少ないため、参考値となります。

問29 不満の理由

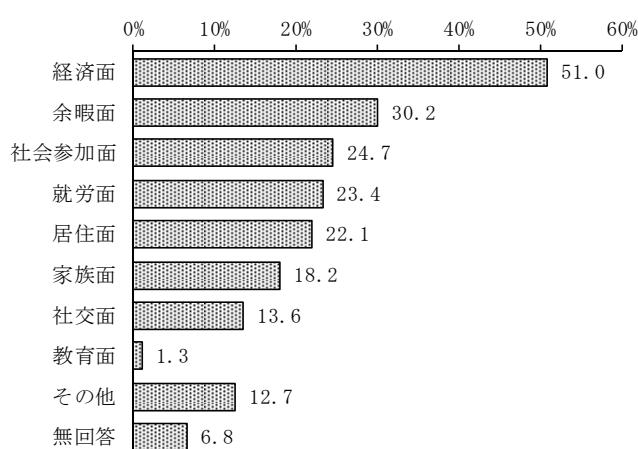
問27で「3 やや不満」、「4 とても不満」と回答した方にお聞きします。どのようなところが不満ですか。(○はいくつでも)

全体では、「経済面（収入や生計に困難を抱えている）」が最も多く、51.0%となっています。次いで、「余暇面（余暇や趣味を楽しめていない）」が30.2%、「社会参加面（社会活動に参加できない）」が24.7%、「就労面（仕事がつらい、または就労できない）」が23.4%、「居住面（住んでいる家や部屋に問題がある）」が22.1%と続いています。

障害別にみると、身体障害と精神障害では「経済面（収入や生計に困難を抱えている）」（身体障害45.0%、精神障害64.8%）が最も多く、知的障害では「余暇面（余暇や趣味を楽しめていない）」（44.1%）が最も多くなっています。また、精神障害では「就労面（仕事がつらい、または就労できない）」（46.2%）が他の障害に比べて多くなっています。

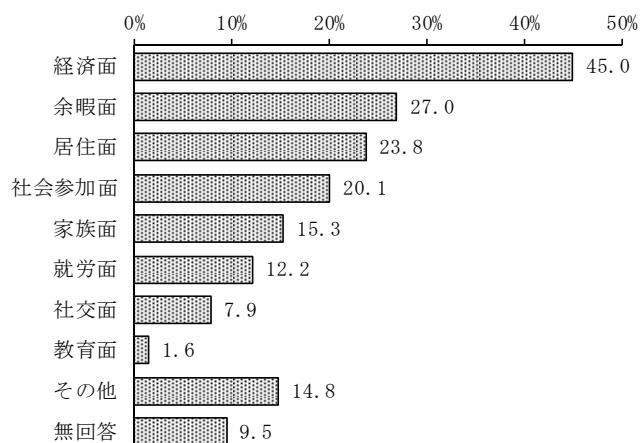
【全体】

総数=308 (複数回答)



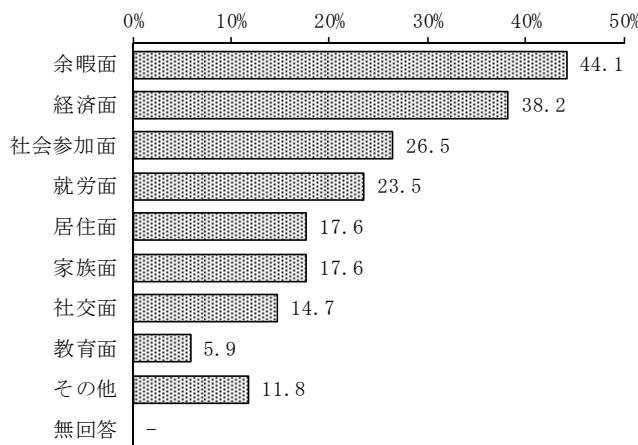
【身体障害】

総数=189 (複数回答)



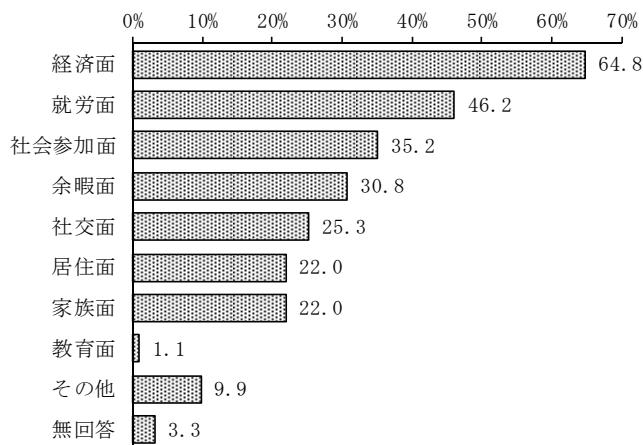
【知的障害】

総数=34 (複数回答)



【精神障害】

総数=91 (複数回答)



障害ごとに性別による違いをみると、精神障害では女で「余暇面(余暇や趣味を楽しめていない)」(40.5%)が男に比べて多くなっています。

●不満の理由 (性別)

		全 体	居 住 面	家 族 面	社 交 面	余 暇 面	社会 参 加 面	經 濟 面	就 労 面	教 育 面	そ の 他	無 回 答
全体		308 100.0	68 22.1	56 18.2	42 13.6	93 30.2	76 24.7	157 51.0	72 23.4	4 1.3	39 12.7	21 6.8
身体 障 害	男	99 100.0	25 25.3	13 13.1	9 9.1	24 24.2	18 18.2	48 48.5	15 15.2	2 2.0	13 13.1	9 9.1
	女	88 100.0	20 22.7	16 18.2	6 6.8	26 29.5	20 22.7	35 39.8	8 9.1	1 1.1	15 17.0	9 10.2
知 的 障 害	男	21 100.0	4 19.0	5 23.8	3 14.3	7 33.3	6 28.6	9 42.9	6 28.6	1 4.8	4 19.0	- -
	女	13 100.0	2 15.4	1 7.7	2 15.4	8 61.5	3 23.1	4 30.8	2 15.4	1 7.7	- -	- -
精神 障 害	男	54 100.0	11 20.4	10 18.5	15 27.8	13 24.1	17 31.5	35 64.8	25 46.3	1 1.9	4 7.4	3 5.6
	女	37 100.0	9 24.3	10 27.0	8 21.6	15 40.5	15 40.5	24 64.9	17 45.9	- -	5 13.5	- -

※知的障害の男、女は回答者数が少ないと、参考値となります。

●不満の理由 (年齢別)《参考》

		全 体	居 住 面	家 族 面	社 交 面	余 暇 面	社会 参 加 面	經 濟 面	就 労 面	教 育 面	そ の 他	無 回 答
全体		308 100.0	68 22.1	56 18.2	42 13.6	93 30.2	76 24.7	157 51.0	72 23.4	4 1.3	39 12.7	21 6.8
身体 障 害	40歳未満	8 100.0	2 25.0	3 37.5	2 25.0	2 25.0	5 62.5	3 37.5	3 37.5	2 25.0	3 37.5	- -
	40~64歳	57 100.0	18 31.6	7 12.3	8 14.0	15 26.3	14 24.6	30 52.6	15 26.3	1 1.8	6 10.5	5 8.8
	65歳以上	124 100.0	25 20.2	19 15.3	5 4.0	34 27.4	19 15.3	52 41.9	5 4.0	- -	19 15.3	13 10.5
知 的 障 害	40歳未満	23 100.0	4 17.4	2 8.7	1 4.3	10 43.5	7 30.4	7 30.4	7 30.4	2 8.7	3 13.0	- -
	40~64歳	8 100.0	1 12.5	2 25.0	2 25.0	5 62.5	2 25.0	5 62.5	1 12.5	- -	- -	- -
	65歳以上	3 100.0	1 33.3	2 66.7	2 66.7	- -	- -	1 33.3	- -	- -	1 33.3	- -
精神 障 害	40歳未満	22 100.0	3 13.6	7 31.8	6 27.3	6 27.3	10 45.5	15 68.2	13 59.1	- -	- -	1 4.5
	40~64歳	57 100.0	15 26.3	11 19.3	16 28.1	17 29.8	17 29.8	39 68.4	29 50.9	1 1.8	5 8.8	1 1.8
	65歳以上	12 100.0	2 16.7	2 16.7	1 8.3	5 41.7	5 41.7	5 41.7	- -	- -	4 33.3	1 8.3

7 住まいについて

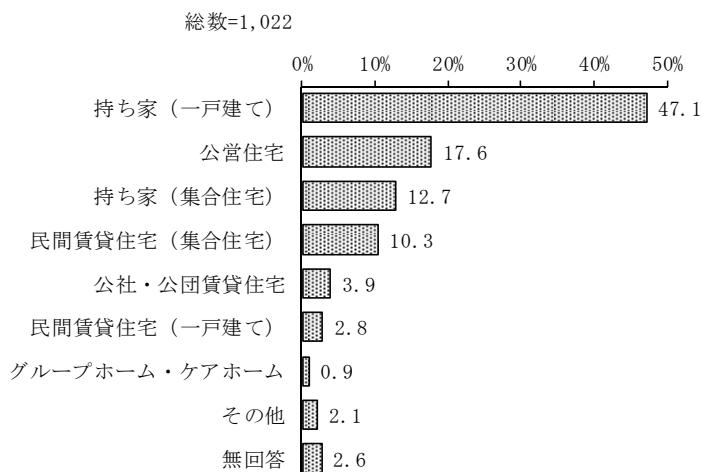
問35 住まいの形態

あなたのお住まいをお聞きします。(○はひとつ)

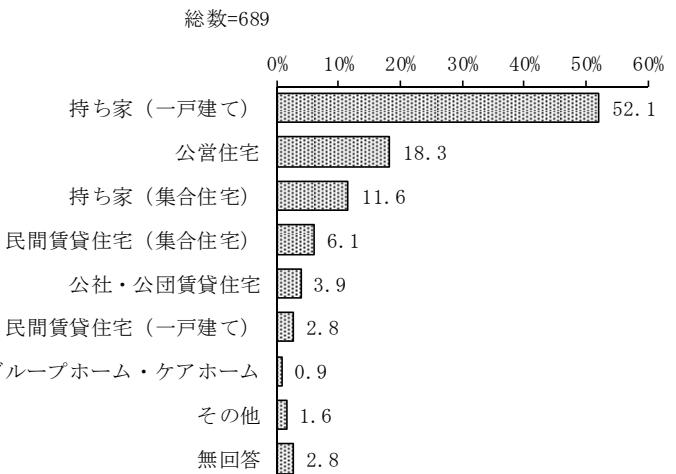
全体では、「持ち家（一戸建て）」が最も多く、47.1%となっています。次いで、「公営住宅（都営・市営）」が17.6%、「持ち家（集合住宅）」が12.7%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が10.3%と続いています。

障害別にみると、身体障害と知的障害では「持ち家（一戸建て）」（身体障害52.1%、知的障害50.3%）が最も多く、精神障害では「民間賃貸住宅（集合住宅）」（27.6%）が最も多くなっています。

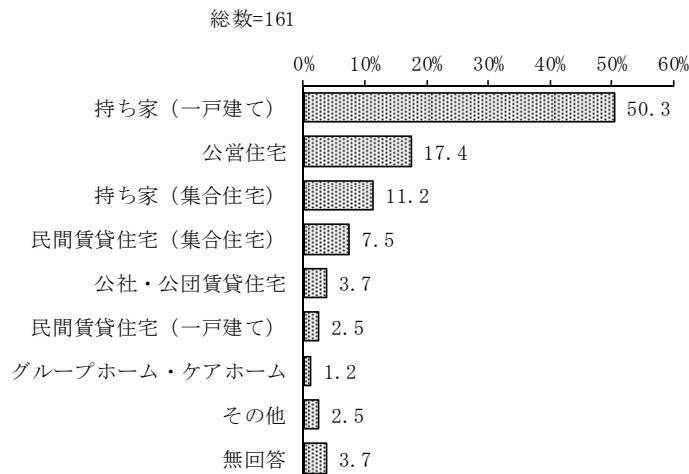
【全体】



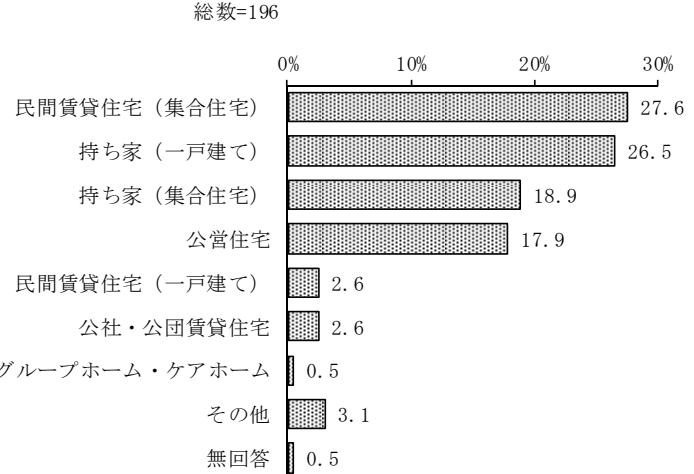
【身体障害】



【知的障害】



【精神障害】



障害ごとに世帯構成による違いをみると、身体障害ではひとり暮らしで「公営住宅」(34.6%)が最も多くなっているほか、家族と同居で「持ち家（一戸建て）」(59.1%)がひとり暮らしに比べて多くなっています。精神障害では家族と同居で「持ち家（一戸建て）」(35.9%)が最も多くなっているほか、ひとり暮らしで「民間賃貸住宅（集合住宅）」(66.2%)が家族と同居に比べて多くなっています。

●住まいの形態（世帯構成別）

		全体	(一戸建て) 持ち家	(集合住宅) 持ち家	(民間賃貸住宅) 一戸建て	(民間賃貸住宅) 集合住宅	公営住宅	公社・公団賃貸 住宅	グループホーム ケアホーム	その他	無回答
全体		1,022 100.0	481 47.1	130 12.7	29 2.8	105 10.3	180 17.6	40 3.9	9 0.9	21 2.1	27 2.6
身体障害	家族と同居	538 100.0	318 59.1	72 13.4	14 2.6	16 3.0	77 14.3	21 3.9	- -	7 1.3	13 2.4
	ひとり暮らし	130 100.0	34 26.2	8 6.2	5 3.8	24 18.5	45 34.6	6 4.6	2 1.5	2 1.5	4 3.1
	グループホーム等での集団生活	6 100.0	1 16.7	- -	- -	1 16.7	- -	- -	4 66.7	- -	- -
知的障害	家族と同居	148 100.0	79 53.4	17 11.5	4 2.7	10 6.8	24 16.2	6 4.1	- -	3 2.0	5 3.4
	ひとり暮らし	7 100.0	1 14.3	1 14.3	- -	2 28.6	3 42.9	- -	- -	- -	- -
	グループホーム等での集団生活	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	2 100.0	- -	- -
精神障害	家族と同居	128 100.0	46 35.9	34 26.6	5 3.9	11 8.6	25 19.5	5 3.9	- -	1 0.8	1 0.8
	ひとり暮らし	65 100.0	5 7.7	3 4.6	- -	43 66.2	10 15.4	- -	- -	4 6.2	- -
	グループホーム等での集団生活	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -

※身体障害のグループホーム等での集団生活、知的障害のひとり暮らし、グループホーム等での集団生活、精神障害のグループホーム等での集団生活は回答者数が少ないと参考値となります。

問36 住まいに関して困っていること

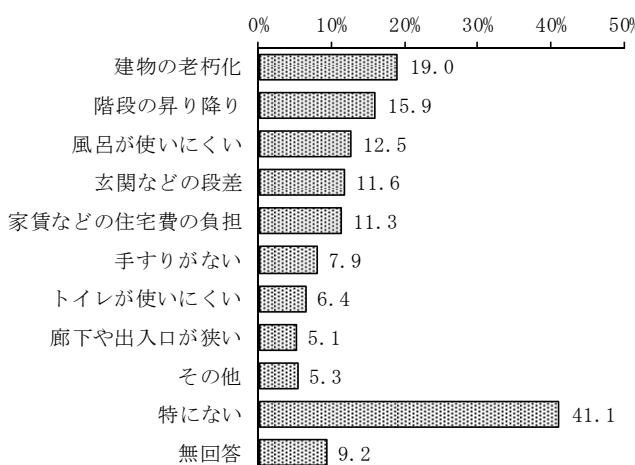
あなたは、住まいに関してどのようなことで困っていますか。(○はいくつでも)

全体では、「建物の老朽化」が多く、19.0%となっています。次いで、「階段の昇り降り」が15.9%、「風呂が使いにくい」が12.5%、「玄関などの段差」が11.6%、「家賃などの住宅費の負担」が11.3%と続いています。なお、「特ない」が41.1%と最も多くなっています。

障害別にみると、身体障害では「階段の昇り降り」(20.5%)が最も多く、知的障害と精神障害では「建物の老朽化」(知的障害15.5%、精神障害22.4%)が最も多くなっています。また、身体障害では「玄関などの段差」(15.7%)が他の障害に比べて多くなっています。

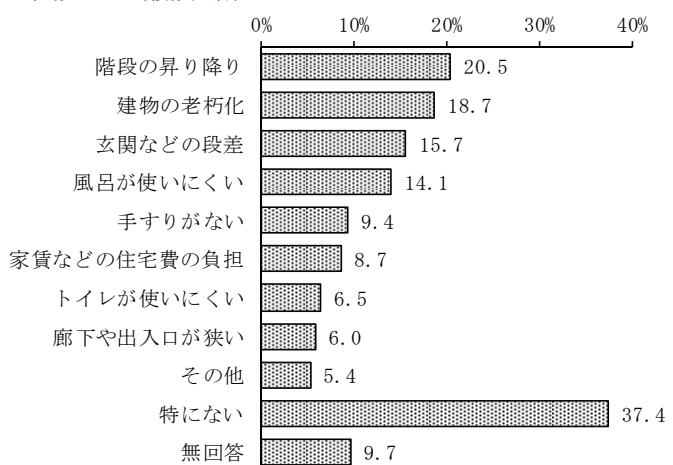
【全体】

総数=1,022 (複数回答)



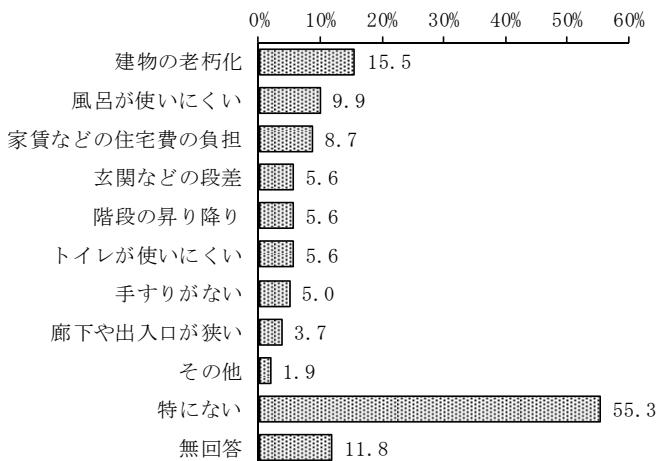
【身体障害】

総数=689 (複数回答)



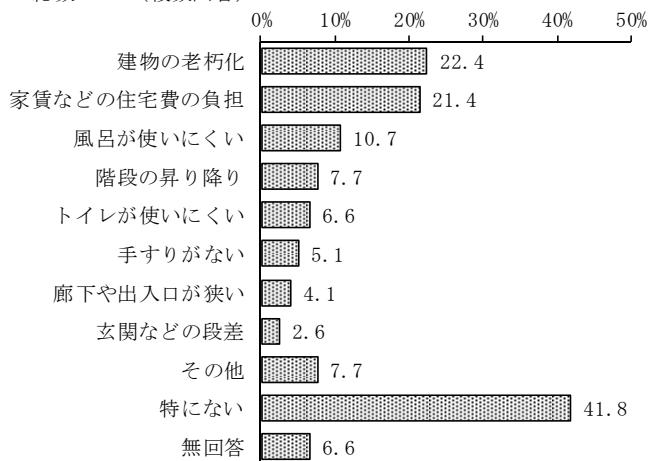
【知的障害】

総数=161 (複数回答)



【精神障害】

総数=196 (複数回答)



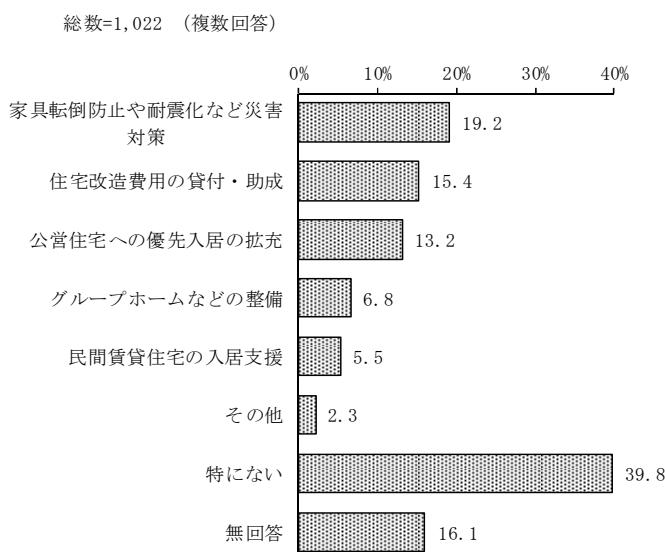
問37 住まいに関する必要な支援

あなたは、住まいに関してどのような支援を必要としていますか。(○はいくつでも)

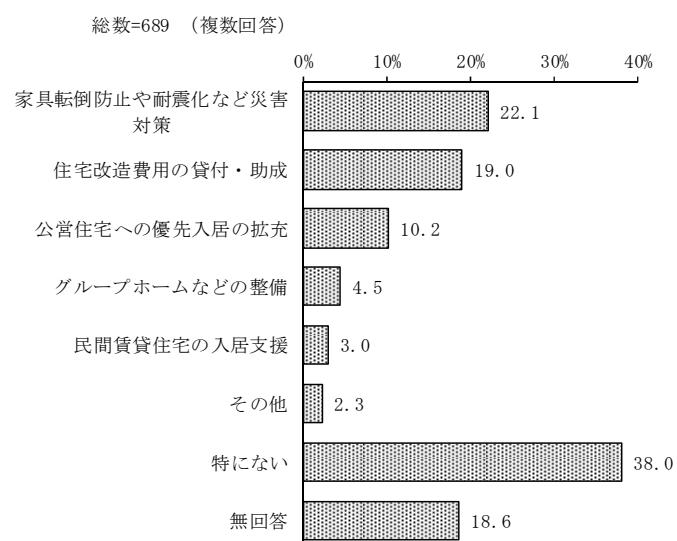
全体では、「家具転倒防止や耐震化など災害対策」が多く、19.2%となっています。次いで、「住宅改造費用の貸付・助成」が15.4%、「公営住宅への優先入居の拡充」が13.2%と続いています。なお、「特ない」が39.8%と最も多くなっています。

障害別にみると、身体障害では「家具転倒防止や耐震化など災害対策」(22.1%)が最も多く、知的障害では「グループホームなどの整備」(18.6%)が、精神障害では「公営住宅への優先入居の拡充」(25.5%)が最も多くなっています。

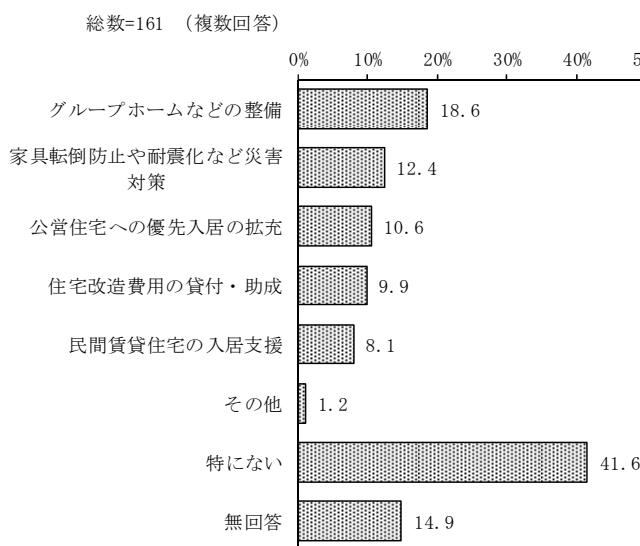
【全体】



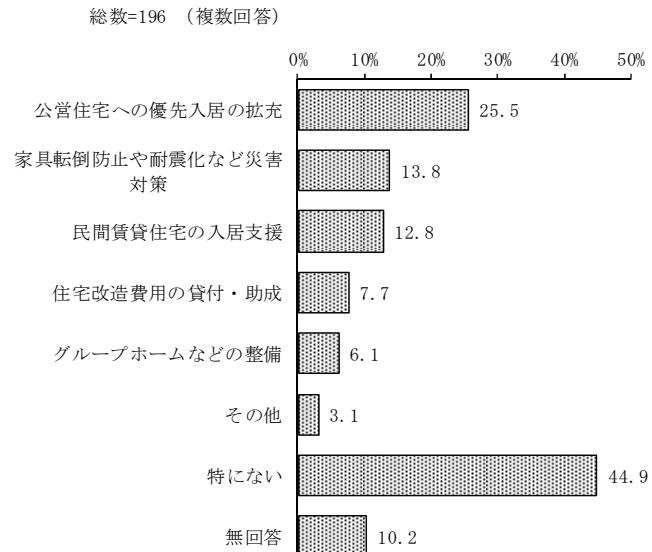
【身体障害】



【知的障害】



【精神障害】



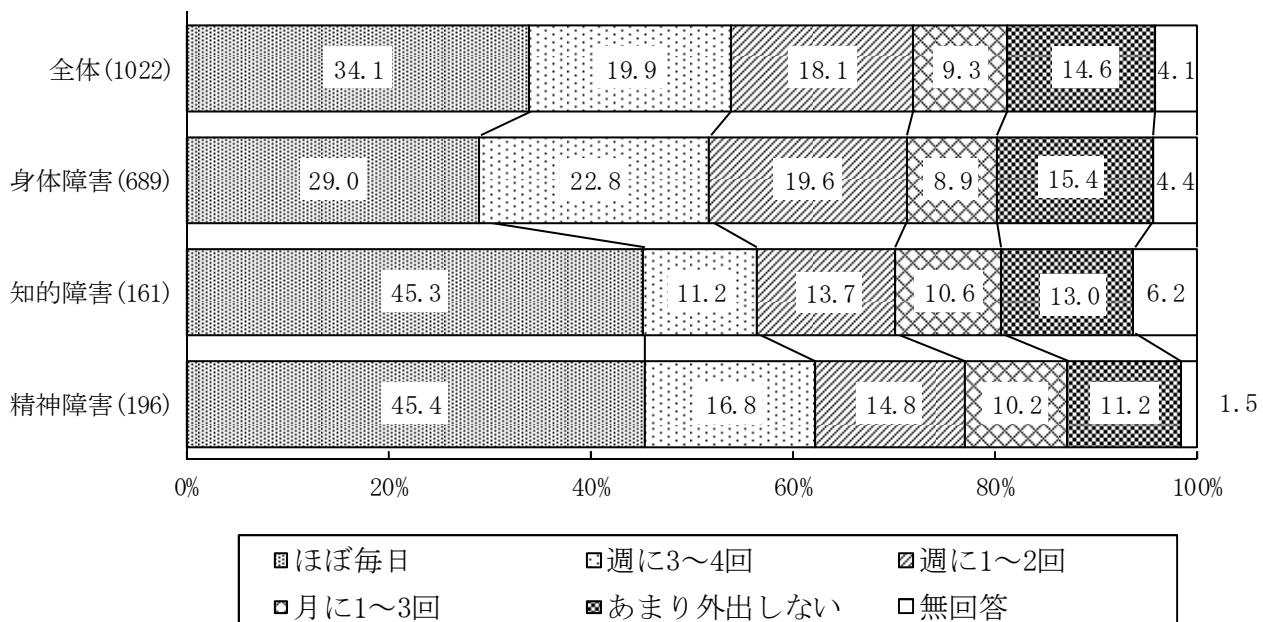
8 外出について

問38 外出の頻度

あなたはどのくらいの頻度で外出していますか。(○はひとつ)

全体では、「ほぼ毎日」が最も多い、34.1%となっています。次いで、「週に3～4回」が19.9%、「週に1～2回」が18.1%、「あまり外出しない」が14.6%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「ほぼ毎日」(29.0%)が他の障害に比べて少なくなっています。



身体障害の部位による違いをみると、視覚障害では「週に3～4回」(30.3%)が最も多くなっています。聴覚・平衡機能障害では「ほぼ毎日」(27.0%)、「週に3～4回」(27.0%)、「週に1～2回」(27.0%)が最も多くなっています。

●外出の頻度（身体障害の部位別）

		全 体	ほ ぼ 毎 日	週 に 3 ～ 4 回	週 に 1 ～ 2 回	月 に 1 ～ 3 回	あ ま り 外 出 し な い	無 回 答
全体		1,022 100.0	348 34.1	203 19.9	185 18.1	95 9.3	149 14.6	42 4.1
身体 障 害 の 部 位	視覚障害	66 100.0	11 16.7	20 30.3	13 19.7	6 9.1	10 15.2	6 9.1
	聴覚・平衡機能障害	37 100.0	10 27.0	10 27.0	10 27.0	3 8.1	4 10.8	- -
	音声・言語・そしゃく機能障害	35 100.0	11 31.4	5 14.3	5 14.3	6 17.1	8 22.9	- -
	肢体不自由	380 100.0	108 28.4	80 21.1	75 19.7	35 9.2	66 17.4	16 4.2
	内部障害	221 100.0	66 29.9	52 23.5	39 17.6	19 8.6	38 17.2	7 3.2
	無回答	340 100.0	151 44.4	48 14.1	53 15.6	35 10.3	39 11.5	14 4.1

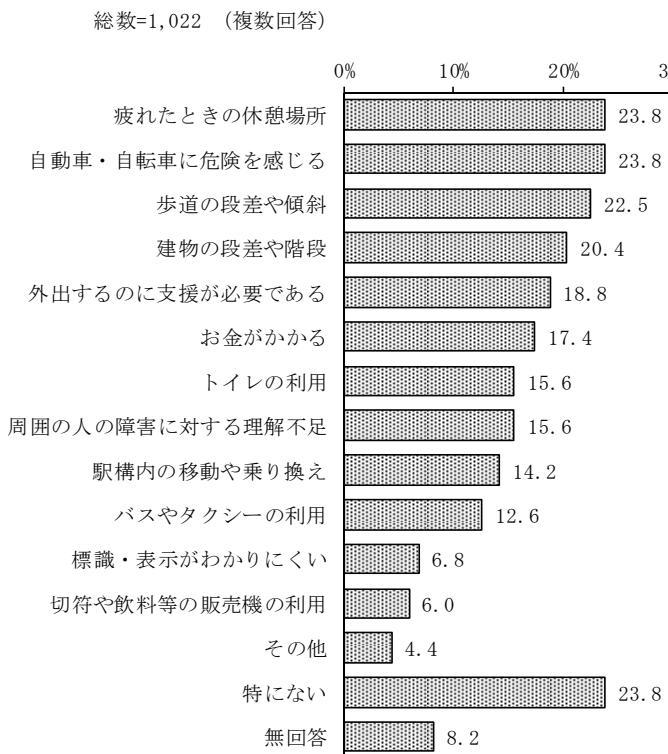
問39 外出に関して困っていること

あなたには、外出に関して困っていることがありますか。(○はいくつでも)

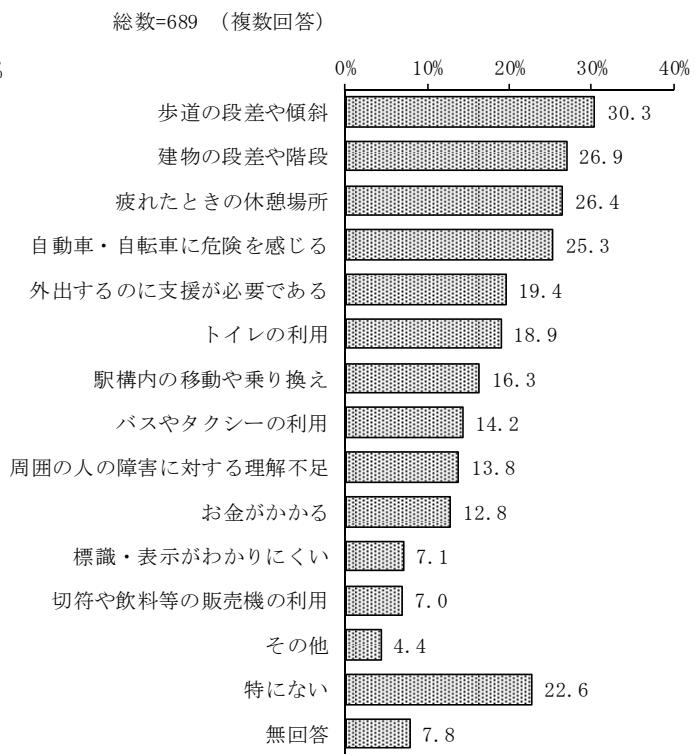
全体では、「疲れたときの休憩場所」と「自動車・自転車に危険を感じる」が最も多く、23.8%となっています。次いで、「歩道の段差や傾斜」が22.5%、「建物の段差や階段」が20.4%と続いています。なお、「特にない」が23.8%と多くなっています。

障害別にみると、身体障害では「歩道の段差や傾斜」(30.3%)が最も多く、知的障害では「外出するのに支援が必要である」(28.0%)が最も多く、精神障害では「お金がかかる」(33.2%)が最も多くなっています。また、身体障害では「建物の段差や階段」(26.9%)が他の障害に比べて多くなっています。

【全体】

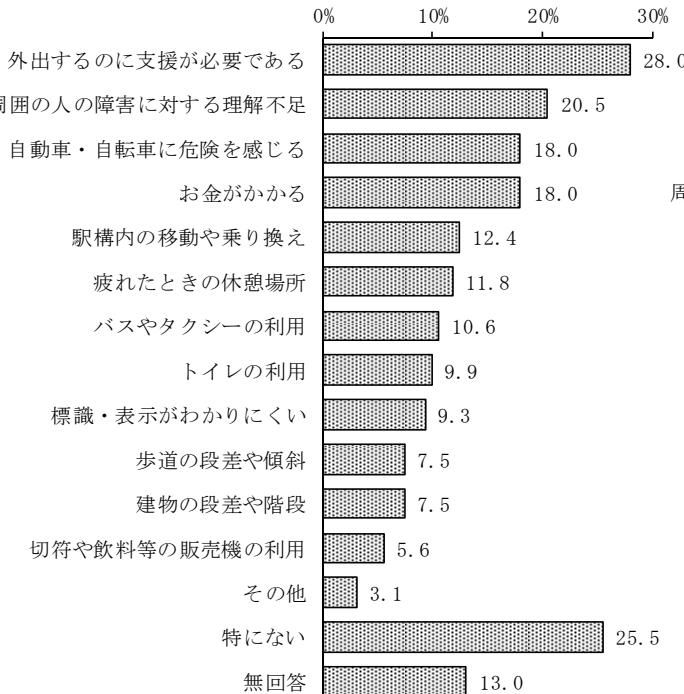


【身体障害】



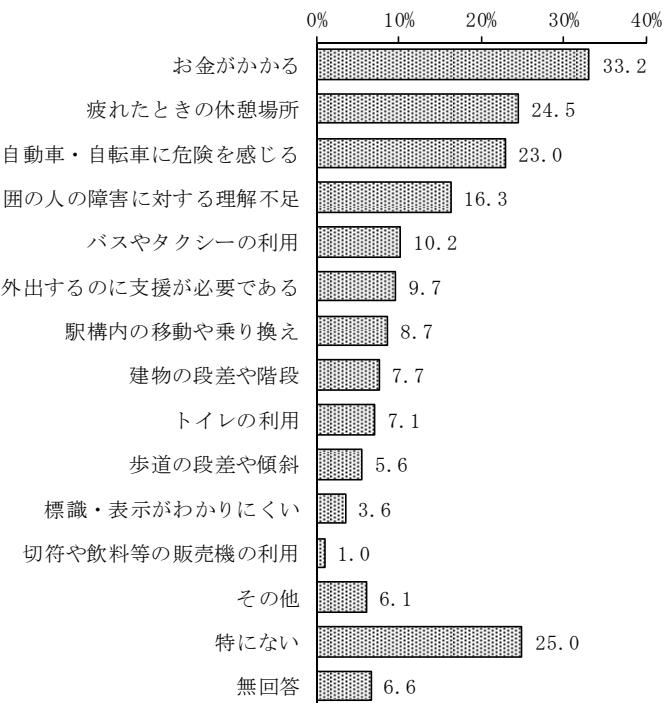
【知的障害】

総数=161 (複数回答)



【精神障害】

総数=196 (複数回答)



身体障害の部位による違いをみると、視覚障害と音声・言語・そしやく機能障害では「外出をするのに支援が必要である」（視覚障害 43.9%、音声・言語・そしやく機能障害 31.4%）が最も多く、内部障害では「疲れたときの休憩場所」（29.0%）が最も多くなっています。また、視覚障害では「駅構内の移動や乗り換え」（30.3%）、「標識・表示がわかりにくい」（28.8%）が他の身体障害の部位に比べて多くなっています。

●外出に関して困っていること（身体障害の部位別）

		全 体	歩 道 の 段 差 や 傾 斜	建 物 の 段 差 や 階 段	バ ス や タ ク シ ー の 利 用	駅 構 内 の 移 動 や 乗 り 換 え	切 符 や 売 機 の 飲 料 等 の 利 用	ト イ レ の 利 用	標 識 ・ り に 表 示 く い が わ か
全体		1,022	230	208	129	145	61	159	70
身体 障 害 の 部 位	視覚障害	66	26	23	19	20	17	20	19
		100.0	39.4	34.8	28.8	30.3	25.8	30.3	28.8
	聴覚・平衡機能障害	37	10	8	6	7	1	2	5
		100.0	27.0	21.6	16.2	18.9	2.7	5.4	13.5
	音声・言語・そしやく機能障害	35	10	8	10	5	4	6	3
		100.0	28.6	22.9	28.6	14.3	11.4	17.1	8.6
肢体不自由		380	147	115	67	68	25	88	18
	100.0	38.7	30.3	17.6	17.9	6.6	23.2	4.7	
内部障害		221	47	55	19	22	6	26	12
	100.0	21.3	24.9	8.6	10.0	2.7	11.8	5.4	
無回答		340	20	22	30	34	12	30	20
	100.0	5.9	6.5	8.8	10.0	3.5	8.8	5.9	

		疲 れ た 場 所 と き の 休 憩	自 動 車 を ・ 感 じ 転 る 車 に	周 囲 の 人 の 理 解 不 足	対 す る 理 解 不 足 に の 障 害	お 金 が か か る	外 出 が 必 要 で あ る 支 援	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体		243	243	159	178	192	45	243	84	
身体 障 害 の 部 位	視覚障害	14	21	17	12	29	5	6	8	
		21.2	31.8	25.8	18.2	43.9	7.6	9.1	12.1	
	聴覚・平衡機能障害	9	8	9	5	4	4	10	3	
		24.3	21.6	24.3	13.5	10.8	10.8	27.0	8.1	
	音声・言語・そしやく機能障害	6	7	7	5	11	2	9	1	
		17.1	20.0	20.0	14.3	31.4	5.7	25.7	2.9	
肢体不自由		100	106	60	52	88	18	70	31	
	26.3	27.9	15.8	13.7	23.2	4.7	18.4	8.2		
内部障害		64	49	22	27	27	4	64	15	
	29.0	22.2	10.0	12.2	12.2	1.8	29.0	6.8		
無回答		65	70	61	91	56	16	90	30	
	19.1	20.6	17.9	26.8	16.5	4.7	26.5	8.8		

9 福祉サービスの利用について

問40 福祉サービスの利用について

あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また、今後（2～3年以内に）利用したいと思いますか。既に利用しており、今後も利用したい方は「1」、「2」両方に○をつけてください。（○はいくつでも）

(1) 訪問系サービス

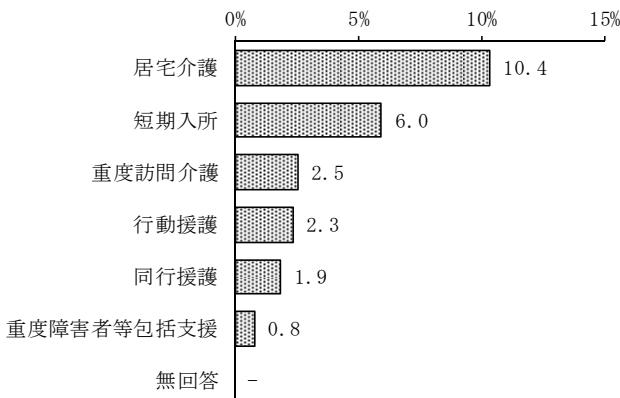
①利用状況

全体では、「居宅介護（ホームヘルプ）」が最も多く、10.4%となっています。次いで、「短期入所（ショートステイ）」が6.0%、「重度訪問介護」が2.5%、「行動援護」が2.3%と続いています。

障害別にみると、身体障害と精神障害では「居宅介護（ホームヘルプ）」（身体障害 11.8%、精神障害 8.7%）が最も多く、知的障害が「短期入所（ショートステイ）」（13.8%）が最も多くなっています。

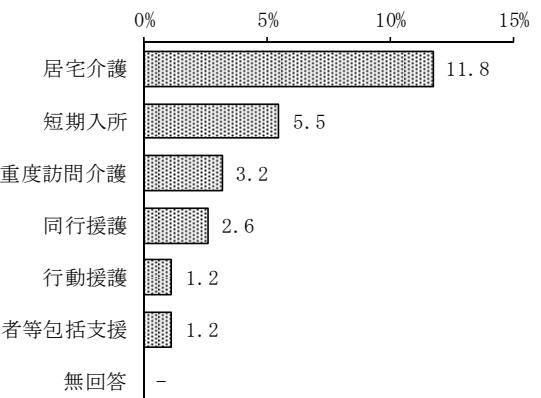
【全体】

総数=1,022 (複数回答)



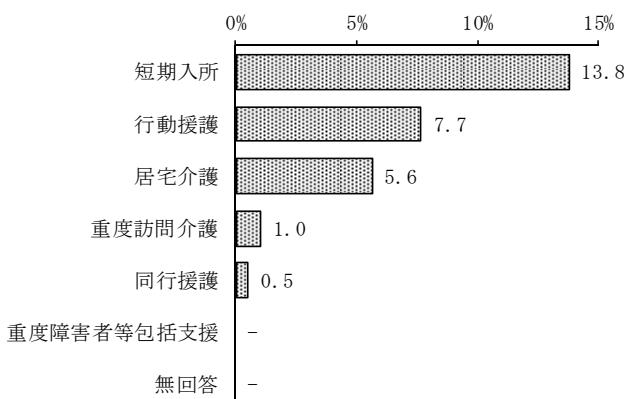
【身体障害】

総数=689 (複数回答)



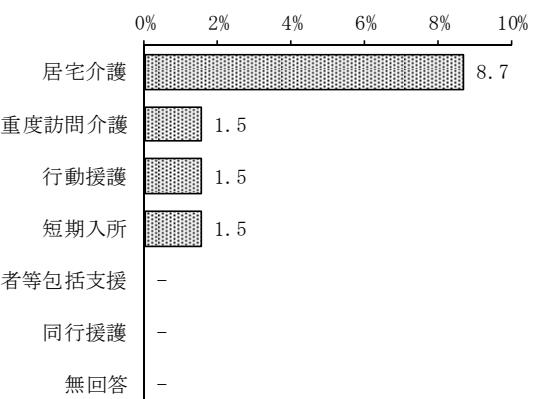
【知的障害】

総数=161 (複数回答)



【精神障害】

総数=196 (複数回答)

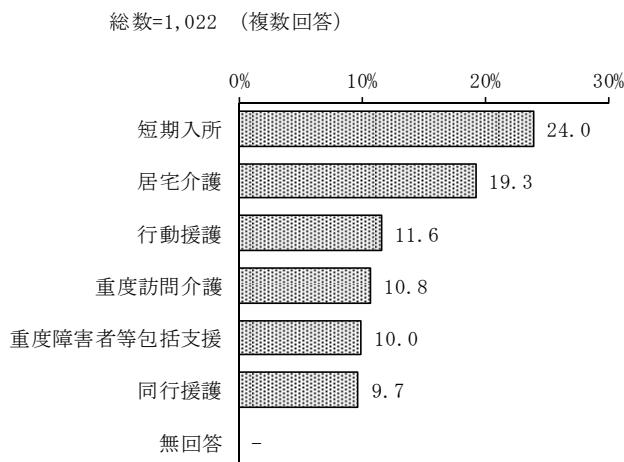


②利用意向

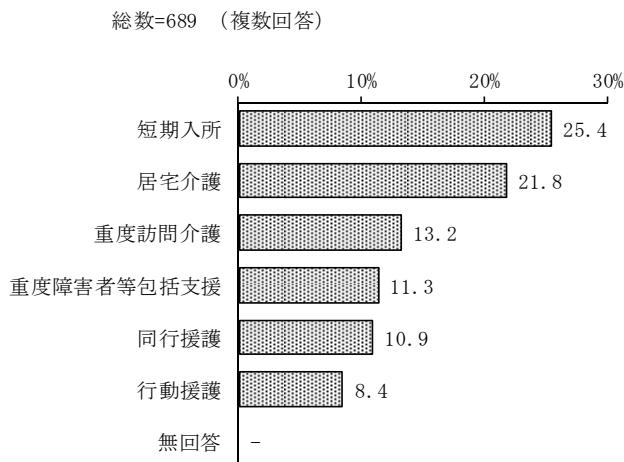
全体では、「短期入所（ショートステイ）」が最も多く、24.0%となっています。次いで、「居宅介護（ホームヘルプ）」が19.3%、「行動援護」が11.6%、「重度訪問介護」が10.8%と続いています。

障害別にみると、身体障害と知的障害では「短期入所（ショートステイ）」（身体障害 25.4%、知的障害 25.0%）が最も多く、精神障害では「行動援護」（17.9%）が最も多くなっています。

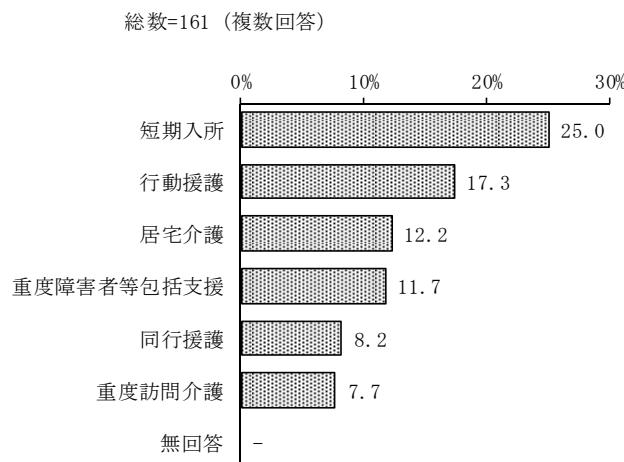
【全体】



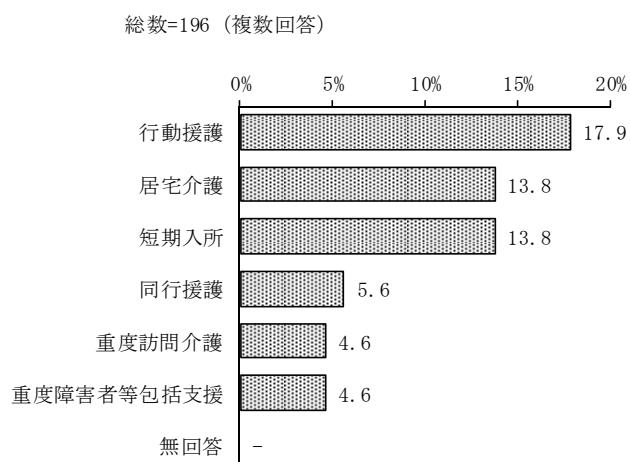
【身体障害】



【知的障害】



【精神障害】



(2) 日中活動系サービス

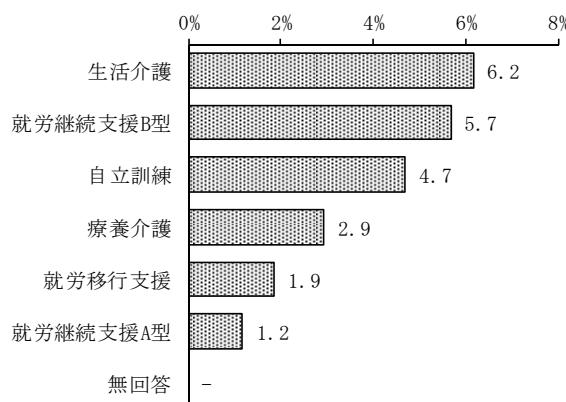
①利用状況

全体では、「生活介護」が最も多い、6.2%となっています。次いで、「就労継続支援B型」が5.7%、「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」が4.7%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「生活介護」（7.1%）が最も多く、知的障害と精神障害では「就労継続支援B型」（知的障害 11.7%、精神障害 15.8%）が最も多くなっています。

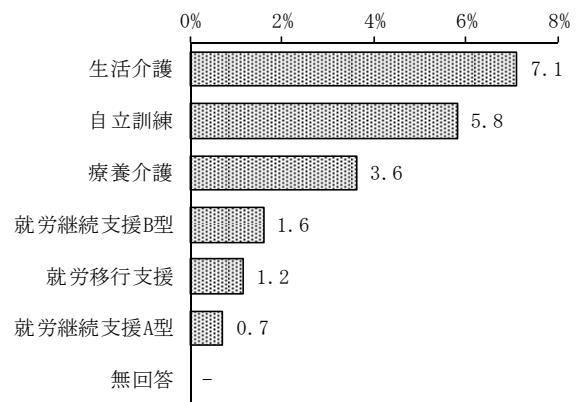
【全体】

総数=1,022 (複数回答)



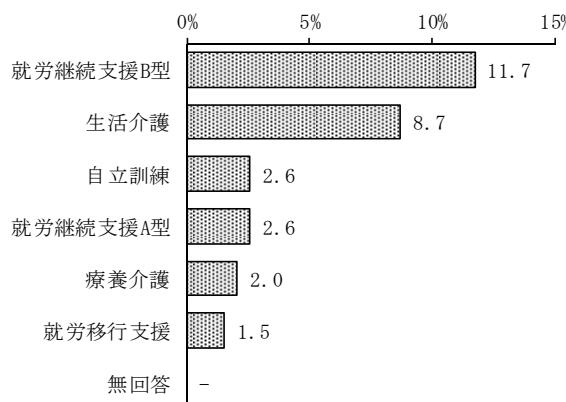
【身体障害】

総数=689 (複数回答)



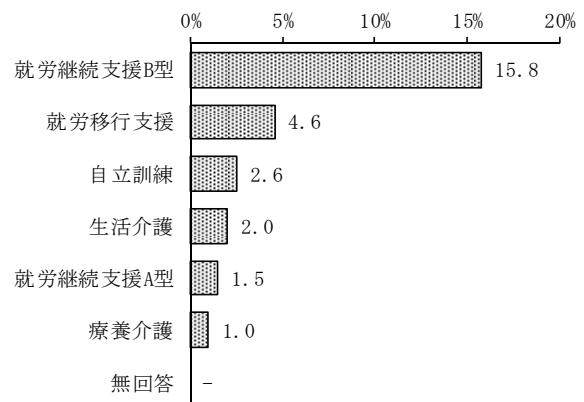
【知的障害】

総数=161 (複数回答)



【精神障害】

総数=196 (複数回答)



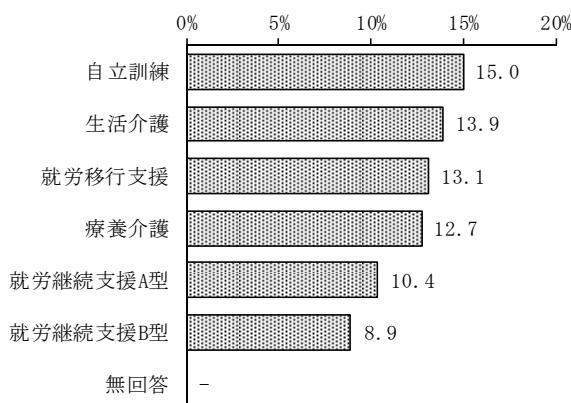
②利用意向

全体では、「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」が最も多く、15.0%となっています。次いで、「生活介護」が13.9%、「就労移行支援」が13.1%、「療養介護」が12.7%、「就労継続支援A型」が10.4%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「生活介護」(15.5%)が最も多く、知的障害と精神障害では「就労移行支援」(知的障害 20.4%、精神障害 32.7%)が最も多くなっています。また、精神障害では「就労継続支援A型」(25.5%)、「就労継続支援B型」(24.0%)、「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」(23.0%)が他の障害に比べて多くなっています。

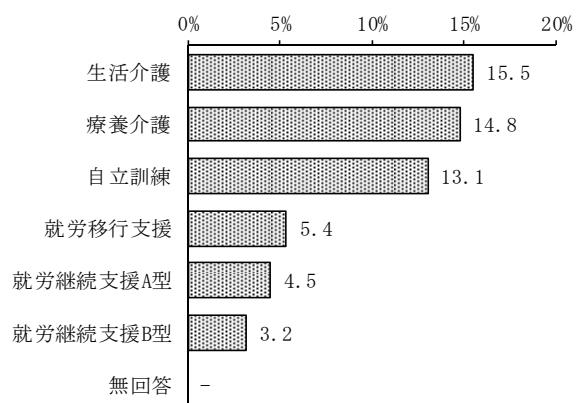
【全体】

総数=1,022 (複数回答)



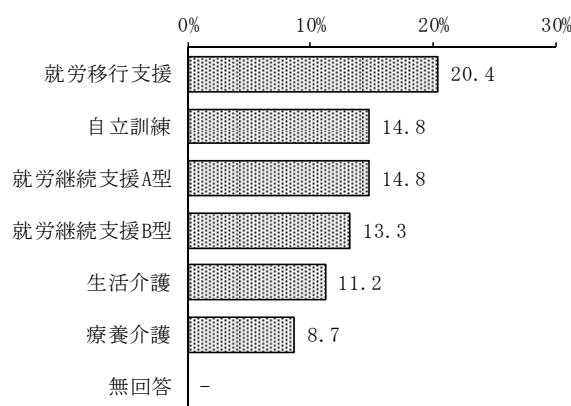
【身体障害】

総数=689 (複数回答)



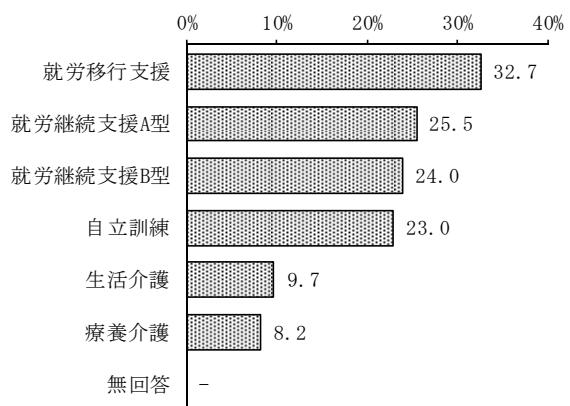
【知的障害】

総数=161 (複数回答)



【精神障害】

総数=196 (複数回答)



(3) 居住系サービス

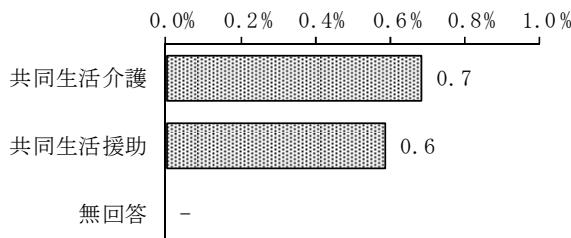
①利用状況

全体では、「共同生活介護（ケアホーム）」が0.7%、「共同生活援助（グループホーム）」が0.6%、となっています。

障害別の結果に大きな変化はありませんでした。

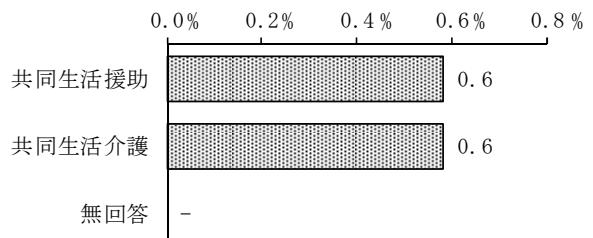
【全体】

総数=1,022 (複数回答)



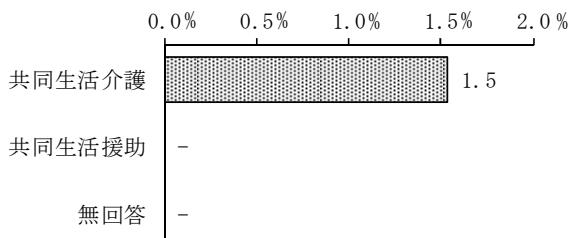
【身体障害】

総数=689 (複数回答)



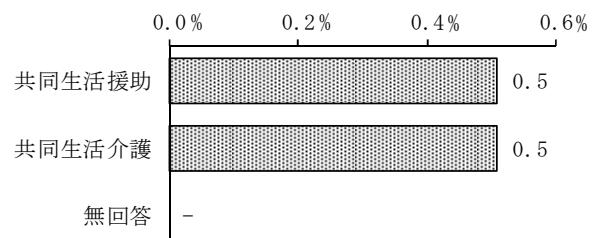
【知的障害】

総数=161 (複数回答)



【精神障害】

総数=196 (複数回答)



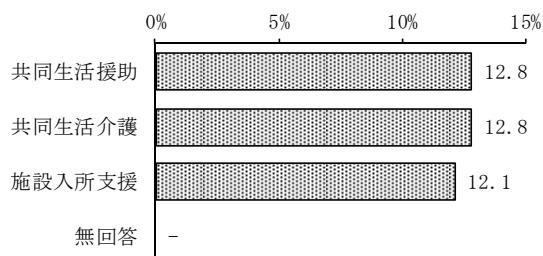
②利用意向

全体では、「共同生活援助（グループホーム）」と「共同生活介護（ケアホーム）」が最も多く、12.8%となっています。次いで、「施設入所支援」が12.1%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「施設入所支援」(11.8%)が最も多く、知的障害では「共同生活援助（グループホーム）」(24.0%)と「共同生活介護（ケアホーム）」(24.0%)が最も多く、精神障害では「共同生活援助（グループホーム）」(16.8%)が最も多くなっています。

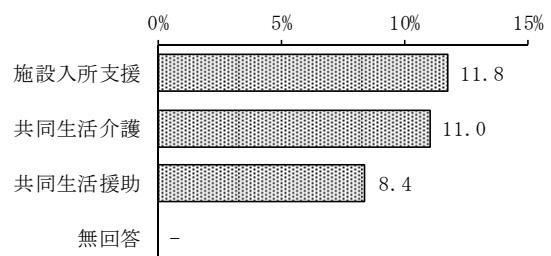
【全体】

総数=1,022 (複数回答)



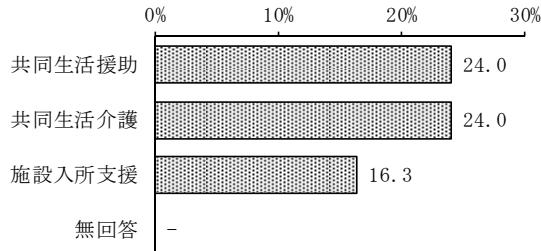
【身体障害】

総数=689 (複数回答)



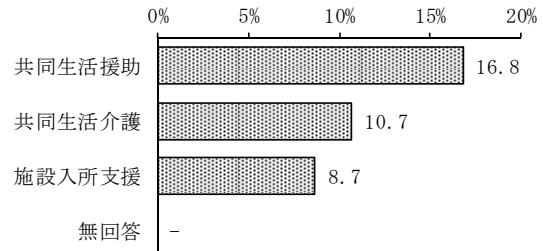
【知的障害】

総数=161 (複数回答)



【精神障害】

総数=196 (複数回答)



(4) 地域生活支援事業

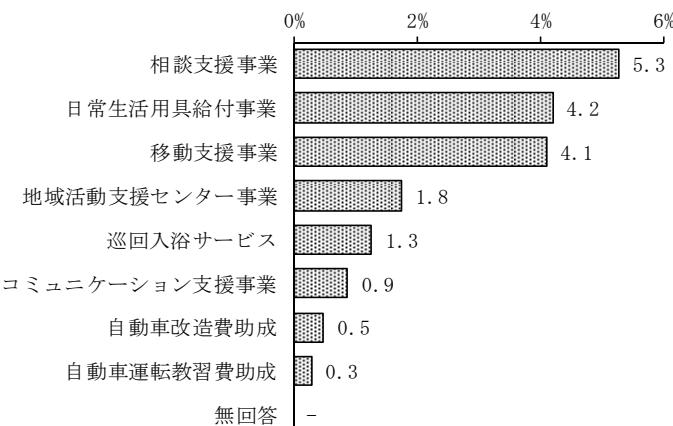
①利用状況

全体では、「相談支援事業」が最も多く、5.3%となっています。次いで、「日常生活用具給付事業」が4.2%、「移動支援事業」が4.1%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「日常生活用具給付事業」(6.0%)が最も多く、知的障害では「移動支援事業」(10.7%)が最も多く、精神障害では「相談支援事業」(7.1%)が最も多くなっています。

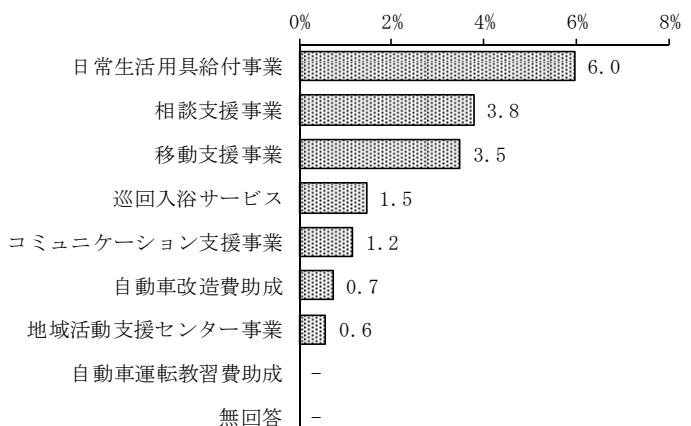
【全体】

総数=1,022 (複数回答)



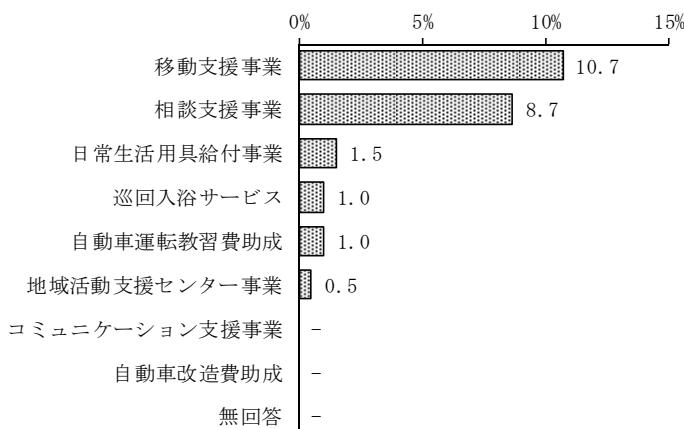
【身体障害】

総数=689 (複数回答)



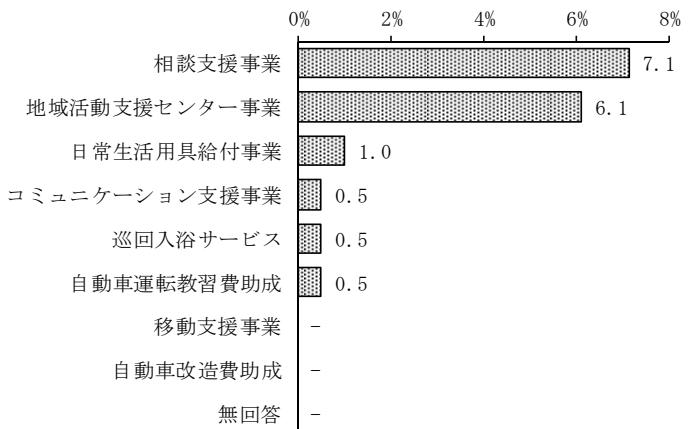
【知的障害】

総数=161 (複数回答)



【精神障害】

総数=196 (複数回答)

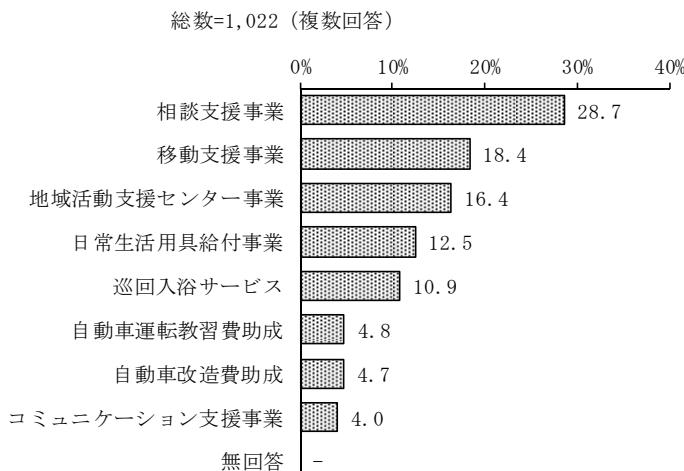


②利用意向

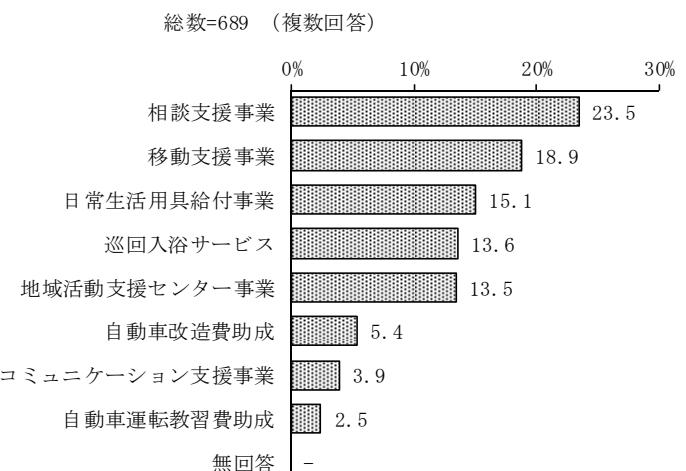
全体では、「相談支援事業」が最も多く、28.7%となっています。次いで、「移動支援事業」が18.4%、「地域活動支援センター事業」が16.4%、「日常生活用具給付事業」が12.5%、「巡回入浴サービス」が10.9%と続いています。

障害別の結果に大きな変化はありませんでした。

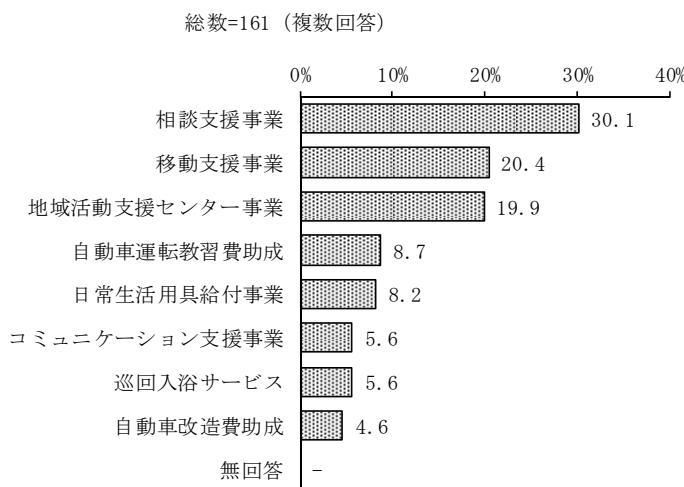
【全体】



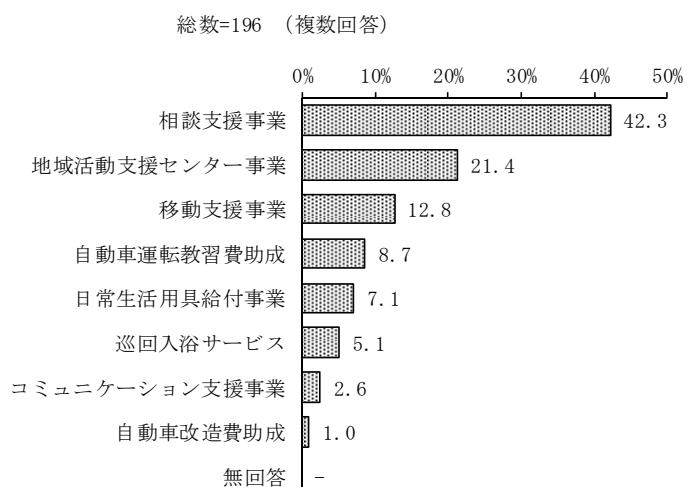
【身体障害】



【知的障害】



【精神障害】



(5) その他のサービス

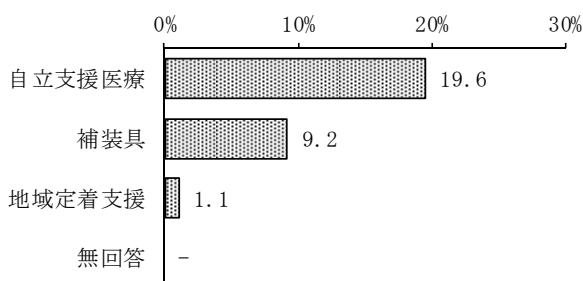
①利用状況

全体では、「自立支援医療」が最も多く、19.6%となっています。次いで、「補装具」が 9.2%、「地域定着支援」が 1.1%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「補装具」(12.9%) が最も多く、知的障害と精神障害では「自立支援医療」(知的障害 14.3%、精神障害 73.5%) が最も多くなっています。

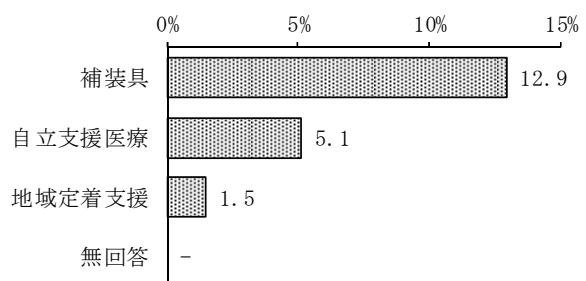
【全体】

総数=1,022 (複数回答)



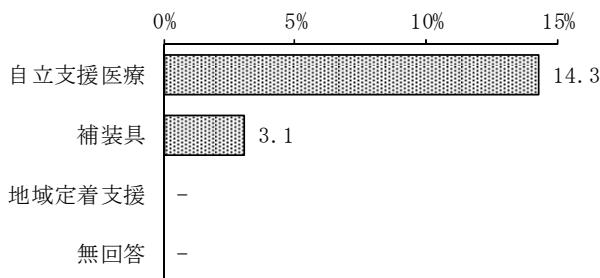
【身体障害】

総数=689 (複数回答)



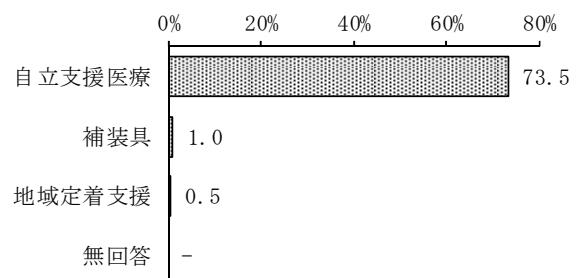
【知的障害】

総数=161 (複数回答)



【精神障害】

総数=196 (複数回答)



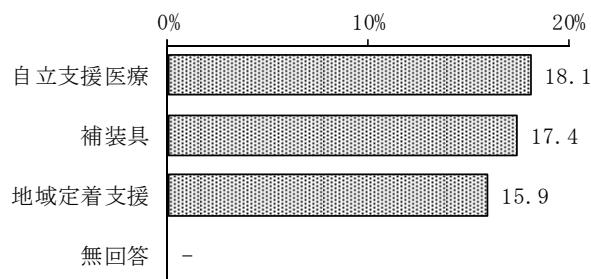
②利用意向

全体では、「自立支援医療」が最も多く、18.1%となっています。次いで、「補装具」が17.4%、「地域定着支援」が15.9%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「補装具」(22.9%)が最も多く、知的障害と精神障害では「自立支援医療」(知的障害 18.9%、精神障害 21.4%)が最も多くなっています。

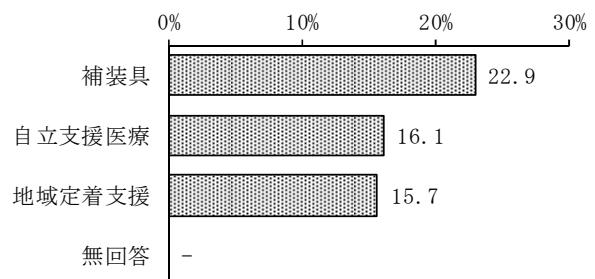
【全体】

総数=1,022 (複数回答)



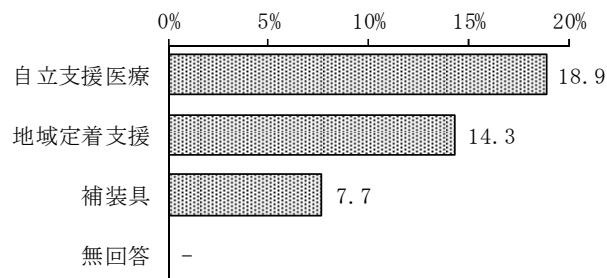
【身体障害】

総数=689 (複数回答)



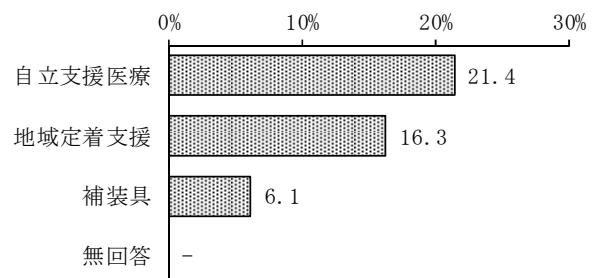
【知的障害】

総数=161 (複数回答)



【精神障害】

総数=196 (複数回答)



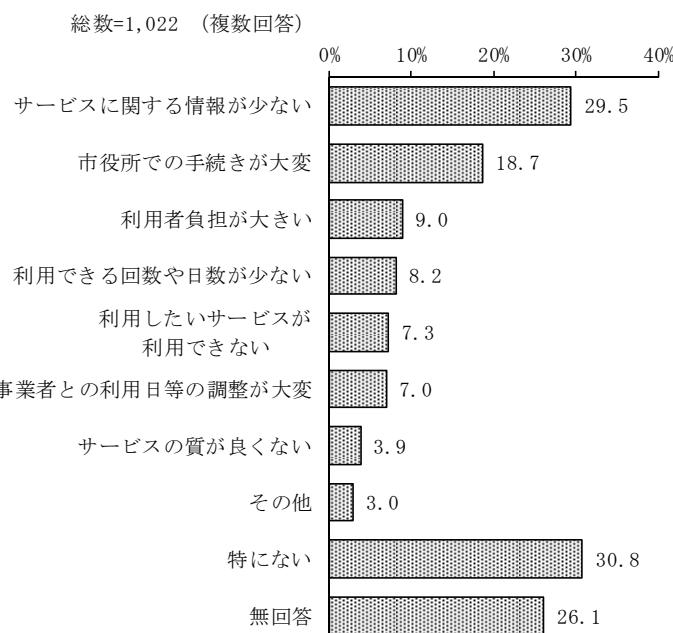
問41 サービス利用に関して困っていること

あなたには、サービス利用に関して困っていることがありますか。(○はいくつでも)

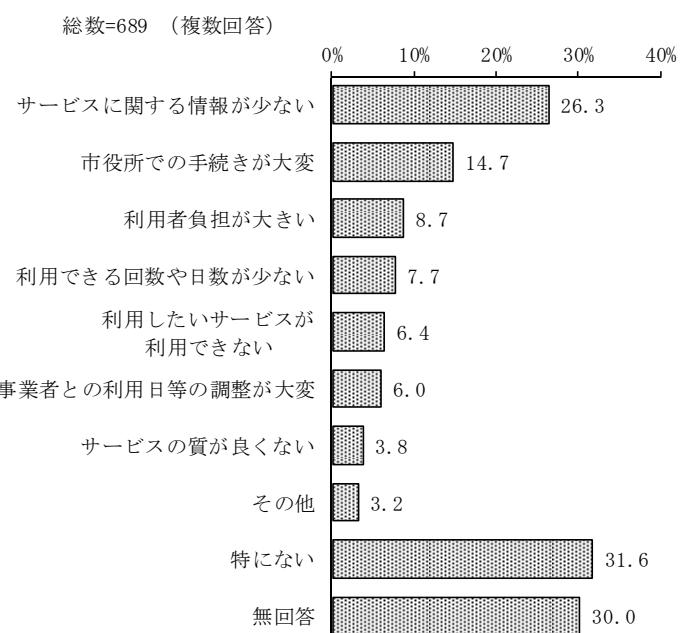
全体では、「サービスに関する情報が少ない」が多く、29.5%となっています。次いで、「市役所での手続きが大変」が18.7%、「利用者負担が大きい」が9.0%と続いています。なお、「特ない」が30.8%と最も多くなっています。

障害別の結果に大きな変化はありませんでした。

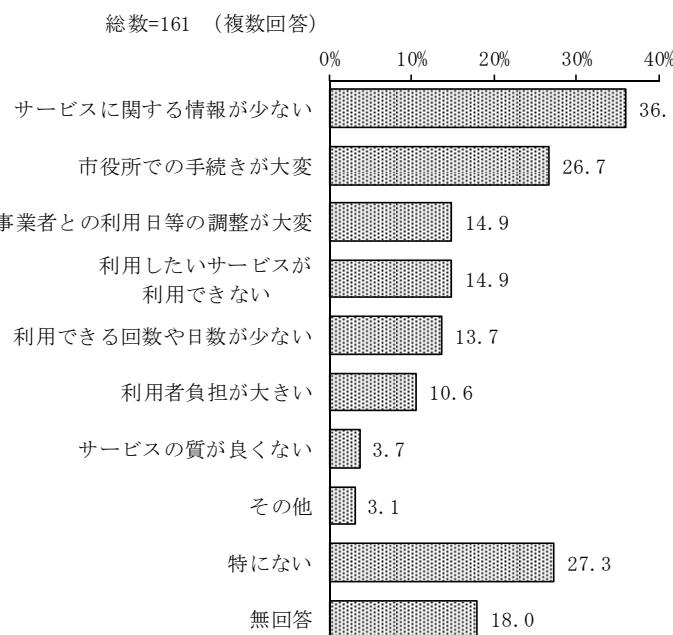
【全体】



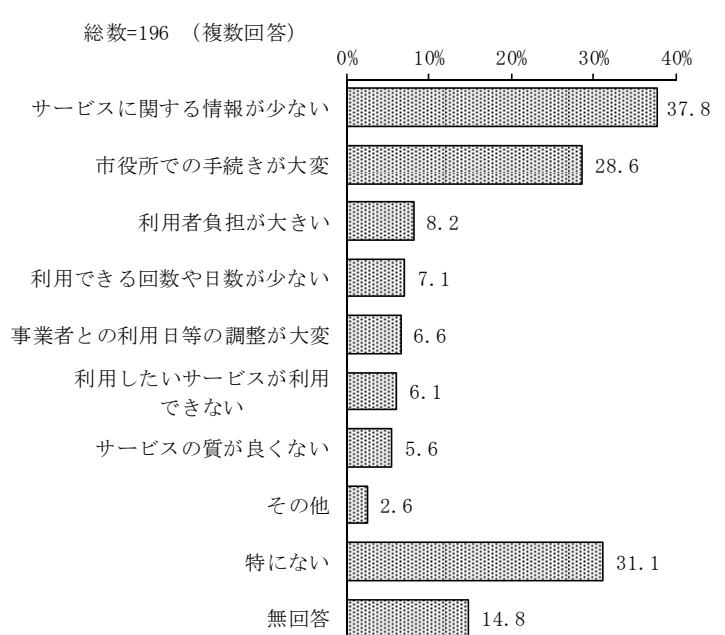
【身体障害】



【知的障害】



【精神障害】



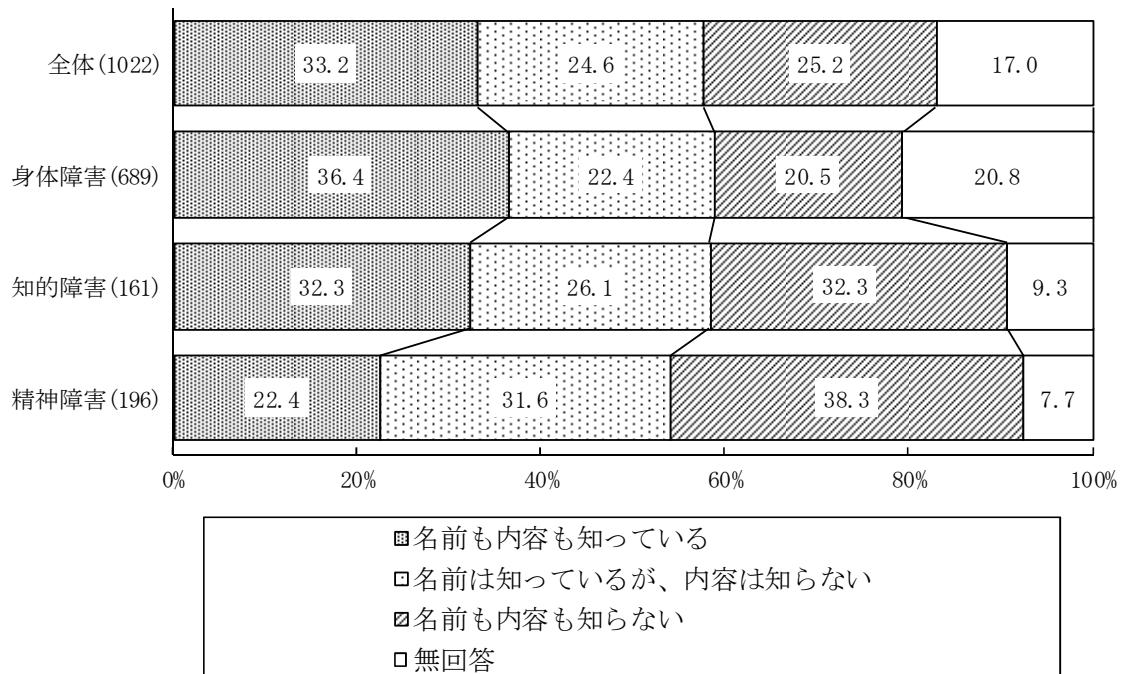
10 権利擁護・社会参加・障害理解について

問42 成年後見制度の認知状況

あなたは、成年後見制度について知っていますか。(○はひとつ)

全体では、「名前も内容も知っている」が最多く、33.2%となっています。次いで、「名前も内容も知らない」が25.2%、「名前は知っているが、内容は知らない」が24.6%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「名前も内容も知っている」(36.4%)が最多く、知的障害では「名前も内容も知っている」(32.3%)と「名前も内容も知らない」(32.3%)が最も多く、精神障害では「名前も内容も知らない」(38.3%)が最も多くなっています。

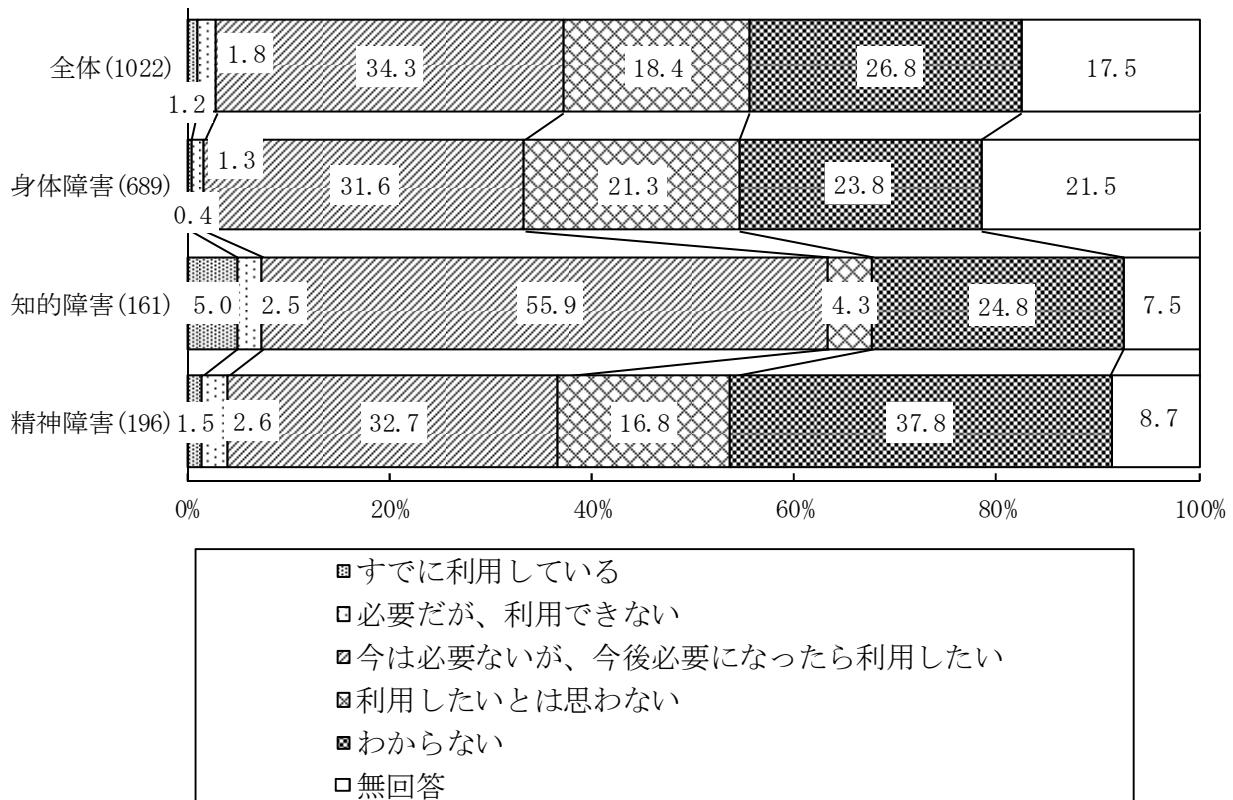


問43 成年後見制度の利用希望状況

あなたは、成年後見制度を利用したいと思いますか。(○はひとつ)

全体では、「今は必要ないが、今後必要になったら利用したい」が最も多く、34.3%となっています。次いで、「わからない」が26.8%、「利用したいとは思わない」が18.4%と続いています。

障害別にみると、身体障害と知的障害では「今は必要ないが、今後必要になったら利用したい」(身体障害31.6%、知的障害55.9%)が最も多く、精神障害では「わからない」(37.8%)が最も多くなっています。



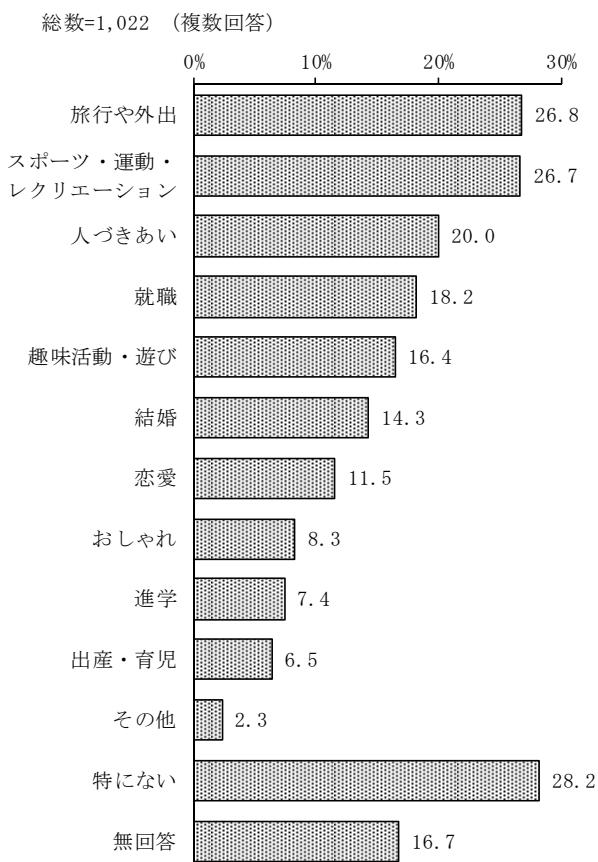
問44 障害があるためにあきらめたこと

あなたはこれまでに、障害があるためにあきらめたりできなかつたことがありますか。
(○はいくつでも)

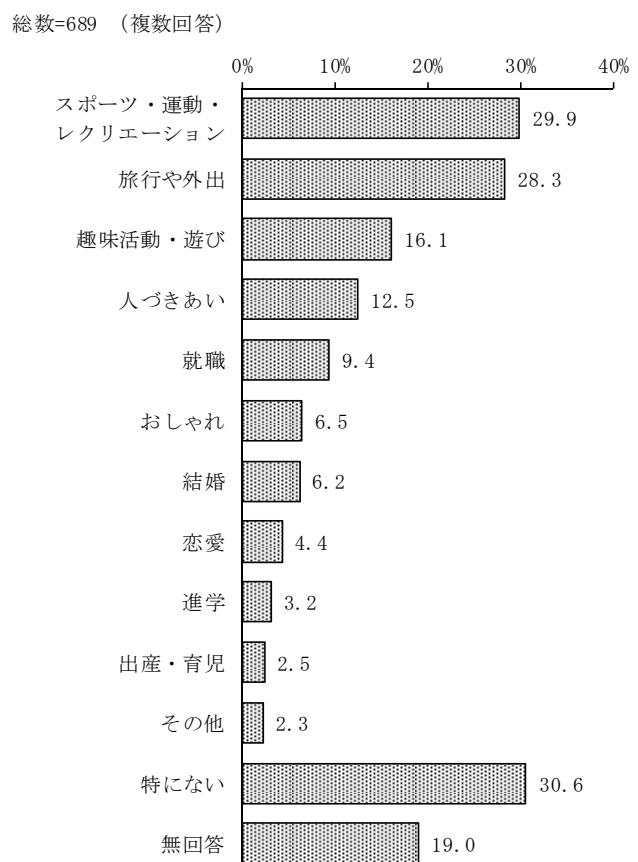
全体では、「旅行や外出」が多く、26.8%となっています。次いで、「スポーツ・運動・レクリエーション」が26.7%、「人づきあい」が20.0%、「就職」が18.2%、「趣味活動・遊び」が16.4%と続いています。なお、「特ない」が28.2%と最も多くなっています。

障害別にみると、身体障害では「スポーツ・運動・レクリエーション」(29.9%)が最も多く、知的障害では「結婚」(37.3%)が最も多く、精神障害では「就職」(44.9%)が最も多くなっています。

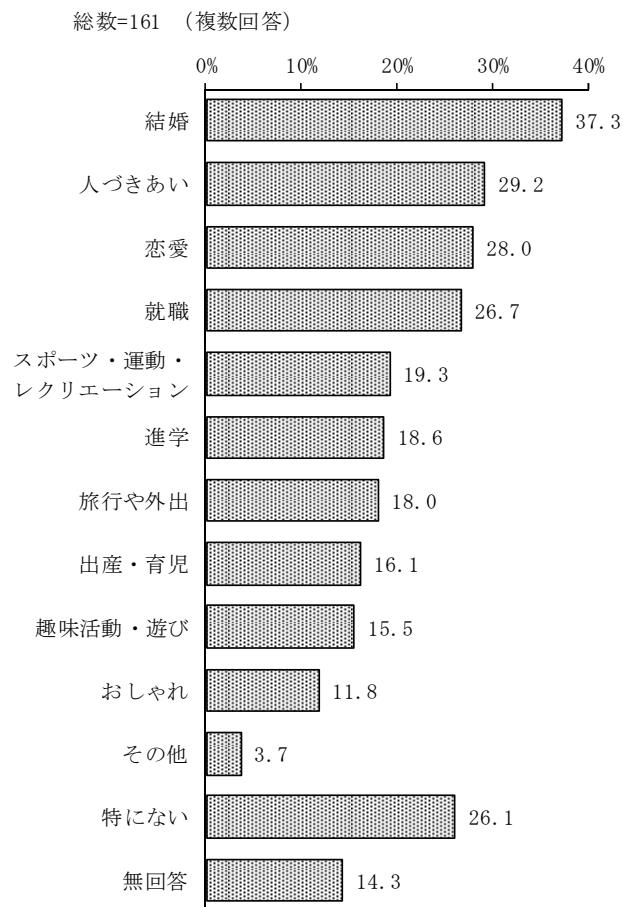
【全体】



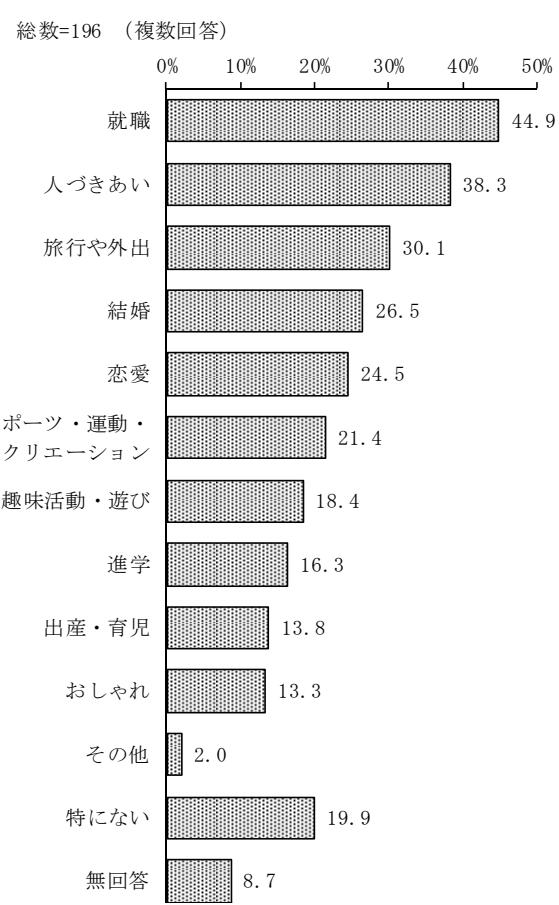
【身体障害】



【知的障害】



【精神障害】



障害ごとに性別による違いをみると、身体障害では女で「旅行や外出」(31.0%)が最も多くなっています。知的障害では男で「人づきあい」(38.6%)、「就職」(34.1%)、「進学」(25.0%)が女に比べて多く、女で「出産・育児」(24.7%)が男に比べて多くなっています。精神障害では女で「出産・育児」(27.0%)、「おしゃれ」(19.1%)が男に比べて多くなっています。

●障害があるためにあきらめたこと（性別）

		全 体	進 学	就 職	恋 愛	結 婚	出 産 ・ 育 児	人 づ き あ い
全体		1,022 100.0	76 7.4	186 18.2	118 11.5	146 14.3	66 6.5	204 20.0
身体 障 害	男	317 100.0	10 3.2	32 10.1	18 5.7	25 7.9	1 0.3	40 12.6
	女	368 100.0	12 3.3	33 9.0	12 3.3	18 4.9	16 4.3	46 12.5
知 的 障 害	男	88 100.0	22 25.0	30 34.1	28 31.8	35 39.8	8 9.1	34 38.6
	女	73 100.0	8 11.0	13 17.8	17 23.3	25 34.2	18 24.7	13 17.8
精神 障 害	男	107 100.0	19 17.8	50 46.7	30 28.0	30 28.0	3 2.8	45 42.1
	女	89 100.0	13 14.6	38 42.7	18 20.2	22 24.7	24 27.0	30 33.7

		旅 行 や 外 出	お し や れ	趣 味 活 動 ・ 遊 び	レ ス ク ボ リ ー エ ツ ー ・ シ 運 ヨ 動 ン ・	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体		274 26.8	85 8.3	168 16.4	273 26.7	24 2.3	288 28.2	171 16.7
身体 障 害	男	79 24.9	7 2.2	47 14.8	102 32.2	6 1.9	106 33.4	55 17.4
	女	114 31.0	38 10.3	64 17.4	104 28.3	10 2.7	104 28.3	75 20.4
知 的 障 害	男	18 20.5	10 11.4	17 19.3	20 22.7	4 4.5	19 21.6	11 12.5
	女	11 15.1	9 12.3	8 11.0	11 15.1	2 2.7	23 31.5	12 16.4
精神 障 害	男	30 28.0	9 8.4	18 16.8	22 20.6	3 2.8	24 22.4	10 9.3
	女	29 32.6	17 19.1	18 20.2	20 22.5	1 1.1	15 16.9	7 7.9

身体障害の部位による違いをみると、聴覚・平衡機能障害では「人づきあい」(37.8%)が最も多く、音声・言語・そしゃく機能障害と内部障害では「旅行や外出」(音声・言語・そしゃく機能障害 34.3%、内部障害 31.2%)が最も多くなっています。

●障害があるためにあきらめたこと（身体障害の部位別）

		全 体	進 学	就 職	恋 愛	結 婚	出 産 ・ 育 児	人 づ き あ い
身 体 障 害 の 部 位	全体	1,022 100.0	76 7.4	186 18.2	118 11.5	146 14.3	66 6.5	204 20.0
	視覚障害	66 100.0	4 6.1	9 13.6	1 1.5	1 1.5	2 3.0	9 13.6
	聴覚・平衡機能障害	37 100.0	4 10.8	4 10.8	2 5.4	3 8.1	3 8.1	14 37.8
	音声・言語・そしゃく機能障害	35 100.0	3 8.6	2 5.7	3 8.6	4 11.4	1 2.9	11 31.4
	肢体不自由	380 100.0	14 3.7	42 11.1	24 6.3	34 8.9	9 2.4	51 13.4
	内部障害	221 100.0	1 0.5	9 4.1	3 1.4	5 2.3	4 1.8	21 9.5
	無回答	340 100.0	55 16.2	124 36.5	87 25.6	101 29.7	50 14.7	115 33.8

		旅 行 や 外 出	お し や れ	趣 味 活 動 ・ 遊 び	レ ス ク ボ リ エ ツ ・ シ 運 ヨ 動 ン	そ の 他	特 に な い	無 回 答
身 体 障 害 の 部 位	全体	274 26.8	85 8.3	168 16.4	273 26.7	24 2.3	288 28.2	171 16.7
	視覚障害	17 25.8	4 6.1	16 24.2	21 31.8	— —	15 22.7	20 30.3
	聴覚・平衡機能障害	11 29.7	1 2.7	7 18.9	9 24.3	6 16.2	10 27.0	4 10.8
	音声・言語・そしゃく機能障害	12 34.3	3 8.6	7 20.0	9 25.7	2 5.7	9 25.7	7 20.0
	肢体不自由	112 29.5	37 9.7	75 19.7	133 35.0	5 1.3	97 25.5	73 19.2
	内部障害	69 31.2	5 2.3	24 10.9	56 25.3	4 1.8	91 41.2	34 15.4
	無回答	77 22.6	40 11.8	55 16.2	67 19.7	9 2.6	77 22.6	47 13.8

問45 あきらめないための支援

問44で「あきらめたりできなかつたことがあった（1～11）」と回答した方にお聞きします。

実現できなかつたことを実現するためにどのような支援が必要かお書きください。

ここでは、実現することができなかつたことを実現するために必要な支援の件数を示します。複数の分野にまたがる意見については、それぞれの分野で計上しています。

「障害理解・交流」が最も多く、38件となっています。次いで「介助者の確保・サービスの充実」が18件、「移動・送迎・外出の付き添い」が15件、「情報提供・相談」と「就労支援」が13件と続いています。

回答の内容	件数
障害理解・交流	38
介助者の確保・サービスの充実	18
移動・送迎・外出の付き添い	15
情報提供・相談	13
就労支援	13
経済的な支援	12
医療・薬の充実	11
バリアフリー化	6
日常生活における支援	5

●主な意見

※ここで掲載した回答は、大意を変えずに一部を省略・要約している場合があります。

【障害理解・交流】

「障害者に対する理解のみ。自分もいつか何かしらの障害が出てくることを知らず、差別化している方がまだまだ多いが理解してもらえば時とともに解決していくはず。」（45歳・女性・身体障害）

「地域社会へ障害に関する情報を提供し、理解を深められるような活動の推進。」（68歳・女性・身体障害、精神障害）

「職場、会社の理解が大事。」（41歳・男性・身体障害）

「競技に関わるスポーツはほとんどできなかつた。今はパラリンピックもあり、能力や身体的条件に応じて参加が可能になっているが、もっと気軽に参加出来るよう、行政も社会も奨励、支援する制度と社会的理解が進んで欧米に追いついてほしいと思う。」（80歳・男性・身体障害）

「障害者と言うこともありましたが、人との接し方が難しいと思いました。幼い頃に野球選手になりたいとか、マラソンをテレビで見るのが好きだったり、色々とスポーツに興味があり、プールに行かせたり（通ったり）試みましたが、もっと家族（主人も忙しい）特に主人の理解があればと思った時もありました。息子と外でもっと遊んでほしいなど。」（24歳・男性・身体障害、知的障害）

【介護者の確保・サービスの充実】

「いつも側にいてサポートをしてもらわなければならない。」（48歳・女性・身体障害）

「自分一人での行動ができないので、共に行動してくれる方。」（50歳・女性・精神障害）

「旅行にもホームヘルパーの付き添いを認めてほしい。趣味にも同じくヘルパーが必要です。」（41歳・男性・身体障害）

「今抱えている不安を家族や医師以外の人に話を聞いてもらい共感、同感をしてもらい、少しでも不安を解消したい。一人で最後を迎えるために家族にめいわくをかけないようにするために行政やサービスを利用して準備しておきたい。」（70歳・女性・精神障害）

【移動・送迎・外出の付き添い】

「移動支援事業を充実してほしい。もっとガイドヘルパーを使いやすいようにしてほしい。時間も足りないし人も足りていない。」（32歳・男性・知的障害）

「一人での行動、外出が不可能。介護してくれる人が2人いると外出ができると思っています。」（34歳・女性・知的障害、精神障害）

「福祉タクシーが少なく利用したいときに利用できない。福祉タクシーやバスを増やしてほしい。」（25歳・女性・身体障害、知的障害）

「1人で外出出来ないため、だれかいっしょに行ってくれる人がほしい。」（79歳・女性・身体障害）

【情報提供・相談】

「細かい情報がわからない。広報『あきしま』等で詳しく案内を知らせてください。障害者だけの集会等の情報がほしいです。」（44歳・男性・知的障害）

「障害者への情報提供。」（32歳・女性・身体障害、精神障害）

「なんでも相談できる人がほしい。」（48歳・女性・精神障害）

【就労支援】

「就職をもっと障害を持った人にしやすくなるよう、仕事や求人を増やすように働きかけてほしい。」（36歳・男性・精神障害）

「就労支援の相談窓口がどこにあるのか、どのように利用出来るのか、昭島市の相談窓口は『精神障害者の社会復帰』とあるだけで、大まかすぎてどこまでの相談ができるのか全くわからないので、もっ

と具体的な就労支援が必要。」(47歳・男性・精神障害)

「どのような職種であっても、だれにでもできるかんたんな仕事があり、働く事ができれば良いと思います。」(35歳・男性・知的障害)

【経済的な支援】

「『できなかった』より『あきらめた』の方が理由になると思うが、一つは身体的なこと社会的立場、経済的なことも強くある。もう少し経済的な生活のゆとりがあれば無理なことではないと思う。」(43歳・男性・精神障害)

「経済的保障があるなら結婚したい。コンピュータを使えるようになりたい。」(46歳・男性・精神障害)

「福祉がもっと拡大され多方面に無料もしくは低価で支援してほしい。」(無回答)

【医療・薬の充実】

「5番の出産をあきらめました。内服している薬が理由でした。精神科の薬で、妊娠していて内服しても問題のない薬があれば良かったのにと思いました。むずかしいのでしょうか?」(38歳・女性・精神障害)

「自分に合った医療機関へのすみやかな受け入れ、治療に必要な薬のすみやかな開発、認可。」(33歳・女性・身体障害)

「症状をきちんと把握できる高度な知識を持った医師が少なく、ちゃんと治療するまで何年もかかってしまった。」(35歳・女性・精神障害)

【バリアフリー化】

「身障者の人たちがその障害の程度に応じて利用出来るスポーツ施設の充実と駐車場の確保。」(61歳・男性・身体障害)

「蓄便袋装着のため、旅行、外出に対し、トイレを利用する場合、設備に対し不満であり、改善してほしい所があります。」(71歳・女性・身体障害)

【日常生活における支援】

「親が生きている間は大丈夫ですがお金の使い方が分からないのでお金の管理をしてくれる第3者が必要。」(23歳・男性・知的障害)

「対人関係を学ぶ環境がなかったので、そういう場をつくってほしいです。(統合失調症)人と関わる場がなくて本人はとてもさみしい思いをしていたので、そういう支援をお願いします。」(46歳・女性・精神障害)

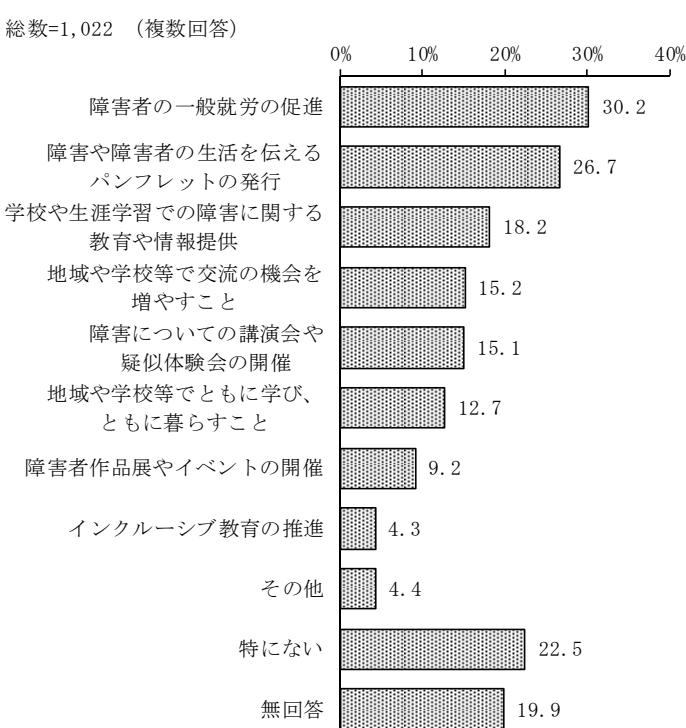
問46 障害への理解を進めるための市の取組

障害への理解を進めるためにどのようなことに市が力を入れるべきだと思いますか。
(○はいくつでも)

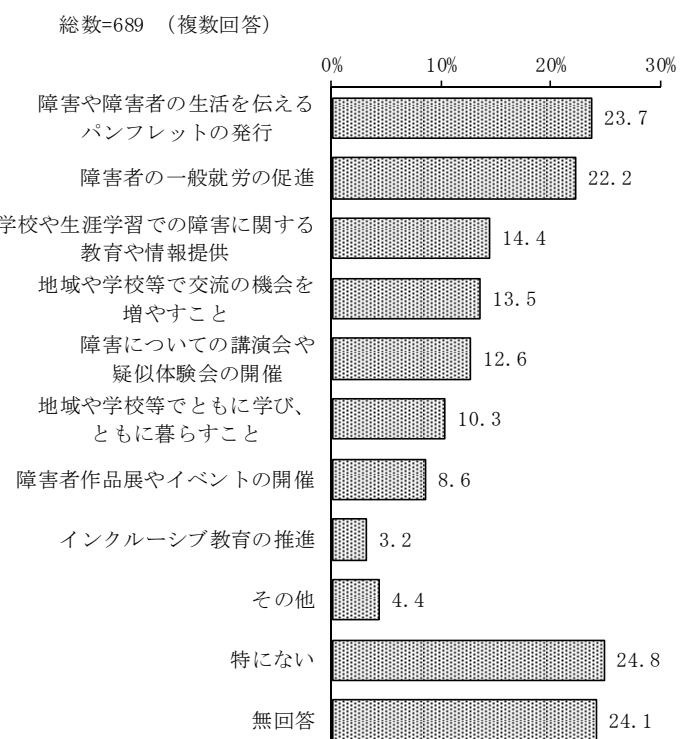
全体では、「障害者の一般就労の促進」が最も多く、30.2%となっています。次いで、「障害や障害者の生活を伝えるパンフレットの発行」が26.7%、「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報提供」が18.2%、「地域や学校等で交流の機会を増やすこと」が15.2%、「障害についての講演会や疑似体験会の開催」が15.1%と続いています。なお、「特ない」が22.5%と多くなっています。

障害別にみると、身体障害では「障害や障害者の生活を伝えるパンフレットの発行」(23.7%)が最も多く、知的障害と精神障害では「障害者の一般就労の促進」(知的障害 44.7%、精神障害 50.0%)が最も多くなっています。また、知的障害では「地域や学校等で交流の機会を増やすこと」(25.5%)が、精神障害では「障害や障害者の生活を伝えるパンフレットの発行」(37.2%)が他の障害に比べて多くなっています。

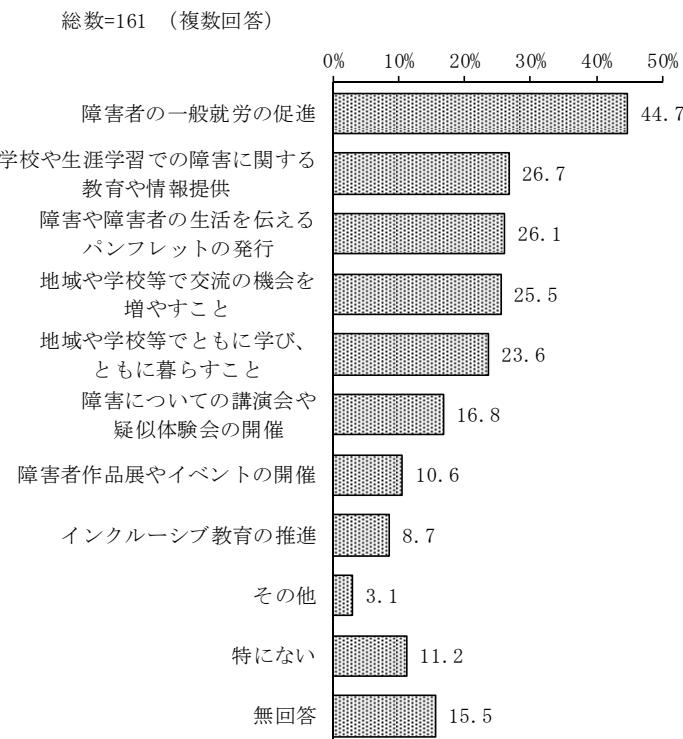
【全体】



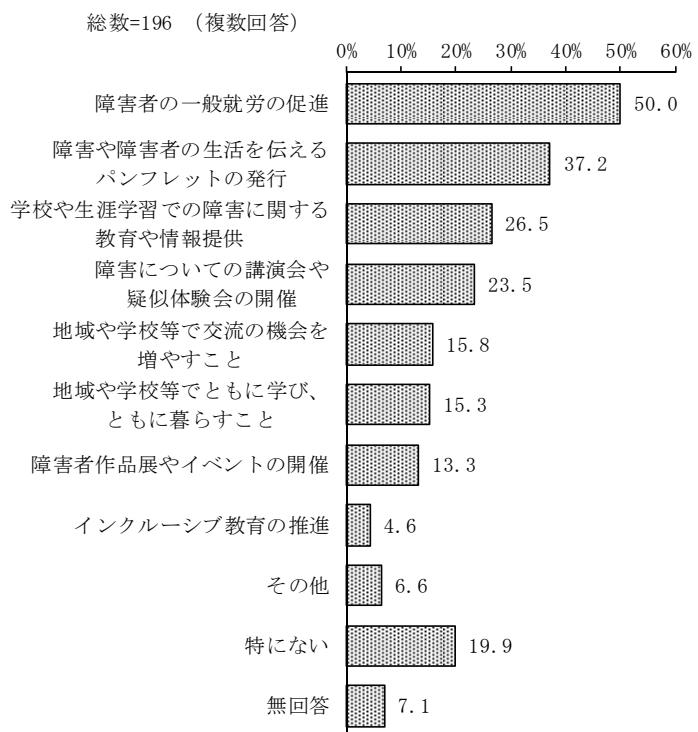
【身体障害】



【知的障害】



【精神障害】



11 災害対策について

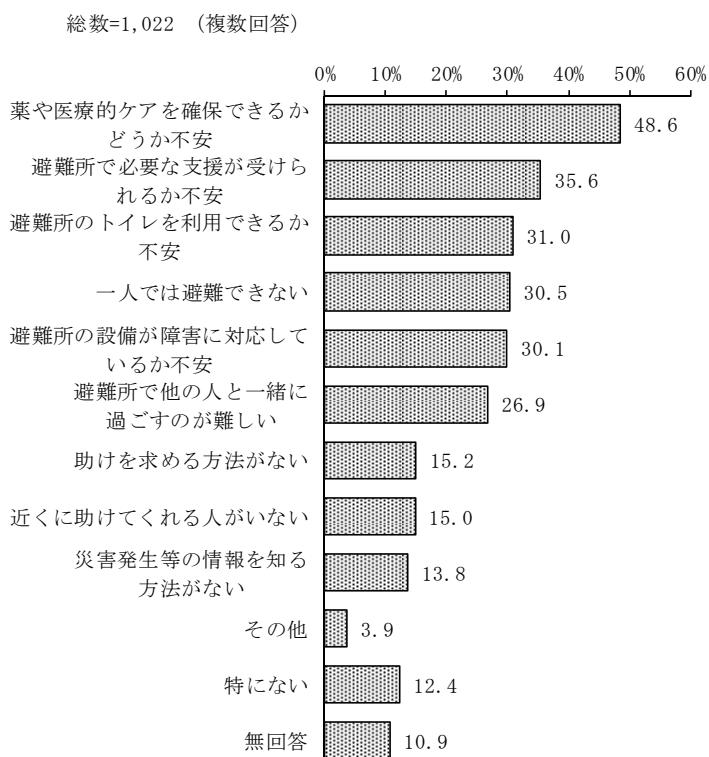
問47 災害時に不安なこと

あなたが、地震などの災害が発生したときに困ることや不安なことは何ですか。
(○はいくつでも)

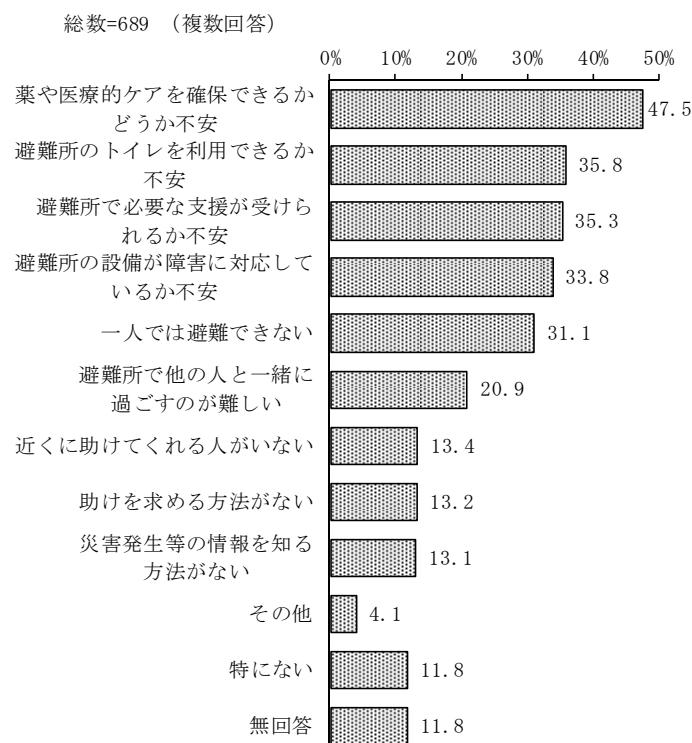
全体では、「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」が最も多く、48.6%となっています。次いで、「避難所で必要な支援が受けられるか不安」が35.6%、「避難所のトイレを利用できるか不安」が31.0%、「一人では避難できない」が30.5%、「避難所の設備が障害に対応しているか不安」が30.1%と続いています。

障害別にみると、身体障害と精神障害では「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」（身体障害47.5%、精神障害64.3%）が最も多く、知的障害では「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」（46.6%）が最も多くなっています。また、身体障害では「避難所のトイレを利用できるか不安」（35.8%）が、知的障害では「一人では避難できない」（42.9%）、「災害発生等の情報を知る方法がない」（24.2%）が他の障害に比べて多くなっています。

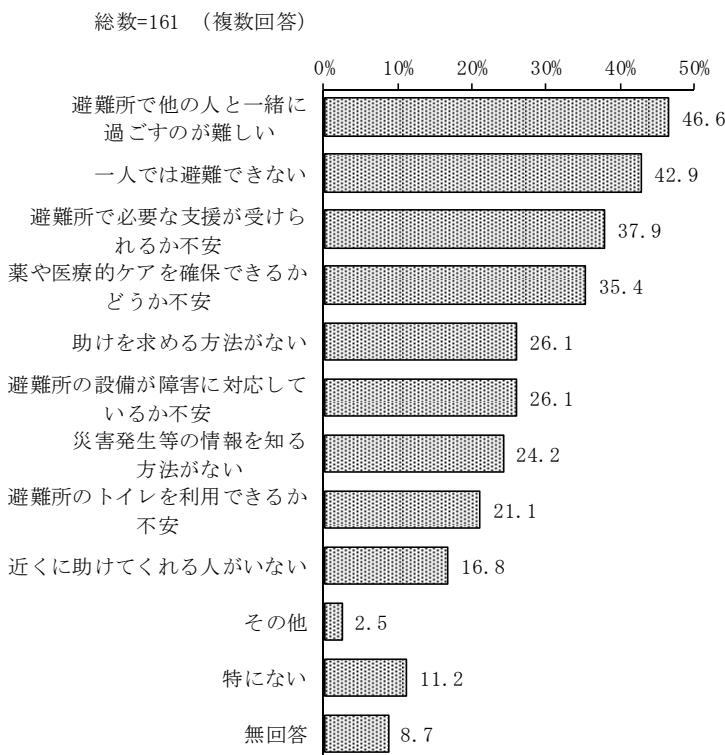
【全体】



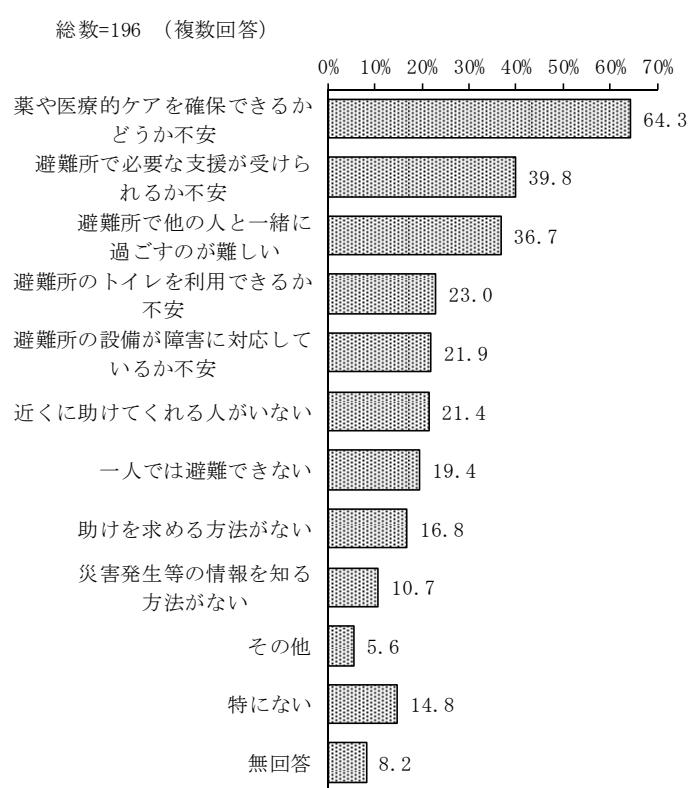
【身体障害】



【知的障害】



【精神障害】



障害ごとに世帯構成による違いをみると、精神障害ではひとり暮らしで「近くに助けてくれる人がいない」(40.0%)が家族と同居に比べて多くなっています。

●災害時に不安なこと（世帯構成別）

		全 体	を災 害知 る発 生方 法等 がの な情 い報	助 けを が求 め ない 方 法	近 く人 に助 けい なぐ れ	一 人 で なは い避 難 で き	害 避 に難 か対 所の 不 安	利 避 用難 で所 のト かイ レ	援 避 が難 受所 不 可で 安ら いが る障 安を	一 避 難に 所過 で他 のす 人の がと	確 葉や 医療的 か不 安	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体		1,022	141	155	153	312	308	317	364	275	497	40	127	111
身体障害	家族と同居	538 100.0	67 13.8	65 15.2	61 15.0	166 30.5	189 30.1	193 31.0	191 35.6	117 26.9	262 48.6	18 3.9	64 12.4	61 10.9
	ひとり暮らし	130 100.0	22 16.9	24 18.5	30 23.1	42 32.3	39 30.0	46 35.4	46 35.4	23 17.7	54 41.5	9 6.9	15 11.5	16 12.3
	グループホーム等での集団生活	6 100.0	— —	1 16.7	1 16.7	3 50.0	1 16.7	3 50.0	2 33.3	2 33.3	4 66.7	— —	— —	1 16.7
知的障害	家族と同居	148 100.0	38 25.7	40 27.0	25 16.9	66 44.6	41 27.7	31 20.9	58 39.2	70 47.3	51 34.5	4 2.7	17 11.5	11 7.4
	ひとり暮らし	7 100.0	1 14.3	2 28.6	2 28.6	3 42.9	1 14.3	2 28.6	3 42.9	3 42.9	5 71.4	— —	1 14.3	— —
	グループホーム等での集団生活	2 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	2 100.0	— —	— —	— —	— —
精神障害	家族と同居	128 100.0	10 7.8	18 14.1	15 11.7	25 19.5	26 20.3	26 20.3	49 38.3	45 35.2	81 63.3	6 4.7	22 17.2	11 8.6
	ひとり暮らし	65 100.0	11 16.9	15 23.1	26 40.0	13 20.0	17 26.2	19 29.2	28 43.1	25 38.5	44 67.7	4 6.2	7 10.8	4 6.2
	グループホーム等での集団生活	1 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 100.0	— —	— —	— —	— —

※身体障害のグループホーム等での集団生活、知的障害のひとり暮らし、グループホーム等での集団生活、精神障害のグループホーム等での集団生活は回答者数が少ないとみ、参考値となります。

身体障害の部位による違いをみると、視覚障害と音声・言語・そしやく機能障害では「一人では避難できない」(視覚障害 50.0%、音声・言語・そしやく機能障害 48.6%)が最も多くなっているほか、音声・言語・そしやく機能障害では「避難所で必要な支援を受けられるかどうか不安」(48.6%)、「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」(48.6%)、「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」(48.6%)も最も多くなっています。聴覚・平衡機能障害では「災害発生等の情報を知る方法がない」(40.5%)が最も多くなっています。

●災害時に不安なこと（身体障害の部位別）

		全 体	を災 害知 る発 生方 法等 がの な情 い報	助 けを が求 め ない 方 法	近 く人 に助 けい なぐ れ	一 人 で なは い避 難 で き	害 避 に難 か対 所の 不 安	利 避 用難 で所 のト かイ レ	援 避 が難 受所 不 可で 安ら いが る障 安を	一 避 難に 所過 で他 のす 人の がと	確 葉や 医療的 か不 安	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体		1,022	141	155	153	312	308	317	364	275	497	40	127	111
身体障害の部位	視覚障害	66 100.0	11 16.7	13 19.7	12 18.2	33 50.0	26 39.4	27 40.9	27 40.9	20 30.3	32 48.5	3 4.5	1 1.5	15 22.7
	聴覚・平衡機能障害	37 100.0	15 40.5	7 18.9	9 24.3	8 21.6	13 35.1	12 32.4	13 35.1	12 32.4	14 37.8	2 5.4	6 16.2	3 8.1
	音声・言語・そしやく機能障害	35 100.0	6 17.1	9 25.7	7 20.0	17 48.6	13 37.1	12 34.3	17 48.6	17 48.6	17 48.6	2 5.7	7 20.0	— —
	肢体不自由	380 100.0	41 10.8	52 13.7	58 15.3	151 39.7	151 39.7	159 41.8	137 36.1	84 22.1	161 42.4	18 4.7	48 12.6	45 11.8
	内部障害	221 100.0	28 12.7	24 10.9	22 10.0	43 19.5	63 28.5	66 29.9	81 36.7	37 16.7	140 63.3	6 2.7	25 11.3	20 9.0
	無回答	340 100.0	51 15.0	65 19.1	59 17.4	95 27.9	75 22.1	71 20.9	127 37.4	133 39.1	176 51.8	14 4.1	46 13.5	31 9.1

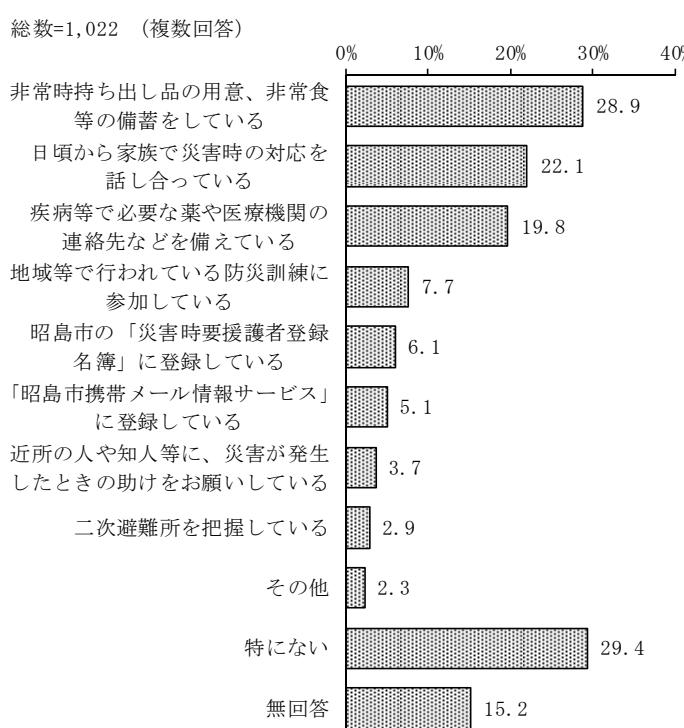
問48 災害に対して備えていること

あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。(○はいくつでも)

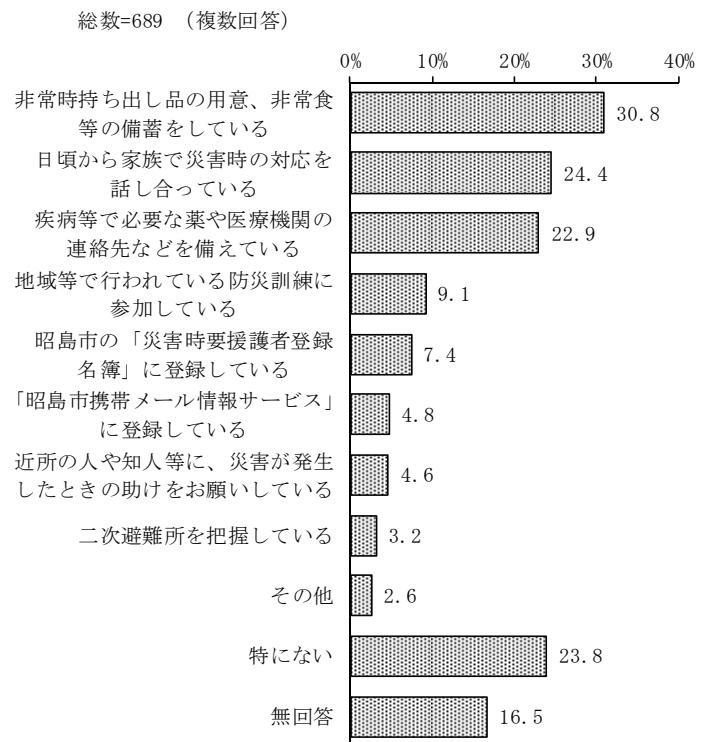
全体では、「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている」が多く、28.9%となっています。次いで、「日頃から家族で災害時の対応を話し合っている」が22.1%、「疾病等で必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている」が19.8%と続いています。なお、「特になし」が29.4%と最も多くなっています。

障害別にみると、身体障害では「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている」(30.8%)が最も多く、知的障害と精神障害では「特になし」(知的障害 34.2%、精神障害 45.4%)が最も多くなっています。

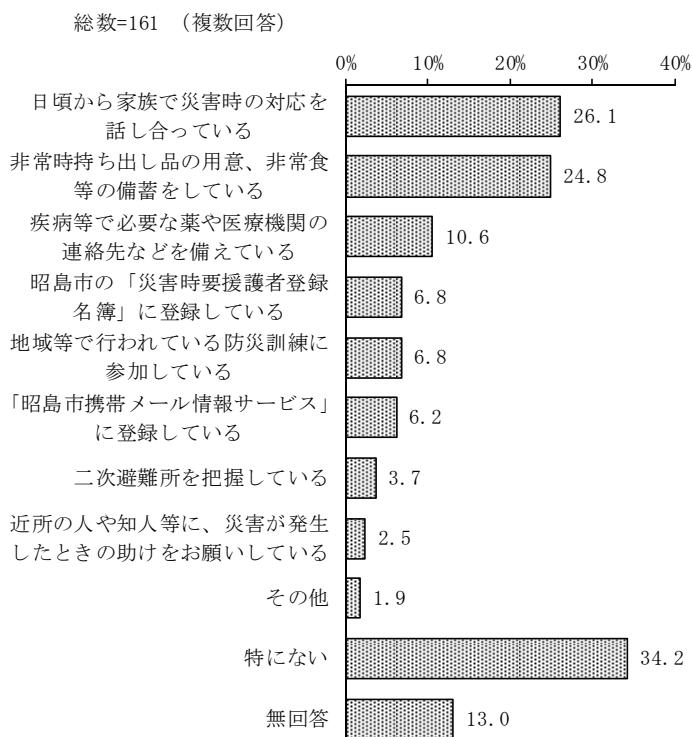
【全体】



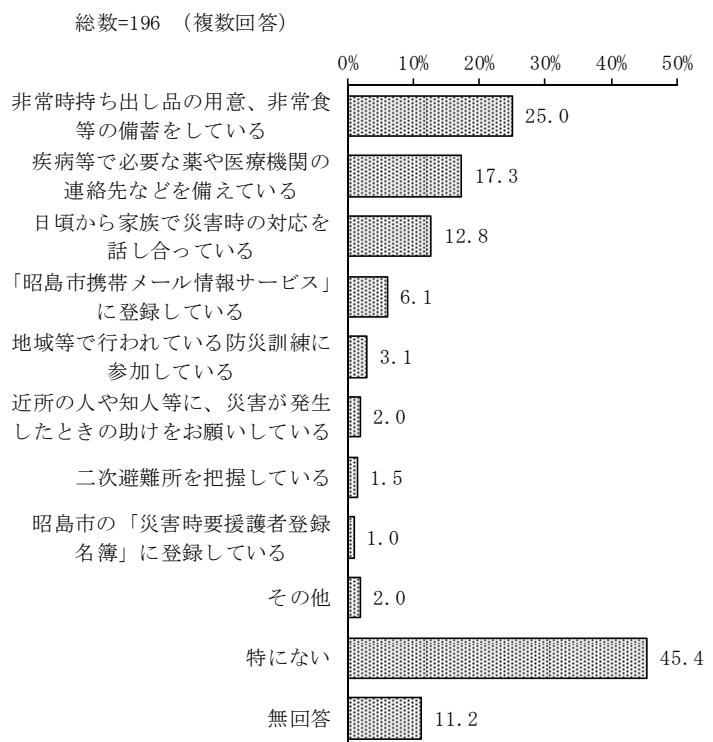
【身体障害】



【知的障害】



【精神障害】



問49 災害時に必要な支援

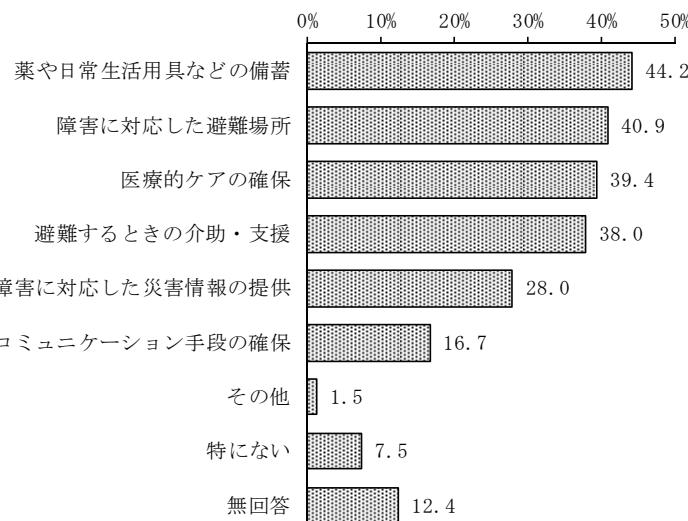
あなたは、災害に関してどのような支援が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

全体では、「薬や日常生活用具などの備蓄」が最も多く、44.2%となっています。次いで、「障害に対応した避難場所」が40.9%、「医療的ケアの確保」が39.4%、「避難するときの介助・支援」が38.0%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「避難するときの介助・支援」(42.4%)が最も多く、知的障害では「障害に対応した避難場所」(49.7%)が最も多く、精神障害では「薬や日常生活用具などの備蓄」(65.3%)が最も多くなっています。

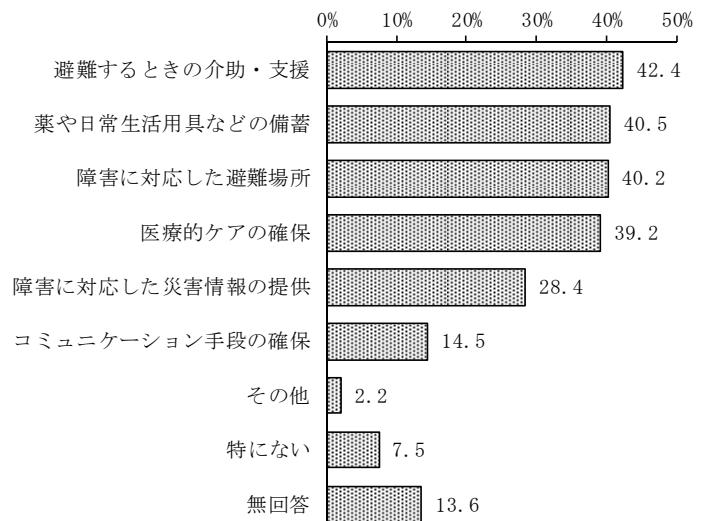
【全体】

総数=1,022 (複数回答)



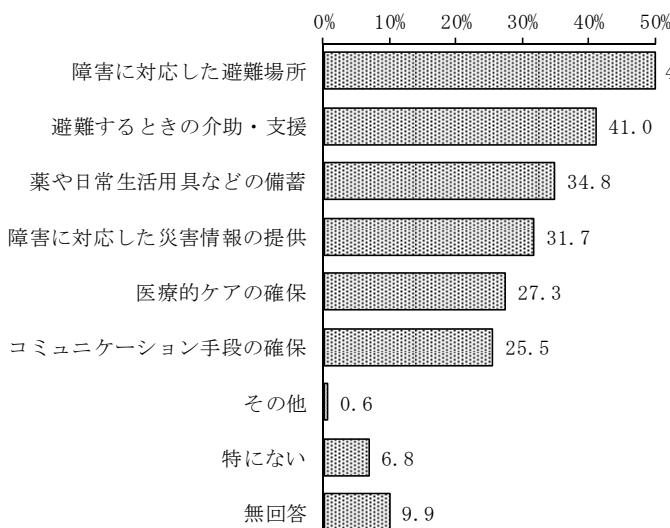
【身体障害】

総数=689 (複数回答)



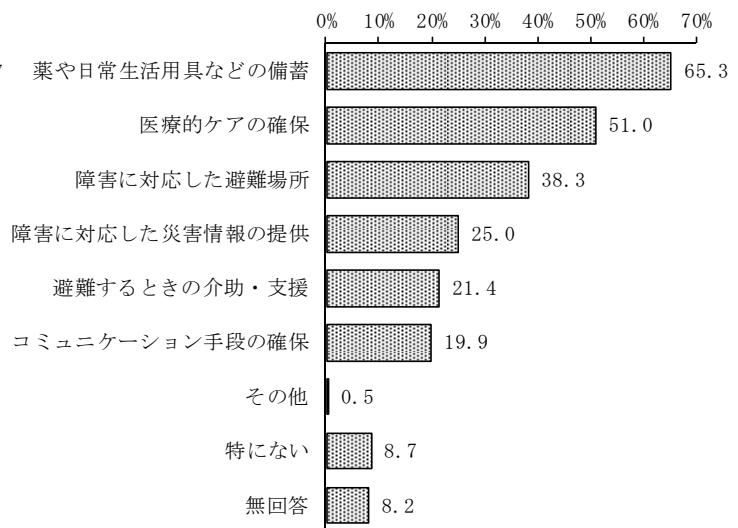
【知的障害】

総数=161 (複数回答)



【精神障害】

総数=196 (複数回答)



障害ごとに年齢による違いをみると、身体障害では40歳未満で「障害に対応した避難場所」(51.6%)と「薬や日常生活用具などの備蓄」(51.6%)が最も多く、40~64歳では「医療的ケアの確保」(43.5%)が最も多くなっています。知的障害では40歳未満で「障害に対応した避難場所」(57.3%)、「薬や日常生活用具などの備蓄」(40.6%)、「障害に対応した災害情報の提供」(39.6%)、「医療的ケアの確保」(31.3%)が40~64歳に比べて多くなっています。

●災害時に必要な支援（年齢別）

		全 体	避 介 難 助 す ・ る 支 と 援 き の	障 害 に 対 応 し た 避 難 場 所	薬 や 日 常 生 活 用 具 な ど の 備 蓄	医 療 的 ケ ア の 確 保	災 障 害 情 報 に 対 の 応 提 供	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 手 段 の 確 保 シ ョ ン	そ の 他	特 に な い	無 回 答
	全体	1,022 100.0	388 38.0	418 40.9	452 44.2	403 39.4	286 28.0	171 16.7	15 1.5	77 7.5	127 12.4
身体 障 害	40歳未満	31 100.0	14 45.2	16 51.6	16 51.6	14 45.2	14 45.2	8 25.8	3 9.7	1 3.2	1 3.2
	40~64歳	154 100.0	57 37.0	66 42.9	64 41.6	67 43.5	52 33.8	25 16.2	3 1.9	16 10.4	8 5.2
	65歳以上	504 100.0	221 43.8	195 38.7	199 39.5	189 37.5	130 25.8	67 13.3	9 1.8	35 6.9	85 16.9
知的 障 害	40歳未満	96 100.0	42 43.8	55 57.3	39 40.6	30 31.3	38 39.6	27 28.1	1 1.0	6 6.3	4 4.2
	40~64歳	55 100.0	20 36.4	23 41.8	14 25.5	11 20.0	12 21.8	12 21.8	- -	3 5.5	10 18.2
	65歳以上	10 100.0	4 40.0	2 20.0	3 30.0	3 30.0	1 10.0	2 20.0	- -	2 20.0	2 20.0
精神 障 害	40歳未満	54 100.0	8 14.8	23 42.6	39 72.2	30 55.6	13 24.1	10 18.5	- -	3 5.6	- -
	40~64歳	118 100.0	27 22.9	44 37.3	79 66.9	59 50.0	31 26.3	25 21.2	- -	11 9.3	9 7.6
	65歳以上	24 100.0	7 29.2	8 33.3	10 41.7	11 45.8	5 20.8	4 16.7	1 4.2	3 12.5	7 29.2

※知的障害の65歳以上、精神障害の65歳以上は回答者数が少ないとため、参考値となります。

身体障害の部位による違いをみると、聴覚・平衡機能障害では「障害に対応した避難場所」(48.6%)と「障害に対応した災害情報の提供」(48.6%)が最も多くなっています。

●災害時に必要な支援（身体障害の部位別）

		全 体	避 介 難 助 す ・ る 支 と 援 き の	障 害 に 対 応 し た 避 難 場 所	薬 や 日 常 生 活 用 具 な ど の 備 蓄	医 療 的 ケ ア の 確 保	災 障 害 情 報 に 対 の 応 提 供	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 手 段 の 確 保 シ ョ ン	そ の 他	特 に な い	無 回 答
	全体	1,022 100.0	388 38.0	418 40.9	452 44.2	403 39.4	286 28.0	171 16.7	15 1.5	77 7.5	127 12.4
身体 障 害 の 部 位	視覚障害	66 100.0	38 57.6	28 42.4	29 43.9	20 30.3	21 31.8	12 18.2	- -	1 1.5	18 27.3
	聴覚・平衡機能障害	37 100.0	10 27.0	18 48.6	15 40.5	12 32.4	18 48.6	14 37.8	1 2.7	4 10.8	3 8.1
	音声・言語・そしゃく機能障害	35 100.0	20 57.1	19 54.3	11 31.4	16 45.7	11 31.4	10 28.6	- -	5 14.3	- -
	肢体不自由	380 100.0	195 51.3	167 43.9	143 37.6	141 37.1	113 29.7	57 15.0	7 1.8	29 7.6	53 13.9
	内部障害	221 100.0	68 30.8	75 33.9	108 48.9	112 50.7	55 24.9	26 11.8	6 2.7	14 6.3	24 10.9
	無回答	340 100.0	96 28.2	145 42.6	180 52.9	134 39.4	93 27.4	73 21.5	1 0.3	26 7.6	33 9.7

12 将来について

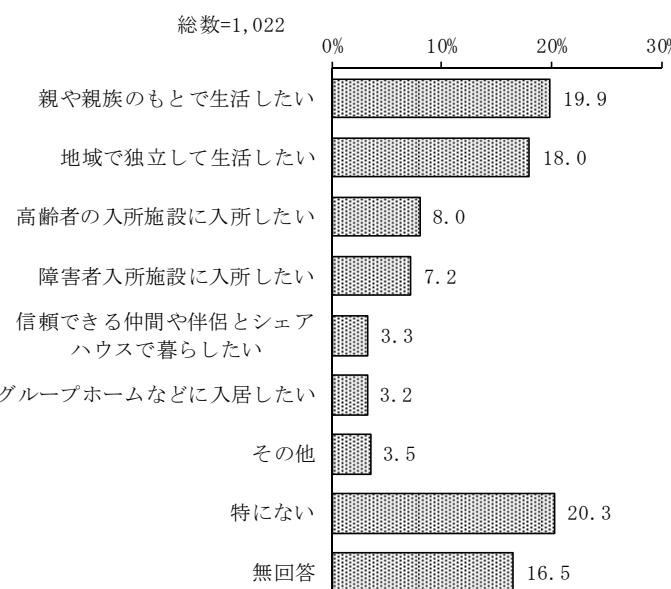
問50 希望する将来の暮らし方

あなたは将来、どのような生活を希望しますか。(○はひとつ)

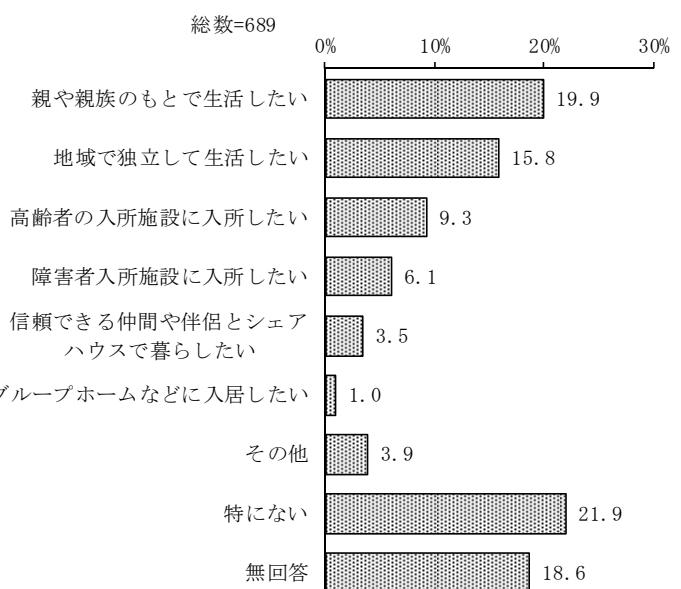
全体では、「親や親族のもとで生活したい」が最も多く、19.9%となっています。次いで、「地域で独立して生活したい」が18.0%、「高齢者の入所施設に入所したい」が8.0%、「障害者入所施設に入所したい」が7.2%と続いています。なお、「特ない」が20.3%と最も多くなっています。

障害別にみると、身体障害と知的障害では「親や親族のもとで生活したい」(身体障害 19.9%、知的障害 24.8%)が最も多く、精神障害では「地域で独立して生活したい」(29.6%)が最も多くなっています。また、知的障害では「障害者入所施設に入所したい」(19.9%)が他の障害に比べて多くなっています。

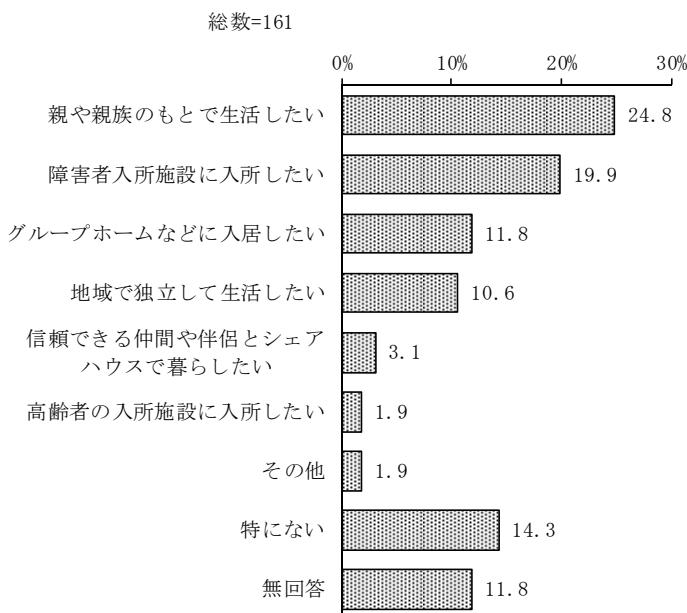
【全体】



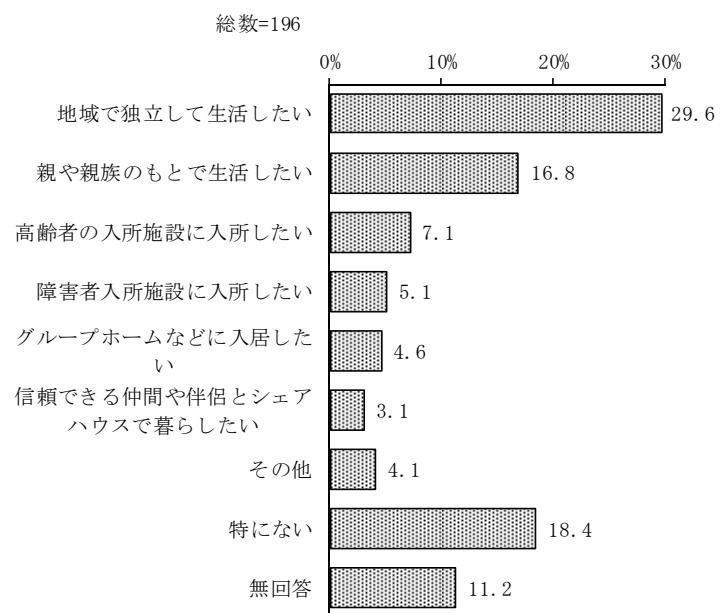
【身体障害】



【知的障害】



【精神障害】



障害ごとに年齢による違いをみると、身体障害では 40～64 歳で「地域で独立して生活したい」(22.1%) が最も多くなっています。知的障害では 40～64 歳で「障害者入所施設に入所したい」(23.6%) が最も多くなっています。

●希望する将来の暮らし方（年齢別）

		地域 活 で し 独 立 い し て 生	親 や 親 族 の も と で	伴 信 ス で 暮 と シ ら シ エ ア 仲 た ハ 間 い ウ や	グ ル ー 入 居 し た ム い な	障 害 入 所 し た い 施 設 に	高 に 入 れ る 人 の 所 し た い 施 設	そ の 他	特 に な い	無 回 答	
全体		1,022	184	203	34	33	74	82	36	207	169
		100.0	18.0	19.9	3.3	3.2	7.2	8.0	3.5	20.3	16.5
身体 障 害	40歳未満	31	6	8	3	1	4	—	3	4	2
	100.0	100.0	19.4	25.8	9.7	3.2	12.9	—	9.7	12.9	6.5
	40～64歳	154	34	30	8	1	12	7	5	40	17
知的 障害	65歳以上	504	69	99	13	5	26	57	19	107	109
	100.0	100.0	13.7	19.6	2.6	1.0	5.2	11.3	3.8	21.2	21.6
	40歳未満	96	10	25	5	15	18	—	2	15	6
精神 障害	100.0	100.0	10.4	26.0	5.2	15.6	18.8	—	2.1	15.6	6.3
	40～64歳	55	7	12	—	4	13	1	1	8	9
	65歳以上	10	—	3	—	—	1	2	—	—	4
	100.0	100.0	—	30.0	—	—	10.0	20.0	—	—	40.0
	40歳未満	54	17	12	2	3	2	—	4	11	3
	100.0	100.0	31.5	22.2	3.7	5.6	3.7	—	7.4	20.4	5.6
	40～64歳	118	36	20	4	4	5	11	3	22	13
	65歳以上	24	5	1	—	2	3	3	1	3	6
	100.0	100.0	20.8	4.2	—	8.3	12.5	12.5	4.2	12.5	25.0

※知的障害の 65 歳以上、精神障害の 65 歳以上は回答者数が少ないとため、参考値となります。

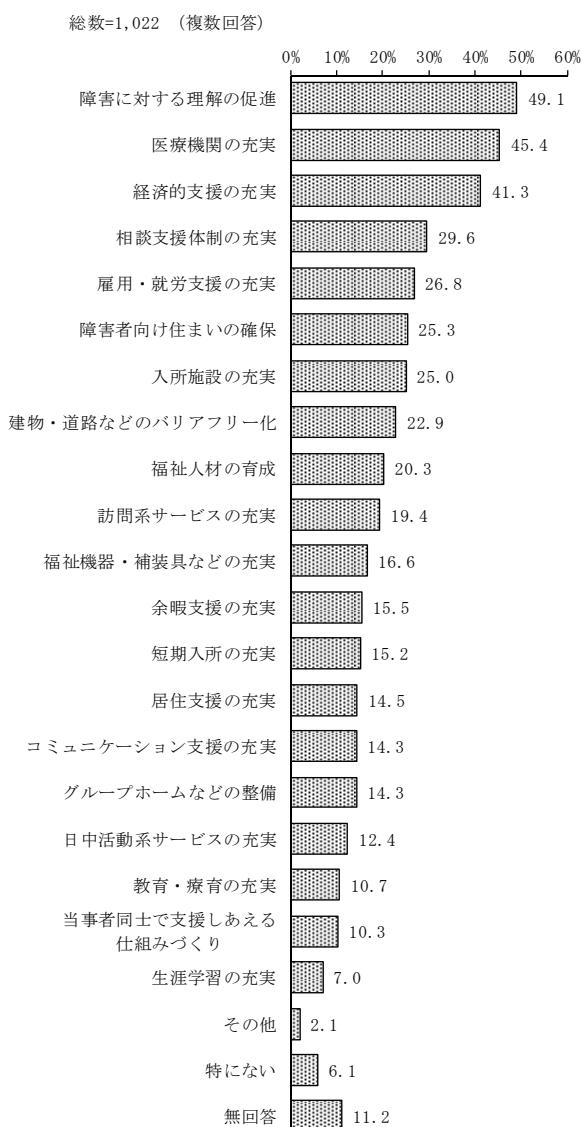
問51 地域で安心して暮らすために必要な支援

障害者が地域で安心して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いますか。
(○はいくつでも)

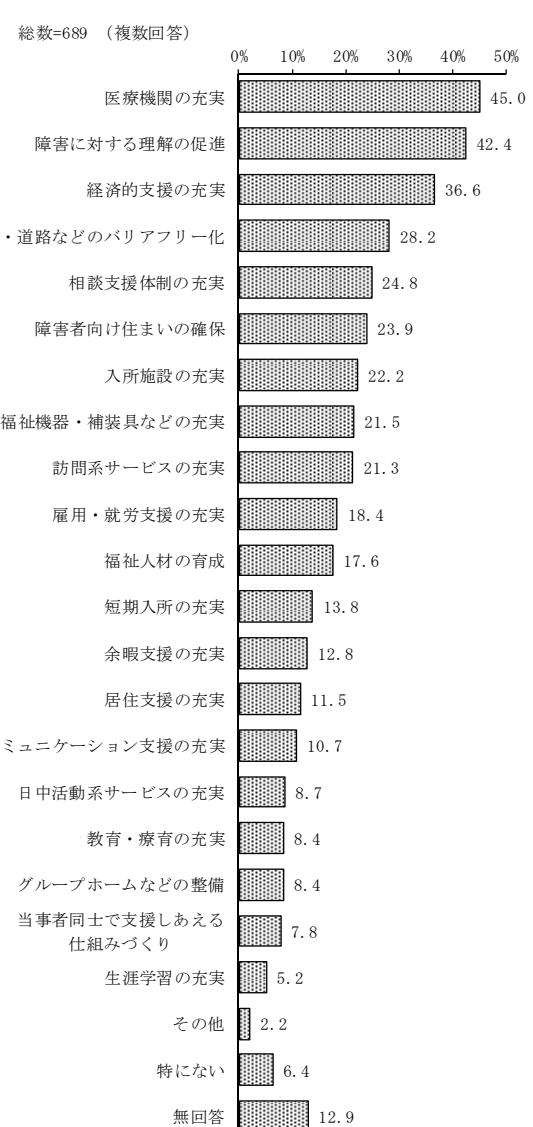
全体では、「障害に対する理解の促進」が最も多く、49.1%となっています。次いで、「医療機関の充実」が45.4%、「経済的支援の充実」が41.3%、「相談支援体制の充実」が29.6%、「雇用・就労支援の充実」が26.8%、「障害者向け住まいの確保」が25.3%、「入所施設の充実」が25.0%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「医療機関の充実」(45.0%)が最も多く、知的障害と精神障害では「障害に対する理解の促進」(知的障害 55.3%、精神障害 65.8%)が最も多くなっています。また、身体障害では「建物・道路などのバリアフリー化」(28.2%)、「福祉機器・補装具などの充実」(21.5%)が、知的障害では「入所施設の充実」(43.5%)、「グループホームなどの整備」(33.5%)、「短期入所の充実」(27.3%)が、精神障害では「経済的支援の充実」(57.1%)が他の障害に比べて多くなっています。

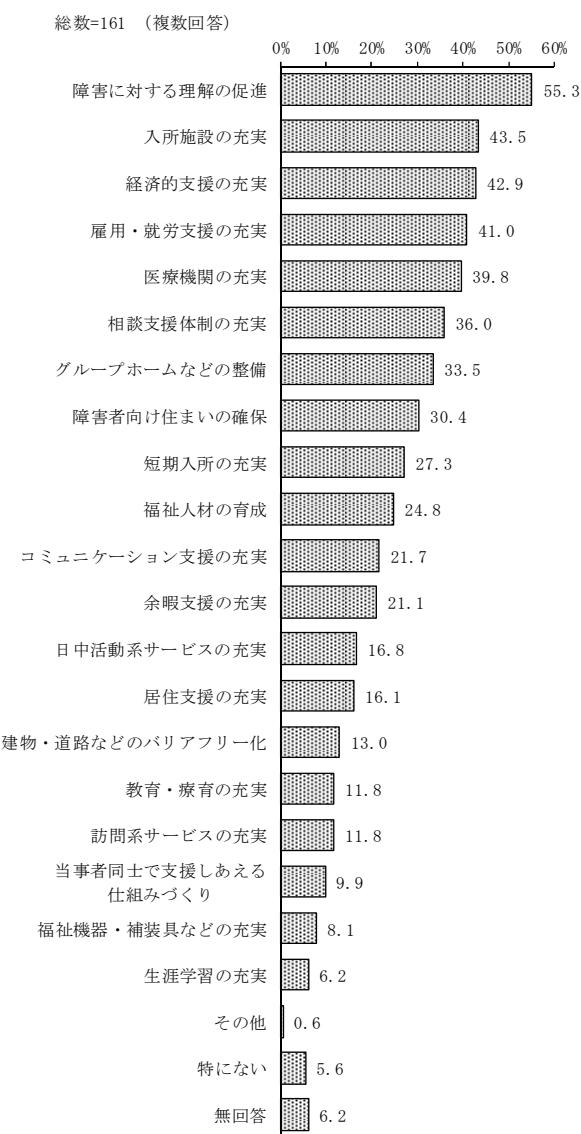
【全体】



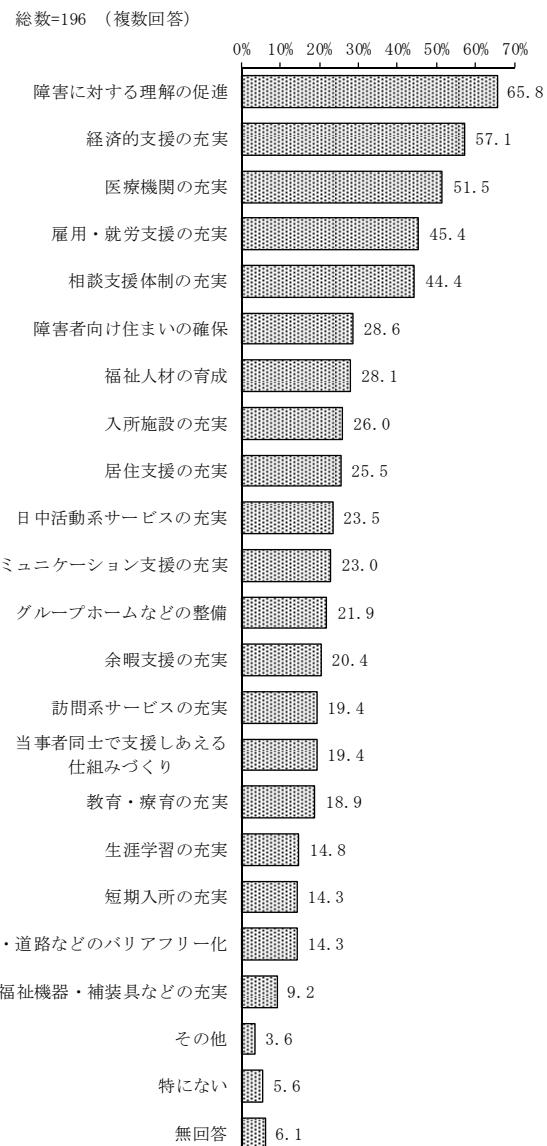
【身体障害】



【知的障害】



【精神障害】



13 自由意見

問 52 自由意見

市の障害者施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

ここでは、自由意見の件数を示します。複数の分野にまたがる意見については、それぞれの分野で計上しています。

「福祉サービス」が最も多く、43 件となっています。次いで「行政（市）の対応・制度・手続き」が 40 件、「経済事情・経済的支援」が 33 件、「情報・相談」と「将来の不安」が 23 件となっています。

回答の内容	件数
福祉サービス	43
行政（市）の対応・制度・手続き	40
経済事情・経済的支援	33
情報・相談	23
将来の不安	23
生活環境	22
障害理解・交流	19
防災	10
雇用・就労	8
医療・健康	5
介助者への支援	5
その他	68
回答者数	230

●主な意見

※ここで掲載した回答は、大意を変えずに一部を省略・要約している場合があります。

【福祉サービス】

「障害のある子の介助は親だけでは限界があるので、もっとヘルパーさんの育成に力を入れて欲しい！！市内に、グループホームや入所施設、通所施設がほとんど無いので早急に検討して欲しい。移

動支援の時間が少ないので希望した月だけでも増やせるようにして欲しいです！！」（23歳・男性・知的障害）

「昭島市には、障害者の入所施設がないので、親が亡くなつて一人になつた時に、どのようにして生きて行けば良いのか困っています。」（34歳・女性・知的障害、精神障害）

「ショートステイ：日数の確保に、柔軟な姿勢が必要。市内のグループホームの確保、充実。他市からみて少ない。新規のグループホームが必要。現存のホームは作業所系列の障害者しか入居できず、他からの障害者は受け入れてもらえない。」（23歳・女性・知的障害）

「福祉関係で使う用具は、少ない利用者ということもあるが、高値だと思う。また、使いやすくするため一括購入とレンタルでの使用を認めているが、購入するかレンタルにするかは使用する人の選択にすべきです。レンタルで利用するのが多くなるとかえって長期に利用することが多くなるので毎月の負担が大きくなつて大変なですからぜひ改善して欲しい。他の障害者は知らないが私は貧乏人です。負担に感じています。」（77歳・無回答・身体障害）

「利用するものに時間か人員両方をもっと柔軟にしてほしい。何曜日何時から、ではなく24時間の対応にしてほしい。」（無回答）

「私は精神障害者ですが、身体にも重い疾患を患つておつり、また体力もかなり低下しており、身体を自由に動かすことができません。そのため家事は同居の高齢の母親がしてくれていますが、いずれは母親の援助も得られなくなることは、分かっています。その際、母親に対する介護のサービスと、私に対する家のホームヘルプサービスの充実とその経済的支援、医療機関に体調が悪くて行けなかつた時の支援、市役所での事務手続代行の支援をお願い致します。また、高齢になつた時は、優先的に高齢者施設へ入所できるよう支援をお願いします。」（44歳・男性・精神障害）

【行政（市）の対応・制度・手続き】

「市役所が遠いので、東部出張所でも収入申告が出来るとありがたい。」（39歳・男性・精神障害）

「市役所窓口の対応の際、職員の障害に対する知識がなさすぎる。説明・言葉の使い方の不足。態度が障害者に対して悪い。書類が多すぎる。手続きが説明不足のために1回で終わらない。職員は簡単にまた来るよう言うが、障害者にとって何度も役所へ出向くのは大変な事だとわかっていない。障害者の事をもっと、もっと勉強し、理解を深めるべき。自分がそうなつたらと考え行動してほしい。」（52歳・女性・精神障害）

「障がい福祉にかかわる人たちだけでなく、他の公務員に対して障がい者に対する知識を深めて欲しいと思います。将来、障がい者の権利条約が批准されると、公共が提供しなければならないサービスが増えるので、用意をしておくべきだと思います。」（62歳・無回答・身体障害）

「福祉タクシーの助成請求書など、障害者が出かけて受け取りに行かなければならぬので、その分のタクシー代金（往復分）がムダです。タクシー券にしてタクシーの領収書を添付して送ることはできないでしょうか。」（71歳・女性・身体障害）

「減税、減免、金銭的補助、貸付制度、市の方からのコンタクト、役所に相談に来なければ始まらない

ことの無いようにしていく。平気で歩きたばこ、ポイ捨てをする市民が多く、条例での整備を進めていく。このようなアンケートを定期的に取りまとめ、アンケートのみで終わることの無い行政を進めて頂きたい。」(49歳・男性・身体障害)

【経済事情・経済的支援】

「障害者手当を増額していただきたいです。生活していくのに困っています。」(79歳・男性・身体障害)

「障害のある方の手当は月15000円ほどです。生活保護の方は月10万以上。体の不自由な障害者の手当がなんでこんなに少ないんですか。自分または家族が障害者になったら、生活困難になったら、家族の負担は大変です。生活保護者と同等の支給があってもいいと思います。手のことについて考えて欲しいです。」(無回答・女性・身体障害)

「市及び東京都そして国でありますが保護費が消滅されるのに来年の4月で消費税が8%になります。もっと障害のある人には経済的に助けていただきたいと思います。」(63歳・男性・精神障害)

「物価の上昇や税の上昇など生活に大打撃を受けてます。働きたくても、満足な事ができず無理です。ガソリン助成すらも半額になり生活に困っています。病院(週3~4回)、買物など交通手段は車しかありません。色々な面での助成、手当などもっと手厚くお願いします。せめて普通の生活をしたいのです。宜しくお願い致します。」(51歳・女性・身体障害)

「今は授産施設ゆいのもりに通っています。収入が工賃と年金しかなくて、1人ぐらしをしていますが、家賃は親と自分とで出しています。住む家の確保は大切だと思います。親も年金ぐらしなので、まだ生保ではないのですが、家賃だけでも(住む家)市や都、国が負担してくれたら助かります。」(35歳・女性・精神障害)

【情報・相談】

「障害者が利用できるサービスについて、もっと宣伝をして欲しい。よく分からない点が多いので広報活動を活発に行ってもらいたい。ホームページをもっと充実してほしい。」(43歳・男性・精神障害)

「障害者の方から調べたり聞いたりすることは、なかなか難しいことなので、手帳などを持っている人には、市の方からのお知らせや案内、声かけが定期的にあると安心できます。また、訪問など社会とのつながりを求めることが困難な者に声かけをしていただけると本人も家族もうれしく思います。」(32歳・男性・精神障害)

「生活全般(就労、住居)について包括的に相談できる窓口の設置。仮に現在これがあるとしても広報がしっかりされていないので、市民の誰もが情報を気軽にキャッチできるような仕組みを早急に構築して頂きたい。」(47歳・男性・精神障害)

「民生委員、もう少し増員して相談出来る昭島市にして下さい。今は健康だが将来病気になった時、親1人子供1人の場合、相談する人が身近に居る事や親戚の少ない場合、相談相手がほしいです。」(59歳・男性・知的障害)

「市が自分の障害に対してどんな支援をしてもらえるのか情報が皆無。こちらから動くには体力的に無理がある。どうすればどんな援助が得られるのか提供してもらえるとありがたい。」(61歳・女性・身体障害)

【将来の不安】

「昭島市には何かとお世話になっています。昭島にきて22年になりますが、このようなアンケートは初めてです。障害を持った子供を今まで抱えていました。親も高齢になり介護が大変になってきてます。いつの日か手放す時がくると思います。昭島市に重度の入所施設を作ってほしいと要望したいです。親なき後も昭島で終の住処にしてほしいです。いろいろ考えると不安だらけです。宜しくお願ひ致します。」(42歳・男性・身体障害、知的障害)

「今、現在は配偶者に扶養してもらっているからよいが、今後、離婚した時、ひとりになった時にどうやって暮らしていくべきか全く想像がつかない。働けない人間が生きていくのかとか考えると絶望的な気持ちになる。」(35歳・女性・精神障害)

「入所施設、通所、グループホームなどの施設の充実をお願いします。障害を持っている子どもの親は、将来のことがとても不安です！今は、健康なので一緒に住み大丈夫ですが、親が年老いた時、病気になった時、誰が面倒をみてくれるのか…。とにかく施設をよろしくお願いします。」(20歳・男性・知的障害)

「障害者の施策に直接的には関係ありませんが。現在、娘二人をお嫁に出し夫婦年金で暮らしているが、経済的には、それなりの生活は出来ているが、どちらかの配偶者が病気や寝たきり、認知症になった時、また、亡くなった後の事を考えると心配の種は尽きぬ。」(69歳・男性・身体障害)

【生活環境】

「自立したいが、公営住宅の入居等がむずかしく自立できない。入居資格等が不平等、不明確であると思います。障害者施策でも、恩恵を受けられる方と受けられない者がいる。」(34歳・男性・精神障害)

「以前はあいぽっくが利用できたのですが、駐車場だった所が保育園になってしまい、旧社協のあった現駐車場からは遠く、横断歩道を渡ってと、歩行困難な者には無理です。道路ギリギリの建物で庭もない状態の保育園を、旧社協の方に建てる検討はなかつたのでしょうか。あいぽっくも健康な方の場なのかと残念です。」(70歳・女性・身体障害)

「自動車と自転車の安全な道路がほしい。自転車は車道をと言っていますがとてもきけんなことを見てほしいです。歩道のデコボコをなくし、安心して歩けるようにしてほしいです。市内を走るバスを、駅前からのバス、また、駅までのバスがもっとほしいです。よろしくお願いします。」(76歳・女性・身体障害)

「中神坂からAバス利用が、中神駅方面への利用が出来なくなり不便を感じております。坂道の登り坂、下り坂は下肢の悪い人は、転倒する事が多く、非常に困っております。昭島市は障害者にとってとても不親切な市であるとともに、ゴミ袋の分別も他の市は2種類な事に対し、昭島市だけは3種類と

金銭的にも負担がとても大きいです。」(66歳・女性・身体障害)

「昭島市は幸いにも平坦地が多いですが、これを機に市内全域バリアフリーを目指したらどうでしょうか。障害が重いとわずか数cmの段差でも支障となることがあります。また、エスカレーターなども昇りよりもむしろ下りの必要性が高いと思いますが、多くは昇り優先になっています。また、エスカレーターの使用については、右側を空けるルールですが、昭島市から『エスカレーターでは歩かない』というルールを率先して全国に発信してもらいたいと思います。」(61歳・男性・身体障害)

【障害理解・交流】

「このようなアンケート調査も必要ですが、健常者が研修する機会を一層深めてほしい（障害者の日常生活にどのように対応したらよいか）。」(64歳・女性・身体障害)

「障害を持つ人の存在が当たり前、共に生きていく、という心のバリアフリーがまず大事だと思います。そのためには障害児と普通児が共に学びながら育つこと。聴覚障害者は聞こえない、聞こえにくいという困難がカベとなり、気軽に相談もできず、心の病気になる場合も多く見受けられます。」(49歳・女性・身体障害)

「外見と障害の状態が一致しないため、外出の際、他の人に障害を理解してもらえない。」(60歳・女性・身体障害)

「もっと障害者施策を分かってもらいたいし、障害者でも利用できる就職を増やして、障害者、健常者とのコミュニケーションを増やして頂きたいと思います。」(24歳・男性・身体障害、知的障害)

【防災】

「今後災害が起きた場合、どこに避難すれば良いか場所を教えて欲しいと、役所にたずねに行ったら少人数しか入れない、それも自宅から遠く、到底たどりつけず行っても入れないというような取り組みで、他市では何ヶ所も確保されていると話しましたが、やる気全然なしの対応で、常日頃心配していると申しましたが、そのうち、どうにか…とうやむやな対応でがっかりしました。是非区分をはっきりさせて、地域毎の避難場所を教えて下さい。大勢の人達との協同生活は迷惑をかけてしまいます。昭島には障害者の（知的）会もなく情報が少なく、孤立してしまいます。」(42歳・男性・身体障害、知的障害)

「災害時において、障害のある人に対する支援やマニュアルづくりなどを取りまとめた物を作成していく欲しい。」(25歳・女性・身体障害、知的障害)

「災害の時が、心配です。脊髄損傷でトイレ、お風呂など1人で出来ませんので。」(86歳・男性・身体障害)

【雇用・就労】

「障害者でも出来る能力を活かし就業を支援し自立に役立てる活動が必要だと思う。その為には専門的な社会福祉活動員等の相談窓口が訪問しやすく、わかりやすくあって欲しい。」(66歳・女性・身体障害)

「成人になってから発達障害が判明した者に対応出来る支援が欲しい。自分で最低限の日常生活を送れるけれど、一般就労や社会参加が厳しい障害者に向けた支援を考えて欲しい。精神や知的障害に対応している支援事業を自分の障害（発達）で利用するのは難しい（支援する側も対応が分からず、こちらも利用する事で却って体調が悪くなったりした）ので、成人発達障害向けの支援を充実させてほしい。」（41歳・女性・精神障害）

「精神障害者の就労支援について、市はもっと障害者に就労体験する場を提供してほしい。また就職にあたって、非正規雇用であったり、短時間労働となるケースが多い。（40歳・男性・精神障害）

【医療・健康】

「早く発達障害の専門医を育ててほしい。」（64歳・女性・精神障害）

「障害になって10年以上になり、いろいろあり、何度も落ち込みました。病院の対応も冷たいし、本当に先生方も、えらそうな態度をしたり、いやな思いも何度もしました。まったくわかっていない医者もいます、障害者の事を。くやしいです。なんのための医者なんだろう、残念です。心から病気の事を思ってくれる人は少ないです。」（63歳・女性・身体障害）

「保健師の人数を増やし、窓口に来た人に対しての対応をしっかりやってほしい。」（46歳・女性・精神障害）

【介助者への支援】

「学校も通所施設も昭島市ではないので本人があまり周りに知られていない。介助している母親は仕事をしているのでなかなか日中障害者の会に顔を出すことができず孤立感がある。こういう人達はたくさんいると思うので市の方から把握してもらってどうしているか状況確認や福祉の情報を教えてもらいたい。」（21歳・女性・身体障害、知的障害）

「短期入所事業を増やして下さい。昭島市内では短期入所事業所が1か所しかなく、しかも定員は1名です。介護者の病気やレスパイトなどで短期入所を利用しようとし、なかなか見つかりません。短期入所をさせたい場合は市外を探さなくてはいけません。」（23歳・男性・知的障害）

【その他】

「（障害者母）何年かおきにアンケートがきますが手間がかかっているのに、それが役立っている気がしません。市の障害福祉課って本当に障害者家庭のために何かやってくれているのかって思ってます。」（29歳・女性・知的障害）

「アンケート内容について、重度の人向けの内容が多く、正直、五体満足でない人対象のアンケートに見受けられます。障害には軽度のものもあり、たとえば、軽度の障害者向けの就労情報サービスなど、少しのサポートがあれば健常者と同等に働く人たちも大勢いることを意識していただきたいです（現状のものでは不十分です）。」（39歳・男性・身体障害）

「障害者にはこの調査は大変でした。もっと簡単なものにしてほしい。」（86歳・女性・身体障害）

第3章

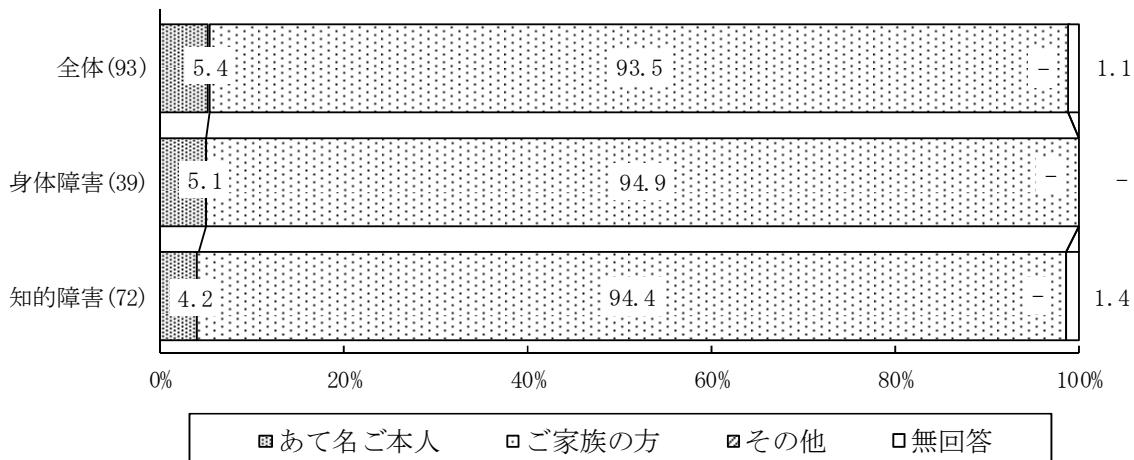
18歳未満の方の調査結果

1 調査票の回答者

問1 調査票の回答者

この調査票に回答していただく方はどなたですか。(○はひとつ)

全体では、「ご家族の方」が93.5%、「あて名ご本人」が5.4%となっています。
障害別の結果に大きな変化はありませんでした。



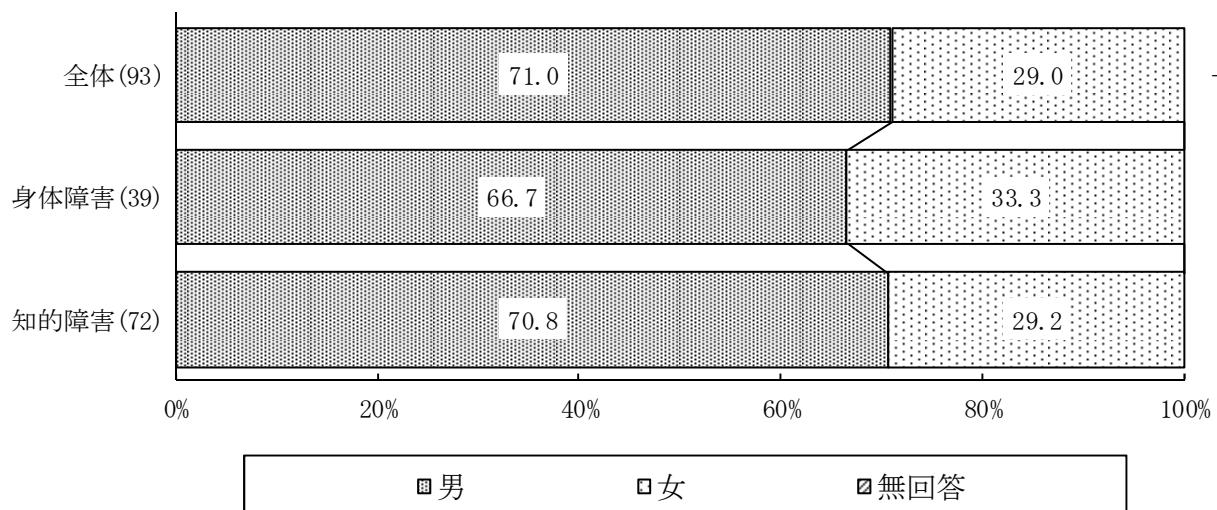
2 ご本人について

問2 性別

あなたの性別をお聞きします。(○はひとつ)

全体では、「男」が 71.0%、「女」が 29.0%となっています。

障害別の結果に大きな変化はありませんでした。



問3 年齢

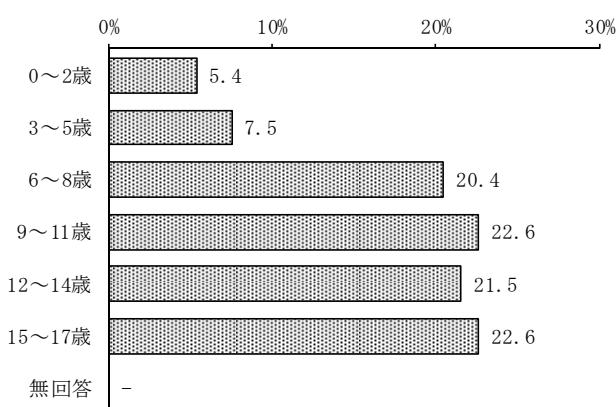
あなたの年齢をお聞きします。平成25年11月1日現在の年齢をお書きください。

全体では、「9～11歳」と「15～17歳」が最も多く、22.6%となっています。次いで、「12～14歳」が21.5%、「6～8歳」が20.4%と続いています。

障害別の結果に大きな変化はありませんでした。

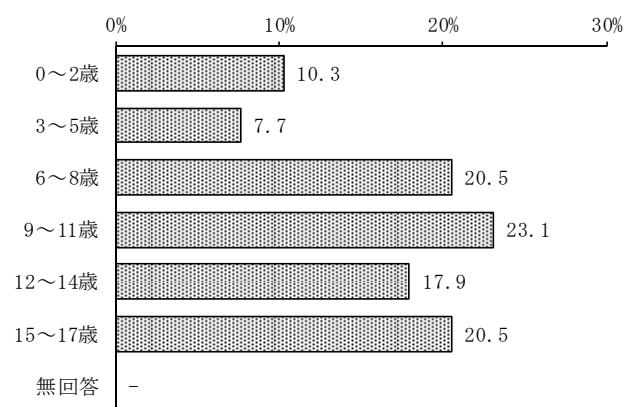
【全体】

総数=93



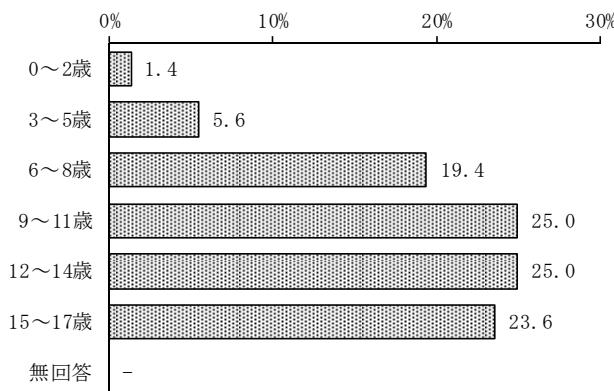
【身体障害】

総数=39



【知的障害】

総数=72



問4 世帯構成

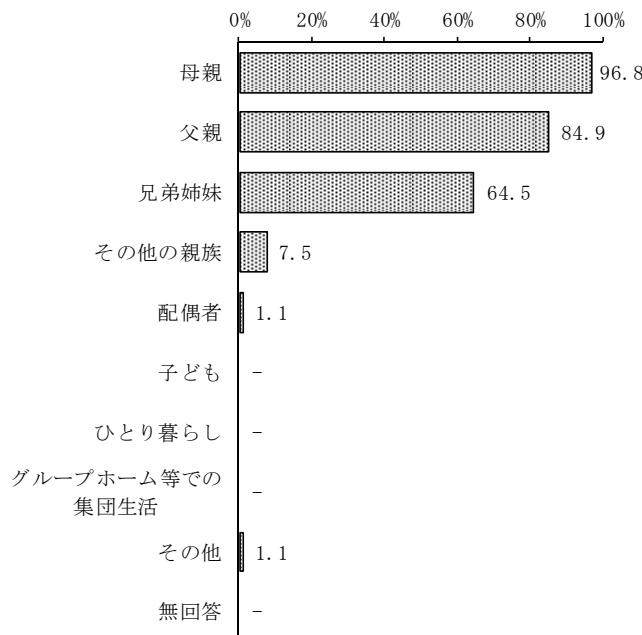
あなたの世帯構成（誰と一緒に暮らしているか）をお聞きします。（○はいくつでも）

全体では、「母親」が最も多く、96.8%となっています。次いで、「父親」が84.9%、「兄弟姉妹」が64.5%と続いています。

障害別の結果に大きな変化はありませんでした。

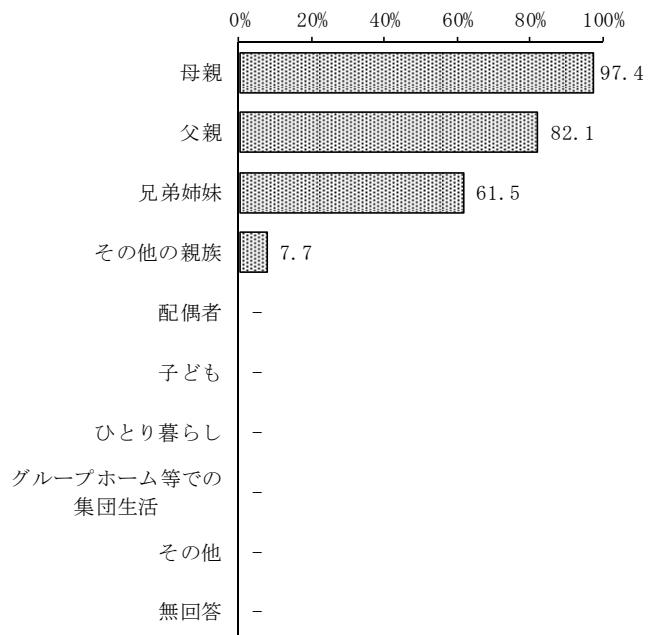
【全体】

総数=93 (複数回答)



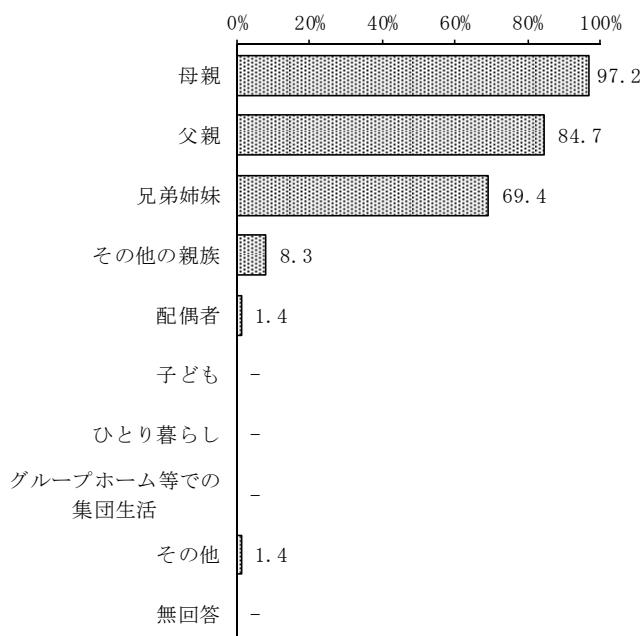
【身体障害】

総数=39 (複数回答)



【知的障害】

総数=72 (複数回答)

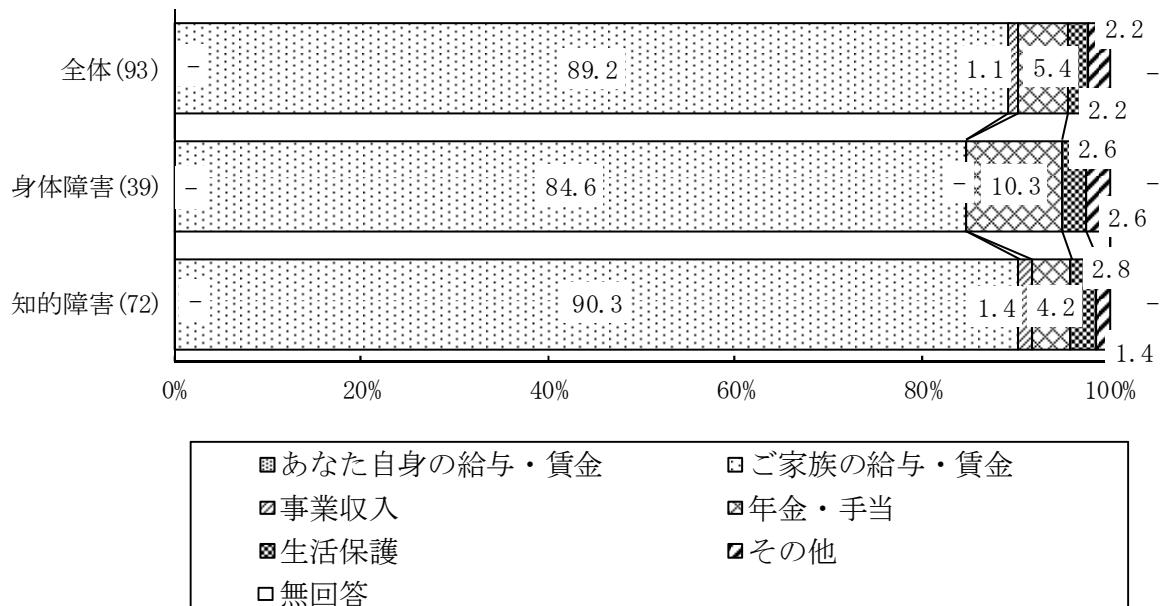


問5 世帯収入

あなたの世帯の主な収入（一番多い収入）をお聞きします。（○はひとつ）

全体では、「ご家族の給与・賃金」が最も多く、89.2%となっています。次いで、「年金・手当」が5.4%と続いています。

障害別の結果に大きな変化はありませんでした。



3 障害の状況について

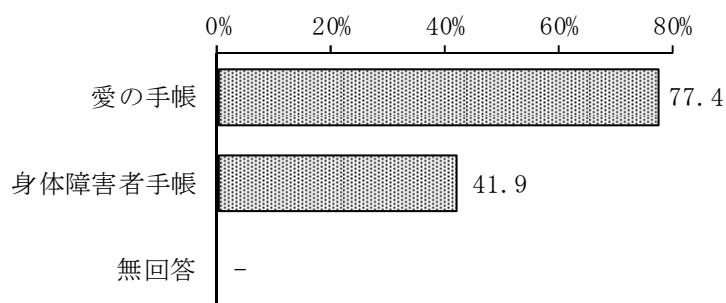
問6 所持している手帳の種類

あなたが持っている障害者手帳の種類をお聞きします。等級・程度にも○をつけてください。
(○はいくつでも)

①手帳の種類

「愛の手帳」が最も多く、77.4%となっています。次いで、「身体障害者手帳」が41.9%と続いています。

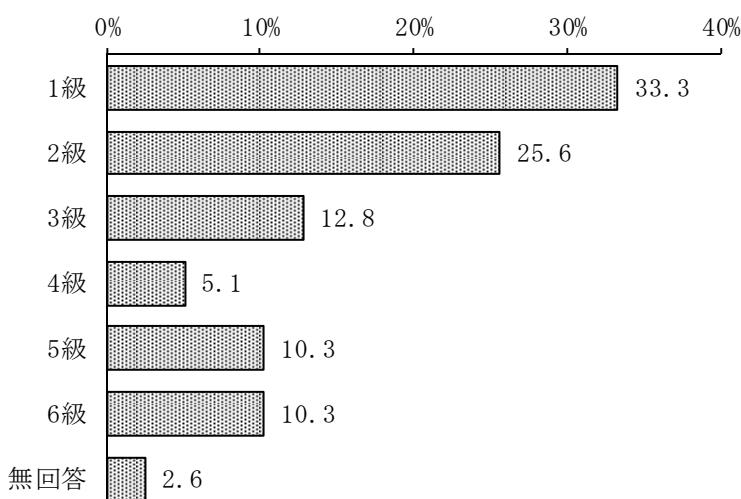
総数=93 (複数回答)



②身体障害者手帳の等級

「1級」が最も多く、33.3%となっています。次いで、「2級」が25.6%、「3級」が12.8%と続いています。

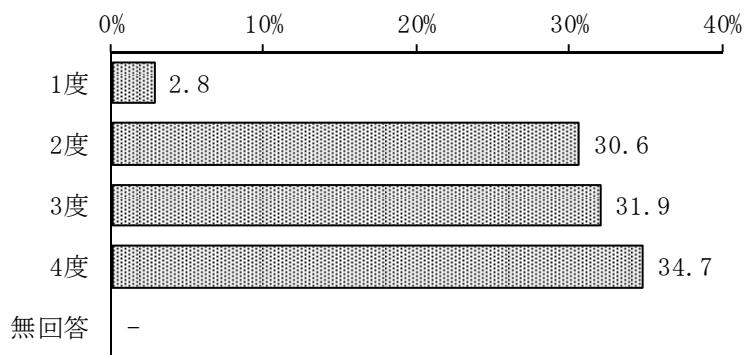
総数=39



③愛の手帳の程度

「4度」が最も多く、34.7%となっています。次いで、「3度」が31.9%、「2度」が30.6%と続いています。

総数=72

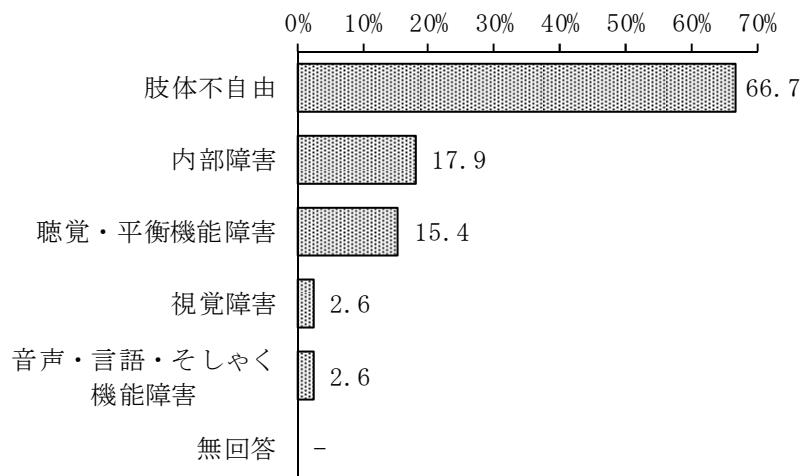


問7 身体障害の部位

問6で「身体障害者手帳」を所持していると回答された方にお聞きします。障害の種類は何ですか。(○はいくつでも)

「肢体不自由（上肢・下肢・体幹等）」が最も多く、66.7%となっています。次いで、「内部障害（心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう、直腸、小腸、免疫機能、肝臓）」が17.9%、「聴覚・平衡機能障害」が15.4%と続いています。

総数=39 (複数回答)



問8 障害に最初に気付いた人

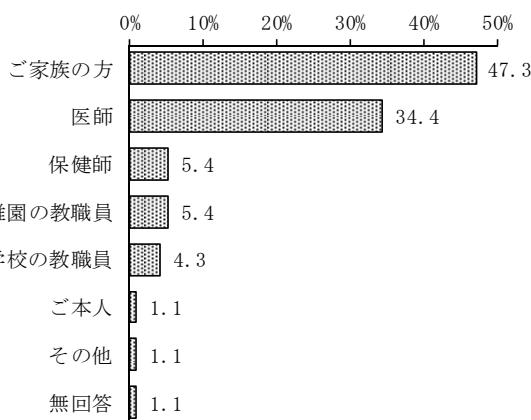
あなたの障害を知るきっかけとして、心身の不調やそれに伴う問題について、最初に気づいた方はどなたですか。(○はひとつ)

全体では、「ご家族の方」が最も多く、47.3%となっています。次いで、「医師」が34.4%、「保健師」と「保育園・幼稚園の教職員」が5.4%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「医師」(53.8%)が最も多く、知的障害では「ご家族の方」(52.8%)が最も多くなっています。

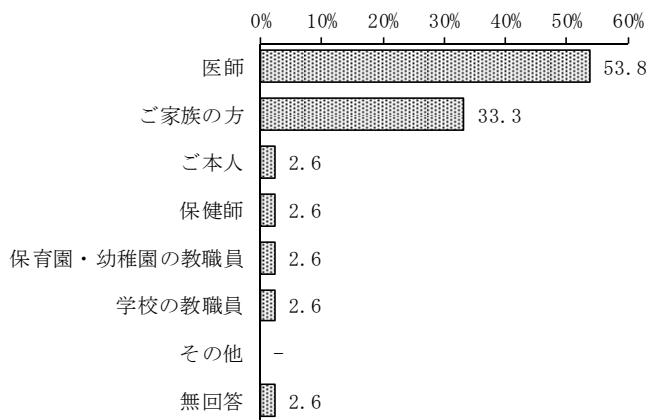
【全体】

総数=93



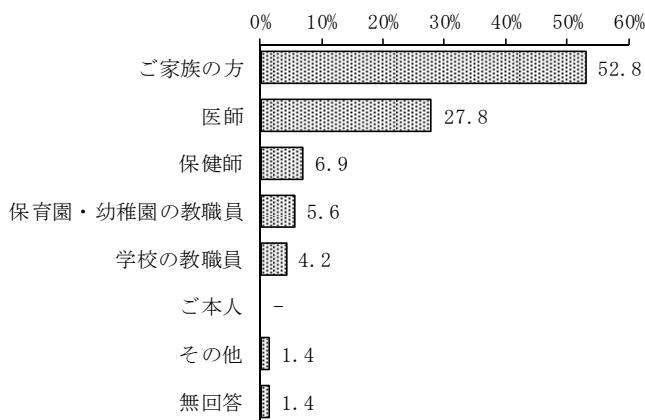
【身体障害】

総数=39



【知的障害】

総数=72



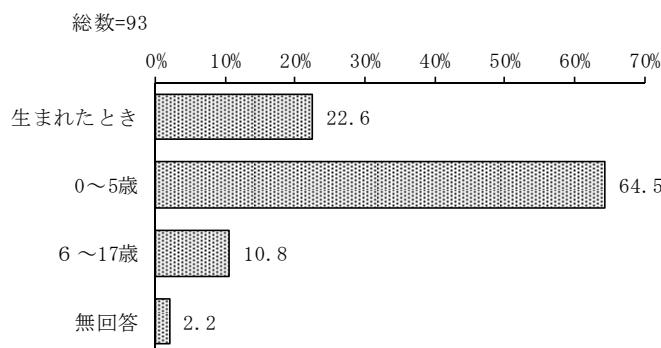
問9 障害の発症に気づいた時期

問8で回答した方が、あなたの障害を知るきっかけとして、心身の不調やそれに伴う問題について、最初に気づいた時期をお聞きします。(○はひとつ)

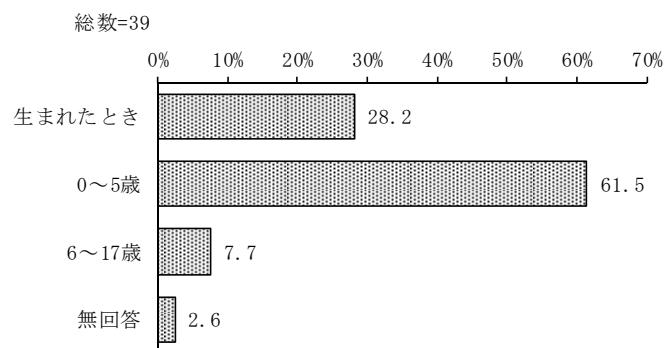
全体では、「0～5歳」が最も多い、64.5%となっています。次いで、「生まれたとき」が22.6%、「6～17歳」が10.8%と続いています。

障害別の結果に大きな変化はありませんでした。

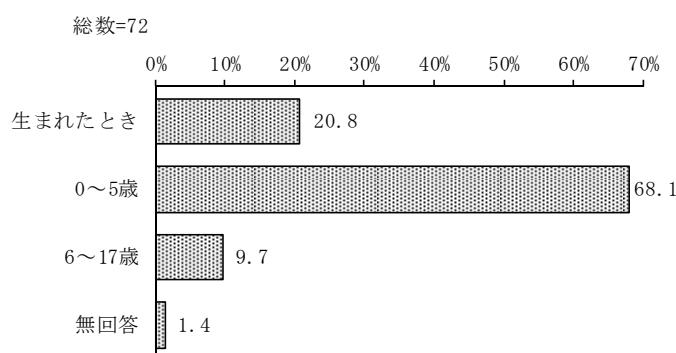
【全体】



【身体障害】



【知的障害】



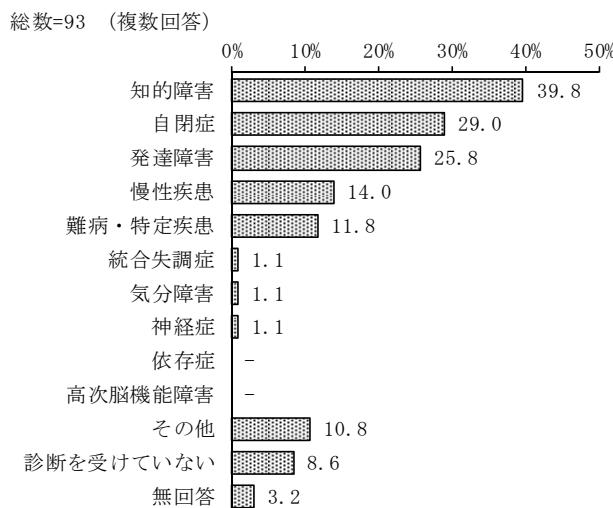
問10 疾患や障害の有無

あなたは、次の診断を受けていますか。(○はいくつでも)

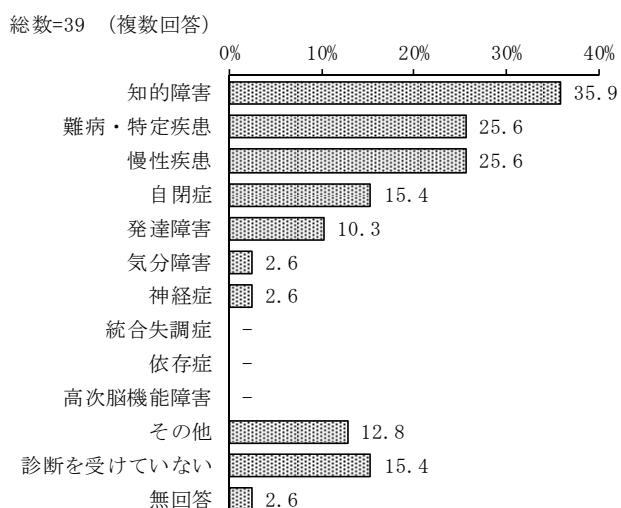
全体では、「知的障害（自閉症を除く）」が最も多く、39.8%となっています。次いで、「自閉症（知的障害を伴う）」が29.0%、「発達障害（学習障害・注意欠陥多動性障害・アスペルガー症候群等）」が25.8%、「慢性疾患（糖尿病・心臓疾患・脳血管疾患等）」が14.0%、「難病・特定疾患」が11.8%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「難病・特定疾患」（25.6%）、「慢性疾患（糖尿病・心臓疾患・脳血管疾患等）」（25.6%）、「診断を受けていない」（15.4%）が知的障害に比べて多く、知的障害では「知的障害（自閉症を除く）」（50.0%）、「自閉症（知的障害を伴う）」（34.7%）、「発達障害（学習障害・注意欠陥多動性障害・アスペルガー症候群等）」（30.6%）が身体障害に比べて多くなっています。

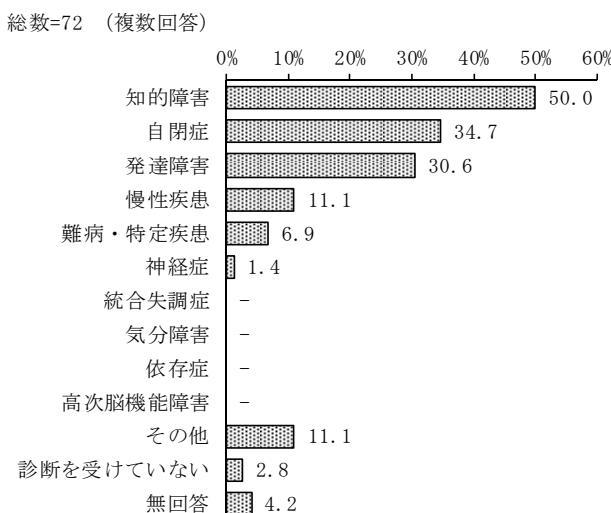
【全体】



【身体障害】



【知的障害】



4 医療や介助の状況について

問11 医療機関の受診状況

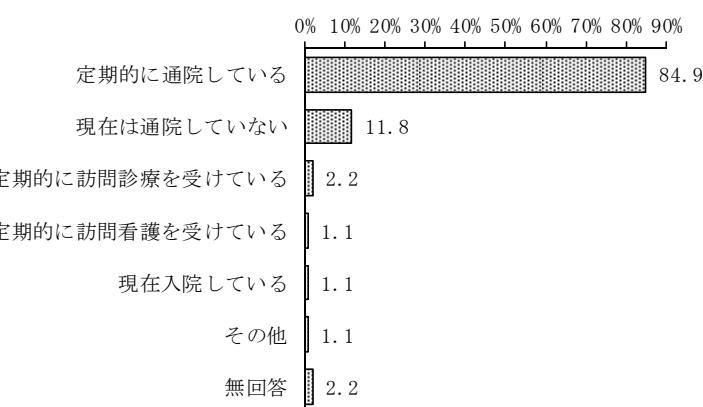
障害等について、受診状況等をお聞きします。(○はいくつでも)

全体では、「定期的に通院している」が最も多く、84.9%となっています。次いで、「現在は通院していない」が11.8%と続いています。

障害別の結果に大きな変化はありませんでした。

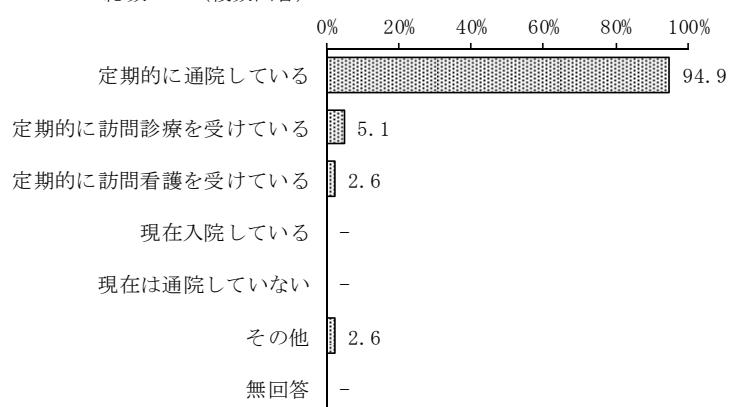
【全体】

総数=93 (複数回答)



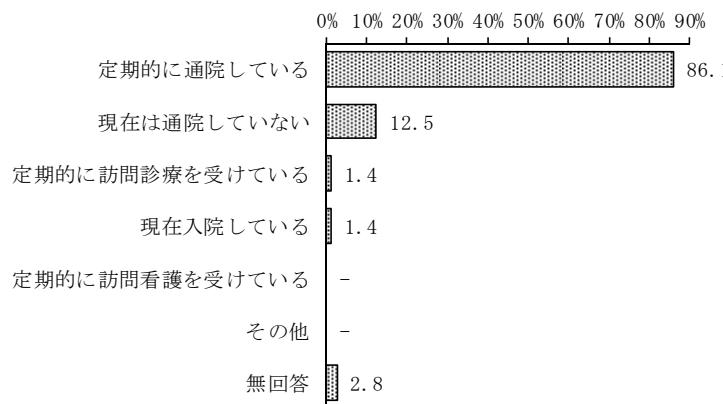
【身体障害】

総数=39 (複数回答)



【知的障害】

総数=72 (複数回答)



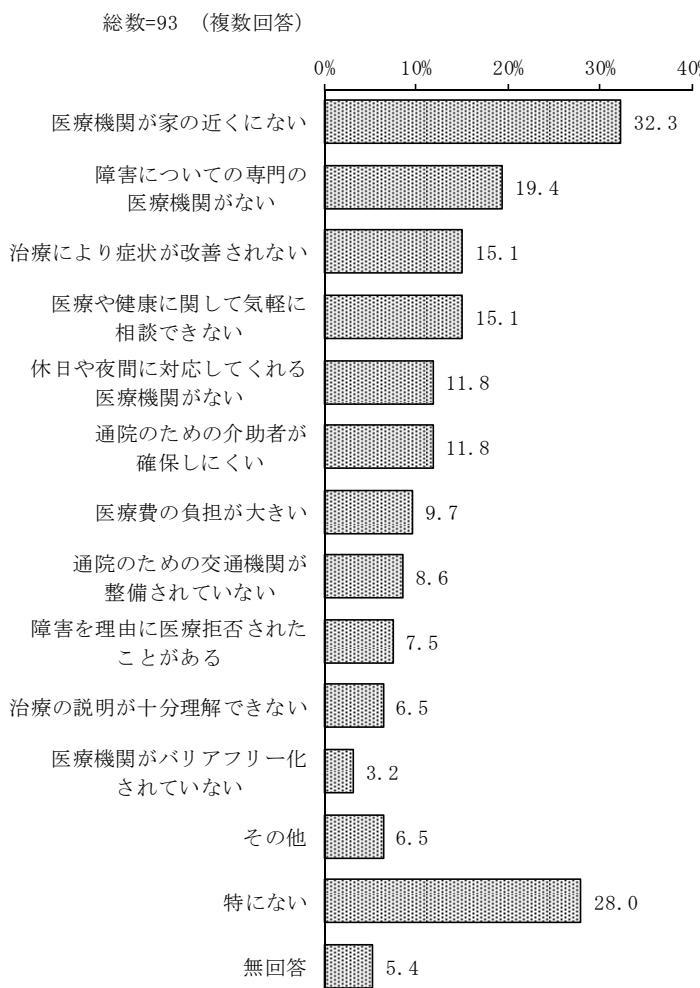
問12 医療に関して困っていること

あなたには、医療に関して困っていることがありますか。(○はいくつでも)

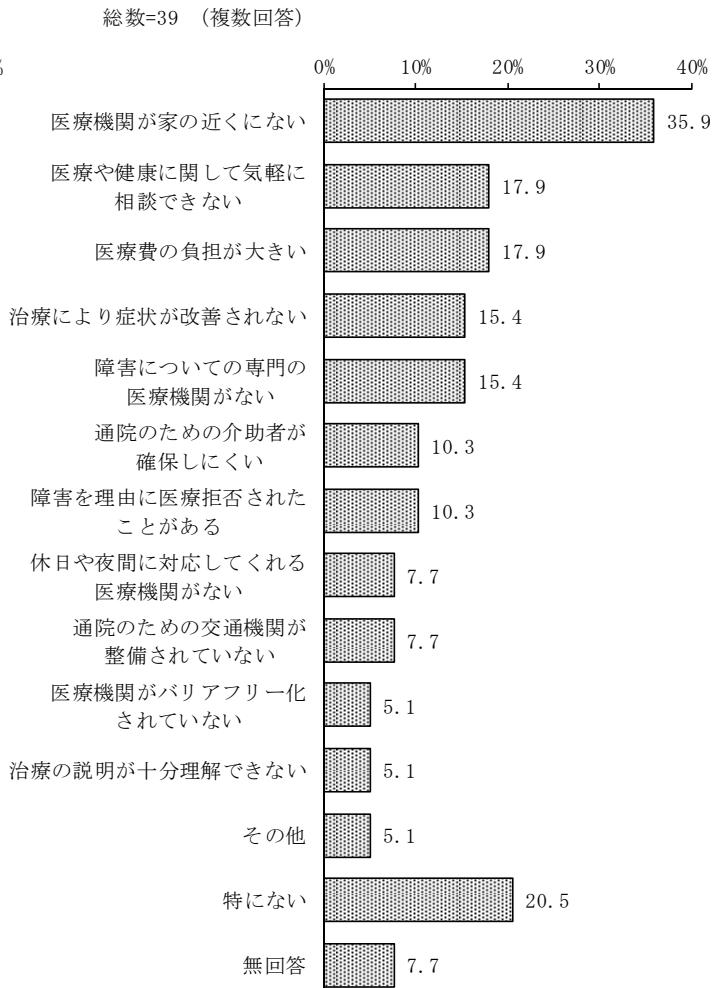
全体では、「医療機関が家の近くにない」が最も多く、32.3%となっています。次いで、「障害についての専門の医療機関がない」が19.4%、「治療により症状が改善されない」と「医療や健康に関して気軽に相談できない」が15.1%と続いています。なお、「特ない」が28.0%と多くなっています。

障害別の結果に大きな変化はありませんでした。

【全体】

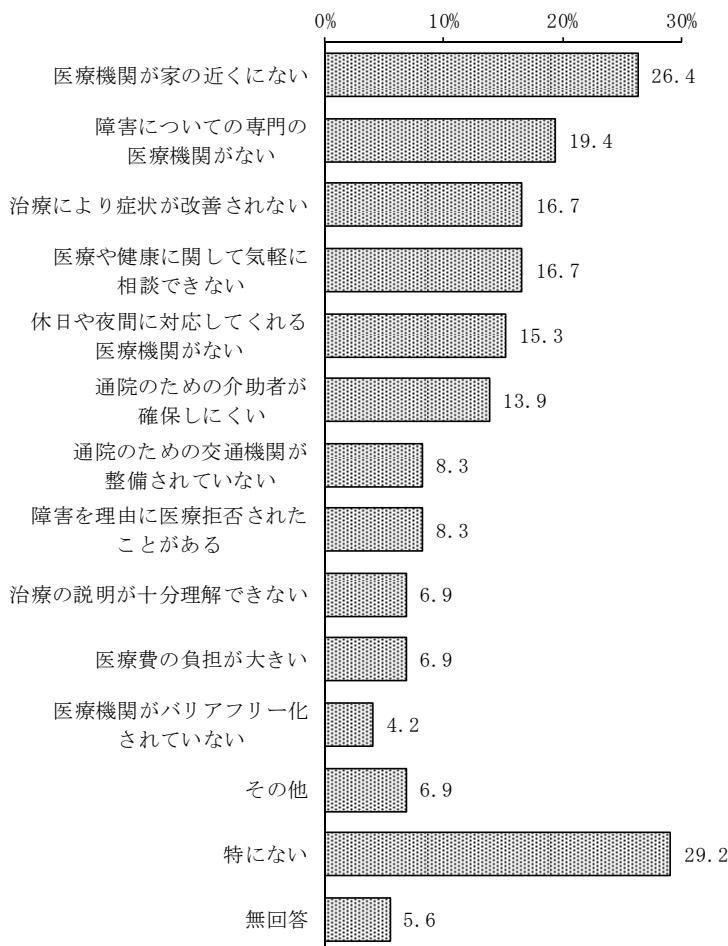


【身体障害】



【知的障害】

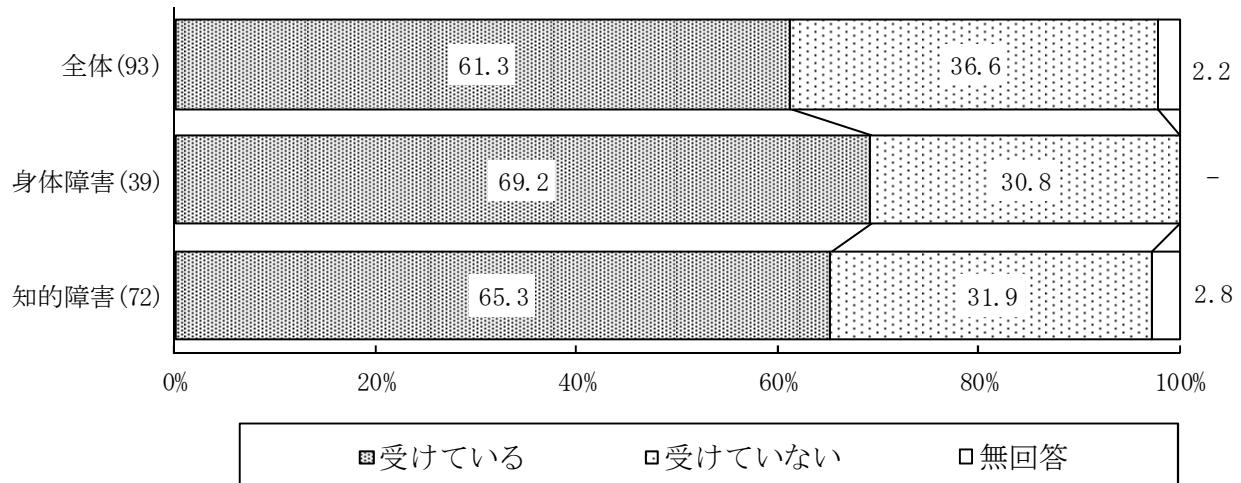
総数=72 (複数回答)



問13 介助や支援が必要かどうか

あなたは現在、毎日の生活の中で、介助や支援を受けていますか。(○はひとつ)

全体では、「受けている」が 61.3%、「受けていない」が 36.6%となっています。
障害別の結果に大きな変化はありませんでした。



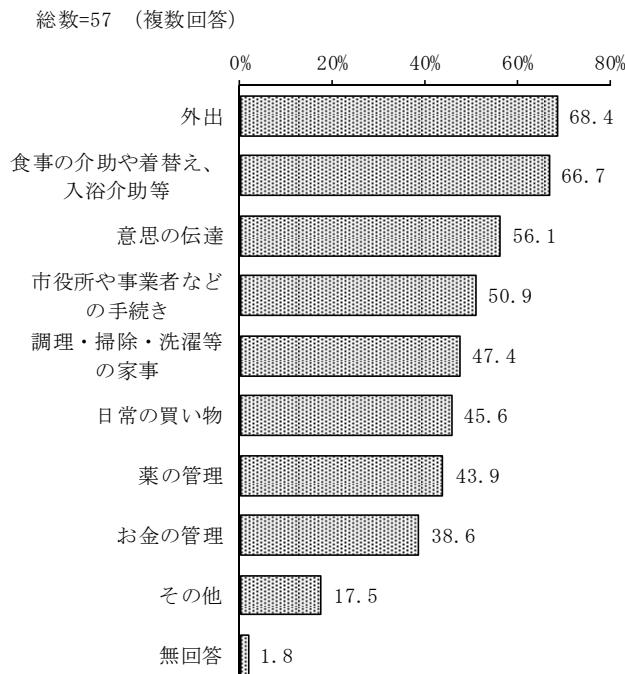
問14 介助や支援が必要なこと

問13で「1 受けている」と回答した方にお聞きします。どのようなことで、介助や支援を受けていますか。(○はいくつでも)

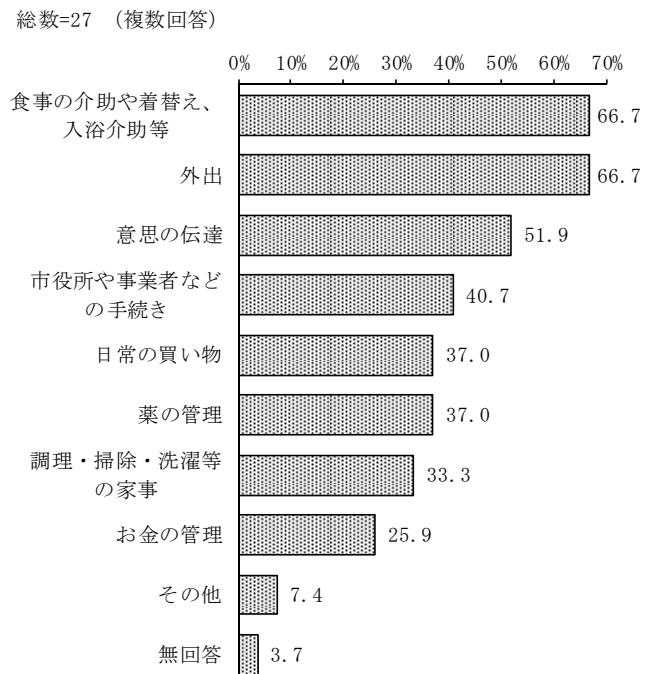
全体では、「外出」が最も多く、68.4%となっています。次いで、「食事の介助や着替え、入浴介助等の身の回りのこと」が66.7%、「意思の伝達」が56.1%、「市役所や事業者などの手続き」が50.9%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「外出」(66.7%) のほか、「食事の介助や着替え、入浴介助等の身の回りのこと」(66.7%) も最も多くなっています。また、知的障害では「調理・掃除・洗濯等の家事」(55.3%)、「日常の買い物」(51.1%)、「お金の管理」(44.7%) が身体障害に比べて多くなっています。

【全体】

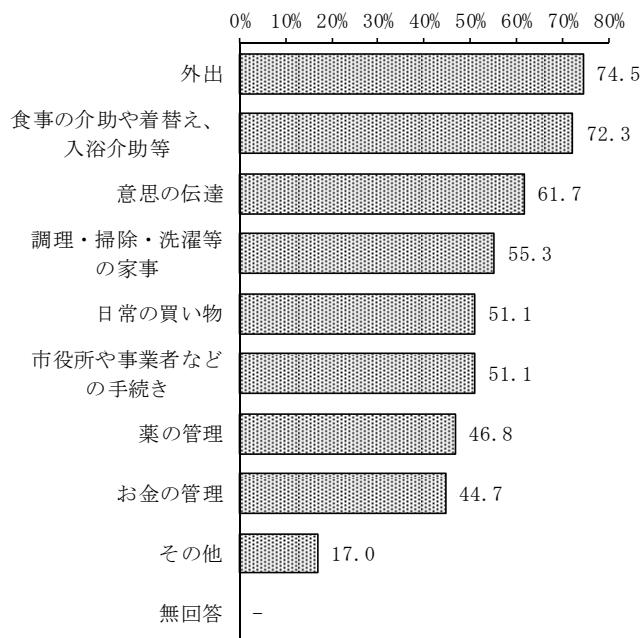


【身体障害】



【知的障害】

総数=47 (複数回答)



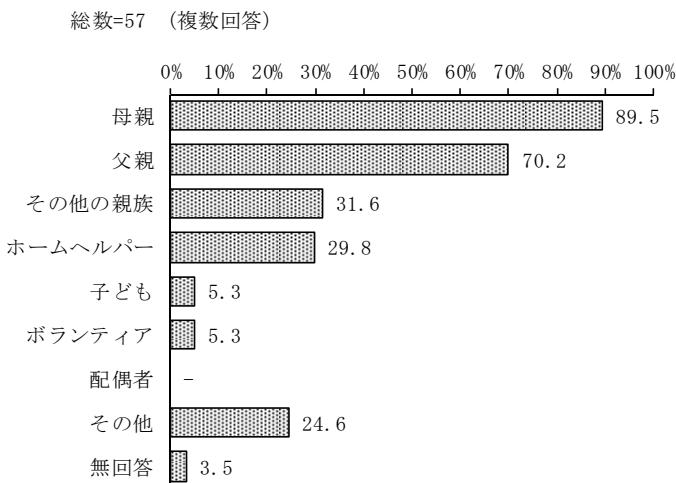
問15 介助者

問13で「1 受けている」と回答した方にお聞きします。あなたを介助・支援している人はどなたですか。(○はいくつでも)

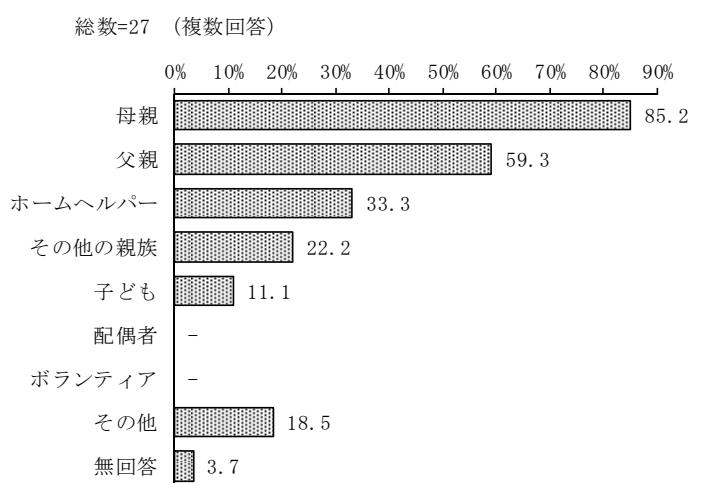
全体では、「母親」が最も多く、89.5%となっています。次いで、「父親」が70.2%、「その他の親族」が31.6%、「ホームヘルパー」が29.8%と続いています。

障害別にみると、知的障害では「父親」(70.2%)、「その他の親族」(34.0%)が身体障害に比べて多くなっています。

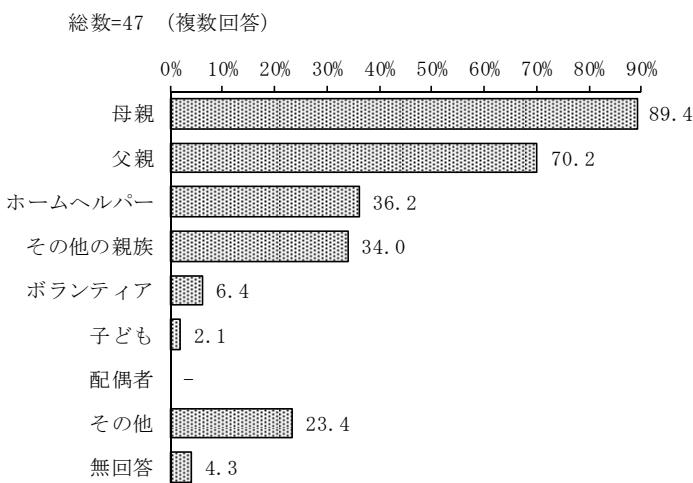
【全体】



【身体障害】



【知的障害】



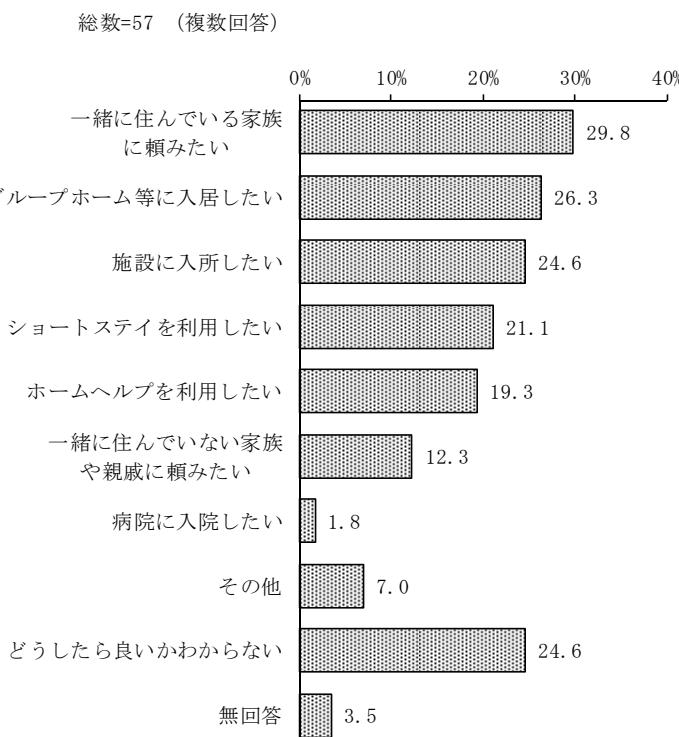
問16 介助者が介助できなくなった場合の対応

問13で「1 受けている」と回答した方にお聞きします。介助者があなたを介助・支援できなくなった場合はどうしたいですか。(○はいくつでも)

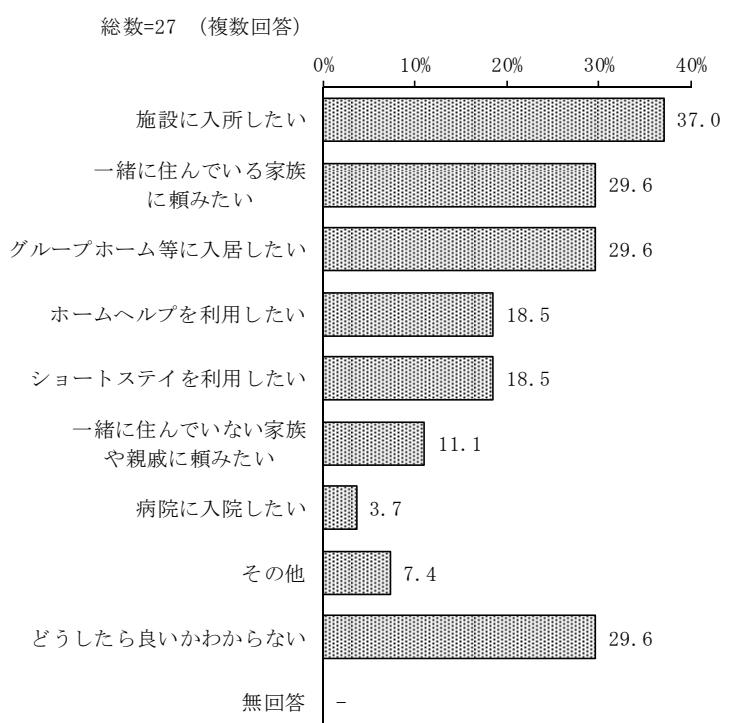
全体では、「一緒に住んでいる家族に頼みたい」が最も多く、29.8%となっています。次いで、「グループホーム等に入居したい」が26.3%、「施設に入所したい」が24.6%、「ショートステイを利用したい」が21.1%と続いています。なお、「どうしたら良いかわからない」が24.6%と多くなっています。

障害別にみると、身体障害では「施設に入所したい」(37.0%)が最も多く、知的障害では「グループホーム等に入居したい」(31.9%)が最も多くなっています。

【全体】

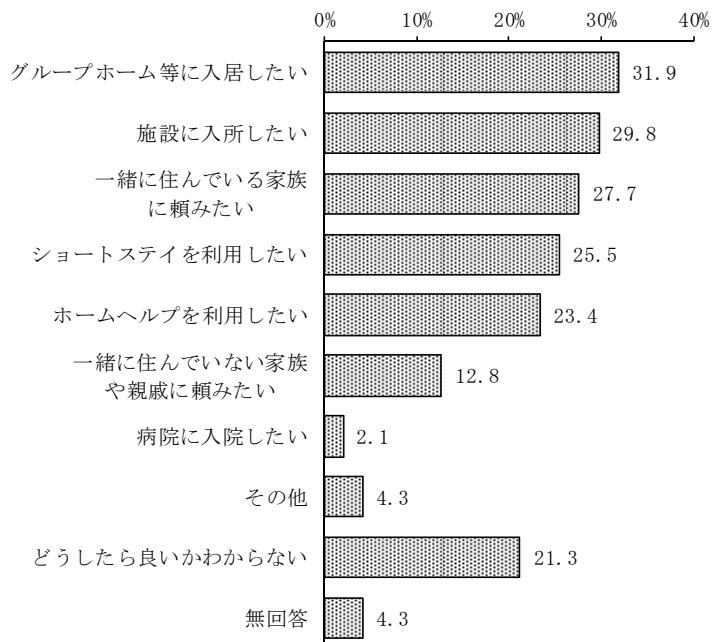


【身体障害】



【知的障害】

総数=47 (複数回答)



5 相談や福祉情報について

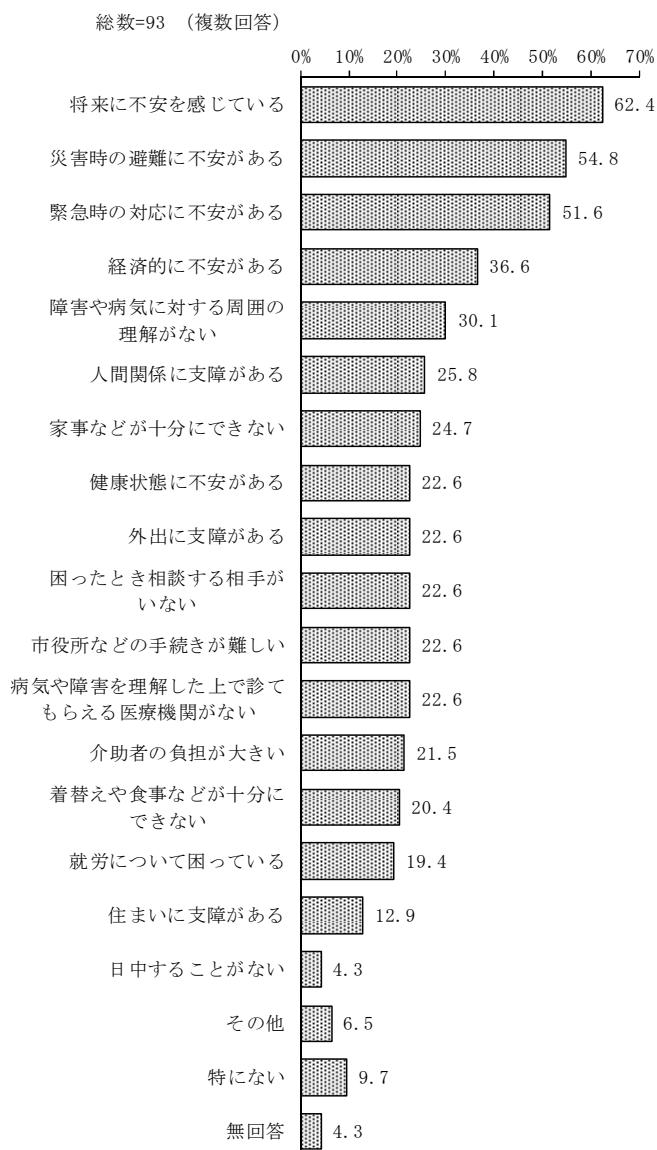
問17 日常生活で困っていること

あなたには、日常生活で困っていることや不安に思うことがありますか。(○はいくつでも)

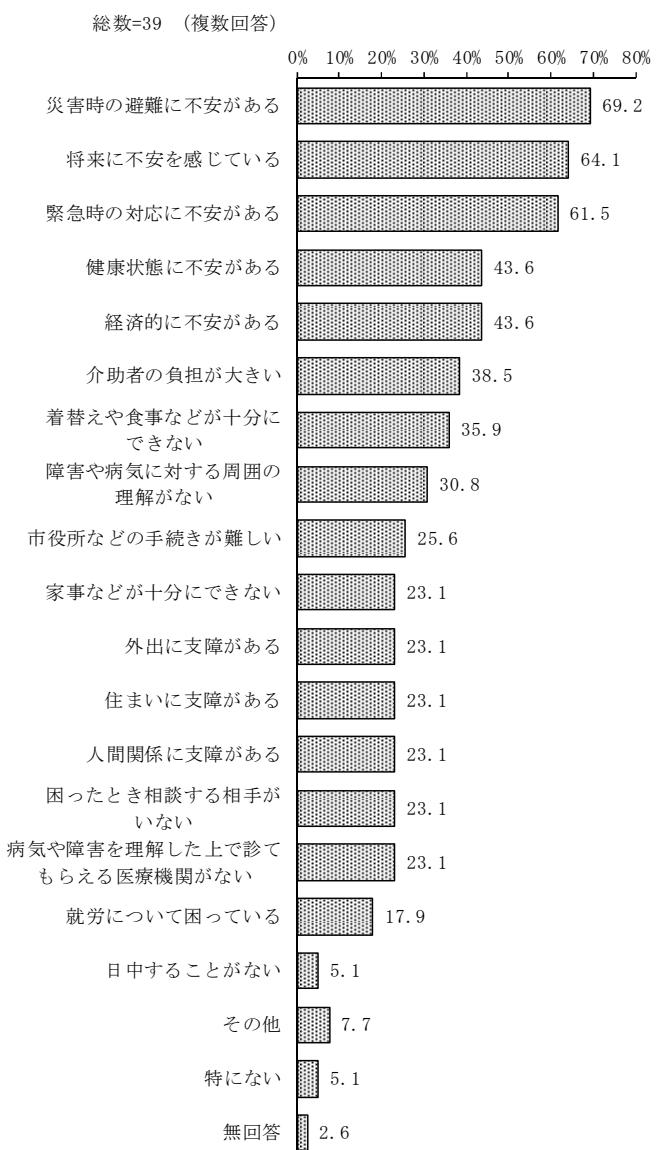
全体では、「将来に不安を感じている」が最も多く、62.4%となっています。次いで、「災害時の避難に不安がある」が54.8%、「緊急時の対応に不安がある」が51.6%、「経済的に不安がある」が36.6%、「障害や病気に対する周囲の理解がない」が30.1%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「災害時の避難に不安がある」(69.2%)が最も多く、知的障害では「将来に不安を感じている」(65.3%)が最も多くなっています。また、身体障害では「健康状態に不安がある」(43.6%)、「経済的に不安がある」(43.6%)、「介助者の負担が大きい」(38.5%)が知的障害に比べて多くなっています。

【全体】

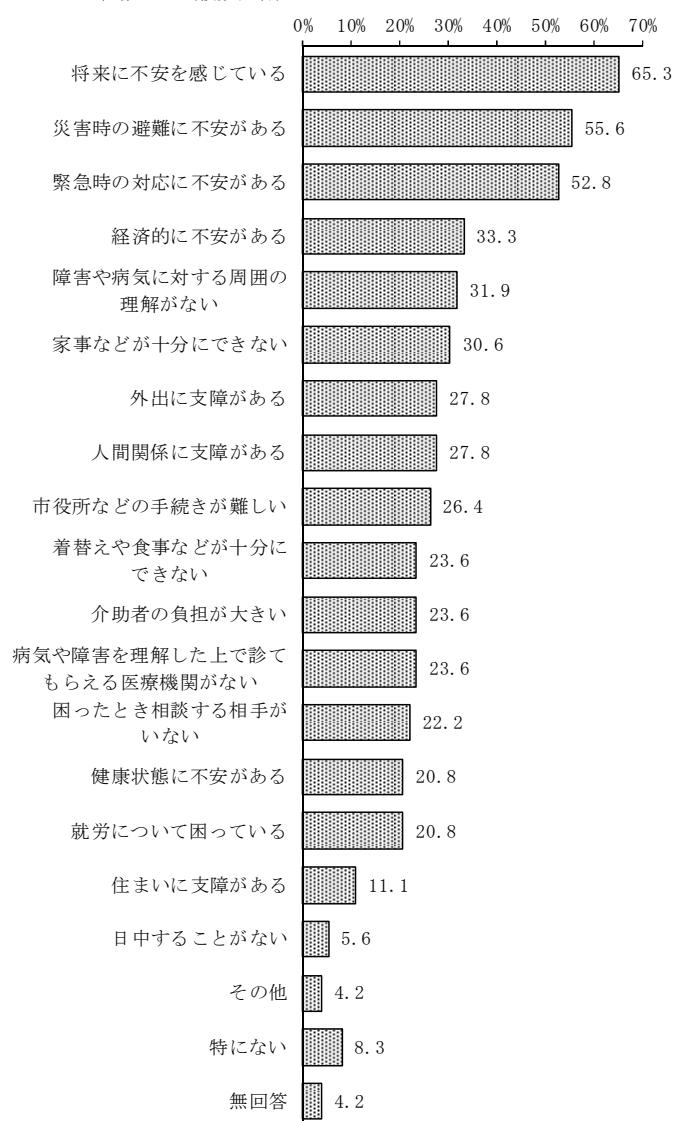


【身体障害】



【知的障害】

総数=72 (複数回答)



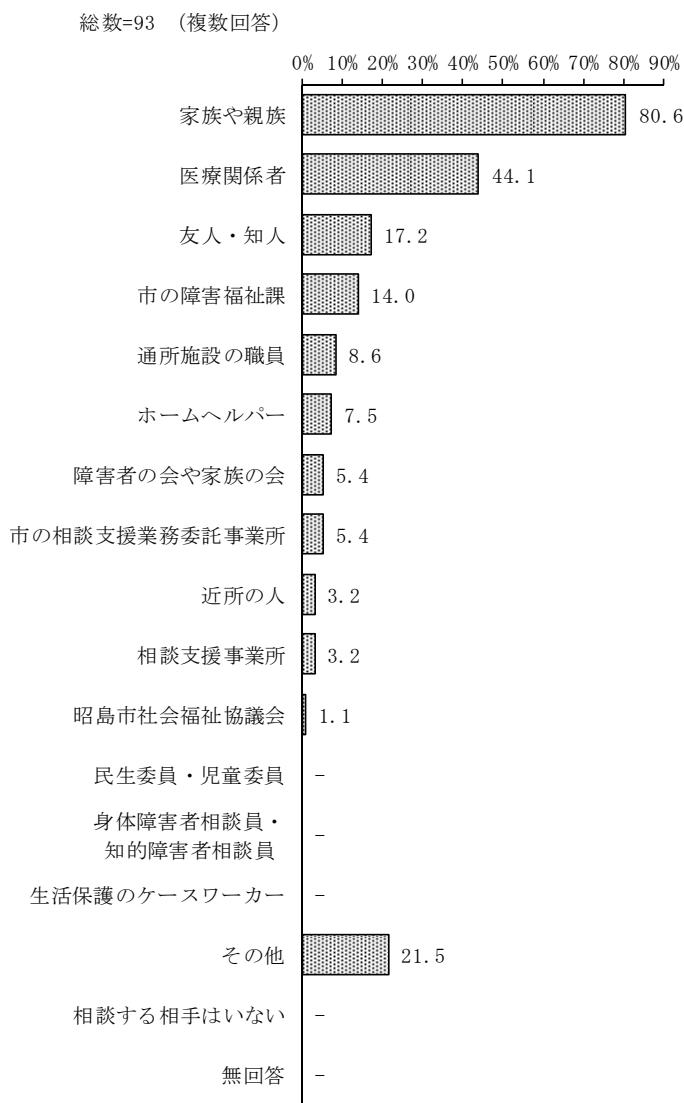
問18 困ったときの相談者・相談できる機関

あなたが困ったときに相談している人や機関はどこですか。(○はいくつでも)

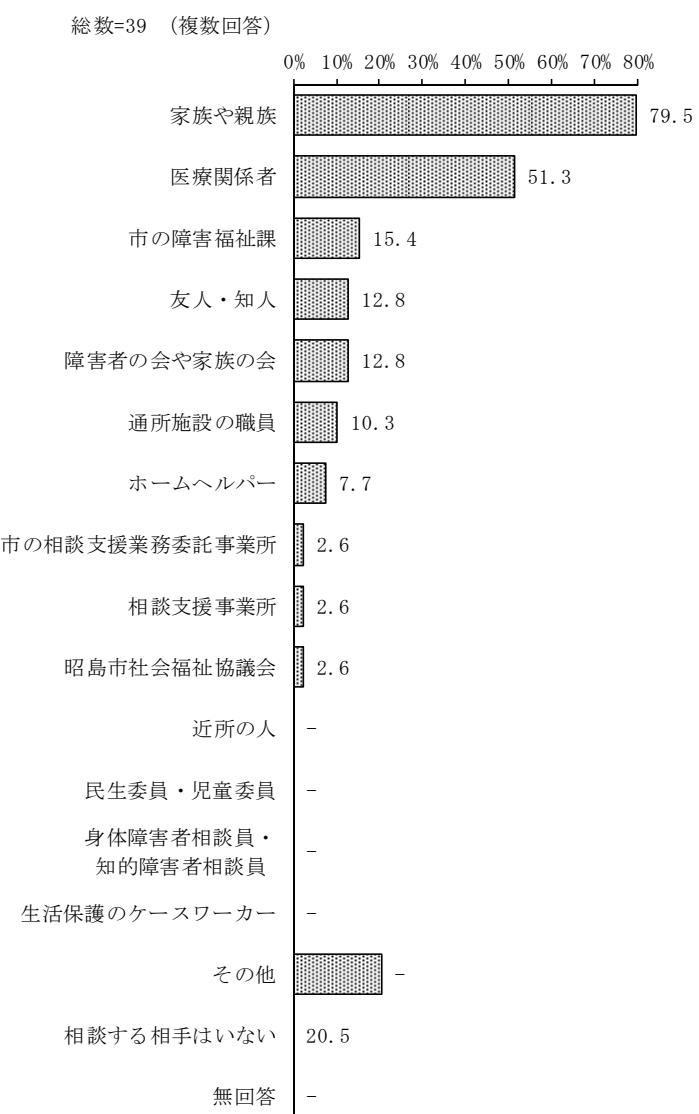
全体では、「家族や親族」が最も多く、80.6%となっています。次いで、「医療関係者（医師・看護師・ソーシャルワーカー）」が44.1%、「友人・知人」が17.2%、「市の障害福祉課」が14.0%と続いています。

障害別の結果に大きな変化はありませんでした。

【全体】

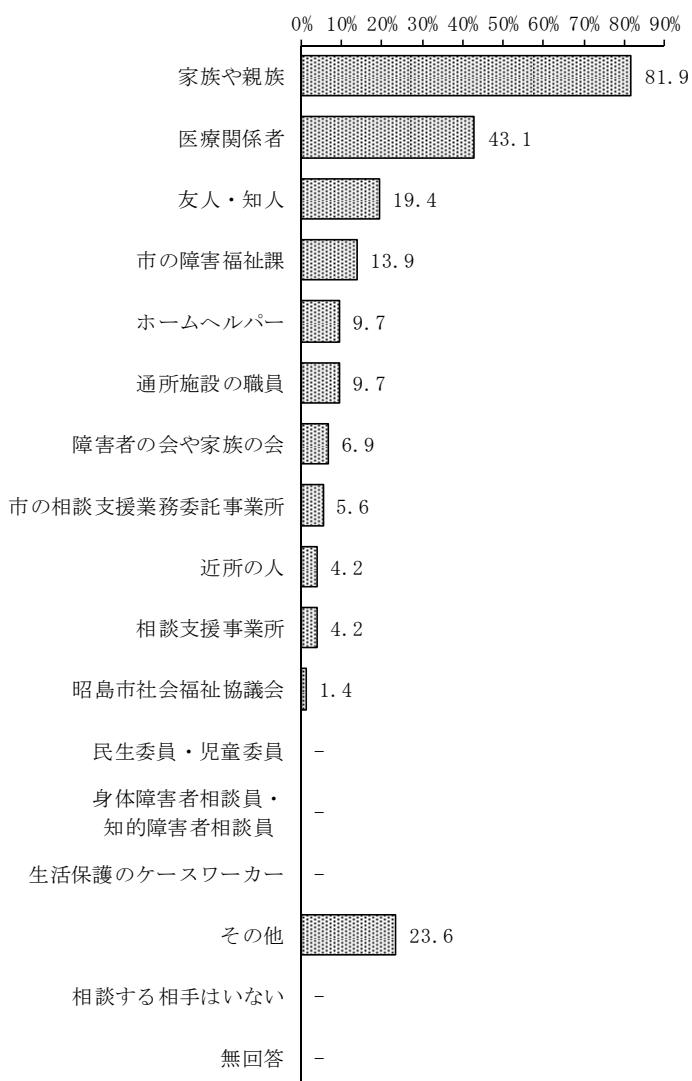


【身体障害】



【知的障害】

総数=72 (複数回答)



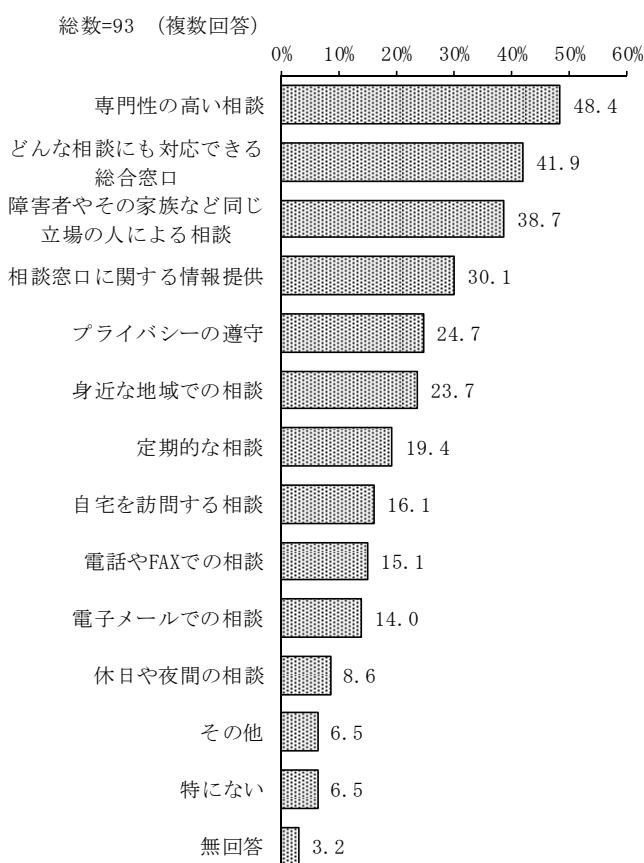
問19 相談支援に対する要望

あなたは、市役所などに気軽に相談するためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(〇はいくつでも)

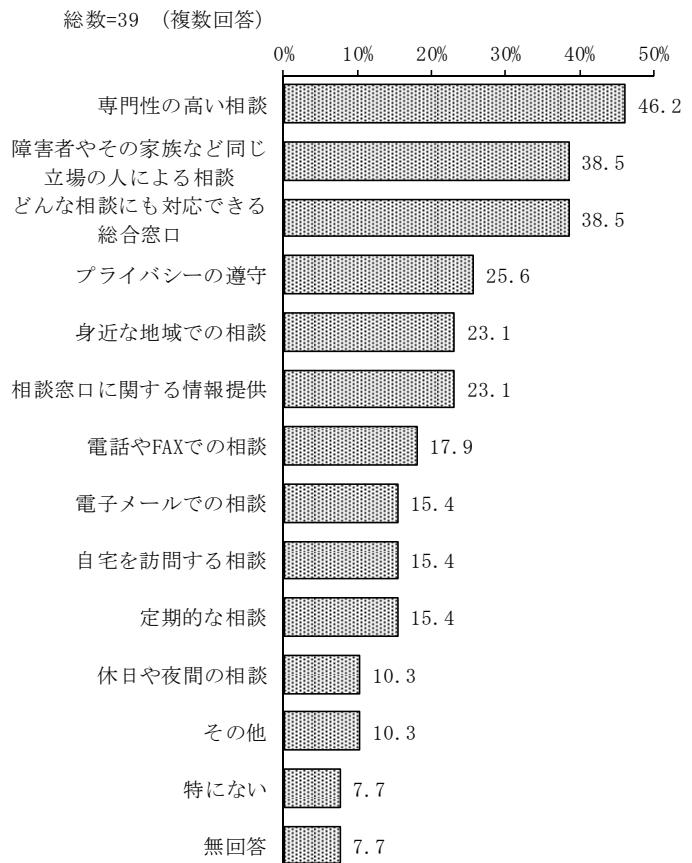
全体では、「専門性の高い相談」が最も多く、48.4%となっています。次いで、「どんな相談にも対応できる総合窓口」が41.9%、「障害者やその家族など同じ立場の人による相談」が38.7%、「相談窓口に関する情報提供」が30.1%、「プライバシーの遵守」が24.7%、「身近な地域での相談」が23.7%と続いています。

障害別にみると、知的障害では「相談窓口に関する情報提供」(33.3%)が身体障害に比べて多くなっています。

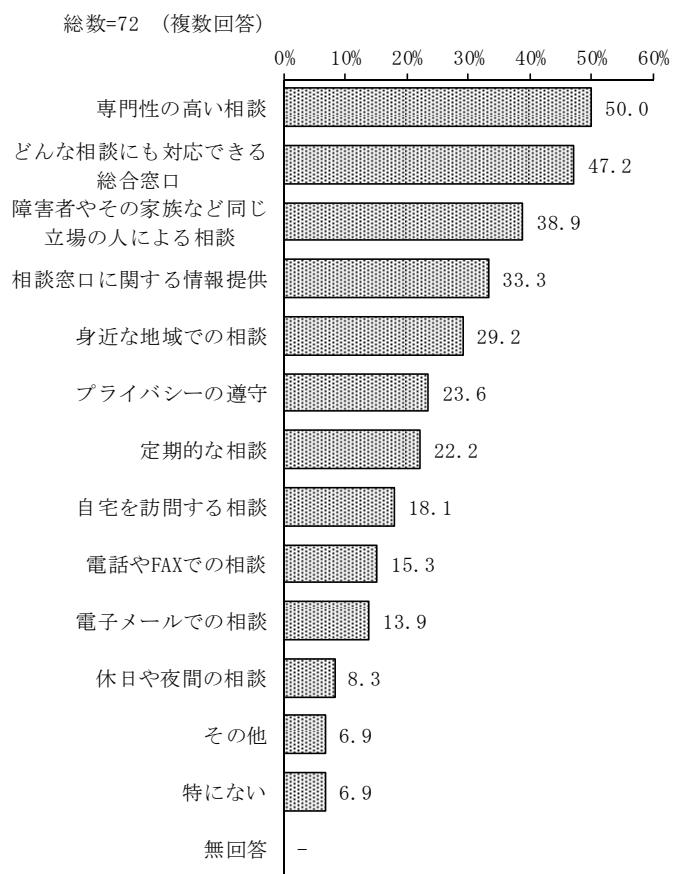
【全体】



【身体障害】



【知的障害】



問20 福祉情報の入手方法

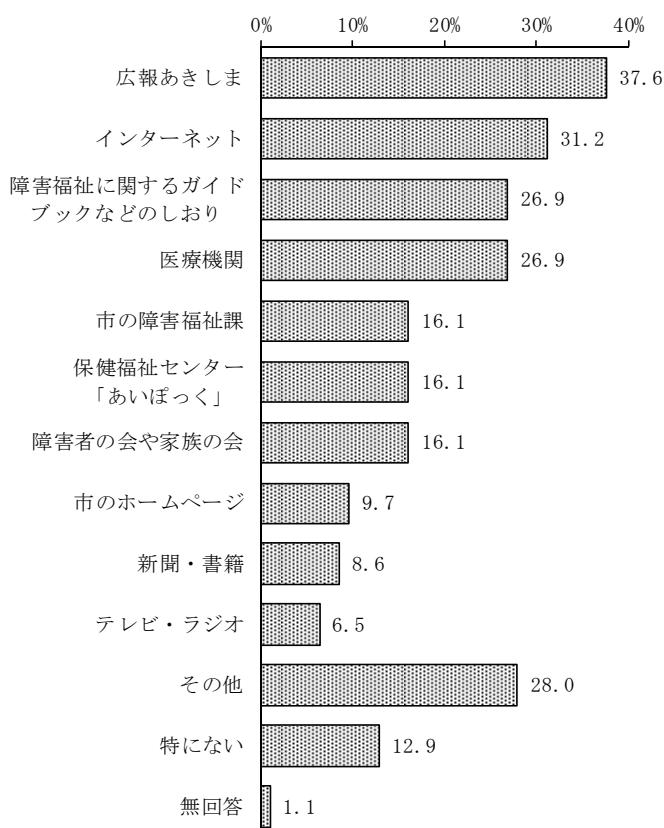
あなたは、福祉に関する情報を、どこから得ていますか。(○はいくつでも)

全体では、「広報あきしま」が最も多く、37.6%となっています。次いで、「インターネット」が31.2%、「身体障害者手帳・愛の手帳福祉ガイド・精神障害者に関するガイドブックなどのしおり」と「医療機関」が26.9%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「医療機関」(35.9%)が最も多く、知的障害では「広報あきしま」(41.7%)が最も多くなっています。

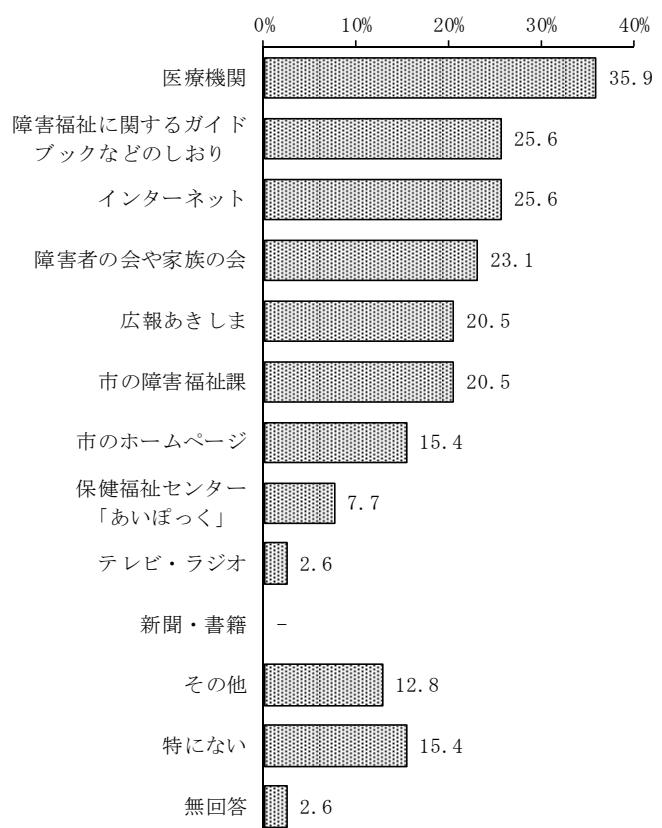
【全体】

総数=93 (複数回答)



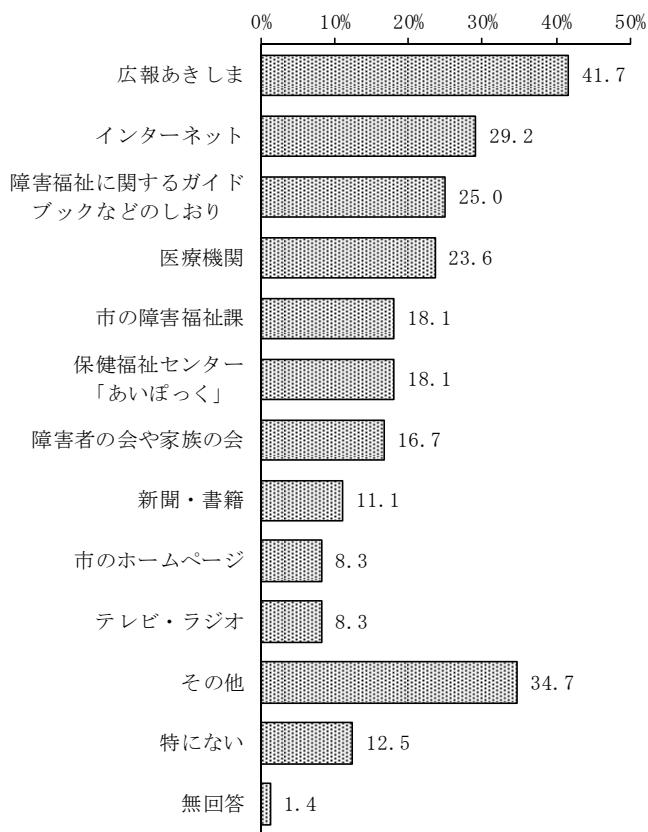
【身体障害】

総数=39 (複数回答)



【知的障害】

総数=72 (複数回答)



6 日中活動や仕事について

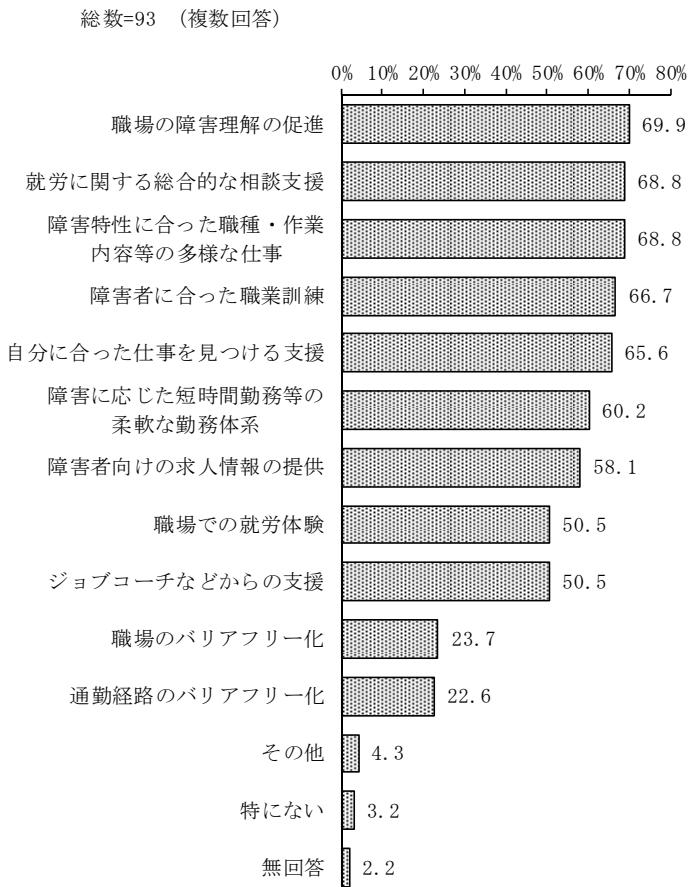
問25 働くために必要な支援

障害者が働くためにはどのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

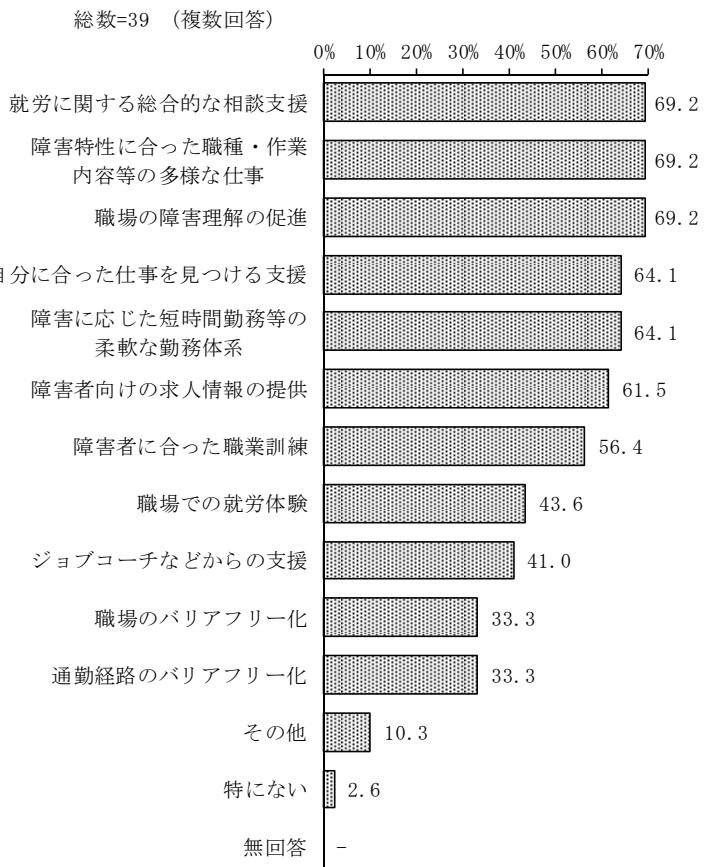
全体では、「職場の障害理解の促進」が最も多く、69.9%となっています。次いで、「就労に関する総合的な相談支援」と「障害特性に合った職種・作業内容等の多様な仕事」が68.8%、「障害者に合った職業訓練」が66.7%、「自分に合った仕事を見つける支援」が65.6%、「障害に応じた短時間勤務等の柔軟な勤務体系」が60.2%と続いています。

障害別にみると、いずれの障害も「就労に関する総合的な相談支援」と「障害者に合った職種・作業内容等の多様な仕事」(それぞれ身体障害69.2%、知的障害72.2%)が最も多くなっていますほか、身体障害では「職場の障害理解の促進」(69.2%)も最も多くなっています。また、身体障害では「職場のバリアフリー化」(33.3%)、「通勤経路のバリアフリー化」(33.3%)が知的障害に比べて多く、知的障害では「職場での就労体験」(54.2%)、「ジョブコーチなどからの支援」(51.4%)が身体障害に比べて多くなっています。

【全体】

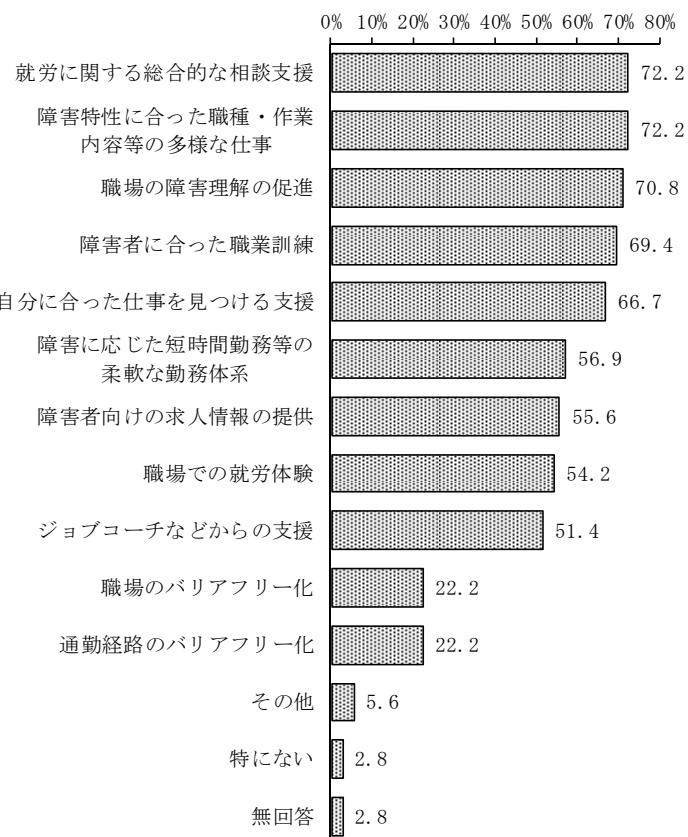


【身体障害】



【知的障害】

総数=72 (複数回答)



問26 日常生活の楽しみ方

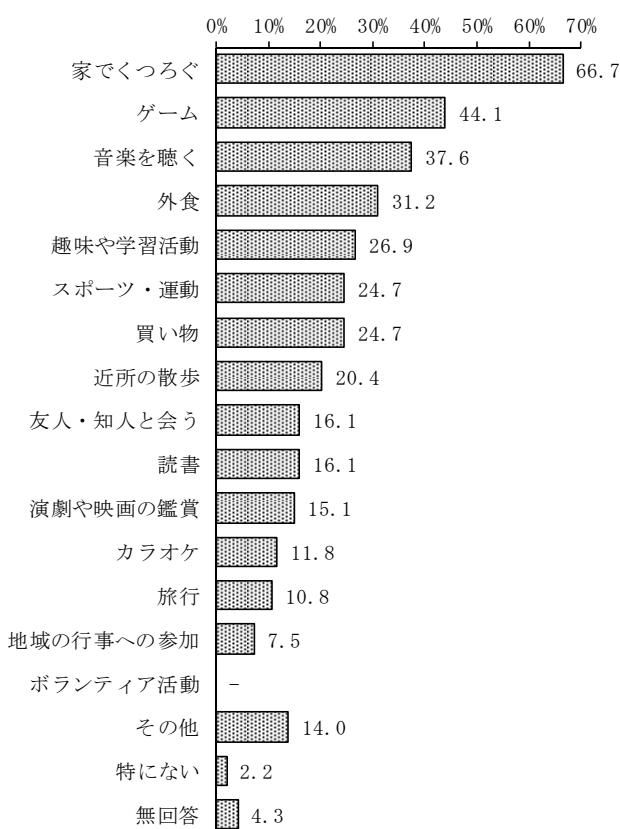
あなたの日常生活の楽しみ方についてお聞きします。(○はいくつでも)

全体では、「家でくつろぐ」が最も多く、66.7%となっています。次いで、「ゲーム」が44.1%、「音楽を聴く」が37.6%、「外食」が31.2%、「趣味や学習活動」が26.9%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「外食」(41.0%)が、知的障害では「ゲーム」(47.2%)が身体障害に比べて多くなっています。

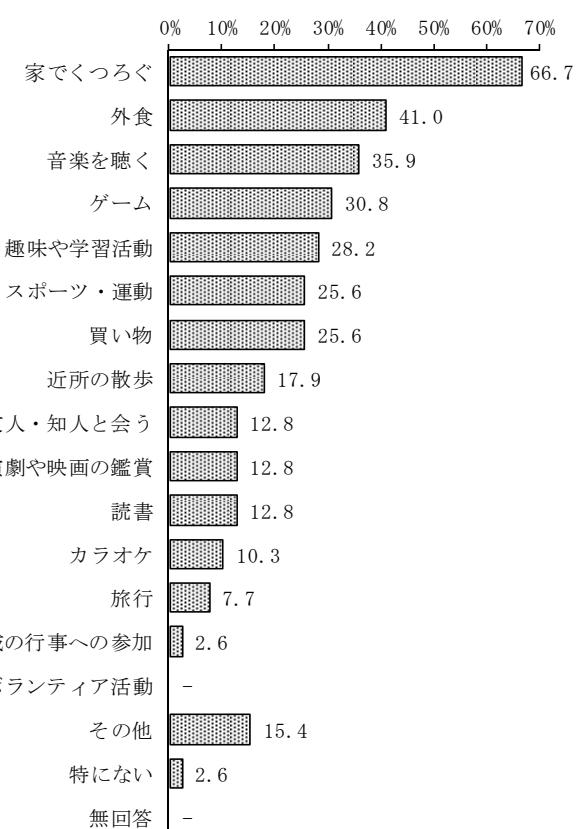
【全体】

総数=93 (複数回答)



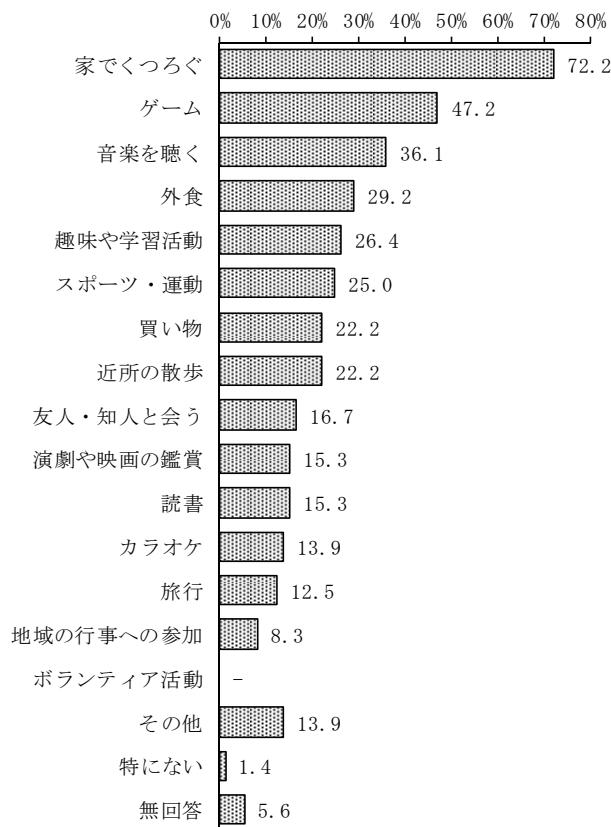
【身体障害】

総数=39 (複数回答)



【知的障害】

総数=72 (複数回答)



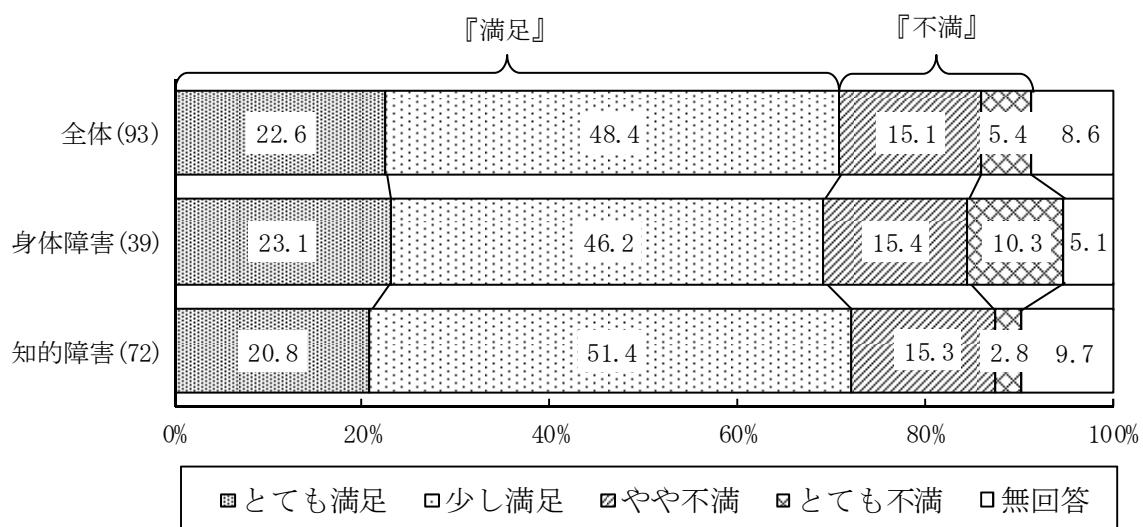
問27 今の生活の満足度

あなたは、今の生活に満足していますか。(○はひとつ)

ここでは「とても満足」と「少し満足」を合わせた割合を『満足』、「やや不満」と「とても不満」を合わせた割合を『不満』として計上しています。

全体では、『満足』が71.0%、『不満』が20.5%となっています。

障害別の結果に大きな変化はありませんでした。



問28 満足の理由

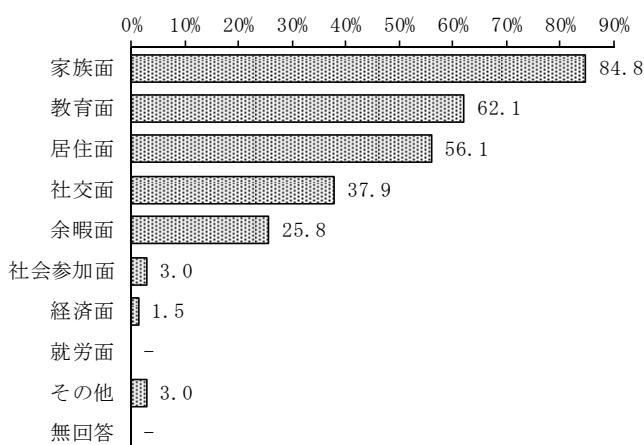
問27で「1 とても満足」、「2 少し満足」と回答した方にお聞きします。どのように満足していますか。(○はいくつでも)

全体では、「家族面(家族との関係が良好である)」が最も多く、84.8%となっています。次いで、「教育面(学校生活や療育が充実している)」が62.1%、「居住面(住んでいる家や部屋が気に入っている)」が56.1%、「社交面(友人と楽しくつきあえている)」が37.9%、「余暇面(余暇や趣味を楽しんでいる)」が25.8%と続いています。

障害別の結果に大きな変化はありませんでした。

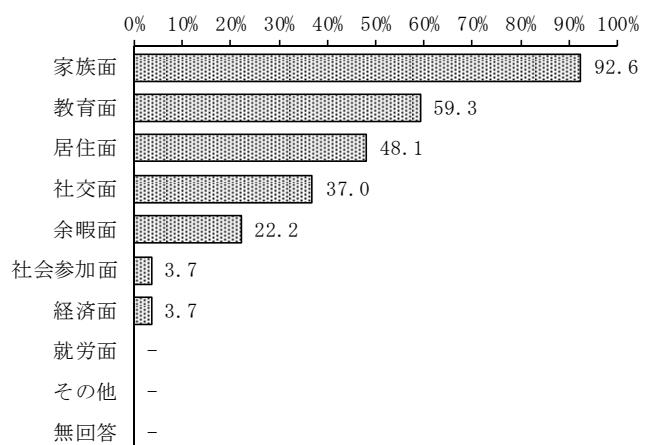
【全体】

総数=66 (複数回答)



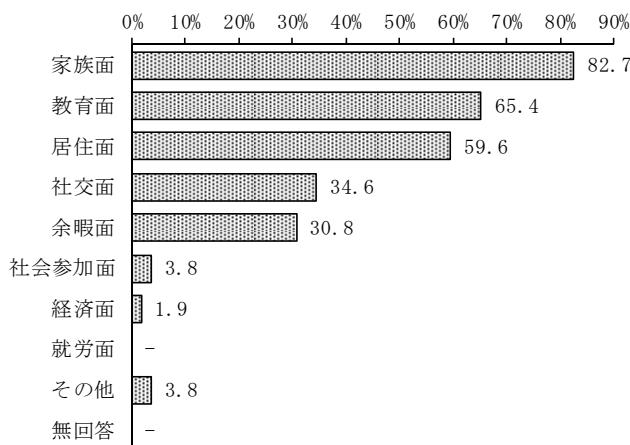
【身体障害】

総数=27 (複数回答)



【知的障害】

総数=52 (複数回答)



問29 不満の理由

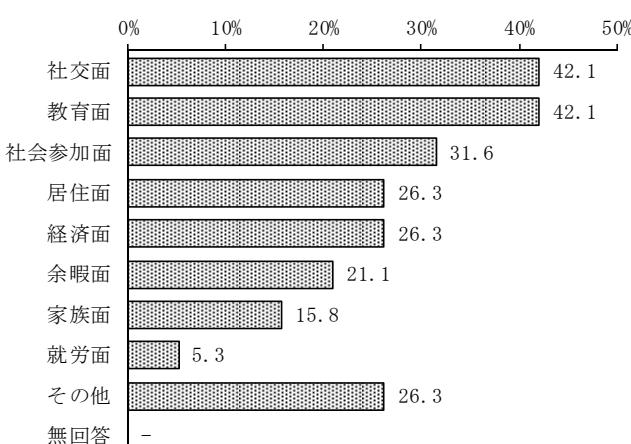
問27で「3 やや不満」、「4 とても不満」と回答した方にお聞きします。どのようなところが不満ですか。(○はいくつでも)

全体では、「社交面(友人との関係に問題がある)」と「教育面(学校生活や療育に問題がある)」が最も多く、42.1%となっています。次いで、「社会参加面(社会活動に参加できていない)」が31.6%、「居住面(住んでいる家や部屋に問題がある)」と「経済面(収入や生計に困難を抱えている)」が26.3%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「経済面(収入や生計に困難を抱えている)」(50.0%)が最も多く、知的障害では「教育面(学校生活や療育に問題がある)」(46.2%)が最も多くなっています。

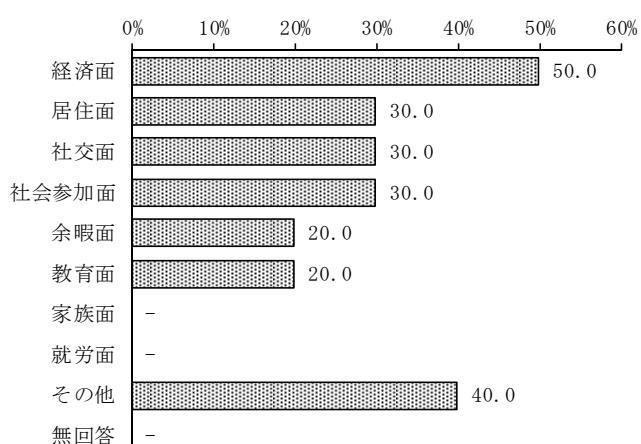
【全体】

総数=19 (複数回答)



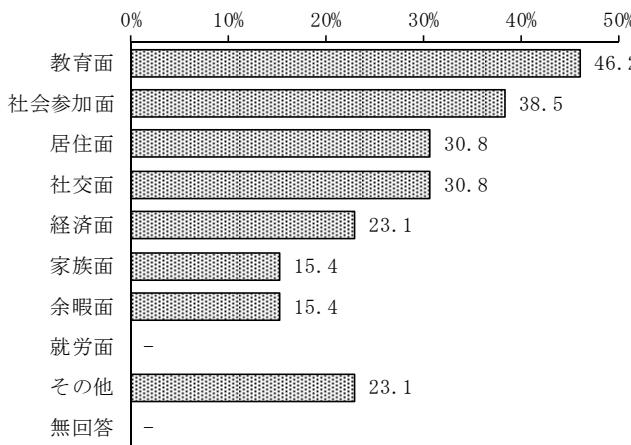
【身体障害】

総数=10 (複数回答)



【知的障害】

総数=13 (複数回答)



7 保育・教育・療育について

問30 通園・通学先

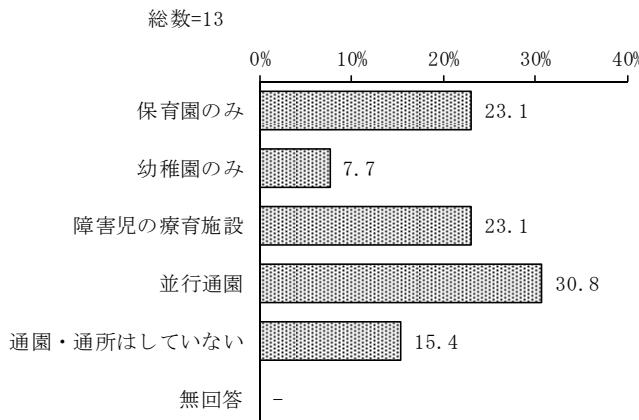
あなたが主に通園・通学などをしているところをお聞きします。(○はひとつ)

①通園・通学先（小学校入学期）

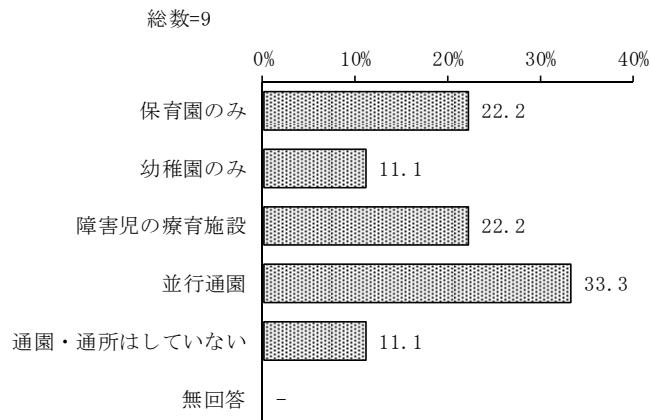
全体では、「並行通園（保育園・幼稚園と障害児の療育施設を併用）」が最も多く、30.8%となっています。次いで、「保育園のみ」と「障害児の療育施設」が23.1%と続いています。

障害別にみると、知的障害では「並行通園（保育園・幼稚園と障害児の療育施設を併用）」(33.3%) のほか、「障害児の療育施設」(33.3%) も最も多くなっています。

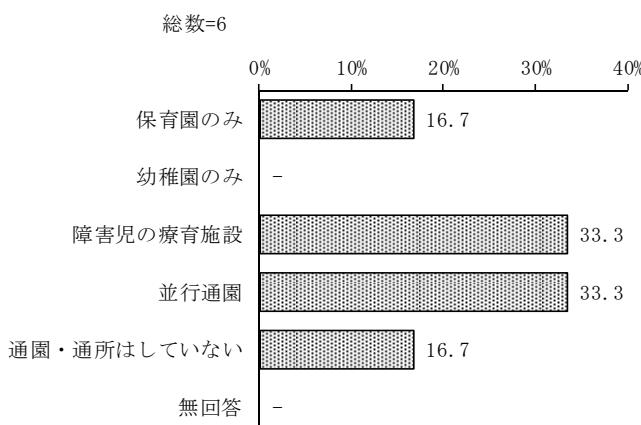
【全体】



【身体障害】



【知的障害】

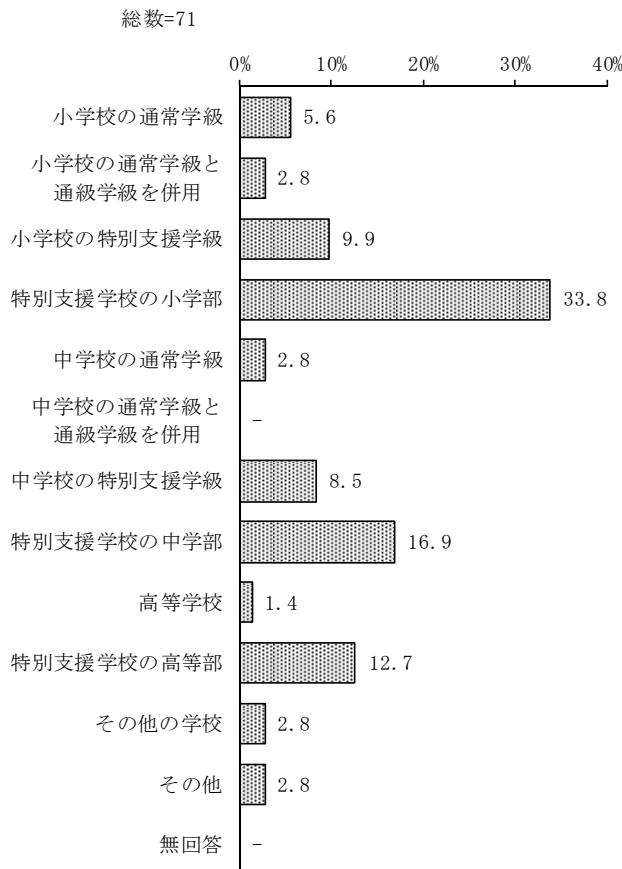


②通園・通学先（小学校入学以降）

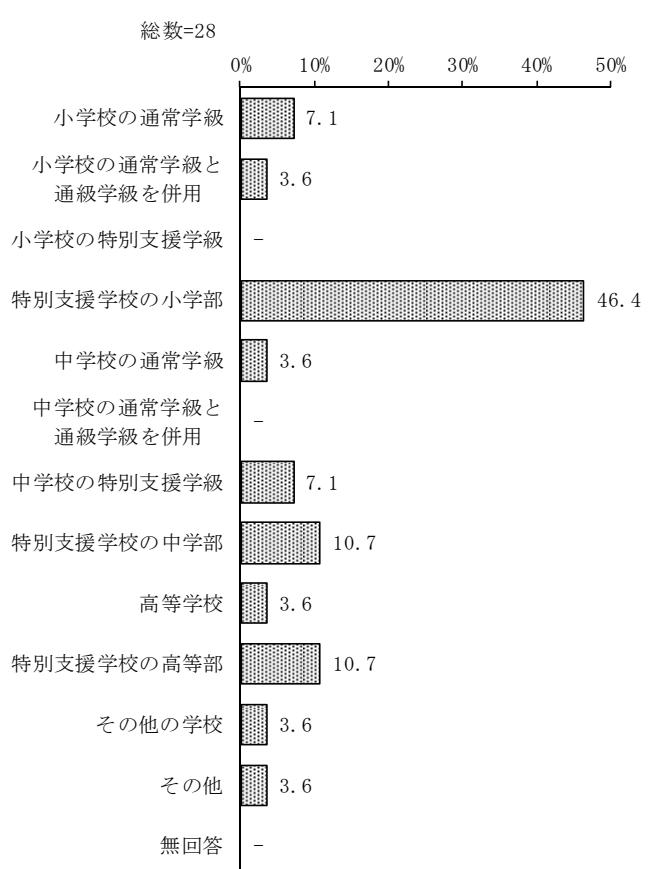
全体では、「特別支援学校の小学部」が最も多く、33.8%となっています。次いで、「特別支援学校の中学校部」が16.9%、「特別支援学校の高等部」が12.7%と続いています。

障害別の結果に大きな変化はありませんでした。

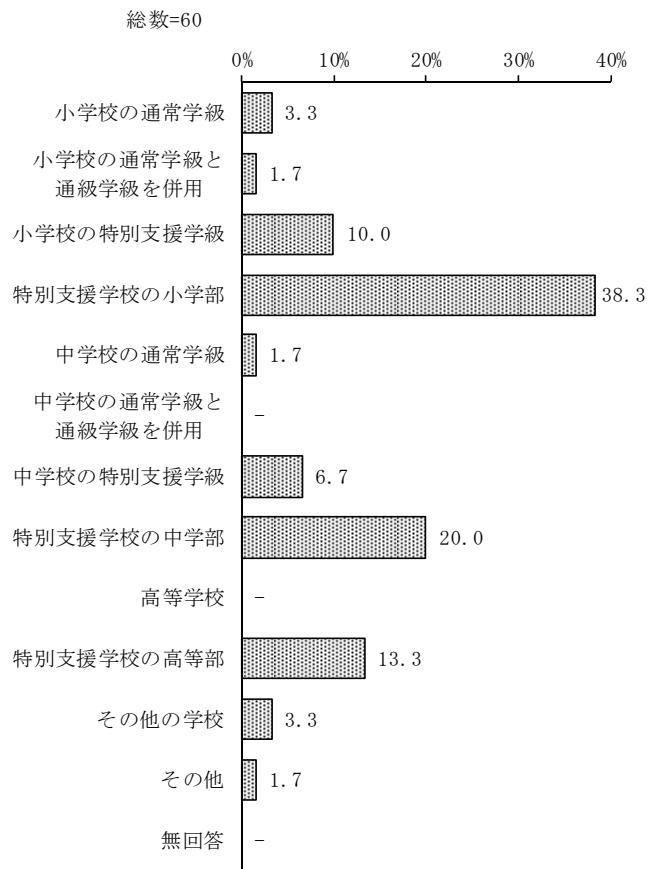
【全体】



【身体障害】



【知的障害】



問31 希望する進路（就学前）

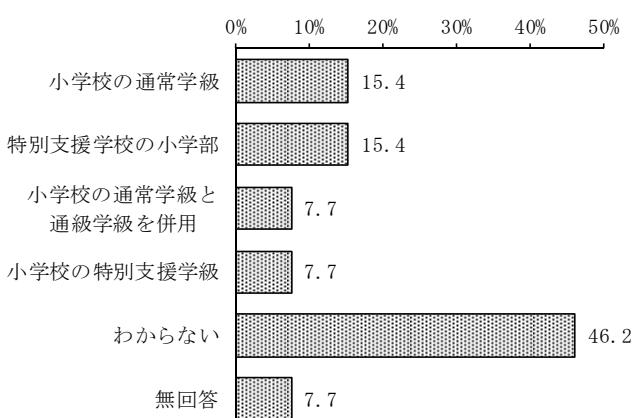
問30で「A 小学校入学前（1～5）」と回答した方にお聞きします。小学校はどの教育機関を希望しますか。（○はひとつ）

全体では、「小学校の通常学級」と「特別支援学校の小学部」が多く、15.4%となっています。なお、「わからない」が46.2%と最も多くなっています。

障害別にみると、身体障害では「わからない」(55.6%)が最も多く、知的障害では「特別支援学校の小学部」(33.3%)が最も多くなっています。

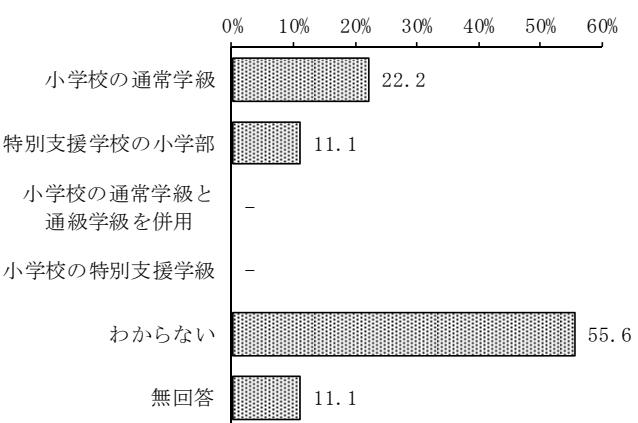
【全体】

総数=13



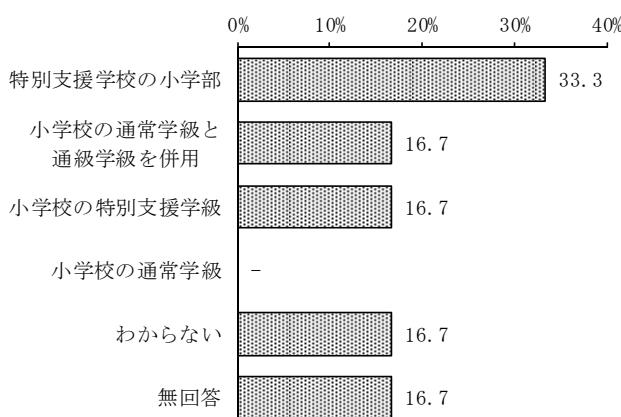
【身体障害】

総数=9



【知的障害】

総数=6



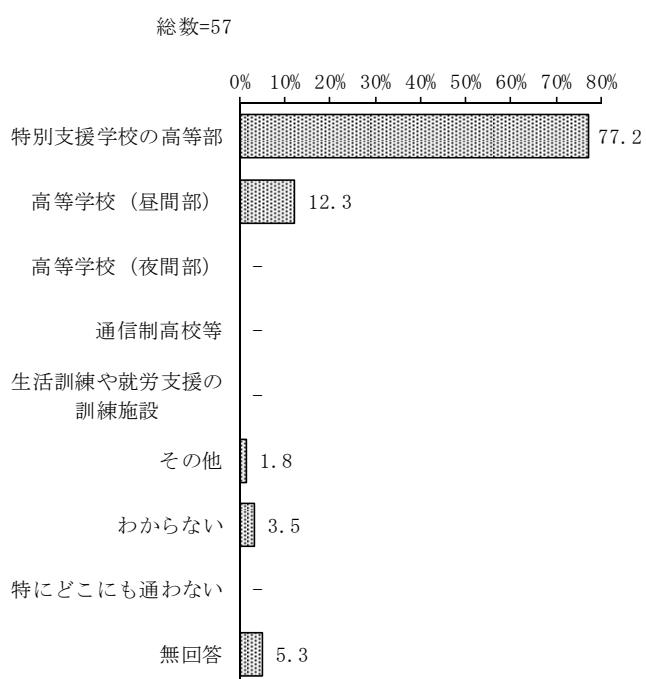
問32 希望する進路（小学校・中学校）

問30でBの小学校（小学部）、または中学校（中学部）と回答された方にお聞きします。義務教育修了後（中学校（中学部）卒業後）はどのような進路を希望しますか。（○はひとつ）

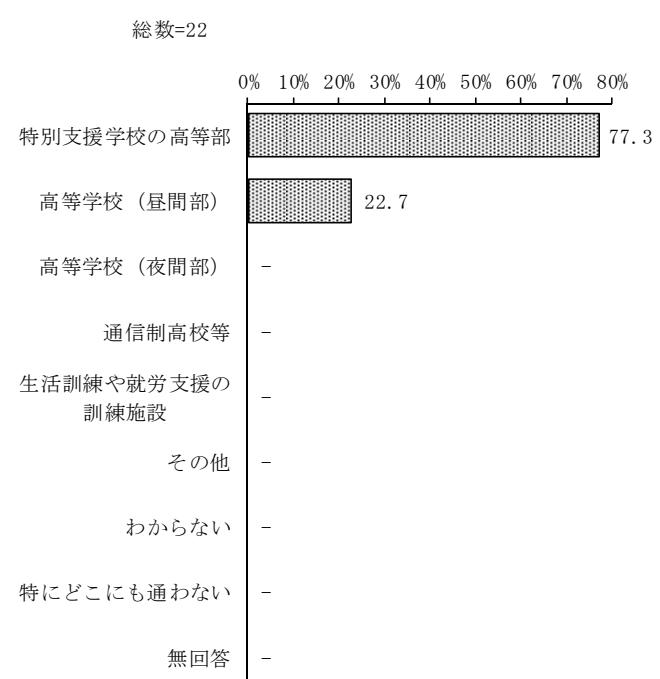
全体では、「特別支援学校の高等部」が最も多く、77.2%となっています。次いで、「高等学校（昼間部）」が12.3%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「高等学校（昼間部）」(22.7%)が知的障害に比べて多くなっています。

【全体】

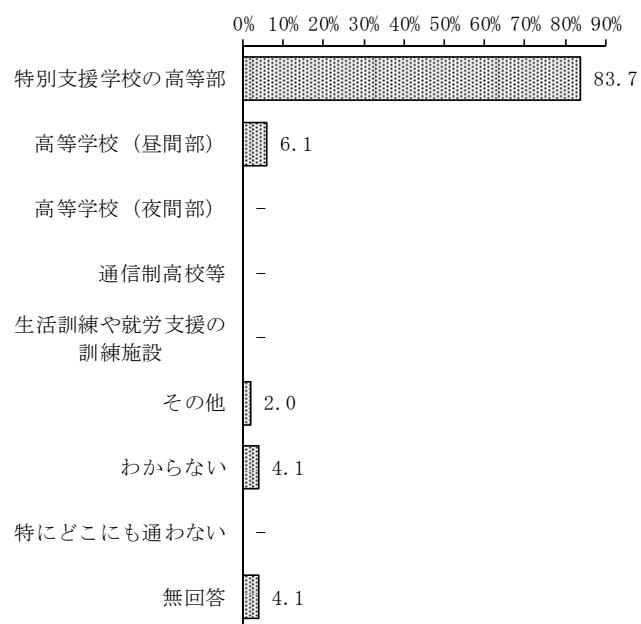


【身体障害】



【知的障害】

総数=49



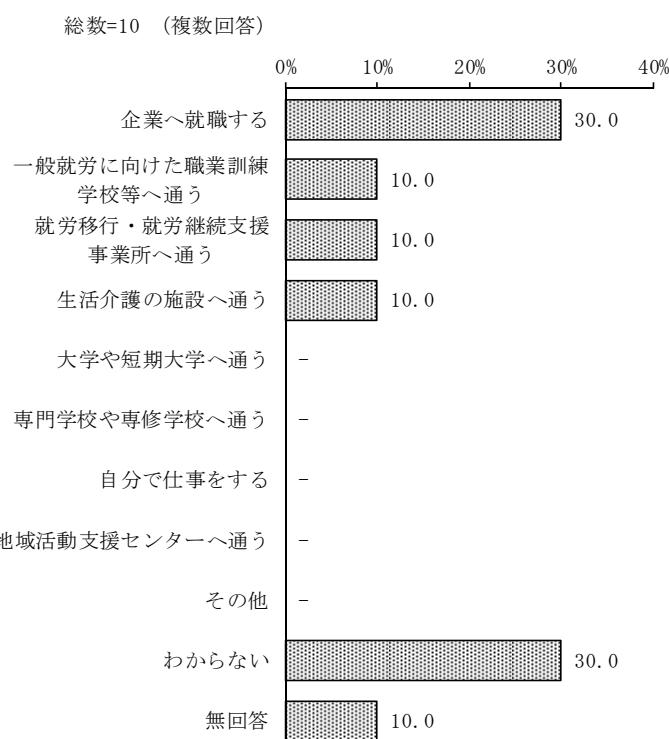
問33 希望する進路（高校）

問30 でBの高等学校、または特別支援学校の高等部と回答された方にお聞きします。高等学校（高等部）卒業後はどのような進路を希望しますか。（○はいくつでも）

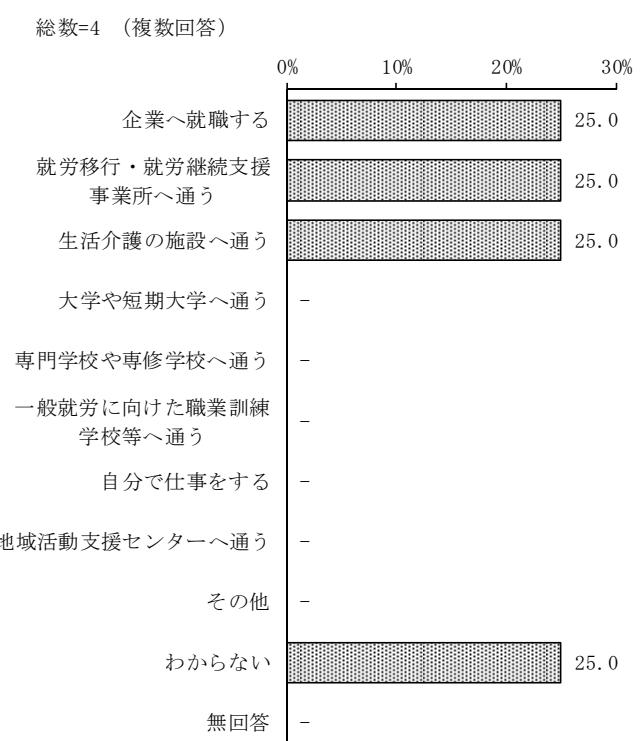
全体では、「企業へ就職する（一般就労）」と「わからない」が最も多く、30.0%となっています。

障害別にみると、身体障害では「企業へ就職する（一般就労）」（25.0%）のほか、「就労移行支援・就労継続支援事業所へ通う」（25.0%）、「生活介護の施設へ通う」（25.0%）も最も多くなっています。知的障害では「企業へ就職する（一般就労）」（25.0%）が最も多くなっています。

【全体】

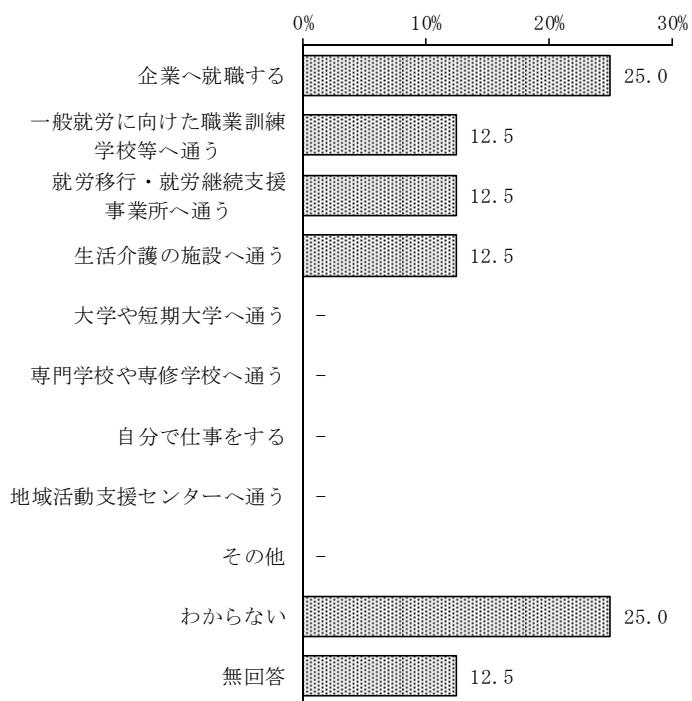


【身体障害】



【知的障害】

総数=8 (複数回答)



問34 通園・通学生活で困っていること

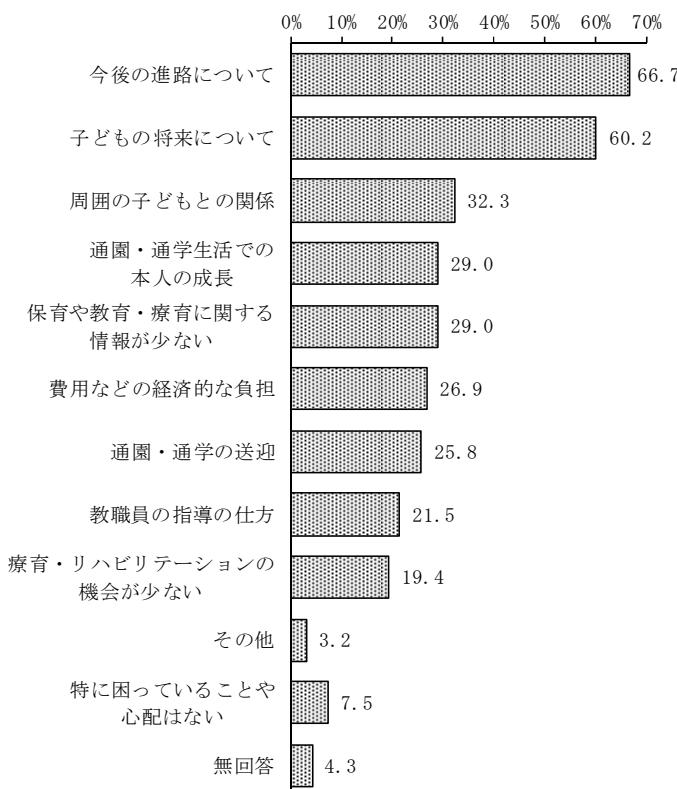
通園や通学生活等で困っていることや心配していることはありますか。(○はいくつでも)

全体では、「今後の進路について」が最も多く、66.7%となっています。次いで、「子どもの将来について」が60.2%、「周囲の子どもとの関係」が32.3%、「通園・通学生活での本人の成長」と「保育や教育・療育に関する情報が少ない」が29.0%、「費用などの経済的な負担」が26.9%と続いているです。

障害別にみると、身体障害では「費用などの経済的な負担」(30.8%)が知的障害に比べて多くなっています。

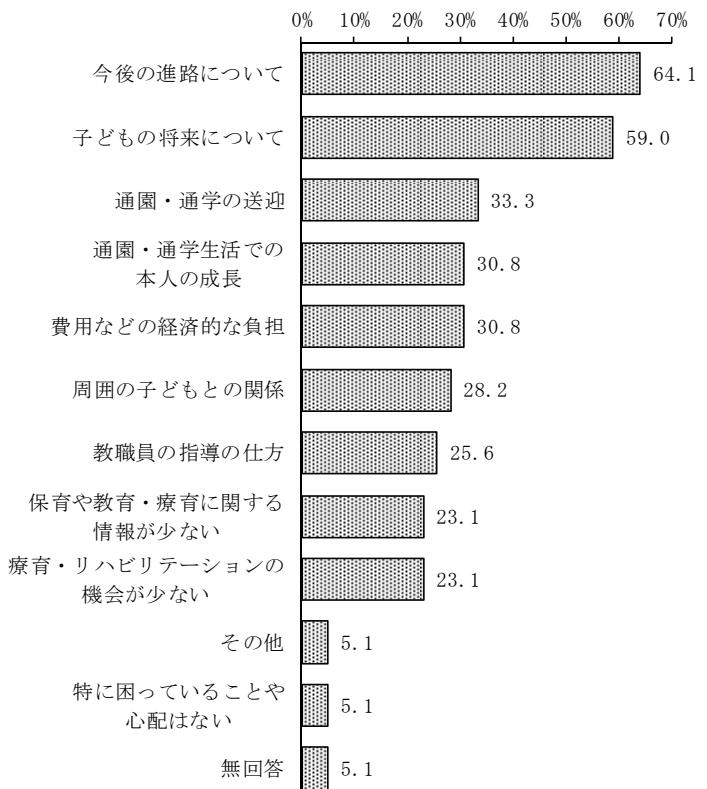
【全体】

総数=93 (複数回答)



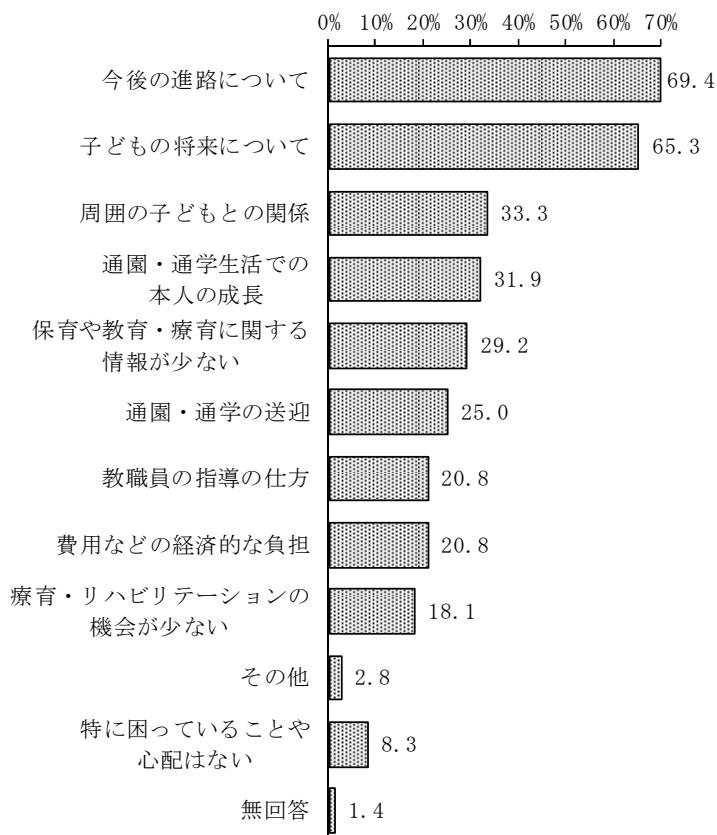
【身体障害】

総数=39 (複数回答)



【知的障害】

総数=72 (複数回答)



8 住まいについて

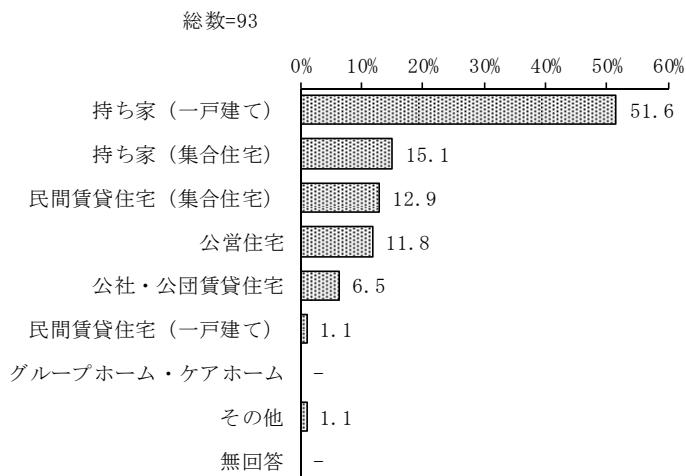
問35 住まいの形態

あなたのお住まいをお聞きします。(○はひとつ)

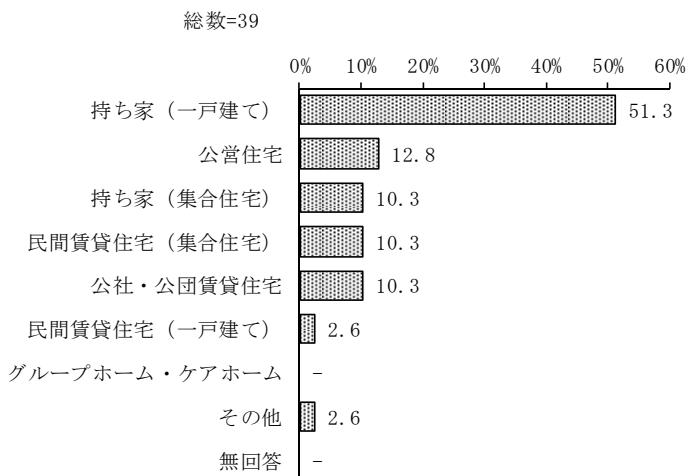
全体では、「持ち家（一戸建て）」が最も多く、51.6%となっています。次いで、「持ち家（集合住宅）」が15.1%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が12.9%、「公営住宅（都営・市営）」が11.8%と続いています。

障害別の結果に大きな変化はありませんでした。

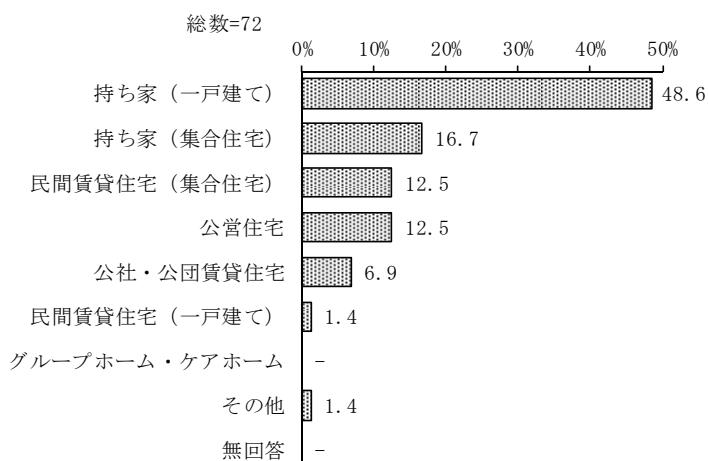
【全体】



【身体障害】



【知的障害】



問36 住まいに関して困っていること

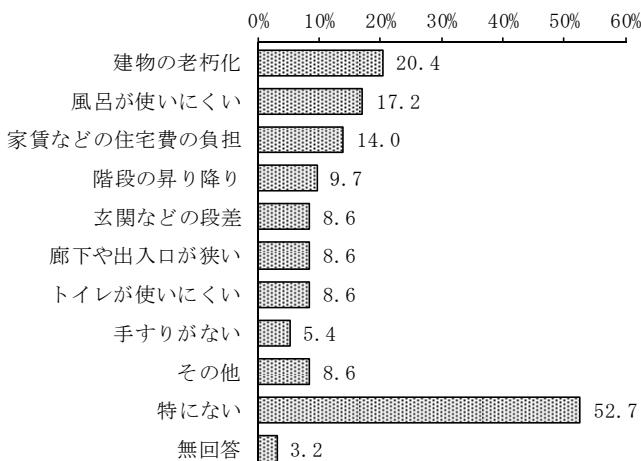
あなたは、住まいに関してどのようなことで困っていますか。(○はいくつでも)

全体では、「建物の老朽化」が多く、20.4%となっています。次いで、「風呂が使いにくい」が17.2%、「家賃などの住宅費の負担」が14.0%と続いています。なお、「特ない」が52.7%と最も多くなっています。

障害別にみると、身体障害では「風呂が使いにくい」(25.6%)が多く、知的障害では「建物の老朽化」(22.2%)が多くなっています。また、身体障害では「階段の昇り降り」(20.5%)、「玄関などの段差」(17.9%)、「廊下や出入口が狭い」(17.9%)、「手すりがない」(12.8%)が知的障害に比べて多くなっています。

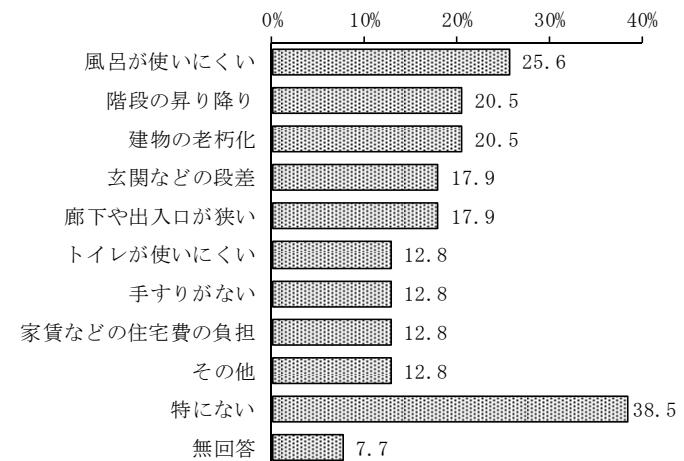
【全体】

総数=93 (複数回答)



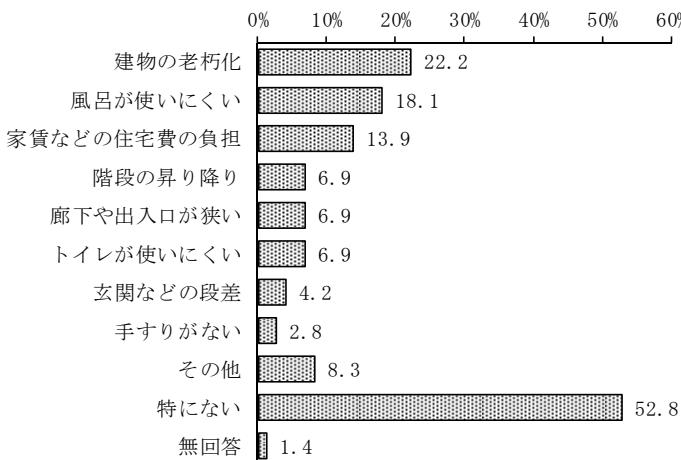
【身体障害】

総数=39 (複数回答)



【知的障害】

総数=72 (複数回答)



問37 住まいに関する必要な支援

あなたは、住まいに関してどのような支援を必要としていますか。(○はいくつでも)

全体では、「住宅改造費用の貸付・助成」と「グループホームなどの整備」が多く、20.4%となっています。次いで、「家具転倒防止や耐震化など災害対策」が15.1%と続いています。なお、「特になし」が40.9%と最も多くなっています。

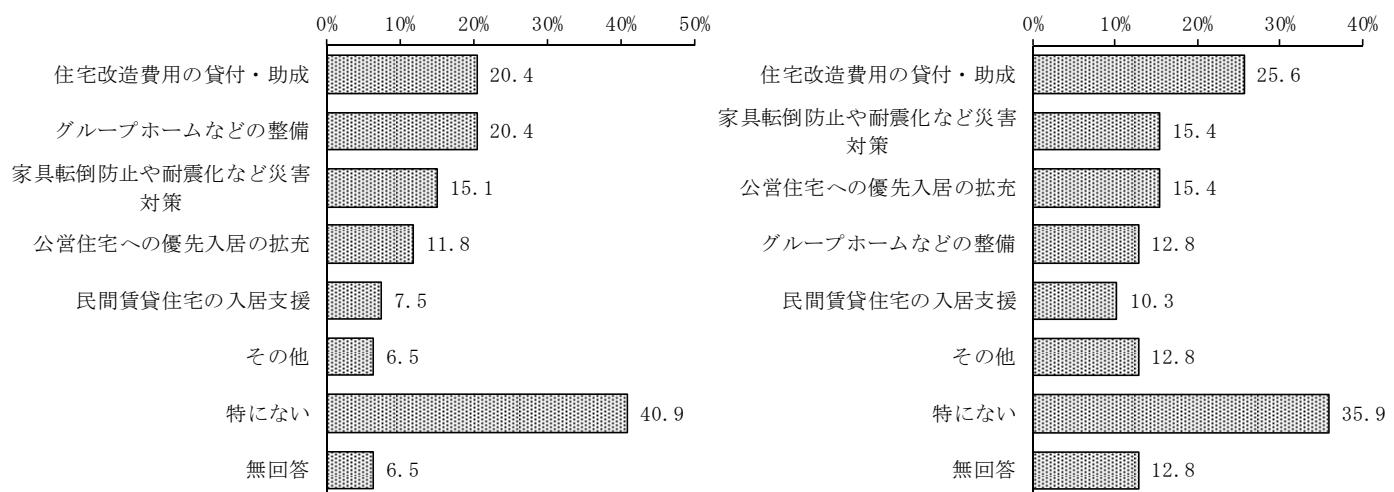
障害別にみると、身体障害では「住宅改造費用の貸付・助成」(25.6%)が多く、知的障害では「グループホームなどの整備」(26.4%)が多くなっています。

【全体】

【身体障害】

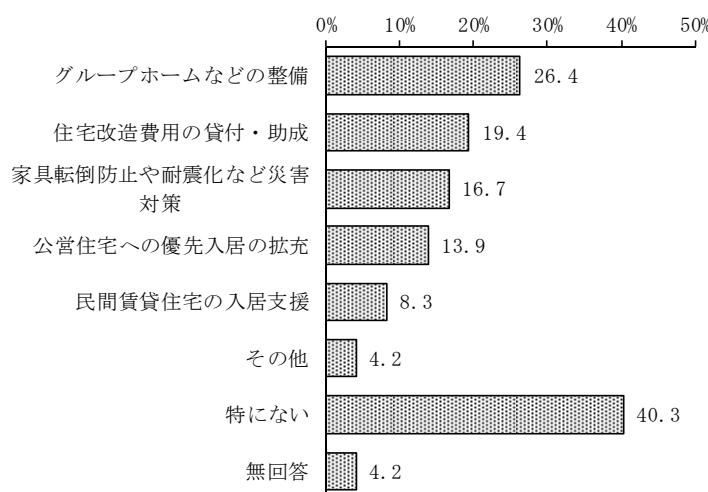
総数=93 (複数回答)

総数=39 (複数回答)



【知的障害】

総数=72 (複数回答)



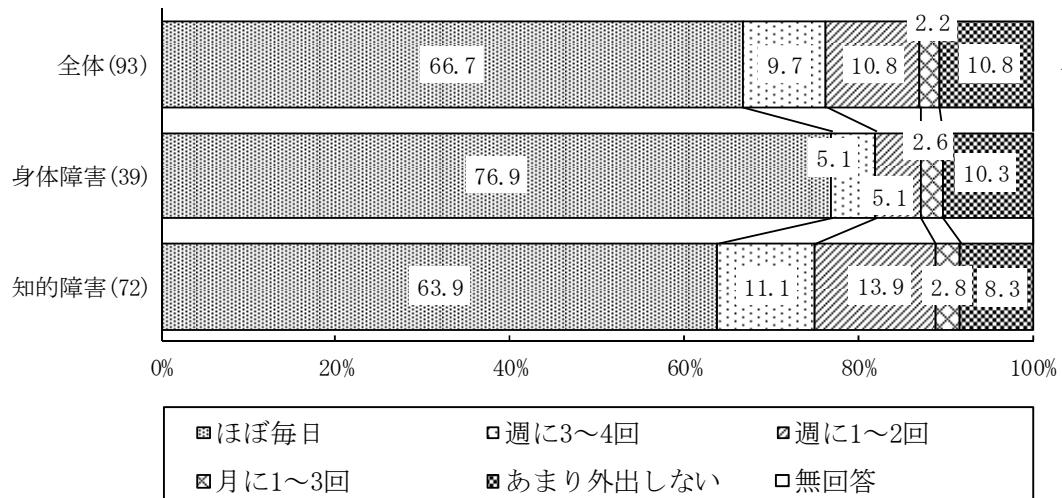
9 外出について

問38 外出の頻度

あなたはどのくらいの頻度で外出していますか。(○はひとつ)

全体では、「ほぼ毎日」が最も多く、66.7%となっています。次いで、「週に1～2回」と「あまり外出しない」が10.8%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「ほぼ毎日」(76.9%)が知的障害に比べて多くなっています。



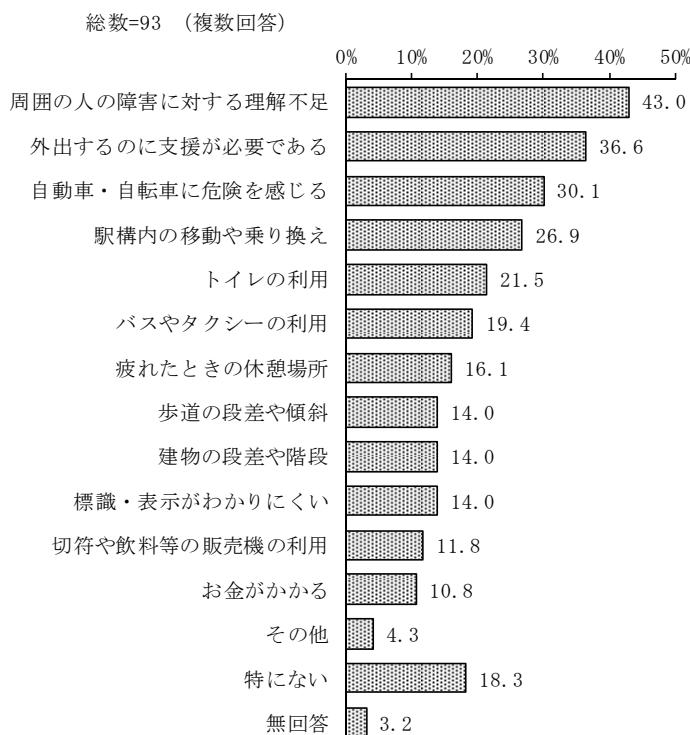
問39 外出に関して困っていること

あなたには、外出に関して困っていることがありますか。(○はいくつでも)

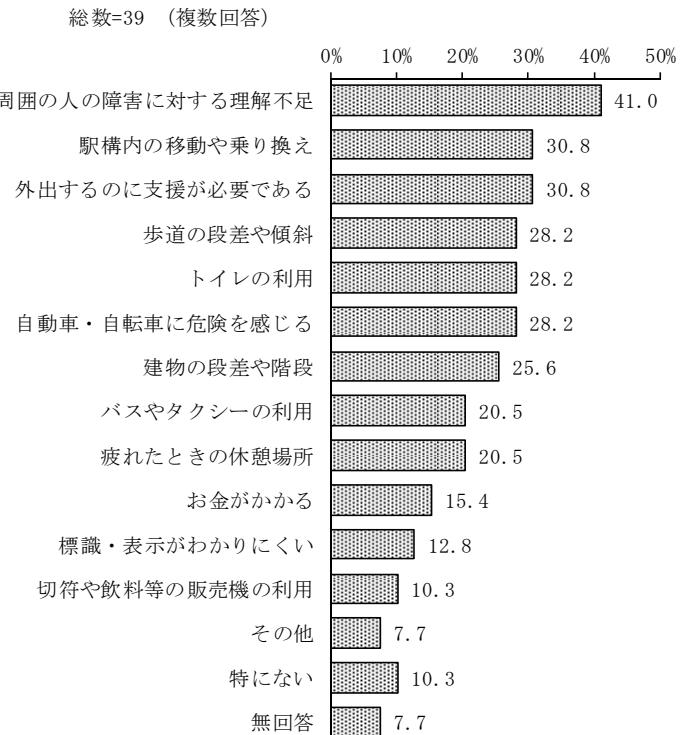
全体では、「周囲の人の障害に対する理解不足」が最も多く、43.0%となっています。次いで、「外出するのに支援が必要である」が36.6%、「自動車・自転車に危険を感じる」が30.1%、「駅構内の移動や乗り換え」が26.9%、「トイレの利用」が21.5%と続いています。

障害別にみると、知的障害では「周囲の人の障害に対する理解不足」(45.8%) のほか、「外出するのに支援が必要である」(45.8%) も最も多くなっています。また、身体障害では「歩道の段差や傾斜」(28.2%)、「建物の段差や階段」(25.6%) が知的障害に比べて多くなっています。

【全体】

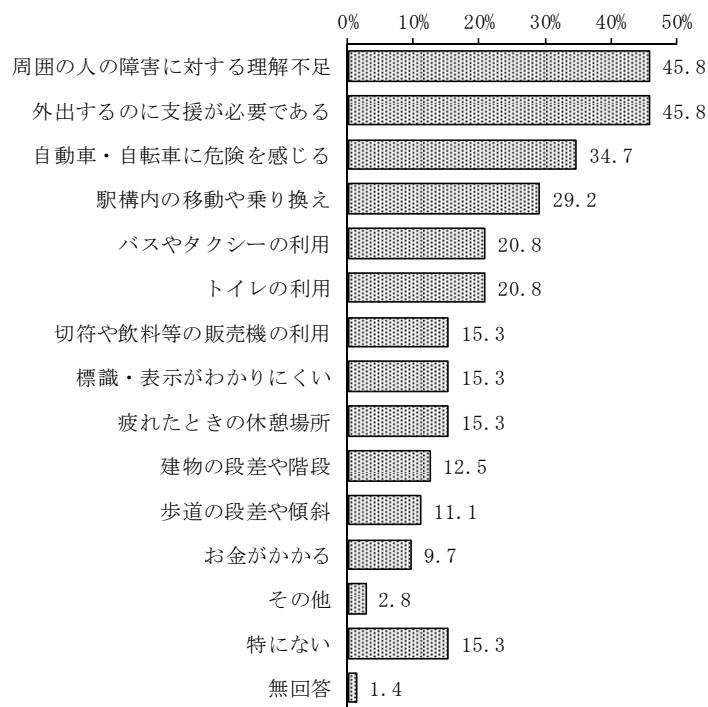


【身体障害】



【知的障害】

総数=72 (複数回答)



10 福祉サービスの利用について

問40 福祉サービスの利用について

あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また、今後（2～3年以内に）利用したいと思いますか。既に利用しており、今後も利用したい方は「1」、「2」両方に○をつけてください。（○はいくつでも）

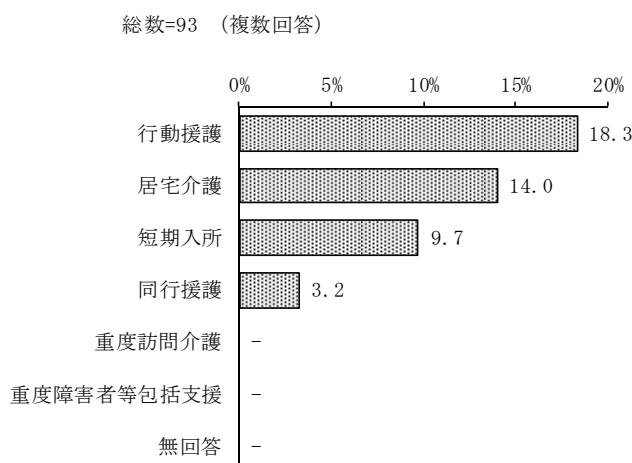
(1) 訪問系サービス

①利用状況

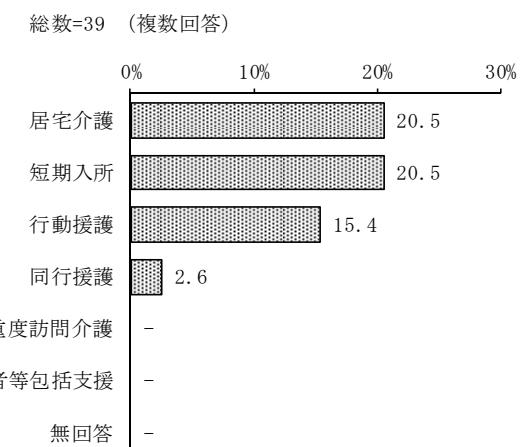
全体では、「行動援護」が最も多く、18.3%となっています。次いで、「居宅介護（ホームヘルプ）」が14.0%、「短期入所（ショートステイ）」が9.7%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「居宅介護（ホームヘルプ）」（20.5%）と「短期入所（ショートステイ）」（20.5%）が最も多く、知的障害では「行動援護」（23.6%）が最も多くなっています。

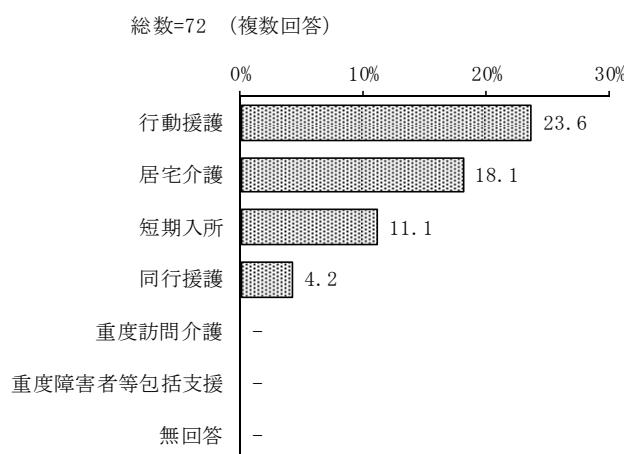
【全体】



【身体障害】



【知的障害】



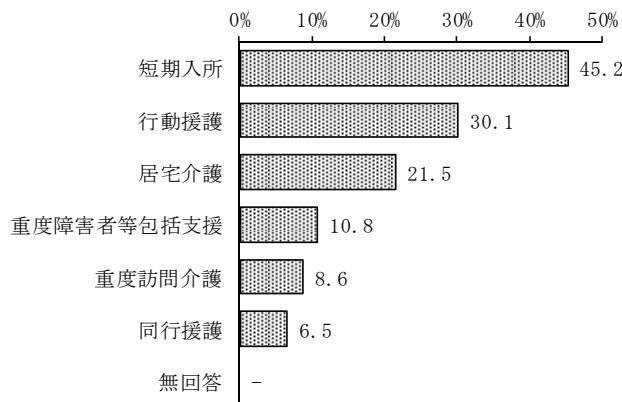
②利用意向

全体では、「短期入所（ショートステイ）」が最も多く、45.2%となっています。次いで、「行動援護」が30.1%、「居宅介護（ホームヘルプ）」が21.5%と続いています。

障害別の結果に大きな変化はありませんでした。

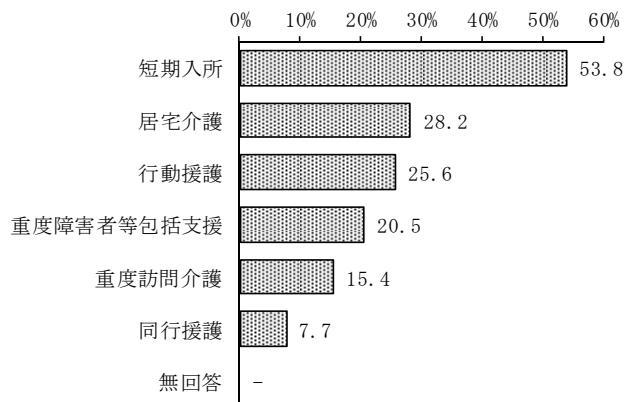
【全体】

総数=93 (複数回答)



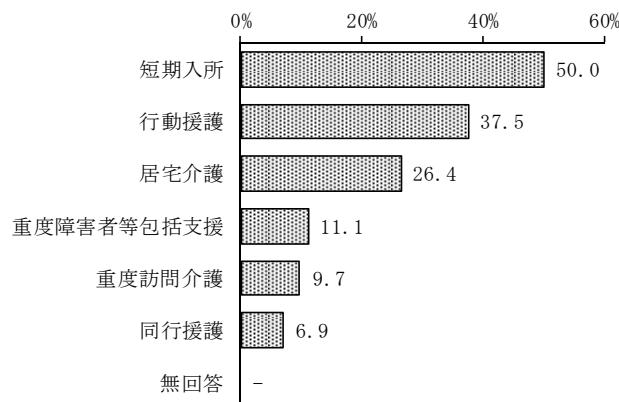
【身体障害】

総数=39 (複数回答)



【知的障害】

総数=72 (複数回答)



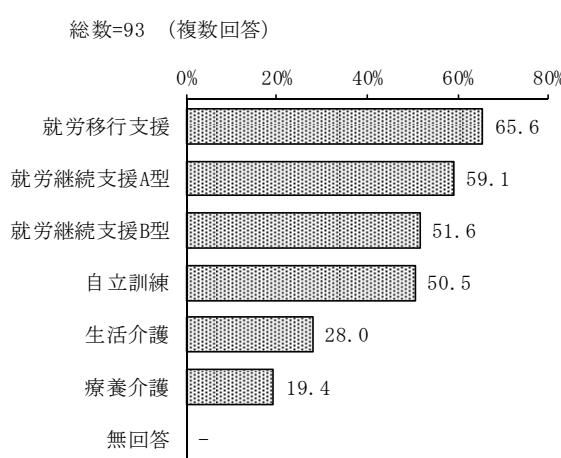
(2) 日中活動系サービス

①利用意向

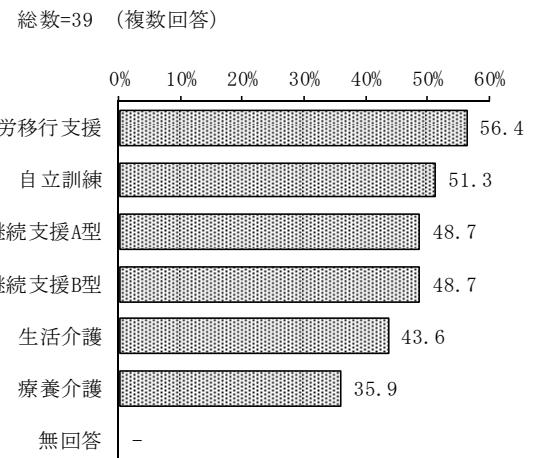
全体では、「就労移行支援」が最も多く、65.6%となっています。次いで、「就労継続支援A型」が59.1%、「就労継続支援B型」が51.6%、「自立支援（機能訓練・生活訓練）」が50.5%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「生活介護」（43.6%）、「療養介護」（35.9%）が知的障害に比べて多く、知的障害では「就労継続支援A型」（62.5%）が身体障害に比べて多くなっています。

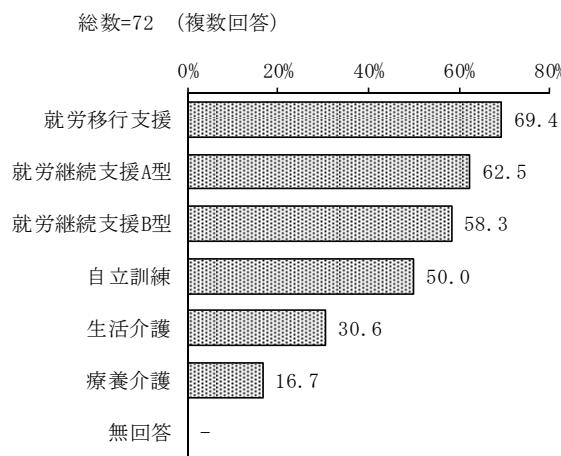
【全体】



【身体障害】



【知的障害】



(3) 居住系サービス

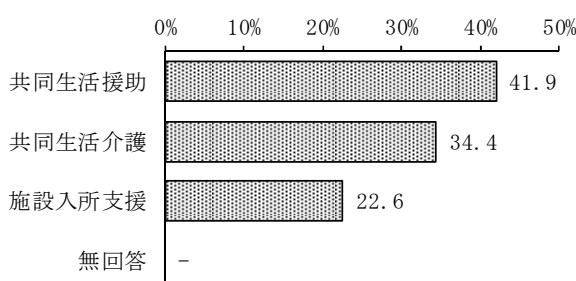
①利用意向

全体では、「共同生活援助（グループホーム）」が最も多く、41.9%となっています。次いで、「共同生活介護（ケアホーム）」が34.4%、「施設入所支援」が22.6%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「共同生活介護（ケアホーム）」(48.7%)が最も多く、知的障害では「共同生活援助（グループホーム）」(50.0%)が最も多くなっています。

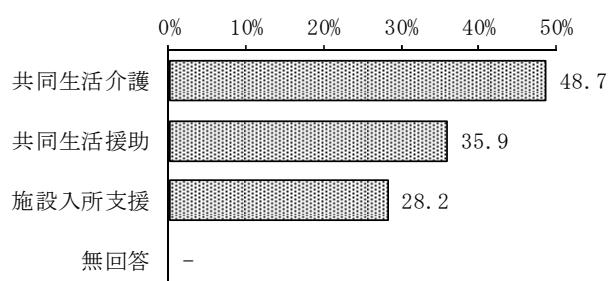
【全体】

総数=93 (複数回答)



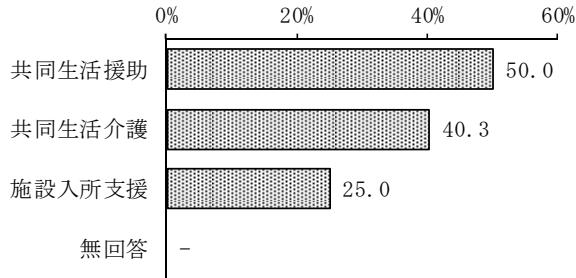
【身体障害】

総数=39 (複数回答)



【知的障害】

総数=72 (複数回答)



(4) 地域生活支援事業

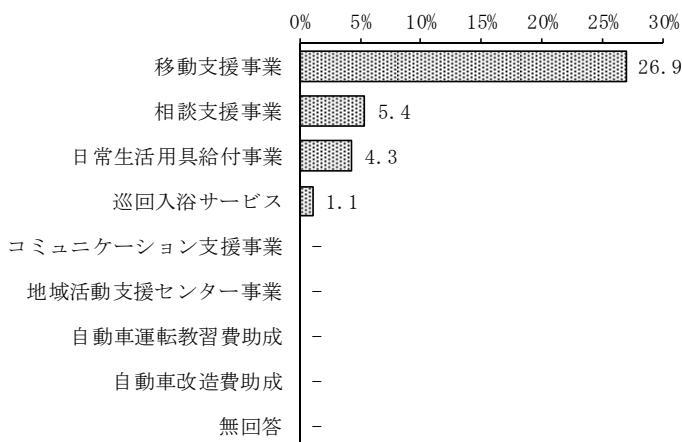
①利用状況

全体では、「移動支援事業」が最も多く、26.9%となっています。次いで、「相談支援事業」が5.4%、「日常生活用具給付事業」が4.3%、「巡回入浴サービス」が1.1%と続いています。

障害別にみると、知的障害では「移動支援事業」(34.7%)が身体障害に比べて多くなっています。

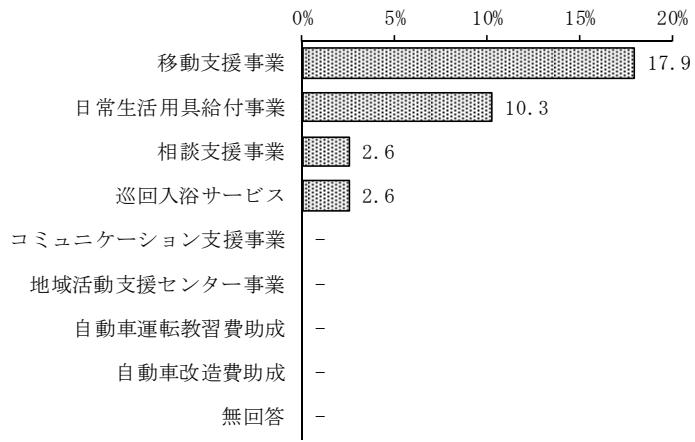
【全体】

総数=93 (複数回答)



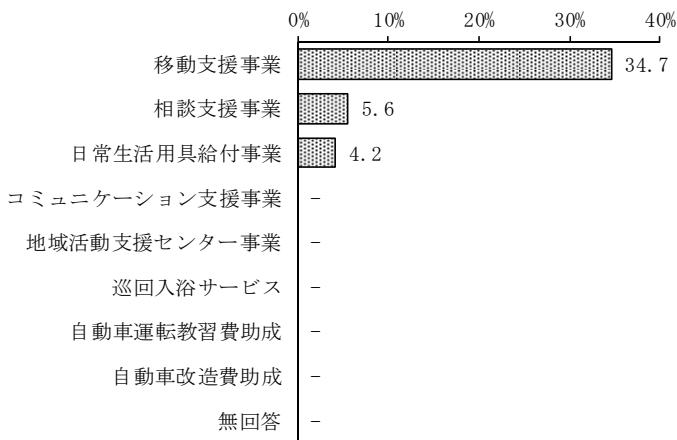
【身体障害】

総数=39 (複数回答)



【知的障害】

総数=72 (複数回答)

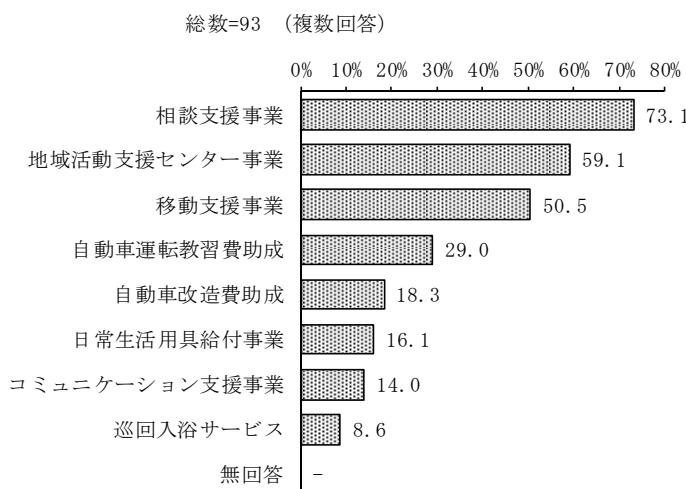


②利用意向

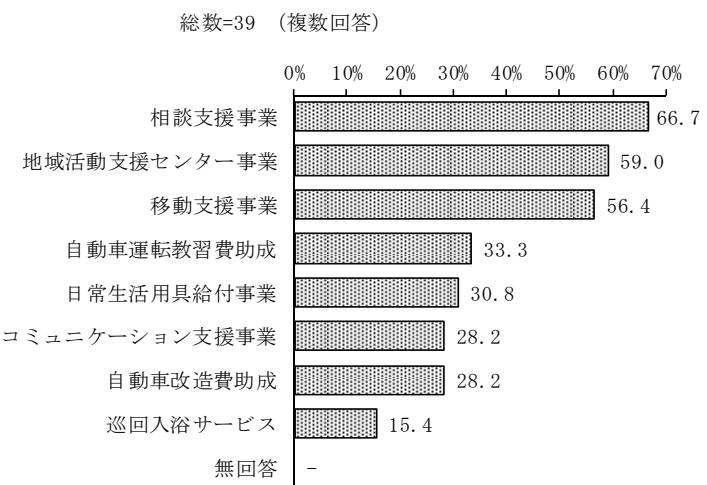
全体では、「相談支援事業」が最も多く、73.1%となっています。次いで、「地域活動支援センター事業」が59.1%、「移動支援事業」が50.5%、「自動車運転教習費助成」が29.0%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「日常生活用具給付事業」(30.8%)、「コミュニケーション支援事業」(28.2%)、「自動車改造費助成」(28.2%)が知的障害に比べて多く、知的障害では「相談支援事業」(77.8%)が身体障害に比べて多くなっています。

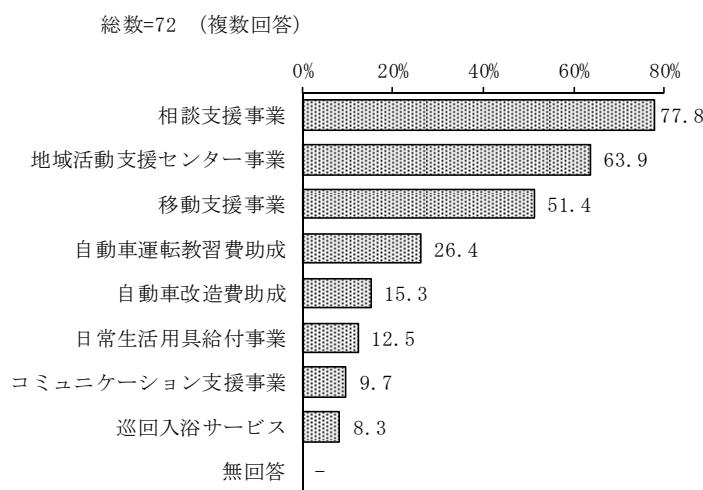
【全体】



【身体障害】



【知的障害】



(5) その他のサービス

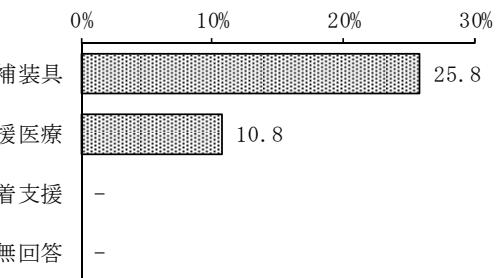
①利用状況

全体では、「補装具」が最も多く、25.8%となっています。次いで、「自立支援医療」が10.8%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「補装具」(59.0%)が知的障害に比べて多くなっています。

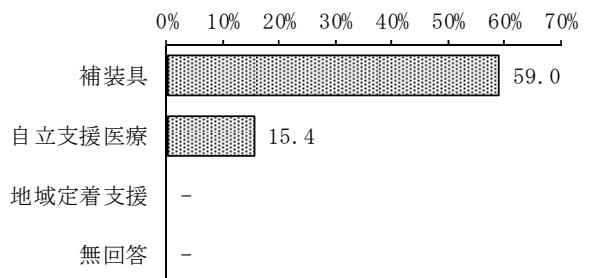
【全体】

総数=93 (複数回答)



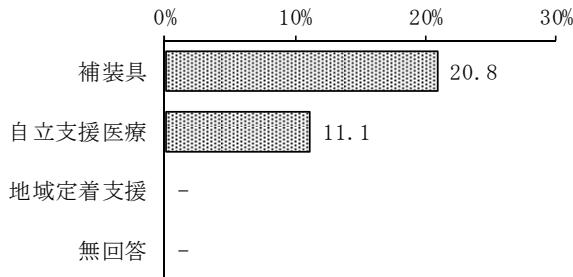
【身体障害】

総数=39 (複数回答)



【知的障害】

総数=72 (複数回答)



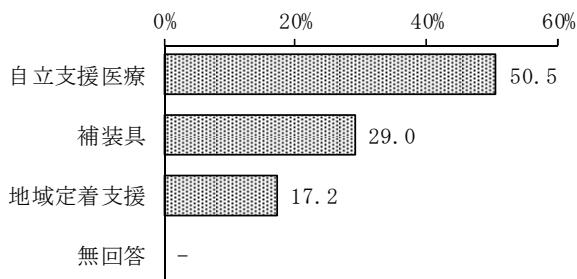
②利用意向

全体では、「自立支援医療」が最も多く、50.5%となっています。次いで、「補装具」が29.0%、「地域定着支援」が17.2%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「自立支援医療」(61.5%)、「補装具」(51.3%)が知的障害に比べて多くなっています。

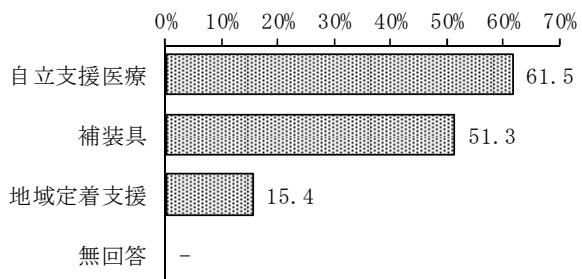
【全体】

総数=93 (複数回答)



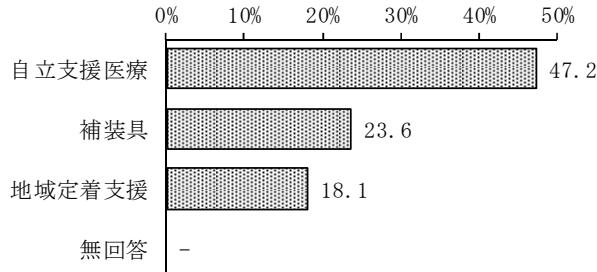
【身体障害】

総数=39 (複数回答)



【知的障害】

総数=72 (複数回答)



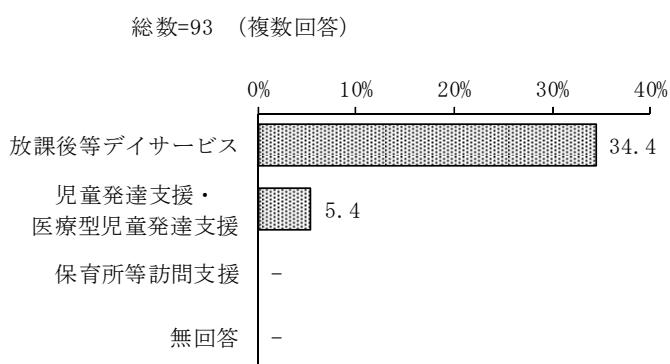
(6) 児童に関する支援

①利用状況

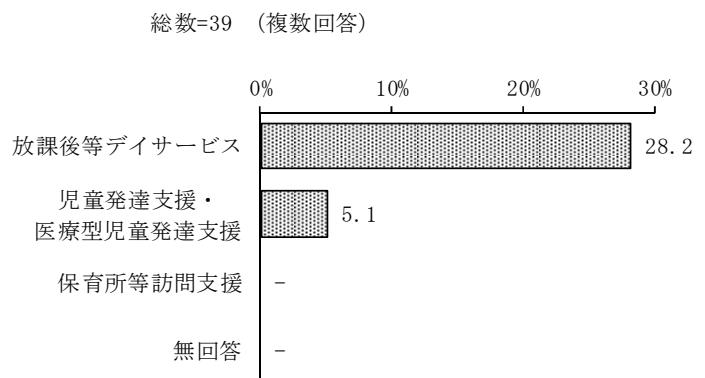
全体では、「放課後等デイサービス」が最も多く、34.4%となっています。次いで、「児童発達支援・医療型児童発達支援」が5.4%と続いています。

障害別にみると、知的障害では「放課後等デイサービス」(43.1%)が身体障害に比べて多くなっています。

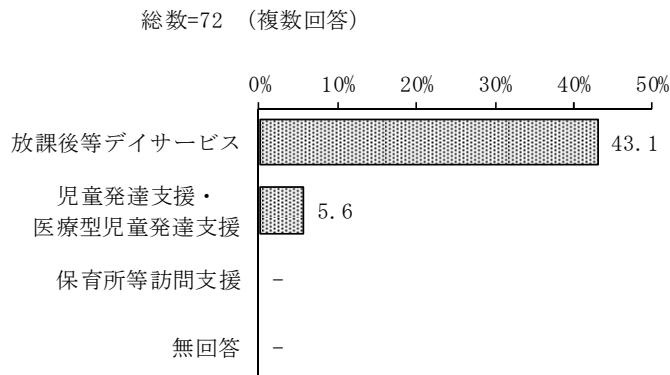
【全体】



【身体障害】



【知的障害】

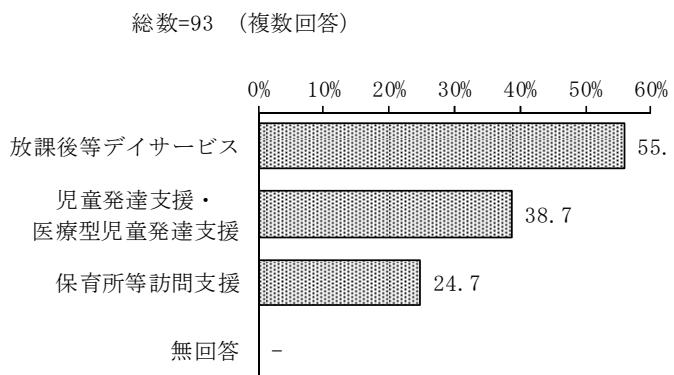


②利用意向

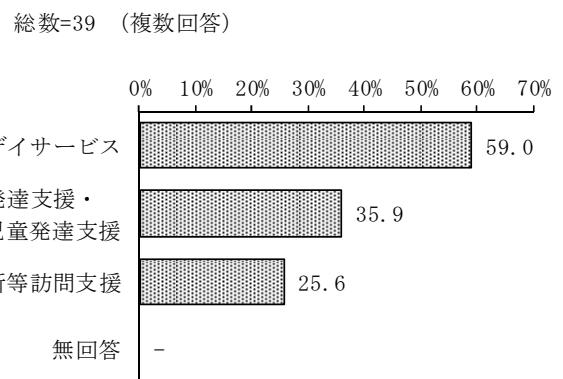
全体では、「放課後等デイサービス」が最も多く、55.9%となっています。次いで、「児童発達支援・医療型児童発達支援」が38.7%、「保育所等訪問支援」が24.7%と続いています。

障害別の結果に大きな変化はありませんでした。

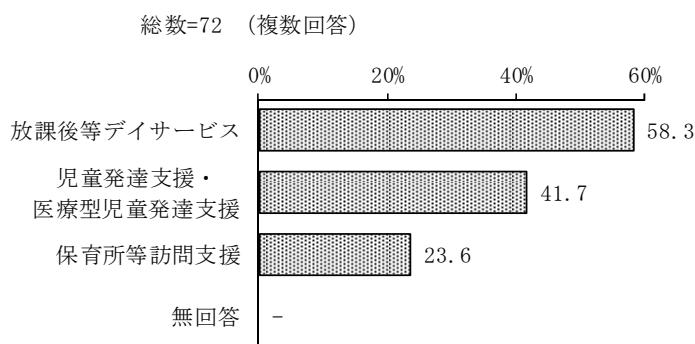
【全体】



【身体障害】



【知的障害】



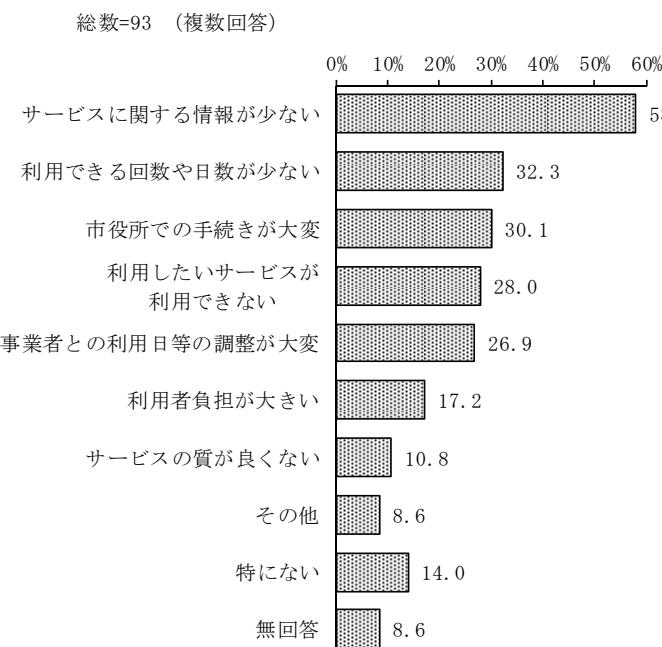
問41 サービス利用に関して困っていること

あなたには、サービス利用に関して困っていることがありますか。(○はいくつでも)

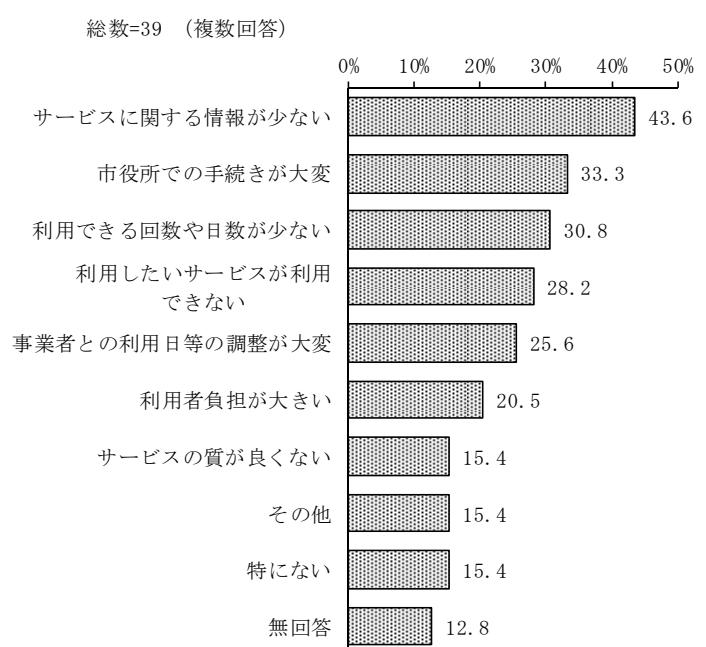
全体では、「サービスに関する情報が少ない」が最も多く、58.1%となっています。次いで、「利用できる回数や日数が少ない」が32.3%、「市役所での手続きが大変」が30.1%、「利用したいサービスが利用できない」が28.0%、「事業者との利用日等の調整が大変」が26.9%と続いています。

障害別にみると、知的障害では「サービスに関する情報が少ない」(62.5%)が身体障害に比べて多くなっています。

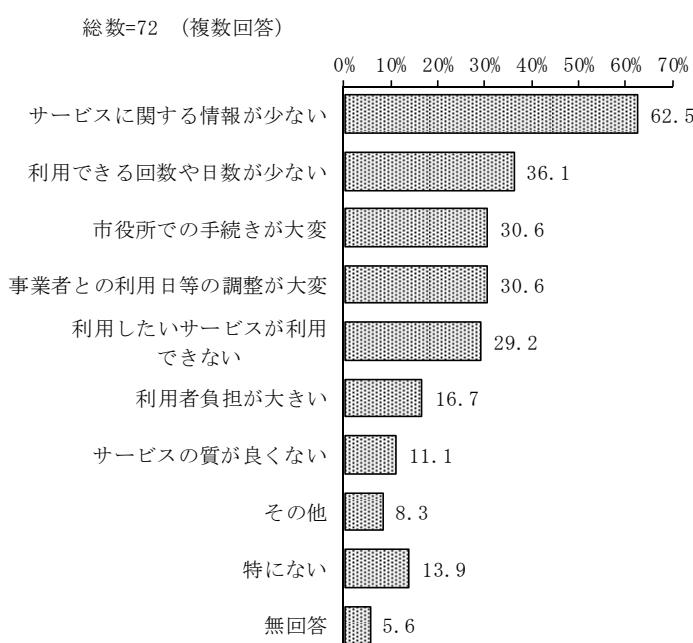
【全体】



【身体障害】



【知的障害】



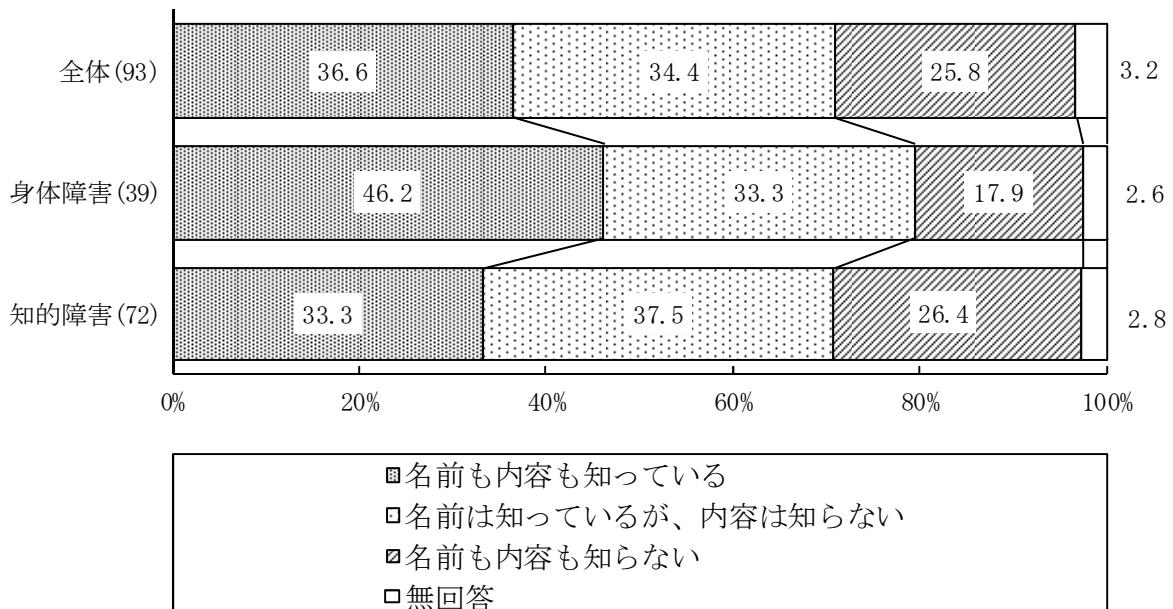
11 権利擁護・社会参加・障害理解について

問42 成年後見制度の認知状況

あなたは、成年後見制度について知っていますか。(○はひとつ)

全体では、「名前も内容も知っている」が最多く、36.6%となっています。次いで、「名前は知っているが、内容は知らない」が34.4%、「名前も内容も知らない」が25.8%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「名前も内容も知っている」(46.2%)が最も多く、知的障害では「名前は知っているが、内容は知らない」(37.5%)が最も多くなっています。

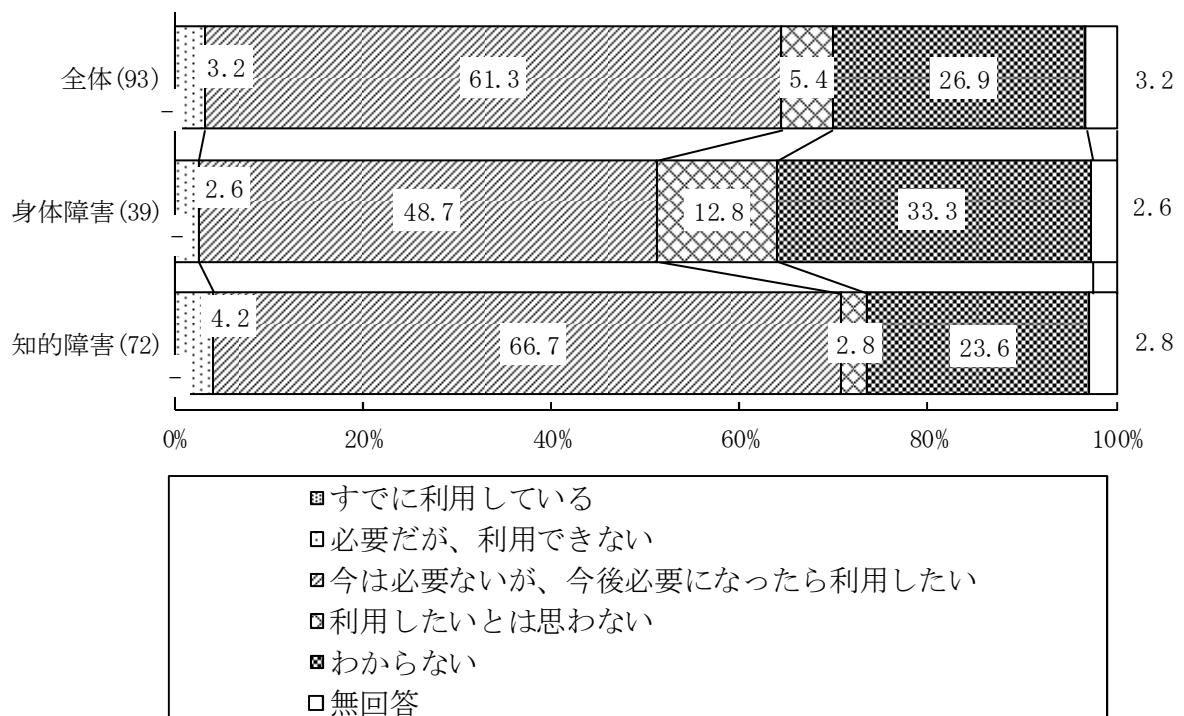


問43 成年後見制度の利用希望状況

あなたは、成年後見制度を利用したいと思いますか。(○はひとつ)

全体では、「今は必要ないが、今後必要になったら利用したい」が最も多く、61.3%となっています。次いで、「わからない」が26.9%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「利用したいとは思わない」(12.8%)が知的障害に比べて多く、知的障害では「今は必要ないが、今後必要になったら利用したい」(66.7%)が身体障害に比べて多くなっています。



問44 障害があるためにあきらめたこと

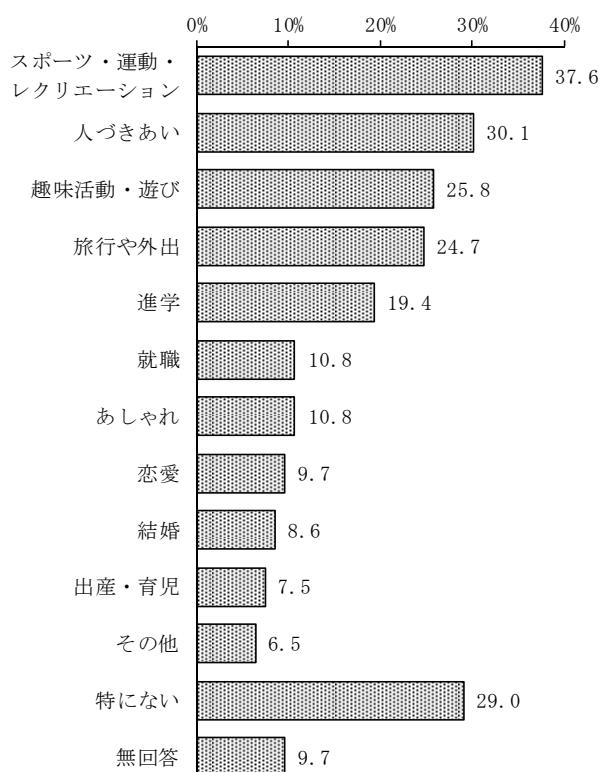
あなたはこれまでに、障害があるためにあきらめたりできなかつたことがありますか。
(○はいくつでも)

全体では、「スポーツ・運動・レクリエーション」が最も多く、37.6%となっています。次いで、「人づきあい」が30.1%、「趣味活動・遊び」が25.8%、「旅行や外出」が24.7%と続いています。なお、「特がない」が29.0%と多くなっています。

障害別にみると、身体障害では「スポーツ・運動・レクリエーション」(51.3%)が知的障害に比べて多くなっています。

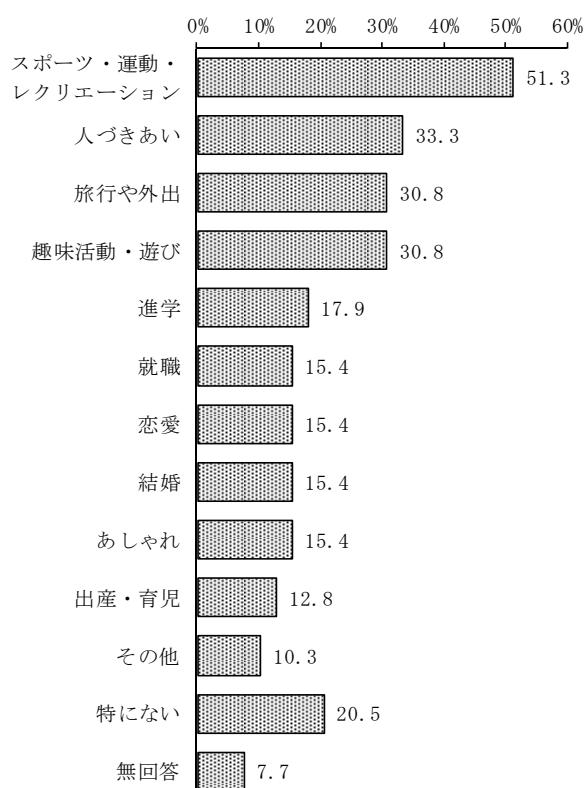
【全体】

総数=93 (複数回答)



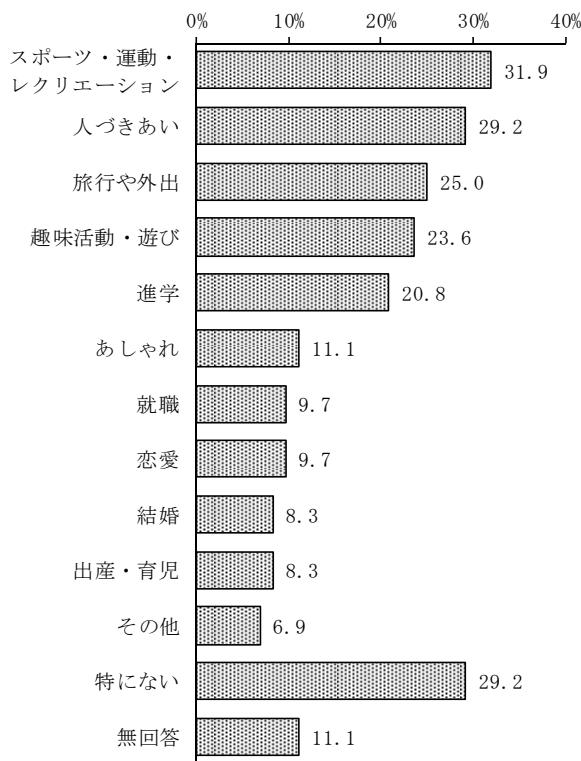
【身体障害】

総数=39 (複数回答)



【知的障害】

総数=72 (複数回答)



問45 あきらめないための支援

問44で「あきらめたりできなかつたことがあつた(1~11)」と回答した方にお聞きします。

実現できなかつたことを実現するためにどのような支援が必要かお書きください。

ここでは、実現することができなかつたことを実現するために必要な支援の件数を示します。複数の分野にまたがる意見については、それぞれの分野で計上しています。

「障害理解・交流」が最も多く、16件となっています。次いで「保育・教育・療育」が5件、「余暇活動の参加」が3件、「情報提供・相談」が2件となっています。

回答の内容	件数
障害理解・交流	16
保育・教育・療育	5
余暇活動への参加	3
情報提供・相談	2
介護者の確保・サービスの充実	1
移動・送迎等・外出の付き添い	1
医療・薬の充実	1
就労支援	1

●主な意見

※ここで掲載した回答は、大意を変えずに一部を省略・要約している場合があります。

【障害理解・交流】

「障害児に対する周りの人の理解と障害児をサポートできる人を増やすこと。」(7歳・男性・知的障害)

「障害に対しての周りの理解、障害があつても色々なことを体験できる環境。」(8歳・男性・知的障害)

「人の目が気になりできなかつた。特に子供の目の視線。小さな頃から障害者がいてもおかしくない教育を。」(17歳・女性・身体障害、知的障害)

「障害者が将来地域で暮らしていく為には、自分のことを知っていてもらうことが重要です。そのためにも、義務教育までは通学区域内の学校で就学できるよう、公立の全学級に特別支援学級を設置(障害度合に応じたクラス分け)して、子供のうちに地域内で交流の持てる機会を増やすこと。」(14歳・男性・身体障害、知的障害)

【保育・教育・療育】

「普通級での授業支援（個別の支援員配置など）。」（10歳・男性・知的障害）

「保育園・幼稚園の障害児枠の設置。」（2歳・女性・身体障害）

「保育園では人手不足のためという理由が主で、利用出来る時間の制限があり、昭島市での入園を断念せざるを得ず、来月転居を決めました。保育園での人手を確保できればと思います。」（3歳・男性・身体障害、知的障害）

【余暇活動への参加】

「片親であるため、スポーツクラブ等に入れたいが常につきつい必要があり、現状無理でできていない。」（10歳・男性・精神障害）

「健常児の兄と同じようにサッカーやキャンプに参加したかった。地域の事業にもっと参加したいが、地域の方にどこまで理解してもらえるかわからない。」（8歳・男性・知的障害）

「障害児でも通えるスイミングクラブや運動スペース（トランポリンなど）。」（9歳・男性・知的障害）

【情報提供・相談】

「アドバイス（相談員）。」（15歳・女性・知的障害）

「障害者が利用できる宿泊場所を市が紹介したり、提携して安心して予約利用できるようにする。」（15歳・女性・身体障害、知的障害）

【介護者の確保・サービスの充実】

「知的障害と自閉症の両方を持っています。手助けをしてくれる、家族以外の支援があれば出来ることが増えます。男性のため、ヘルパーさんが男性が少なくあきらめることが多いです。同性のヘルパーさんの増加を希望します。」（13歳・男性・知的障害）

【移動・送迎等・外出の付き添い】

「障害を受け入れてる又は障害者・児用の宿泊施設や移動手段。」（7歳・男性・知的障害）

【医療・薬の充実】

「地域連携医療を先に進めてしまったために専門医にかかりにくくなった。総合診療医の育成が必要。難病の研究、解明、治療の進歩。」（6歳・女性・身体障害）

【就労支援】

「障害の程度に応じて、働ける仕事場をもっと広く提供してほしい。1人1人と対面して、その利用できる場を考えてほしいです。」（4歳・男性・精神障害）

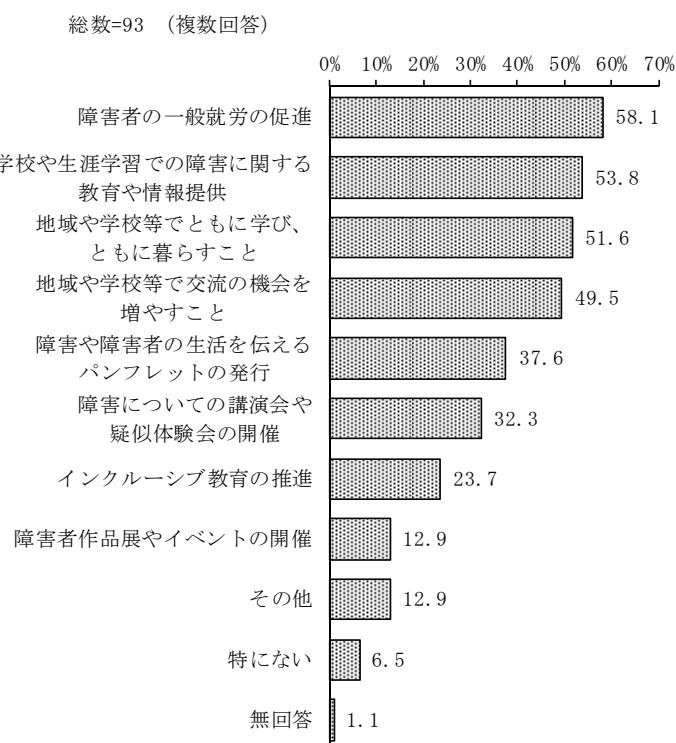
問46 障害への理解を進めるための市の取組

障害への理解を進めるためにどのようなことに市が力を入れるべきだと思いますか。
(○はいくつでも)

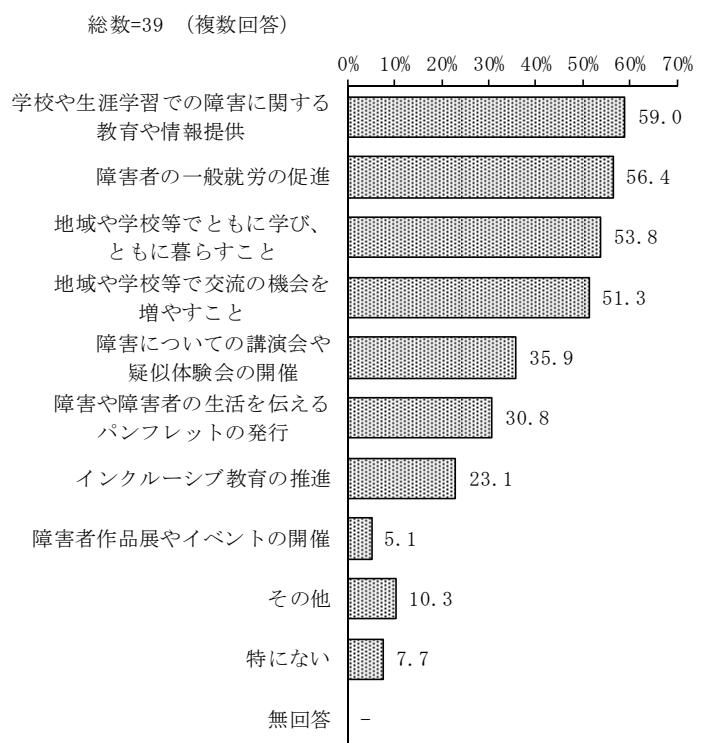
全体では、「障害者の一般就労の促進」が最も多く、58.1%となっています。次いで、「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報提供」が53.8%、「地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと」が51.6%、「地域や学校等で交流の機会を増やすこと」が49.5%、「障害や障害者の生活を伝えるパンフレットの発行」が37.6%、「障害についての講演会や疑似体験会の開催」が32.3%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報提供」(59.0%)が最も多く、知的障害では「障害者の一般就労の促進」(54.2%)が最も多くなっています。

【全体】

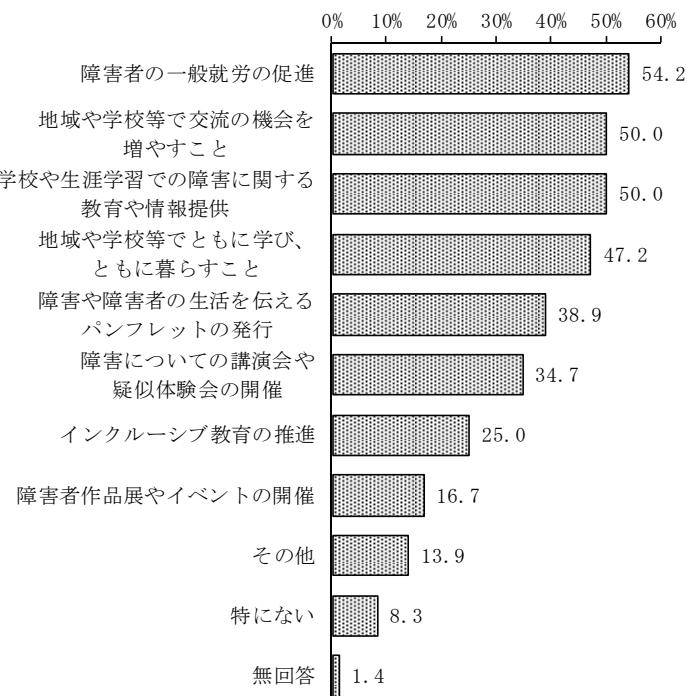


【身体障害】



【知的障害】

総数=72 (複数回答)



12 災害対策について

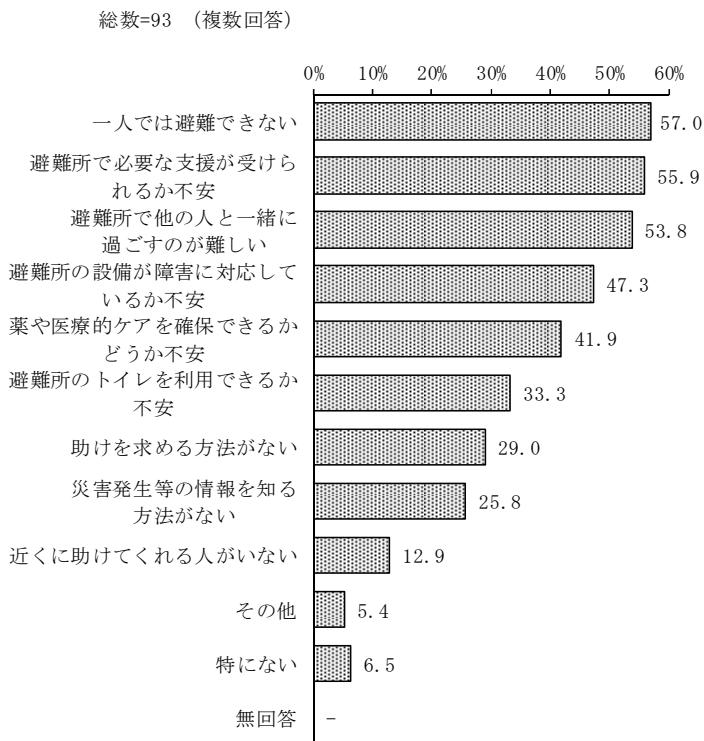
問47 災害時に不安なこと

あなたが、地震などの災害が発生したときに困ることや不安なことは何ですか。
(○はいくつでも)

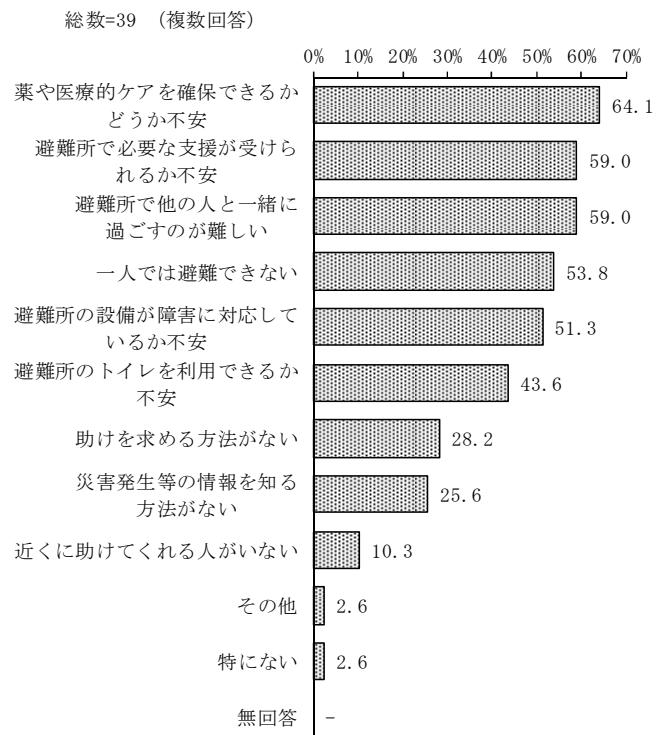
全体では、「一人では避難できない」が最も多く、57.0%となっています。次いで、「避難所で必要な支援が受けられるか不安」が55.9%、「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」が53.8%、「避難所の設備が障害に対応しているか不安」が47.3%、「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」が41.9%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」(64.1%)が最も多く、知的障害では「一人では避難できない」(63.9%)が最も多くなっています。また、身体障害では「避難所のトイレを利用できるか不安」(43.6%)が知的障害に比べて多くなっています。

【全体】

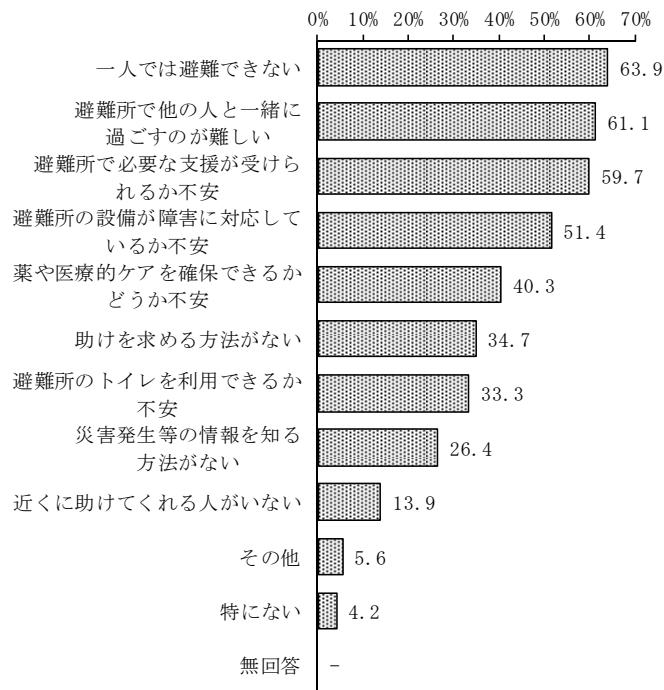


【身体障害】



【知的障害】

総数=72 (複数回答)



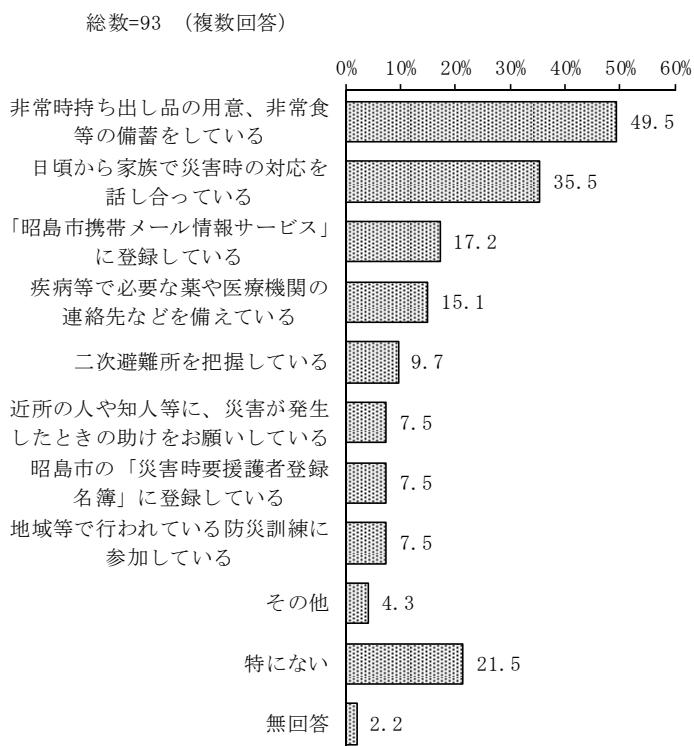
問48 災害に対して備えていること

あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。(○はいくつでも)

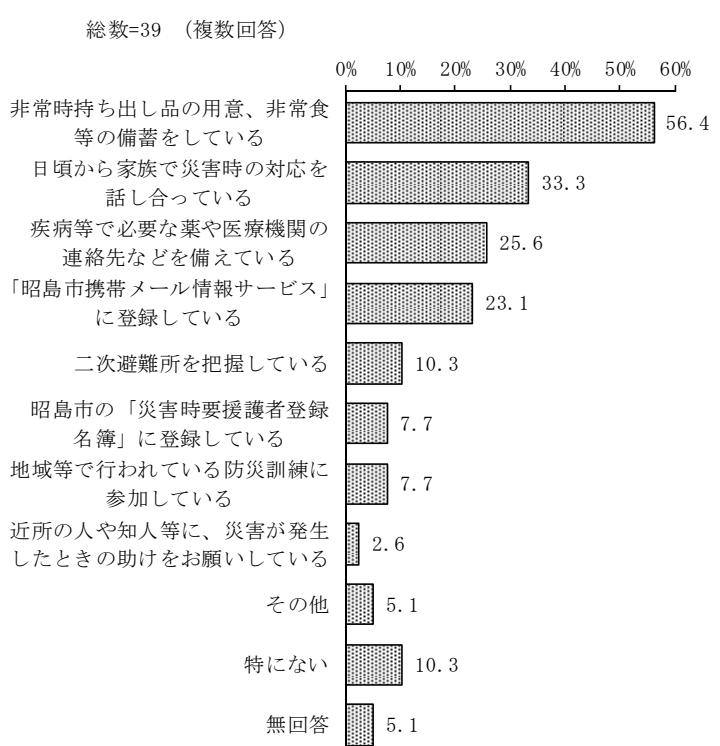
全体では、「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている」が最も多く、49.5%となっています。次いで、「日頃から家族で災害時の対応を話し合っている」が35.5%、「『昭島市携帯メール情報サービス』に登録している」が17.2%、「疾病等で必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている」が15.1%と続いています。なお、「特にない」が21.5%と多くなっています。

障害別にみると、身体障害では「疾病等で必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている」(25.6%)が知的障害に比べて多く、知的障害では「特にない」(25.0%)が身体障害に比べて多くなっています。

【全体】

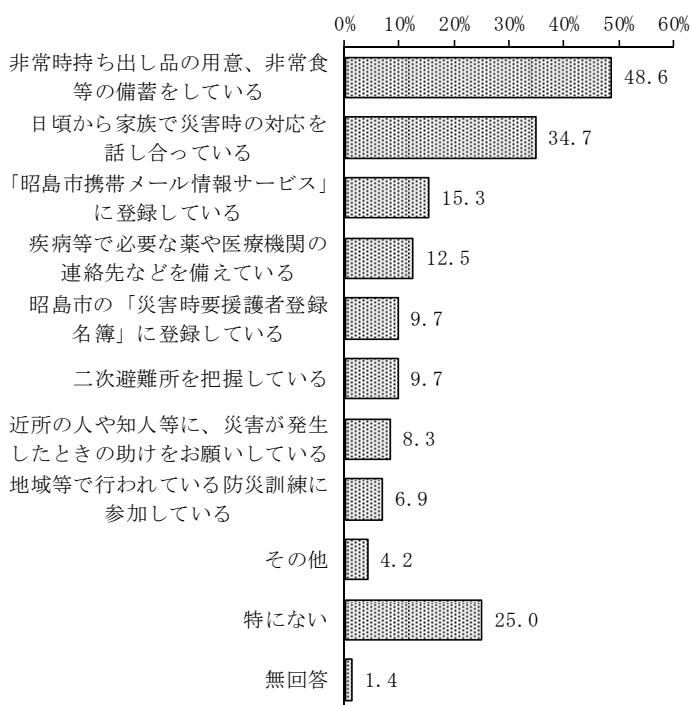


【身体障害】



【知的障害】

総数=72 (複数回答)



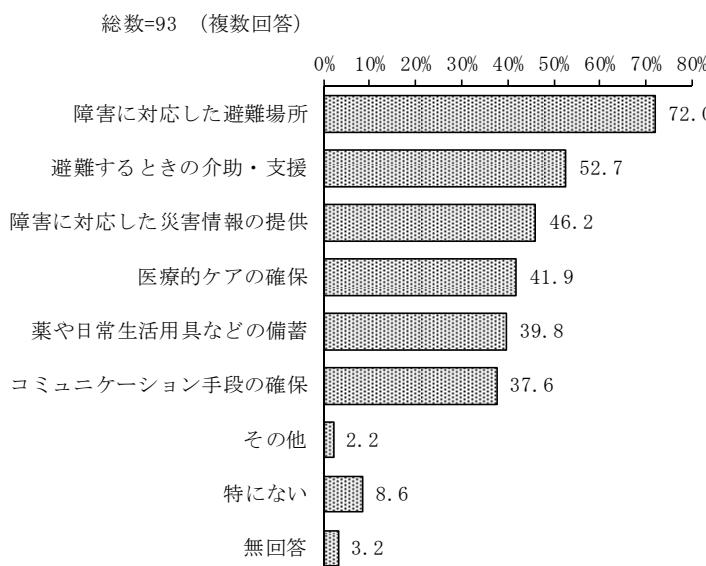
問49 災害時に必要な支援

あなたは、災害に関してどのような支援が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

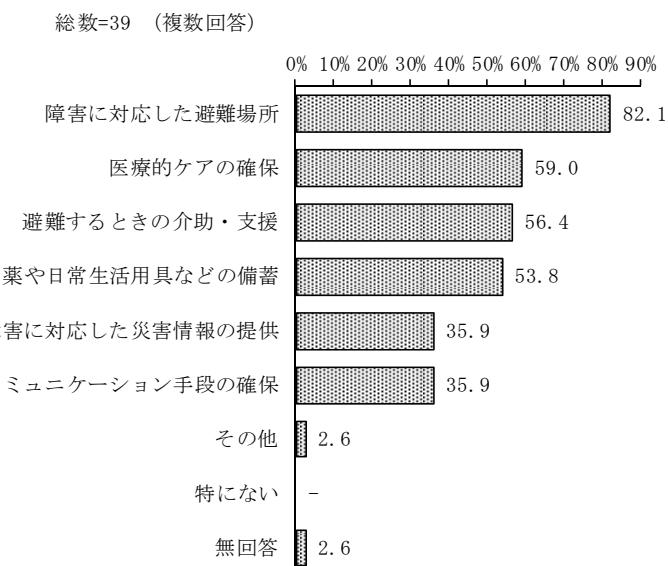
全体では、「障害に対応した避難場所」が最も多く、72.0%となっています。次いで、「避難するときの介助・支援」が52.7%、「障害に対応した災害情報の提供」が46.2%、「医療的ケアの確保」が41.9%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「医療的ケアの確保」(59.0%)が知的障害に比べて多く、知的障害では「障害に対応した災害情報の提供」(51.4%)が身体障害に比べて多くなっています。

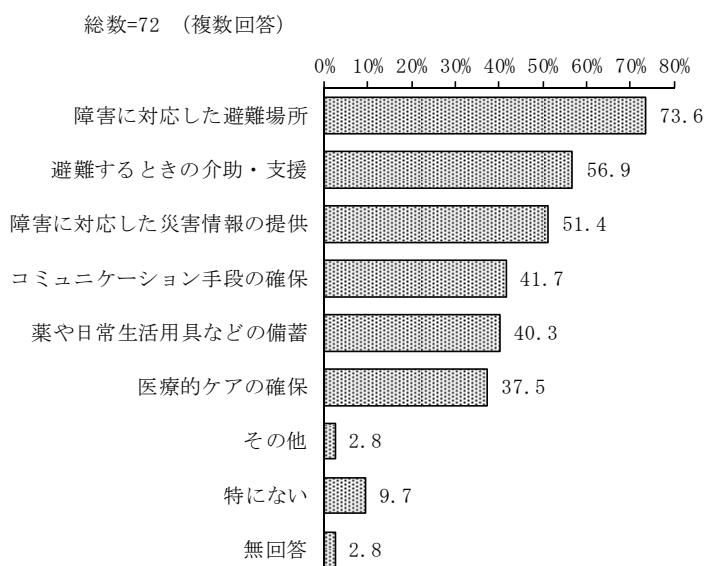
【全体】



【身体障害】



【知的障害】



13 将来について

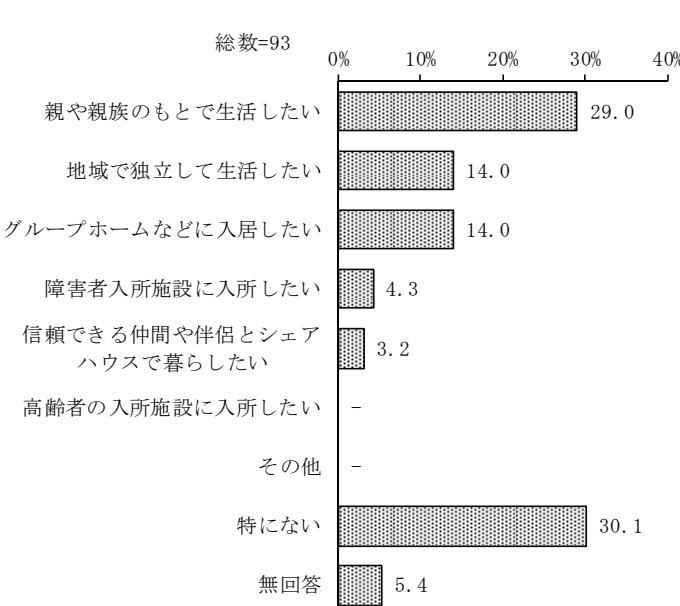
問50 希望する将来の暮らし方

あなたは将来、どのような生活を希望しますか。(○はひとつ)

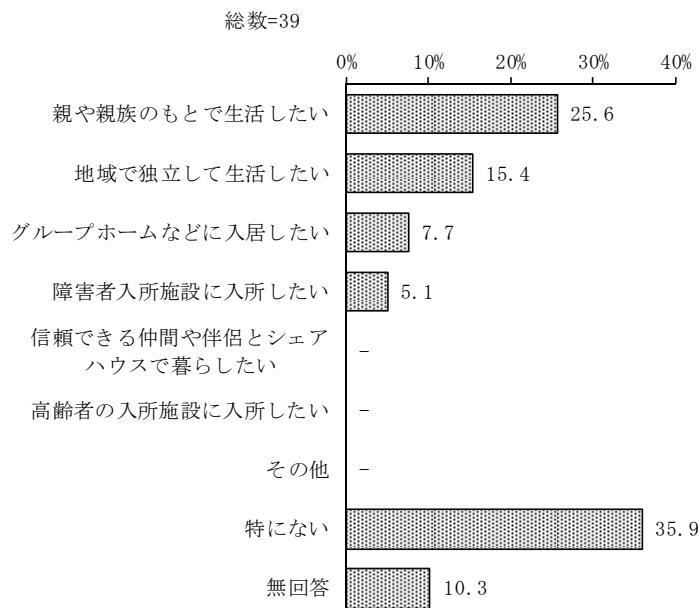
全体では、「親や親族のもとで生活したい」が多く、29.0%となっています。次いで、「地域で独立して生活したい」と「グループホームなどに入居したい」が14.0%と続いています。なお、「特になし」が30.1%と最も多くなっています。

障害別にみると、知的障害では「グループホームなどに入居したい」(18.1%)が身体障害に比べて多くなっています。

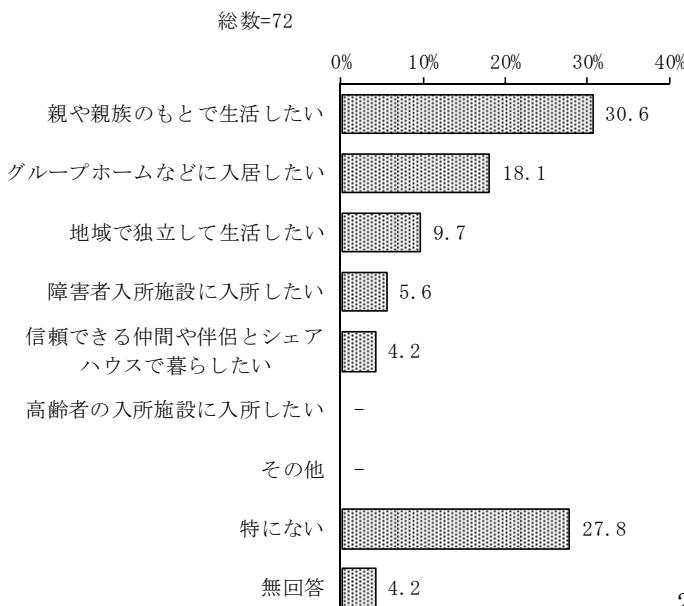
【全体】



【身体障害】



【知的障害】



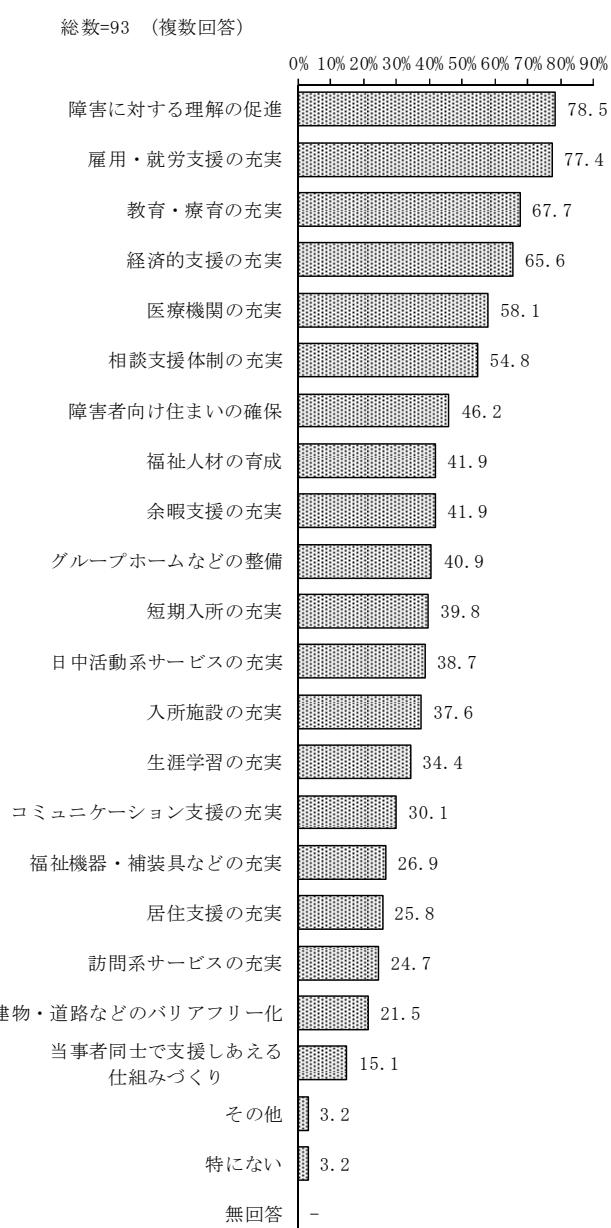
問51 地域で安心して暮らすために必要な支援

障害者が地域で安心して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いますか。
(○はいくつでも)

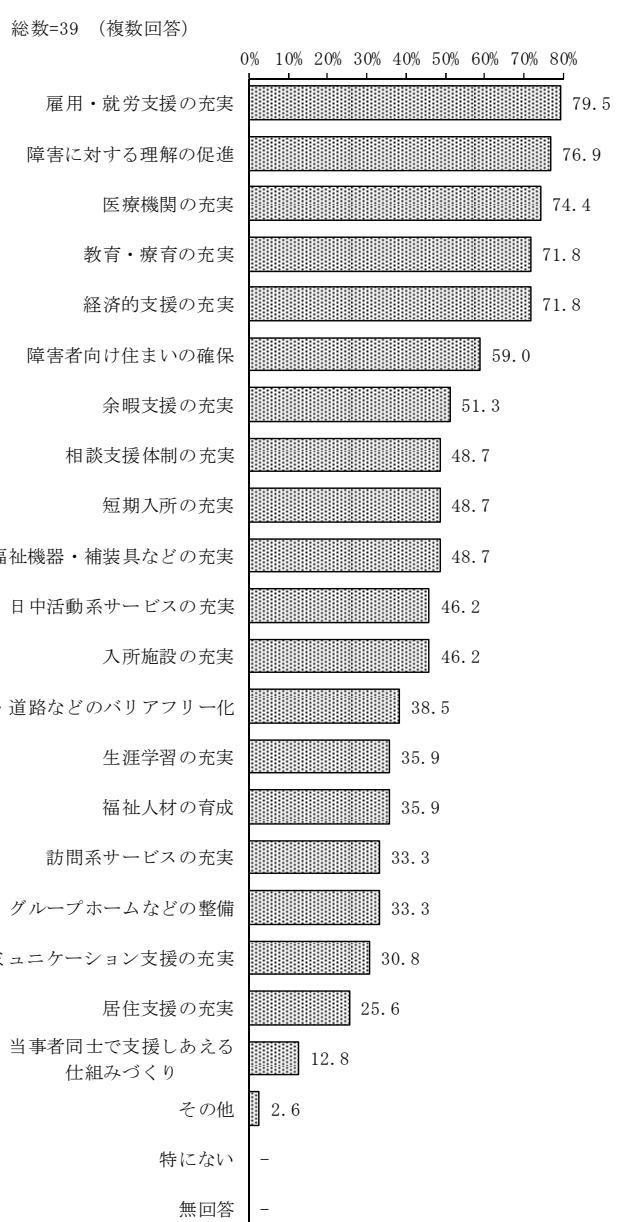
全体では、「障害に対する理解の促進」が最も多く、78.5%となっています。次いで、「雇用・就労支援の充実」が77.4%、「教育・療育の充実」が67.7%、「経済的支援の充実」が65.6%、「医療機関の充実」が58.1%、「相談支援体制の充実」が54.8%と続いています。

障害別にみると、身体障害では「雇用・就労支援の充実」(79.5%)が最も多く、知的障害では「障害に対する理解の促進」(80.6%)が最も多くなっています。また、身体障害では「医療機関の充実」(74.4%)、「福祉機器・補装具などの充実」(48.7%)、「建物・道路などのバリアフリー化」(38.5%)が知的障害に比べて多く、知的障害では「グループホームなどの整備」(48.6%)が身体障害に比べて多くなっています。

【全体】

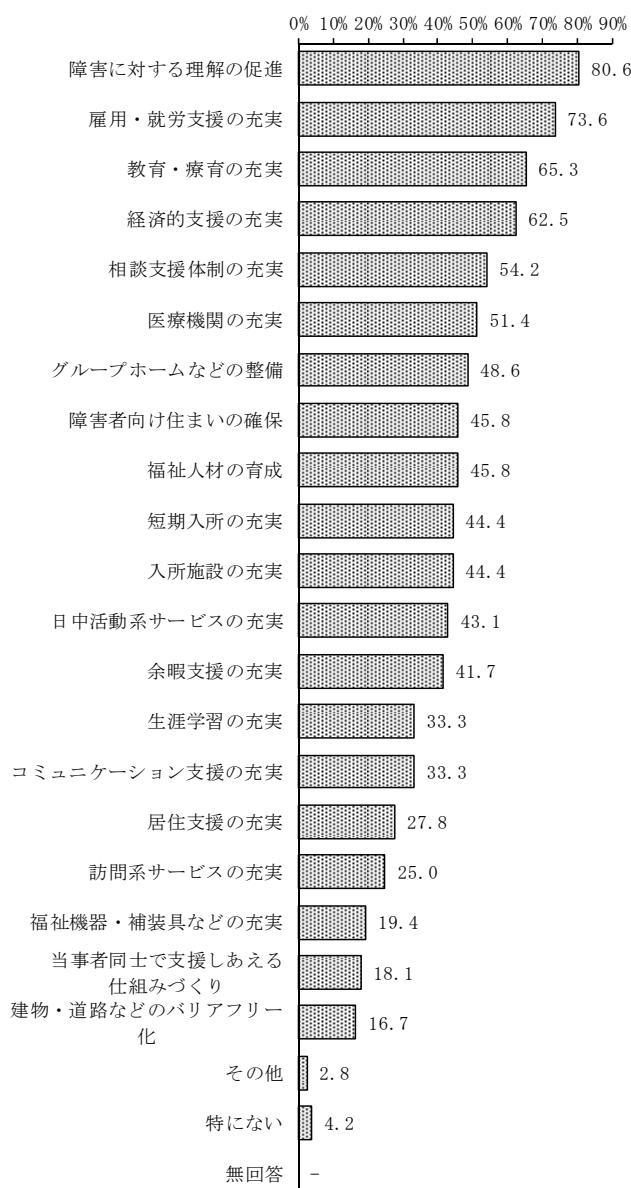


【身体障害】



【知的障害】

総数=72 (複数回答)



14 自由意見

問 52 自由意見

市の障害者施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

ここでは、自由意見の件数を示します。複数の分野にまたがる意見については、それぞれの分野で計上しています。

「福祉サービス」が 14 件で最も多く、次いで「行政（市）の対応・制度・手続き」が 13 件、「保育・教育・療育」が 11 件、「障害理解」と「介助者への支援」が 6 件となっています。

回答の内容	件数
福祉サービス	14
行政（市）の対応・制度・手続き	13
保育・教育・療育	11
障害理解	6
介助者への支援	6
情報・相談	5
将来の不安	3
就労	3
経済事情・経済的支援	2
生活環境	2
医療・健康	2
その他	2
回答者数	43

●主な意見

※ここで掲載した回答は、大意を変えずに一部を省略・要約している場合があります。

【福祉サービス】

「ヘルパーさんの男性を増やして欲しいです。女性だと、トイレ等入れない時は困るので、中学生になってからは、利用出来ていません。デイサービス等も、週 1 の契約しかとれないのが現状です。デイ

サービスの事務所も増やして欲しいです。」(13歳・男性・知的障害)

「昭島に入所できるような場所をおねがいします。」(18歳・女性・知的障害)

「今はまだ小学生だが、将来色々な方から支援を受けながら自立して欲しいと思っているが、不安が大きい。親は先に死ぬので、高校卒業して働き始めるタイミングでグループホームに入所して…と本人にもわかりやすく住み慣れている昭島市内で自立を…と考えているが、まず昭島市内に事業所さんが少なすぎます。情報も入りづらいです。もっと障害者と共に暮らせる地域になる事を望みます。」(8歳・男性・知的障害)

「障害を持った子は、ひとりで登下校や留守番ができるわけではありません。1日8時間の移動支援だけでは、保護者は働くのも日常生活に必要な用事をこなすのも難しい時もあります。もちろん、自分の子どもの面倒を見るのはあたりまえのことなのはわかっていますが、親がささえきれるのか不安にもなります。」(11歳・男性・身体障害、知的障害)

【行政（市）の対応・制度・手続き】

「障害者手帳を発行する程ではないが、これから発育に向けて、補装具は必要と言われています。その場合、援助が受けられないので、経済的負担が大きいので、障害者手帳がなくても、医療機関の判断により、補装具が必要とされる場合は、助成していただきたいです。」(2歳・男性・身体障害)

「障害の軽度の方、優先でなく、重度の方の事をまず考えて下さい。障害福祉課の窓口の対応は冷たいです。こちらの大変さが、少しでもわかつてくれればいいのですが…。窓口に行くだけでも大変なんです。あたたかい対策を練って頂ける事を期待します。」(10歳・男性・知的障害)

「昭島市も早急に福祉対策が必要だと思います。地域が一体となった包括支援サービスが受けられなければ生活ニーズを充足出来る事なんて出来ないでしょう。また、ガイドヘルパーや支援員も障害に対しての知識が乏しく安心して外出を依頼する事が出来ません。親の会も弱く、安心して昭島市に住み続ける事が難しいです。」(8歳・男性・身体障害、知的障害)

【保育・教育・療育】

「児童に関する支援がとぼしい。放課後デイサービスや、小学校入学前の療育に関して、幼稚園、保育園もお断り。療育の場がひよこ教室のみで、人数も限られていてなかなか入所できない。」(7歳・女性・身体障害、知的障害)

「昭島市内の特別支援学級のカリキュラムや支援体制を充実させてほしい（昭島市内の特別支援を受けるようなお子さんの中で軽度なお子さんも昭島市内の特別支援学級の体制がまだまだなのであきる野学園を希望し、入学していることにより、あきる野学園がパンク状態になっている。それにより、中度・重度のお子さんの支援が不十分になってしまっている）。」(8歳・男性・知的障害)

「（小学生なので）障害者教室等に関わるすべての教職員については、最低でも、それに関する教育、研修を配属後でもいいので継続的に受けるようにしていただきたいと思います。個々の状況に対応できる教育が受けられる学校の対応に期待します。障害児をも受け入れてくれる病院が近くにないので、通うのも大変です。」(57歳・女性・身体障害)

「本人が小学生のため、親としてどの様なサービスが今後必要になるのかが不明です。〔小学校（固定級）としての意見、要望〕各学校に固定級を作つてほしい。もしくは支援員をつけて学区の通常級に入れるようにしてほしい。学区外の小学校に通うため、なかなか1人で通学出来ません。固定級の児童（現在5名）しかわたらぬ信号のない横断歩道があり、危なっかしい渡り方で、事故がおきないか不安です。」（8歳・男性・知的障害）

【障害理解】

「障害の理解。小学生向け、中学生向け、大人向けの内容でわかりやすい内容（表現）で。1つの障害を知っていても（自分の子供の障害等）他の障害はあまり知らなかつたりする。個人で困る事が異なるだろうが、共通した事柄もあるだろうからそういうのを紹介（文面等）してもらえると助かる。」（6歳・男性・知的障害）

「障害理解の専門性を高める事を望むと専門性の高い場所へまとめられてしまう。障害理解とは障害を持つ人の生活全般にかかわる事であり、その場所にだけ求められるものでもない。地域に暮らす障害者が生まれた時から死を迎えるまでできる事は自立し、できない事は支援してもらいながら、障害のない人と同じように楽しみ充実した人生を送れるよう、そんな教育・社会を望む。」（11歳・女性・知的障害）

「地域の子供達が、発達障害の子達や知的障害の子達を、理解してくれないから、いじめられる。そういう子達を理解させてくれるような、市の障害福祉の人達が、もっと地域の人達にうつたえてくれるようなことをしてもらいたら、と思ってるけれど、むりですよね。」（15歳・男性・知的障害、精神障害）

【介助者への支援】

「小学生の障害児の母です。両親共働きなのですが、“障害のある子どもの子育て支援”が、不十分であるように強く感じています。他市では、小6まで、学童クラブに通所できるのに昭島では叶いません。デイサービスを利用してはいますが、夏休みなどは、送迎も自主送迎といわれ、就労時間全てをフォローしてもらえません。学童さえOKなら…と、とても残念です。学校の送迎も親の責任です。学区外通学を強いられているのに、なぜ!?都立学校ならスクールバスが巡回しています。なぜ市内だからということで、親の責任なのか。学校の先生もそれをあたり前と思っています。障害のある子どもを育てる大変さ、福祉課、教育委員会、子育て支援課のどこからも取りこぼされていると感じています。でも忘れないでください。とても困っています。今も将来も。」（10歳・女性・知的障害）

「私の子は小学三年生で普通級に在籍して週一度きこえことばの教室へ通っていますが、以前から通級への送り迎えは親の負担だと感じていましたが、第二子が誕生し、ますます送り迎えが困難で通えない週もでてきました。各校に通級、支援級ができれば親の負担もへり、急な時間割り変更にも対応しやすくて、もっと子供のために色々な事ができると思います。」（8歳・女性・知的障害）

【情報・相談】

「こちらから聞いた事に対してしか教えてくれない事がある。どんな支援を受けられるのか…など知ら

ない事もたくさんあり、市の方から教えてもらえないといままであります。」(8歳・女性・知的障害)

「日頃、しっかりアンテナを張って市の障害者施策の情報をつかんでいるつもりでいましたが、それでも知らなかったことが多くありました。広報をもっと積極的にしていただけるといいなと思いました。」(3歳・男性・身体障害、知的障害)

【将来の不安】

「障害者が児童のため、家庭と学校が生活の多くをしめています。親は今は元気ですが、これから高齢化した時どうなるのか。学生のうちはいいが、社会に出てどうなるのか不安です。福祉サービスも以前より増えていると感じますが、増えても内容(質)が伴わないと使うのをためらってしまいます。」(14歳・男性・知的障害)

「色々お願いするのは申し訳ないと思いますが、親亡き後、生きていく事が出来るのかと心配になります。安心して残して死ねないから、一緒に連れて死ぬ事件が多いのだと思います。生きていくうちに安心して残して死ねる様になると良いなと思うのが一番の願いです。」(7歳・男性・知的障害)

【就労】

「特例子会社をふやして障害者がもっと働ける職場を作ってほしい。」(18歳・女性・知的障害)

「住居、就労、経済面の支援が特に重要ではないでしょうか?就労については厳しい状況でなかなか、就労できないと聞いています。個人の力では限界があります。ですので、市役所、市の施設、学校、公共機関などに障害者雇用を増やしてほしいと思います。公的な市役所等(市役所に限らず国レベルで)が率先してそのお手本を見せてPRしていくべきではないでしょうか?」(11歳・女性・知的障害)

【経済事情・経済的支援】

「10歳の子を持つ親です。内部障がいから排せつに問題があり身障1級です。心臓と腎臓の小児慢性医療券を持っていますが、その他にも5~6個病名を抱えており、小学校を卒業してからの医療費が、正直とても心配です。専門医のいる病院は当然、近くにはなく、今現在でも、たび重なる入院や通院にかかる医療費以外の経費も負担が大きいのです。」(10歳・女性・身体障害)

【生活環境】

「武蔵野地区にも交番を設置してほしい。一番近くてつづじがおかの交番なので、何か犯罪や災害を起きた時に不安になる。特に障害児がいるので何かあった時にそばに交番あってもらえたなら安心である。」(8歳・男性・知的障害)

【医療・健康】

「障害児をも受け入れてくれる病院が近くにないので、通うのも大変です。」(10歳・女性・身体障害)

資料
調查票

あきしまししょうがいふくしけいかくさくてい 昭島市障害福祉計画策定のためのアンケート調査

ちょうさ

～ 調査へのご協力のお願い～

ひごろ あきしまし しょうがいしゃしさく りかい きょうりょく まこと
日頃から昭島市の障害者施策にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。
あきしまし らいねんどうよてい しょうがいふくしけいかく さてい みなさま せいかつじょうきょう
昭島市では、来年度予定されている障害福祉計画の策定にあたって、皆様の生活状況やご
いけん ようぼう はあく こんご しょうがいしゃしさく すいしん やくだ ちゅうさ じっし
意見・ご要望を把握し、今後の障害者施策の推進に役立てるためのアンケート調査を実施する
いそが きょうしゆく ちゅうさ きょうりょく ねが
ことにいたしました。つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、調査へのご協力をお願
いいたします。

この調査は、無記名郵送方式でご回答いただきますので、ご回答された方が特定されたり、
こじん かいとうないよう あき かいとう ないよう とうけいてき
個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。ご回答いただいた内容は、統計的に
しょり しょうがいしゃしさく すいしん きそりょう かつよう た もくべき
処理したうえで、障害者施策を推進するための基礎資料としてのみ活用し、その他の目的で
しよう いっさい ねが
使用されることはありません。

この調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力をいただけるようお願いいたします。

へいせい ねん がつ
平成25年11月

あきしまし ほけんふくしぶ しょうがいふくしか
昭島市 保健福祉部 障害福祉課

きにゅう ご記入にあたって

- ① 封筒のあて名ご本人についてご回答ください。（この調査票で「あなた」とあるのは、あて名ご本人のことです）
- ② ご本人が児童であったり、病気や障害などの理由で回答できない場合は、ご家族や介助者の方がご本人の立場に立ってご回答ください。
- ③ 回答は、あてはまる選択肢の番号に直接○印をつけてお答えください。「その他」に回答する場合は、その内容を（ ）内にご記入ください。回答を記入していただく設問もありますので、その場合は設問の指示にしたがってお書きください。
- ④ この調査票には、名前や住所、電話番号などは書かないでください。

記入した調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、

きつて は へいせい ねん がつ にち すい とうかん
切手を貼らずに 平成25年11月27日（水）までに、ポストに投函してください。

と あ さき
問い合わせ先

あきしまし ほけんふくしぶ しょうがいふくしか しょうがいふくしがかり
昭島市 保健福祉部 障害福祉課 障害福祉係

でんわ 電話：042-544-5111

ふあくす FAX：042-546-8855

1. 調査票の回答者

問1 この調査票を回答していただく方はどなたですか。(○はひとつ)

1 あて名ご本人

2 ご家族の方

3 その他()

この調査票で、「あなた」とあるのは、「あて名ご本人」のことです。

2. ご本人について

問2 あなたの性別をお聞きします。(○はひとつ)

1 男

2 女

問3 あなたの年齢をお聞きします。平成25年11月1日現在の年齢をお書きください。

歳

問4 あなたの世帯構成(誰と一緒に暮らしているか)をお聞きします。(○はいくつでも)

1 父親

2 母親

3 配偶者

4 子ども

5 兄弟姉妹

6 その他の親族

7 ひとり暮らし

8 グループホーム等での集団生活

9 その他()

問5 あなたの世帯の主な収入(一番多い収入)をお聞きします。(○はひとつ)

1 あなた自身の給与・賃金

2 ご家族の給与・賃金

3 事業収入(自営業等)

4 年金・手当

5 生活保護

6 その他()

3. 障害の状況について

問6 あなたが持っている障害者手帳の種類をお聞きします。等級・程度にも○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------|------|
| 1 身体障害者手帳 (1級 2級 3級 4級 5級 6級) | →問7へ |
| 2 愛の手帳 (1度 2度 3度 4度) | →問8へ |
| 3 精神障害者保健福祉手帳 (1級 2級 3級) | |

問7 問6で「身体障害者手帳」を所持していると回答された方にお聞きします。障害の種類は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|---------------------------------------|
| 1 視覚障害 | 4 肢体不自由 (上肢・下肢・体幹等) |
| 2 聴覚・平衡機能障害 | 5 内部障害 (心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう、直腸、小腸、免疫機能、肝臓) |
| 3 音声・言語・そしゃく機能障害 | |

すべての方にお伺いします。

問8 あなたの障害を知るきっかけとして、心身の不調やそれに伴う問題について、最初に気づいた方はどなたですか。(○はひとつ)

- | | | |
|---------|---------------|----------|
| 1 ご本人 | 4 保健師 | 7 その他() |
| 2 ご家族の方 | 5 保育園・幼稚園の教職員 | |
| 3 医師 | 6 学校の教職員 | |

問9 問8で回答した方が、あなたの障害を知るきっかけとして、心身の不調やそれに伴う問題について、最初に気づいた時期をお聞きします。(○はひとつ)

- | | | |
|----------|----------|-----------|
| 1 生まれたとき | 5 30~39歳 | 9 65~69歳 |
| 2 0~5歳 | 6 40~49歳 | 10 70~74歳 |
| 3 6~17歳 | 7 50~59歳 | 11 75歳以上 |
| 4 18~29歳 | 8 60~64歳 | |

とい
問10 あなたは、次の診断を受けていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------|---------------------------------------|
| 1 難病・特定疾患 | 7 知的障害(自閉症を除く) |
| 2 慢性疾患(糖尿病・心臓疾患
・脳血管疾患等) | 8 自閉症(知的障害を伴う) |
| 3 統合失調症 | 9 発達障害(学習障害・注意欠陥
多動性障害・アスペルガー症候群等) |
| 4 気分障害(うつ病・躁うつ病) | 10 高次脳機能障害 |
| 5 神経症 | 11 その他() |
| 6 依存症(アルコール・薬物等) | 12 診断を受けていない |

4. 医療や介助の状況について

とい
問11 障害等について、受診状況等をお聞きします。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|--------------|
| 1 定期的に通院している | 4 現在入院している |
| 2 定期的に訪問診療を受けている | 5 現在は通院していない |
| 3 定期的に訪問看護を受けている | 6 その他() |

とい
問12 あなたには、医療に関して困っていることがありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|--|
| 1 治療により症状が改善されない | |
| 2 医療機関が家の近くにない | |
| 3 障害についての専門の医療機関がない | |
| 4 休日や夜間に対応してくれる医療機関がない | |
| 5 通院のための介助者が確保しにくい | |
| 6 通院のための交通機関が整備されていない | |
| 7 医療機関がバリアフリー化されていない | |
| 8 医療や健康に関して気軽に相談できない | |
| 9 治療の説明が十分理解できない | |
| 10 医療費の負担が大きい | |
| 11 障害を理由に医療拒否されたことがある | |
| 12 その他() | |
| 13 特にない | |

とい
問13 あなたは現在、毎日の生活の中で、介助や支援を受けていますか。(○はひとつ)

1 受けている →^{とい}問14へ

2 受けていない →^{とい}問17へ

とい
問14 問13で「1 受けている」と回答した方にお聞きします。どのようなことで、介助や支援を受けていますか。(○はいくつでも)

- 1 食事の介助や着替え、入浴介助等
の身の回りのこと
2 調理・掃除・洗濯等の家事
3 意思の伝達
4 日常の買い物

- 5 外出
6 薬の管理
7 お金の管理
8 市役所や事業者などの手続き
9 その他()

とい
問15 問13で「1 受けている」と回答した方にお聞きします。あなたを介助・支援している人はどなたですか。(○はいくつでも)

- 1 父親
2 母親
3 配偶者

- 4 子ども
5 その他の親族
6 ホームヘルパー

- 7 ボランティア
8 その他()

とい
問16 問13で「1 受けている」と回答した方にお聞きします。介助者があなたを介助・支援できなくなった場合はどうしたいですか。(○はいくつでも)

- 1 一緒に住んでいる家族に頼みたい
2 一緒に住んでいない家族や親戚に頼みたい
3 ホームヘルプを利用したい
4 ショートステイを利用したい
5 施設に入所したい

- 6 グループホーム等に入居したい
7 病院に入院したい
8 その他()
9 どうしたら良いかわからない

かた うかが
すべての方にお伺いします。

5. 相談や福祉情報について

とい にじょうせいかつ こま ふあん おも
問17 あなたには、日常生活で困っていることや不安に思うことがありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|--------------------------------------|
| 1 健康状態に不安がある | 11 障害や病気に対する周囲の理解がない |
| 2 着替えや食事などが十分できない | 12 困ったとき相談する相手がない |
| 3 家事などが十分できない | 13 市役所などの手続きが難しい |
| 4 介助者の負担が大きい | 14 近くに、病気や障害を理解した上で
診てもらえる医療機関がない |
| 5 外出に支障がある | 15 経済的に不安がある |
| 6 住まいに支障がある | 16 将来に不安を感じている |
| 7 就労について困っている | 17 日中することがない |
| 8 緊急時の対応に不安がある | 18 その他() |
| 9 災害時の避難に不安がある | 19 特にない |
| 10 人間関係に支障がある | |

とい こま そだん ひと きかん
問18 あなたが困ったときに相談している人や機関はどこですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|--|
| 1 家族や親族 | 10 市の障害福祉課 |
| 2 近所の人 | 11 市の相談支援業務委託事業所 |
| 3 友人・知人 | (障害者相談支援センター(ありぱつく内)、
虹のセンター25、自立生活センター・昭島) |
| 4 民生委員・児童委員 | 12 相談支援事業所(上記11以外) |
| 5 障害者の会や家族の会 | 13 生活保護のケースワーカー |
| 6 身体障害者相談員・知的障害者相談員 | 14 昭島市社会福祉協議会 |
| 7 ホームヘルパー | 15 その他() |
| 8 通所施設の職員 | 16 相談する相手はない |
| 9 医療関係者(医師・看護師・ソーシャルワーカー) | |

とい
問19 あなたは、市役所などに気軽に相談するためには、どのようなことが必要だと思いま
すか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1 電話やFAXでの相談 | 8 障害者やその家族など |
| 2 電子メールでの相談 | 9 同じ立場の人による相談 |
| 3 自宅を訪問する相談 | 10 どんな相談にも対応できる総合窓口 |
| 4 休日や夜間の相談 | 11 相談窓口に関する情報提供 |
| 5 専門性の高い相談 | 12 プライバシーの遵守 |
| 6 身近な地域での相談 | 13 その他() |
| 7 定期的な相談 | 14 特にない |

とい
問20 あなたは、福祉に関する情報を、どこから得ていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---|--------------|
| 1 広報あきしま | 7 インターネット |
| 2 身体障害者手帳・愛の手帳福祉ガイド・精神障害者に関するガイドブックなどのしおり | 8 新聞・書籍 |
| 3 市のホームページ | 9 障害者の会や家族の会 |
| 4 市の障害福祉課 | 10 医療機関 |
| 5 保健福祉センター「あいぽっく」 | 11 その他() |
| 6 テレビ・ラジオ | 12 特にない |

6. 日中活動や仕事について

さいいじょう かた うかが さいみまん かた とい すす
18歳以上の方に伺います。18歳未満の方は問25に進んでください。

とい
問21 あなたは現在、仕事をしていますか。仕事をしている方は働き方についてもお答え
ください。(○はひとつ)

- | | |
|--------------------------------|----------------|
| 1 正規の職員・従業員として働いている | →問22へ
→問24へ |
| 2 パート・アルバイトなどで働いている | |
| 3 自宅で働いている(自営業・内職・家業の手伝いなど) | |
| 4 福祉的就労をしている(就労移行・就労継続支援事業所など) | |
| 5 以前働いていたが、現在は働いていない | |
| 6 働いたことはない | |

といどいはたらかいとうかたきしごとうえこま
問22 といはたらかいとうかたきしごとうえこま
問21 で「働いている(1~4)」と回答した方にお聞きします。仕事をする上で困っていることはありますか。(○はいくつでも)

1 収入が少ない	7 職場の人間関係
2 体力的につらい	8 職場での相談相手がない
3 精神的につらい	9 職場の障害理解が不足している
4 仕事の内容が難しい	10 職場環境が障害に対応していない
5 就業時間が長い	11 その他()
6 通勤が大変	12 特にない

といどいはたらかいとうかたきひときかん
問23 といはたらかいとうかたきひときかん
問21 で「働いている(1~4)」と回答した方にお聞きします。どのような人や機関の支援を受けて仕事を見つけましたか。(○はいくつでも)

1 家族や知人	6 昭島市障害者就労支援センター「クジラ」
2 学校	7 相談支援事業所
3 ハローワーク	8 その他()
4 求人情報誌やホームページ	9 障害が発生する以前から働いていた
5 障害者就労・生活支援センター	

とい
→問25へ

といどいはたらかいとうかたきはたら
問24 といはたらかいとうかたきはたら
問21 で「働いていない(5・6)」と回答した方にお聞きします。あなたが働いていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 障害の程度や症状のため	5 自分に合った仕事がないため
2 高齢のため	6 働く自信がないため
3 職場の人間関係に不安があるため	7 その他()
4 職場の障害理解に不安があるため	8 特に理由はない

かたうかが
すべての方にお伺いします。

とい しょうがいしょはたらひつようおも
問25 障害者が働くためにはどのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1 就労に関する総合的な相談支援	8 職場の障害理解の促進
2 障害特性に合った職業訓練	9 ジョブコーチ※などからの支援
3 職場での就労体験	10 職場のバリアフリー化
4 自分に合った仕事を見つける支援	11 通勤経路のバリアフリー化
5 障害者向けの求人情報の提供	12 その他()
6 障害特性に合った職種・作業内容等の多様な仕事	13 特にない
7 障害に応じた短時間勤務等の柔軟な勤務体系	

しょくばしじょうがいりかいそくしん
※ジョブコーチとは、障害者が就職を目指して実習を行っている場や職場で、
しごとなしえんどうりょうしじょうがいしゃりかいそくしんとうおこなひと
仕事に慣れるための支援や同僚への障害者理解の促進等を行う人のことです。

とい
問26 あなたの日常生活の楽しみ方についてお聞きします。(○はいくつでも)

1 趣味や学習活動	7 外食	13 家でくつろぐ
2 スポーツ・運動	8 読書	14 地域の行事への参加
3 ボランティア活動	9 音楽を聴く	15 近所の散歩
4 友人・知人と会う	10 カラオケ	16 その他()
5 演劇や映画の鑑賞	11 ゲーム	17 特にない
6 買い物	12 旅行	

とい
問27 あなたは、今の生活に満足していますか。(○はひとつ)

- | | | | |
|---------|--------|--------|---------|
| 1 とても満足 | 2 少し満足 | 3 やや不満 | 4 とても不満 |
|---------|--------|--------|---------|

とい
問28 問27で「1 とても満足」、「2 少し満足」と回答した方にお聞きします。どのように満足していますか。(○はいくつでも)

1 居住面(住んでいる家や部屋が気に入っている)
2 家族面(家族との関係が良好である)
3 社交面(友人と楽しくつきあえている)
4 余暇面(余暇や趣味を楽しんでいる)
5 社会参加面(いろいろな社会活動に参加できている)
6 経済面(収入や生計に余裕がある)
7 就労面(仕事が充実している)
8 教育面(学校生活や療育が充実している)
9 その他()

とい
問29 問27で「3 やや不満」、「4 とても不満」と回答した方にお聞きします。どのように不満ですか。(○はいくつでも)

1 居住面(住んでいる家や部屋に問題がある)
2 家族面(家族との関係に問題がある)
3 社交面(友人の関係に問題がある)
4 余暇面(余暇や趣味を楽しめていない)
5 社会参加面(社会活動に参加できていない)
6 経済面(収入や生計に困難を抱えている)
7 就労面(仕事がつらい、または就労できない)
8 教育面(学校生活や療育に問題がある)
9 その他()

* 「7. 保育・教育・療育について」は 18歳未満の方に伺います。18歳以上の方は問35
に進んでください。

7. 保育・教育・療育について

問30 あなたが主に通園・通学などをしているところをお聞きします。(○はひとつ)

A 小学校入学前

- | | | |
|---------|-----------------------------|---------------|
| 1 保育園のみ | 3 障害児の療育施設 | 5 通園・通所はしていない |
| 2 幼稚園のみ | 4 並行通園(保育園・幼稚園と障害児の療育施設を併用) | |

B 小学校入学以降

→問31へ

- | | | |
|-------------------------|---------------|-------|
| 6 小学校の通常学級 | 14 高等学校 | →問33へ |
| 7 小学校の通常学級と
通級学級を併用 | 15 特別支援学校の高等部 | |
| 8 小学校の特別支援学級(固定) | 16 その他の学校 | |
| 9 特別支援学校の小学部 | 17 その他() | |
| 10 中学校の通常学級 | | →問32へ |
| 11 中学校の通常学級と
通級学級を併用 | | |
| 12 中学校の特別支援学級(固定) | | |
| 13 特別支援学校の中学校部 | | |

問31 問30で「A 小学校入学前(1~5)」と回答した方にお聞きします。小学校はどう
の教育機関を希望しますか。(○はひとつ)

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1 小学校の通常学級 | 4 特別支援学校の小学部 |
| 2 小学校の通常学級と通級学級を併用 | 5 わからない |
| 3 小学校の特別支援学級(固定) | |

→問34へ

とい とい とい とい とい とい とい
 問32 問30でBの小学校（小学部）、または中学校（中学部）と回答された方にお聞きします。
 ます。義務教育修了後（中学校（中学部）卒業後）はどのような進路を希望しますか。
 （〇はひとつ）

- | | |
|--------------|------------------|
| 1 高等学校（昼間部） | 5 生活訓練や就労支援の訓練施設 |
| 2 高等学校（夜間部） | 6 その他（ ） |
| 3 特別支援学校の高等部 | 7 わからない |
| 4 通信制高校等 | 8 特にどこにも通わない |

→問34へ

とい とい とい とい とい とい とい
 問33 問30でBの高等学校、または特別支援学校の高等部と回答された方にお聞きします。
 ます。高等学校（高等部）卒業後はどのような進路を希望しますか。（〇はいくつでも）

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 大学や短期大学へ通う | 6 就労移行・就労継続支援事業所へ通う |
| 2 専門学校や専修学校へ通う | 7 地域活動支援センターへ通う |
| 3 一般就労に向けた職業訓練学校等へ通う | 8 生活介護の施設へ通う |
| 4 企業等へ就職する（一般就労） | 9 その他（ ） |
| 5 自分で仕事をする（自営業など） | 10 わからない |

さいみまん かた うかが
18歳未満のすべての方にお伺いします。

とい つうえん つうがくせいかつとう こま しんばい
 問34 通園や通学生活等で困っていることや心配していることはありますか。
 （〇はいくつでも）

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1 通園・通学の送迎 | 7 保育や教育・療育に関する情報が少ない |
| 2 周囲の子どもとの関係 | 8 療育・リハビリテーションの機会が少ない |
| 3 教職員の指導の仕方 | 9 費用など経済的な負担 |
| 4 通園・通学生活での本人の成長 | 10 その他（ ） |
| 5 今後の進路について | 11 特に困っていることや心配はない |
| 6 子どもの将来について | |

8. 住まいについて

とい
問35 あなたの住まいをお聞きします。(○はひとつ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 持家(一戸建て) | 5 公営住宅(都営・市営) |
| 2 持家(集合住宅) | 6 公社・公団賃貸住宅 |
| 3 民間賃貸住宅(一戸建て) | 7 グループホーム・ケアホーム |
| 4 民間賃貸住宅(集合住宅) | 8 その他() |

とい
問36 あなたは、住まいに関してどのようなことで困っていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 玄関などの段差 | 6 手すりがない |
| 2 階段の昇り降り | 7 建物の老朽化 |
| 3 廊下や出入口が狭い | 8 家賃など住宅費の負担 |
| 4 風呂が使いにくい | 9 その他() |
| 5 トイレが使いにくい | 10 特にない |

とい
問37 あなたは、住まいに関してどのような支援を必要としていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1 住宅改造費用の貸付・助成 | 5 グループホームなどの整備 |
| 2 家具転倒防止や耐震化など災害対策 | 6 その他() |
| 3 公営住宅への優先入居の拡充 | 7 特にない |
| 4 民間賃貸住宅の入居支援 | |

9. 外出について

とい
問38 あなたはどのくらいの頻度で外出していますか。(○はひとつ)

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1 ほぼ毎日 | 3 週に1~2回 | 5 あまり外出しない |
| 2 週に3~4回 | 4 月に1~3回 | |

とい
問39 あなたには、外出に関して困っていることがありますか。（○はいくつでも）

1 歩道の段差や傾斜	8 疲れたときの休息場所
2 建物の段差や階段	9 自動車・自転車に危険を感じる
3 バスやタクシーの利用	10 周囲の人の障害に対する理解不足
4 駅構内の移動や乗り換え	11 お金がかかる
5 切符や飲料等の販売機の利用	12 外出するのに支援が必要である
6 トイレの利用	13 その他（ ）
7 標識・表示がわかりにくい	14 特にない

10. 福祉サービスの利用について

とい
問40 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また、今後（2～3年以内に）
りょう 利用したいと思いますか。既に利用しており、今後も利用したい方は「1」、「2」両方に
○をつけてください。（○はいくつでも）

（1）訪問系サービス

↓ 回答はこちらに ↓

サービス名	サービスの内容	用している	1 現在利	2 今後	3 利用希
①居宅介護 (ホームヘルプ)	きよたく にゅうよく はいせつ しょくじとう かいご 居宅における入浴、排泄、食事等の介護サービスの ていきょう おこな 提供を行います。	1	2	3	
②重度訪問介護	じゅうどほうもんかいご 常時介護を必要とする重度障害者を対象に、居宅 にゅうよく はいせつ しょくじ かいしゅつ じ いどうかいご における入浴、排泄、食事、外出時の移動介護サー おこな ビスを行います。	1	2	3	
③行動援護	こうどうえんご 行動に著しい困難がある知的障害者、精神 しうがいしゃ たい きげんかいひ 障害者に対して、危険回避のための援護や移動介護サ ていきょう ービスを提供します。	1	2	3	
④重度障害者等 包括支援	じゅうどしょうがいしゃとう じゅうどしきゅうがいしゃとう 常時介護が必要な人で、その介護の必要度が著しく高 ひと そうこうてき ちゅうじゅうかん かいご い人に、総合的に長時間の介護サービスを行います。	1	2	3	
⑤同行援護	どうこうえんご 移動に著しい困難のある視覚に障害のある人を たいしよう がいしゅつ じ 対象に、外出時における移動の援護や移動に必要な じょうほうていきょう おこな 情報提供を行います。	1	2	3	
⑥短期入所 (ショートステイ)	たんきにゅうしょ かいごしゃ びょうき かいご こんなん ぱあい しせつ 介護者が病気などで介護が困難になった場合などに、施設 にゅうよく はいせつ しょくじとう ていきょう での入浴、排泄、食事等のサービスを提供します。	1	2	3	

にっちゅうかつどうけい
(2) 日中活動系サービス

↓ 回答はこちらに ↓
さいみまん かた
18歳未満の方は2か3を選択

サービス名	サービスの内容	用している 1 現在利	利用したい 2 今後 げんざいりよう	望はない 3 利用希望
①生活介護	常に介護を必要とする障害のある人に、通所により、食事や入浴、排泄等の介護や日常生活上の支援、生産活動等の機会を提供します。	1	2	3
②療養介護	医療と常時の介護が必要な障害のある人に、医療機関等で機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活上の支援を行います。	1	2	3
③自立訓練(機能訓練・生活訓練)	自立した生活を営むことができるように、身体機能や生活能力向上のための訓練を行います。	1	2	3
④就労移行支援	福祉・教育・就労支援機関が連携して、障害に応じた職業訓練、職業能力の開発・向上、情報提供等を通して、一般就労を希望する障害のある人を支援します。	1	2	3
⑤就労継続支援(A型・雇用型)	一般就労に結びつかない人に、就労の機会を提供し、雇用契約に基づく支援を行います。	1	2	3
⑥就労継続支援(B型・非雇用型)	一般就労やA型での就労に適応できない人に、継続的な就労機会を提供し、生産活動にかかる知識および能力向上し、維持することを支援します。	1	2	3

きょじゅうけい
(3) 居住系サービス

↓ 回答はこちらに ↓
さいみまん かた
18歳未満の方は2か3を選択

サービス名	サービスの内容	用いている 1 現在利	利用したい 2 今後 げんざいりよう	望はない 3 利用希望
①共同生活援助(グループホーム)	地域生活に支障のない障害者が共同生活を営む住居で、日常生活の援助を行います。	1	2	3
②共同生活介護(ケアホーム)	介護を必要とする障害者が共同生活を営む住居で、介護などの支援を提供します。※平成26年4月から共同生活援助(グループホーム)に一元化する予定	1	2	3
③施設入所支援	生活介護または自立訓練、就労移行支援の対象者に對し、夜間等における入浴、排泄または食事の介護等を提供します。		2	3

（4）地域生活支援事業

↓ 回答はこちらに ↓

サービス名	サービスの内容	用している 1 現在利	利用したい 2 今後	望はない 3 利用希
①相談支援事業	本人及び家族の支援のため、情報提供や権利擁護に必要な援助を行う等、自立した日常生活・社会生活を支援します。	1	2	3
②移動支援事業	障害のある人の外出の援助をするためのガイドヘルパーを派遣します。	1	2	3
③コミュニケーション支援事業	手話通訳者を派遣することで聴覚・言語障害者のコミュニケーションを支援します。	1	2	3
④日常生活用具給付事業	重度心身障害者の日常生活における自立を支援するため日常生活用具を給付・貸与します。	1	2	3
⑤地域活動支援センター事業	創作活動や生産活動、交流活動など、様々な活動の機会を提供します。	1	2	3
⑥巡回入浴サービス	家庭での入浴が困難な重度心身障害者に巡回入浴サービスを実施します。	1	2	3
⑦自動車運転教習費助成	障害のある人が自動車運転免許を取得する際に要する費用の一部を助成します。	1	2	3
⑧自動車改造費助成	重度の障害のある人が就労等のため自動車を購入する場合、その自動車を障害のある人向けに改造する経費の一部を助成します。	1	2	3

（5）他のサービス

↓ 回答はこちらに ↓

サービス名	サービスの内容	用している 1 現在利	利用したい 2 今後	望はない 3 利用希
①自立支援医療	障害を軽減する医療（更生医療・育成医療・精神通院医療）を給付します。	1	2	3
②補装具	日常生活を容易にするために必要な補装具の給付・修理を行います。	1	2	3
③地域定着支援	施設や病院に長期入所等していた人が、地域生活に移行後、安心して地域生活を継続できるよう連絡、相談等の地域定着支援を行います。	1	2	3

「(6)児童に関する支援」は18歳未満の方に伺います。18歳以上の方は問41に進んでください。

(6) 児童に関する支援

↓ 回答はこちらに ↓

サービス名	サービスの内容	用している 1 現在利	利用したい 2 今後	望はない 3 利用希望
①児童発達支援・医療型児童発達支援	施設に通所し、日常生活における基本動作の訓練や集団生活の適応訓練などをを行う（児童発達支援）とともに、身体の状況により、治療も行います（医療型児童発達支援）。	1	2	3
②放課後等デイサービス	放課後や夏休み等の長期休暇中に、生活能力向上の訓練等を行うとともに、居場所を提供します。	1	2	3
③保育所等訪問支援	専門職が障害児のいる保育所等の施設を訪問し、集団生活に溶け込めるよう支援を行います。	1	2	3

すべての方にお伺いします。

問41 あなたには、サービス利用に関して困っていることがありますか。（○はいくつでも）

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 サービスに関する情報が少ない | 6 利用したいサービスが利用できない |
| 2 市役所での手続きが大変 | 7 利用者負担が大きい |
| 3 利用できる回数や日数が少ない | 8 その他（ ） |
| 4 事業者との利用日等の調整が大変 | 9 特にない |
| 5 サービスの質が良くない | |

11. 権利擁護・社会参加・障害理解について

問42 あなたは、成年後見制度について知っていますか。（○はひとつ）

※成年後見制度とは、認知症、知的障害、精神障害などによって物事を判断する能力が十分ではない方について、本人の権利を守る援助者を選ぶことで、本人を法律的に支援する制度です。

- | |
|----------------------|
| 1 名前も内容も知っている |
| 2 名前は知っているが、内容はわからない |
| 3 名前も内容も知らない |

とい
問43 あなたは、成年後見制度を利用したいと思ひますか。（○はひとつ）

- | | |
|--------------------------|---------------|
| 1 すでに利用している | 4 利用したいとは思わない |
| 2 必要だが、利用できていない | 5 わからない |
| 3 今は必要ないが、今後必要になったら利用したい | |

とい
問44 あなたはこれまでに、障害があるためにあきらめたりできなかったことがありますか。（○はいくつでも）

- | | | |
|---------|---------------------|---------|
| 1 進学 | 6 人づきあい | 11 その他 |
| 2 就職 | 7 旅行や外出 | () |
| 3 恋愛 | 8 おしゃれ | 12 特がない |
| 4 結婚 | 9 趣味活動・遊び | |
| 5 出産・育児 | 10 スポーツ・運動・レクリエーション | |

とい
問45 とい
問44で「あきらめたりできなかったことがあった（1～11）」と回答した方にお聞きします。実現できなかったことを実現するためにどのような支援が必要かお書きください。

とい
問46 障害への理解を進めるためにどのように市が力を入れるべきだと思いますか。（○はいくつでも）

- | | |
|--------------------------|------------|
| 1 障害や障害者の生活を伝えるパンフレットの発行 | はっこう |
| 2 障害者作品展やイベントの開催 | かいさい |
| 3 地域や学校等で交流の機会を増やすこと | ふ |
| 4 インクルーシブ教育の推進 | すいしん |
| 5 地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと | く |
| 6 学校や生涯学習での障害に関する教育や情報提供 | じょうほうていきょう |
| 7 障害についての講演会や疑似体験会の開催 | かいさい |
| 8 障害者の一般就労の促進 | そくしん |
| 9 その他 | () |
| 10 特がない | |

12. 災害対策について

問47 あなたが、地震などの災害が発生したときに困ることや不安なことは何ですか。

(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| 1 災害の発生等の情報を知る方法がない | 6 避難所のトイレを利用するか不安 |
| 2 助けを求める方法がない | 7 避難所で必要な支援が受けられるか不安 |
| 3 近くに助けてくれる人がいない | 8 避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい |
| 4 一人では避難できない | 9 薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安 |
| 5 避難所の設備が障害に
対応しているか不安 | 10 その他() |
| | 11 特にない |

問48 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。(○はいくつでも)

- | |
|----------------------------------|
| 1 日頃から家族で災害時の対応を話し合っている |
| 2 非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている |
| 3 疾病等で必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている |
| 4 近所の人や知人等に、災害が発生したときの助けをお願いしている |
| 5 昭島市の「災害時要援護者登録名簿」に登録している |
| 6 「昭島市携帯メール情報サービス」に登録している |
| 7 二次避難所(福祉避難所)を把握している |
| 8 地域等で行われている防災訓練に参加している |
| 9 その他() |
| 10 特にない |

問49 あなたは、災害に関してどのような支援が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1 避難するときの介助・支援 | 5 障害に対応した災害情報の提供 |
| 2 障害に対応した避難場所 | 6 コミュニケーション手段の確保 |
| 3 薬や日常生活用具などの備蓄 | 7 その他() |
| 4 医療的ケアの確保 | 8 特にない |

13. 将来について

とい しょうらい せいかつ きほう
問50 あなたは将来、どのような生活を希望しますか。(○はひとつ)

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| 1 地域で独立して生活したい | ちいき どくりつ せいかつ |
| 2 親や親族のもとで生活したい | おや しんぞく せいかつ |
| 3 信頼できる仲間や伴侶とシェアハウスで暮らしたい | しんらい なかま はんりよ く |
| 4 グループホームなどに入居したい | にゅうきょ |
| 5 障害者入所施設に入所したい | しょうがいしゃにゅうしょしせつ にゅうしょ |
| 6 高齢者の入所施設に入所したい | こうれいしゃにゅうしょしせつ にゅうしょ |
| 7 その他() | たの) |
| 8 わからない | |

とい しょうがいしゃ ちいき あんしん く しさく じゅうよう おも
問51 障害者が地域で安心して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いま
すか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|-------------------|------------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1 障害に対する理解の促進 | しょうがい たい りかい そくしん | 12 グループホームなどの整備 | せいび |
| 2 医療機関の充実 | いりょうきかん じゅうじつ | 13 入所施設の充実 | にゅうしょしせつ じゅうじつ |
| 3 教育・療育の充実 | きょういく りょういく じゅうじつ | 14 障害者向けの住まいの確保 | しょうがいしゃむ す かくほ |
| 4 生涯学習の充実 | じょうがいがくしゅう じゅうじつ | 15 居住支援の充実(住まい探しなど) | きょじゅうしえん じゅうじつ す さが |
| 5 雇用・就労支援の充実 | こよう しゅうろうしえん じゅうじつ | 16 建物・道路などのバリアフリー化 | たてもの どうろ か |
| 6 相談支援体制の充実 | そうdanんしえん なんたいせい じゅうじつ | 17 福祉人材の育成 | ふくしじんざい いくせい |
| 7 訪問系サービスの充実 | ほうもんけい じゅうじつ | 18 当事者同士で支援しあえる仕組みづくり | とうじしゃどうし しえん しく |
| 8 日中活動系サービスの充実 | にっちゅうかつどうけい じゅうじつ | 19 余暇(趣味やスポーツ活動)支援の充実 | よか しゅみ かつどう しえん じゅうじつ |
| 9 短期入所の充実 | たんきにゅうしょ じゅうじつ | 20 経済的支援の充実 | けいざいてきしえん じゅうじつ |
| 10 コミュニケーション支援の充実 | しえん じゅうじつ | 21 その他() | たの) |
| 11 福祉機器・補装具などの充実 | ふくしきき ほそうぐ じゅうじつ | | とく 特にない |
| | とく 特にない | | |

とい
問52 市の障害者施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

※ お書きいただいたご意見等に、個別にお答えするものではありませんのでご了承ください。

お答えいただき、ありがとうございました。

記入した調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、

切手を貼らずに 平成25年11月27日(水)までに、ポストに投函してください。

**昭島市障害福祉計画策定
のための基礎調査報告書**

発行年月 平成 26 年 3 月
発 行 昭島市保健福祉部障害福祉課
〒 196-8511 昭島市田中町一丁目 17 番 1 号
電 話 042-544-5111
FAX 042-546-8855